

教育課程 (履修要項)

(令和3年度)



SEITOKU

聖德大学

教育課程（履修要項）（令和3年度）聖徳大学

目次

はじめに

1. 教育課程の使い方	1
2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項	1

聖徳大学

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	3
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	4
入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	5

I 全学共通科目

II 児童学部

① 児童学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表

児童学部 全学共通科目 履修要項	13
聖徳教育科目配当表（別表II-1）	14
教養科目配当表（別表II-2）	14
専門基礎科目配当表（別表II-3）	15
外国語科目配当表（別表II-4）	15
健康教育科目配当表（幼稚園、保育士、小学校、特別支援教育、スポーツ健康コース）（別表II-5）	16
健康教育科目配当表（児童心理コース、児童文化コース）（別表II-6）	16
情報活用科目配当表（別表II-7）	16
帰国子女科目配当表（別表II-8）	17

② 児童学部 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、履修モデル、

カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

児童学科 幼稚園教員養成コース（別表II-9）	19
保育士養成コース（別表II-10）	29
小学校教員養成コース（別表II-11）	39
特別支援教育コース（別表II-12）	49
児童心理コース（別表II-13）	59
児童文化コース（別表II-14）	69
スポーツ健康コース（別表II-15）	79
特別支援学校教諭免許状関係科目、ピアヘルパー受験資格（別表II-16、17）	89

III 心理・福祉学部

① 心理・福祉学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表

心理・福祉学部 全学共通科目 履修要項	99
聖徳教育科目配当表（別表III-1）	100
教養科目配当表（別表III-2）	100
外国語科目配当表（別表III-3）	101
健康教育科目配当表（心理学科）（別表III-4）	102
健康教育科目配当表（社会福祉学科）（別表III-5）	102
情報活用科目配当表（別表III-6）	102
帰国子女科目配当表（別表III-7）	102

② 心理・福祉学部 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、履修モデル、

カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

心理学科（別表III-8）	103
社会福祉学科 社会福祉コース（別表III-9）	113
社会福祉学科 介護福祉コース（別表III-10）	124
社会福祉学科 養護教諭コース（別表III-11、12）	135

教職課程履修について	高等学校一種免許状（福祉）（別表III-13、14）	148
教職課程履修について	養護教諭一種免許状（別表III-15、16）	149

IV文学部

① 文学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表

文学部 全学共通科目 履修要項	155
聖徳教育科目配当表（別表IV-1）	156
教養科目配当表（別表IV-2）	156
外国語科目配当表（別表IV-3）	156
専門基礎科目配当表（別表IV-4）	157
健康教育科目配当表（別表IV-5）	158
情報活用科目配当表（別表IV-6）	158
帰国子女科目配当表（別表IV-7）	158

② 文学部 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、履修モデル、

カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

英語・英文学コース（別表IV-8）	159
教職課程履修について 中学校教諭一種免許状、高等学校一種免許状（英語）（別表IV-9、10）	162
日本語・日本文学コース（別表IV-11）	169
教職課程履修について 中学校教諭一種免許状、高等学校一種免許状（国語）（別表IV-12、13）	172
歴史文化コース（別表IV-14）	179
教職課程履修について 中学校一種免許状（社会）（別表IV-15、16）	182
教職課程履修について 高等学校一種免許状（地歴）（別表IV-17、18）	183
書道文化コース（別表IV-19）	191
教職課程履修について 高等学校一種免許状（書道）（別表IV-20、21）	194
図書館情報コース（別表IV-22）	201
教養デザインコース（別表IV-23）	211

V人間栄養学部

① 人間栄養学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表

人間栄養学部 全学共通科目 履修要項	223
聖徳教育科目配当表（別表V-1）	224
教養科目配当表（別表V-2）	224
専門基礎科目配当表（別表V-3）	225
外国語科目配当表（別表V-4）	225
健康教育科目配当表（別表V-5）	225
情報活用科目配当表（別表V-6）	225
帰国子女科目配当表（別表V-7）	226

② 人間栄養学部 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、履修モデル、

カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

人間栄養学科（別表V-8）	227
教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状（家庭）（別表V-9、10）	230
教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状（保健）（別表V-11、12）	231
教職課程履修について 栄養教諭一種免許状（別表V-13、14）	232

VI看護学部

① 看護学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表

看護学部 全学共通科目 履修要項	243
聖徳教育科目配当表（別表VI-1）	244
外国語科目配当表（別表VI-2）	244
健康教育科目配当表（別表VI-3）	245
情報活用科目配当表（別表VI-4）	245
帰国子女科目配当表（別表VI-5）	245
学部共通科目配当表（別表VI-6）	246

② 看護学部 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、履修モデル、カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）	246
看護学科 （別表VI-7）	246

VII音楽学部

① 音楽学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表	
音楽学科 音楽学部 全学共通科目 履修要項	257
聖徳教育科目配当表（別表VII-1）	258
教養科目配当表（別表VII-2）	258
外国語科目配当表（別表VII-3）	259
健康教育科目配当表（別表VII-4）	260
情報活用科目配当表（別表VII-5）	260
帰国子女科目配当表（別表VII-6）	260
② 音楽学部 音楽学科 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）	
音楽学科（別表VII-7、8）	261
教職課程履修について 中学校教諭一種免許状（音楽）高等学校一種免許状（音楽）（別表VII-9、10、11）	275

VIII資格関係科目について

資格関係課程の履修について	277
司書及び司書教諭関係科目配当表（別表VIII-1）	279
社会教育主任用資格関係科目配当表（別表VIII-2）	280
学芸員関係科目配当表（別表VIII-3）	281
レクリエーション関係科目配当表（別表VIII-4）	282
日本語教員養成講座（別表VIII-5）	283

令和3年度教育課程

はじめに

この教育課程（履修要項）は、令和3年度に入学された学生の皆さんを対象に、履修にあたっての諸注意、履修の方法について説明が記載されています。本冊子は入学時に一度しか配布しませんので、紛失しないように大切に扱ってください。また、必要箇所については熟読し、理解を深めていただき、授業に臨んでください。

1. 教育課程の使い方

所属する学部・学科・コースの履修要項の指示に従い、該当の別表より履修する科目を確認してください。

別表の種類

別表は、次の3つに分類されます。

- (1) 全学共通科目（A類）=聖徳教育科目・教養科目・（基礎専門科目）・外国語科目・健康教育科目・情報活用科目・（帰国子女科目）
- (2) 専門教育科目（B類）=各学科・コースに設置された専門教育科目
- (3) 教職・資格関係科目=免許・資格を取得するための科目で、原則として、卒業単位数に含まれない科目

特に（1）、（2）については必修科目（卒業する為に必ず履修しなければならない科目）や選択必修科目（卒業するために、必ず決められた条件により必要な単位数を修得しなければならない科目）が多数含まれているので履修にあたってはよく確認してください。

2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項

みなさんの年間の学習の流れをここに分かりやすくまとめました。併せて学生便覧の「学修について」の項目も熟読して学習に取り組んでください。

学期	春学期												秋学期												
項目	入学・新学年	⇒	春学期授業開始	⇒	履修登録・確認	⇒	履修取消	⇒	課程登録	⇒	試験	⇒	成績発表・追再試	⇒	秋学期授業開始	⇒	履修登録・確認	⇒	履修取消	⇒	試験	⇒	成績発表・追再試	⇒	進級・卒業
時期			4月上旬		4月下旬	5月10日		6月中		7月下旬		8月下旬		9月下旬		10月下旬	11月10日		1月下旬		3月中旬		3月下旬		

①学期

1年間の学期は、春学期（4月～9月末）・秋学期（9月末～3月末）の2学期に分かれ、それぞれの学期で授業期間、定期試験期間などが設定されています。本学で設置されている科目は、一部の通年科目を除いて春学期・秋学期の学期毎に開講されています。授業期間や行事等は「学生便覧」の学事日程で確認しておいてください。

②単位制と単位認定について

大学では、単位制が採用されています。単位制とは一定の学修量を単位として表わし、所定の期間で量的修得を卒業の判定基準とする方式です。各授業科目の単位修得の認定は、一定時間以上の授業に出席し、かつ、科目担当教員の試験等に合格したものにその単位が与えられます。授業科目の授業方法や修得できる単位数については各自別表で確認してください。

授業科目を履修し、試験を受けると、成績の評価がなされます。成績評価は、100点を満点として60点以上(S・A・B・C評価)の場合には合格として所定の単位が与えられます。

③授業時間について

授業時間は90分を1授業時間として行われます。実験・実習・実技科目等の中には135分で行われるものもあります。

④履修登録

授業科目を履修するためには、各学期始めに必ず履修登録を行わなければなりません。登録をしなかった科目については、単位の修得は認められません。なお、履修年次配当で自分の学年より上級年次に配当されている科目は履修できません。

また、一度履修登録をした科目を他の科目に変更することは、原則として認められません。履修登録の方法については学期開始時にお知らせをいたします。

⑤履修取消について

履修取消のみ指定期間内に限り認めます（春学期：5月10日まで 秋学期11月10日まで いかなる理由であっても上記期間を過ぎた取消は認められません）。履修登録に際しては、慎重に履修計画をたてて臨むようにしてください。

⑥再履修について

前年度履修科目において不合格になった科目を翌年度以降に再度履修することを再履修といい、その年度にあらためて履修することが出来ます。登録方法は、「再履修許可願」を提出するとともに、履修登録をする必要があります。具体的な手続きについては各学期開始時に指示があります。

なお、再履修科目と必修科目の受講時間が重なる場合は、各学科の教務委員の先生または教育支援課に相談してください。

⑦履修登録の上限

各年次において履修登録できる単位数は、1年間で40単位を上限とします。ただし、教員免許状及び諸資格を取得する場合は、1年間で40単位を超えて履修登録することができます。

⑧進級基準について

2年次から3年次へ進級するには、卒業要件単位数のうち、以下に記載する単位を修得しなければなりません。成績表で修得単位数を必ず確認してください。

進級基準

2年次から3年次への進級

修得単位数	卒業要件単位数が50単位以上であること。
修得科目の要件	①聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I、SEITOKU Academic Literacy II)を修得していること。 ②人間栄養学部の学生にあっては、①に加えて2年次までに修得すべき管理栄養士指定科目のうち、未修得科目が10科目以内であること。 ③看護学部の学生にあっては、①に加えて2年次までに修得すべき専門科目のうち、公衆衛生看護学概論を除く概論7科目及び実習1科目を修得していること。

⑨卒業要件について

卒業には次の要件を満たす必要があります。

- (1) 4年以上在学していること。（休学期間は含まれません。）
- (2) 卒業に必要な授業科目及び単位数を修得していること。
- (3) 本学で必須と定めた学校行事に参加する等の条件をみたしていること。
- (4) 授業料等校納金を完納していること。

聖徳大学

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学は、1933年に創立された東京聖徳学園の建学の精神である「和」を教育理念としています。本学は、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦するとともに、時代を超えて求められる多様な他者への尊敬と共感を大切にする人間性を備えた女性を様々な世界に輩出しています。

現代社会は、政治・経済・文化のグローバル化が進み、個人・社会の価値観が多様化・複雑化し、きわめて多くの複合的な問題に直面しています。このような変化の激しい社会において、人間の尊厳を見失わず、自ら新たな問いを立て多様な他者と協働しながら新たな価値を生むための力の育成が求められています。

聖徳大学は、時代をリードする教育改革を進め、互いの価値観を共感的に受け止める確かな人間性、グローバルかつローカルな視点と学際的な洞察力、社会で発揮できる専門性の高い実践力をもつ人を着実に育成し、調和ある社会の発展に貢献しています。

聖徳大学は、上記の教育理念に基づいて、以下の四つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 他者を思いやる協調性とともに、凛として生き抜いていくための確かな人間性を育成する。
2. 自己分析力、論理的思考力、自己管理能力を活かし、個別学問領域を超えたアイディアや洞察力と多面的な問題発見・解決力を育成する。
3. 専門分野に関する理論・知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて社会で発揮できる専門性の高い実践力を育成する。
4. グローバルな視野を備え地域で活躍できる専門性の高い実践力を発揮して、自分なりの価値を見いだし、自らの意思で一步を踏み出すことのできる女性を育成する。

聖徳大学では、こうした教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学修成果】

1. 一流の文化・芸術がもつ普遍性と固有性を感受し、グローバルで多様な価値を受け止めることができる。
2. 思いやりと慎みの心をもって相手の立場に立ち、集団の中で自立した行動をとることができる。
3. 自己や事象を客観的かつ論理的に考察することができ、自己の生き方をデザインすることができる。
4. 個別学問領域を超えたアイディアや洞察力を活かし、自己の確立を図ることができる。
5. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。
6. 専門領域に関わる理論と知識と技能を結びつけて、グローバルかつローカルな視点をもって、多様な実際的かつ実践的な問題や課題に主体的に、かつ協働して取り組むことが

できる。

聖徳大学では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

聖徳大学では、学修成果を体系的に達成するために、全学共通科目と専門教育科目の教育課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

I 全学共通科目

全学共通科目は、「聖徳教育科目」、「教養科目」、「外国語科目」等から構成しています。

「聖徳教育科目」は「小笠原流礼法基礎講座」と「聖徳教育」から編成し、聖徳学園の建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育を目的とし、確かな人間性を育成します。

「教養科目」は、文化、社会、自然、身体・精神などに関わるグローバルかつ複合的な諸現象や多様な問題状況に向き合い、個別学問領域を超えたアイディアや学際的かつ多面的な洞察力と学術を総合した問題解決力を育成します。

「外国語科目」等は外国語および的確な情報によるコミュニケーション・スキルを育成し、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

II 専門教育科目

学科の教育目的を達成するために専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

1. 学科の専門性を習得するために不可欠な学術的な基礎力を育成します。
2. 現代的課題に対応した専門的理論と知識を学び、問題・課題解決のための基礎力を育成します。
3. 充実した演習・実習科目を設定し、実際場面における問題・課題解決を通して実践力を育成します。
4. 専門職業人として自立し、優れた感性と表現力、柔軟な思考力と行動力を備え、卒業後の現場で生きる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

全学科において、全学共通科目と専門教育科目の学修成果を効果的に達成するために、授業計画（シラバス）を作成して以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を開拓しています。

1. 「到達目標」、「学修成果」、「評価の要点」を明示し、実施しています。
2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び他の授業科目との関連を明示しています。
3. 授業方法として能動的な学び（アクティブラーニング）を導入し、深い学びを促進しています。
4. 毎時間の「身につく資質・能力」と「予習・復習」時間を明記し、その実施を促進し

ています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

聖徳大学は、総合大学という特質を活かして、変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな人間性、どのような社会であっても不可欠な自己分析力、論理的思考力、自己管理能力、個別学問領域を超えたアイディアや洞察力と多面的な問題発見・解決力、そしてそれらを発揮して主体的にかつ協働して課題に取り組める、社会で発揮できる聖徳ならではの専門性の高い実践力をもつ人の育成を目指しています。

聖徳大学はこうした目的を理解し、それを達成できる資質をもった人を求めています。具体的には、次のような人を求めています。

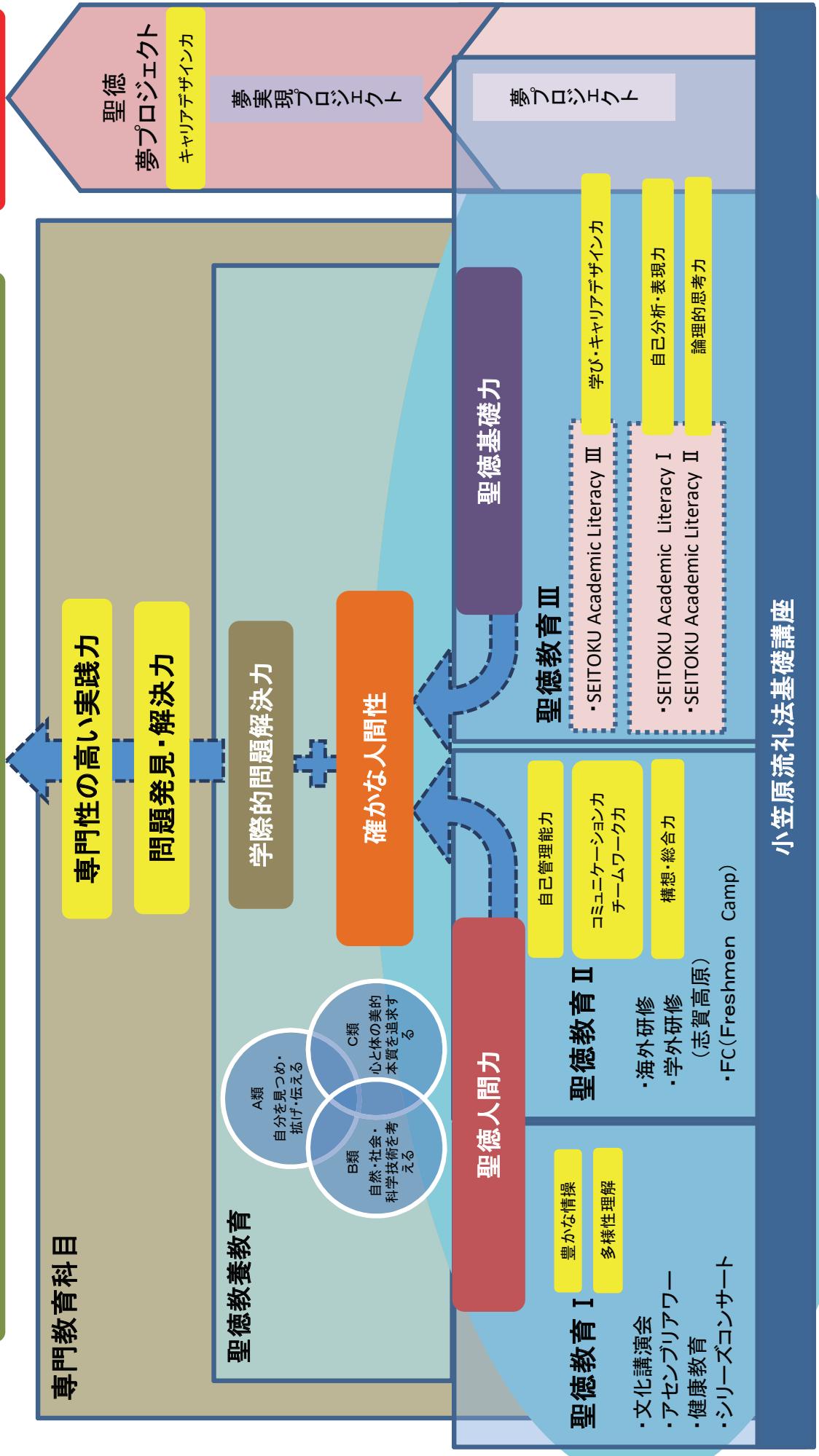
1. 学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
2. 学びを通して、社会に貢献する夢をもっている人。
3. 学内外で必要なコミュニケーション力などの基礎を備えている人。
4. 授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。

聖徳大学ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、各学科での学習に必要な技能、知識、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

聖徳大学の教育プログラムと学びで得られる成果 (SEITOKU Learning Outcomes)

人間性が発揮できる専門性の高い実践力

圧倒的な就職力



児童学部 児童学科

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

児童学部児童学科は、児童を多面的に研究する児童学をベースに、七つのコース（「幼稚園教員養成コース」「保育士養成コース」「小学校教員養成コース」「特別支援教育コース」「児童心理コース」「児童文化コース」「スポーツ健康コース」）から小学校教諭・特別支援学校教諭・幼稚園教諭・保育士など複数の免許・資格が取得できる他にない学科の特質を生かして、多くの人材をこれまでのように輩出していくます。

現代社会は急速な変化を続けており、子どもの成長に関する新たな問題が次々と生じています。子どもに関する深い知識や技能をもち、創造的な思考力等を身につけ、他と協働しながら様々な問題を解決できる人材が求められています。児童学部児童学科は、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、問題解決力等をもった実践力のある人材の育成を通して、社会の発展に貢献することを目指して、次のような目標を掲げ教育を行います。

【教育目標】

1. 礼節や思いやりがあり、多様な価値観を受け入れられる人間性と、未来の子ども達に伝える芸術や文化に関する教養をもち、社会の発展に寄与する人を育成する。
2. 児童学の学びを通して、子どもの可塑性に富んだ活動に対応できる専門的な知識及び技能をもち、豊かな創造性を備えた人を育成する。
3. 高いコミュニケーション・スキルやリーダーシップ等を發揮し、他と協働しながら様々な問題に対応し解決できる実践力を育成する。

【学修成果】

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

1. 礼節や思いやり、豊かな子ども観などをもって子どもに接するとともに、自律的に学び続けながらよりよい社会の形成に貢献することができる。
2. 児童の心や成長に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。
3. 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で子どもとコミュニケーションするとともに、周りと協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。

以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、学士（児童学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

児童学部児童学科は、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学部共通科目群

- (1) 児童学の学びを通して、子どもの多面的な活動を理論的に深め、具体化するための技能を身につけます。
- (2) 学問的背景を踏まえた折り紙や手遊び、ピアノなど多彩な表現力や教材作成の技能を身につけた上で実習を通して教育現場が求める実践力を磨きます。
- (3) 四年間の学び、そして卒業後の活躍を具体にデザインするとともに、子どもに関する問題について、3年次ゼミ、4年次の卒業研究ゼミを通して専門的な問題解決力を高めます。

2. コース別専門科目群

(1) 幼稚園教員養成コース

幼稚園教育は学校教育の始まりととらえ、幼児一人ひとりを理解し、豊かな成長を促す専門性が身につく、「保育の聖徳®」にふさわしい教育課程を編成します。理論、実践科目、附属幼稚園や外部の幼稚園で行う実習を通して、幼児の発達を支え、地域や保護者から信頼される、優れた実践力と教材研究の力を身につけます。

(2) 保育士養成コース

子どもの生活や遊びを豊かにし、その成長を支えるとともに、それぞれの地域社会の特性に応じた子育て支援が可能な専門性を身につける、「保育の聖徳®」にふさわしい教育課程を編成します。授業に加えて、保育所や社会福祉・児童福祉施設（保育所を除く）で行われる実習を通して、子どもの幸せを第一に考え、その福祉を積極的に増進できる確かな実践力を培います。

(3) 小学校教員養成コース

子どもを理解し、保護者に信頼され、地域社会と連携しながら適切に指導できる実践力を身につける教育課程を編成します。英語教育が充実されるのに伴い、1年次から英語を4年間学び実力をつけています。また、4年次には教科等を選択して専門性を深めます。さらに、各教科等の内容と指導方法に加え、附属小学校での観察実習や公立小学校での教育実習を通して、高い授業力と教育課題を解決できる実践力を身につけます。

(4) 特別支援教育コース

通常学級に在籍する子どもを含め障害のある子どもを理解し、保護者に信頼され、地域社会と連携しながら適切に指導・支援ができる専門的な実践力を身につける教育課程を編成します。各種の障害についての理論と指導方法に加え、特別支援学校での実習を通して、高い授業力と教育課題を解決できる実践力を身につけます。

(5) 児童心理コース

子どもの心を多角的にとらえ、成長や発達を支える実践力を身につけるとともに、保育士や教員の資格・免許の取得が可能な教育課程を編成します。心理学を専門的に学び、子どもの心の理解と適切な支援ができる実践力を身につけます（認定心理士取得が可能）。

(6) 児童文化コース

子どもの遊びと文化を学び、地域に貢献できる実践力を身につけるとともに、保育士や教員の資格・免許の取得の可能な教育課程を編成します。音楽・造形・身体などの表現、文化や環境、地域交流などの学習を通して的確な自己表現力で他と協働しながら地域社会で活躍できる専門的な実践力を身につけます。

(7) スポーツ健康コース

子ども達にスポーツの楽しさを伝える実践力を身につけるとともに、資格・免許取得の可能な教育課程を編成します。ジュニア期（幼児期～児童期）の発育発達に応じた運動遊びやスポーツ指導に関する理論や技術を学び、児童期から生涯にわたる健康つくりを通して地域に貢献できる実践力を身につけます。

【教育課程実施の方針】

1. 学生が自ら主体的に学ぶ授業を開発するとともに、学生と教員がともに学び合う「対話の教室」を通して、学修成果の向上を図ります。
2. 学外宿泊研修、卒業研究などにおいてループリック評価を導入し、評価結果を教員と学生で共有しながら学びを改善・充実します。
3. 教育実習や保育実習では、本学教員及び附属小学校や附属幼稚園教諭による事前・事後指導を実施し、教育課題に即応できる実践力の向上を図ります。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

児童学部児童学科では、子どもに関わる専門的な実践力をもち、地域社会に貢献できる人材を育成するために、次のような能力をもつ入学者を求めてています。

1. 子どもの成長や発達に关心があり、子どもの心に寄り添うことができる人。
2. 自己の人間性や教養を高め、調和ある社会の発展に貢献しようとする人。
3. 心身ともに健康新しく、子どもや保護者、地域の人などと積極的に交流するとともに、教育実習等を継続できる人。
4. 学業成績が児童学を習得するために必要な水準に達している人。
5. 他と協働しながら問題を取り組むコミュニケーション・スキルをもつ人。
6. 問題に対して資料等を十分に活用しながら解決方法を考えることができる人。

児童学部児童学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意し、様々な入学試験を行っています。こうした試験においては、本学部での学修に必要な学習意欲や基礎的な学力、コミュニケーション力、課題解決力などについて、書類審査、作文や小論文、学力試験、面接などを多面的に組み合わせて総合的に評価します。

児童学部 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、下表のとおりです。

コース名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	計
幼稚園教員養成コース	30単位	94単位	124単位
保育士養成コース	30単位	94単位	124単位
小学校教員養成コース	30単位	94単位	124単位
特別支援教育コース	30単位	94単位	124単位
児童心理コース	30単位	94単位	124単位
児童文化コース	30単位	94単位	124単位
スポーツ健康コース	30単位	94単位	124単位

- ② 児童学部の全学共通科目（A類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

全 学 共 通 科 目 (A類)				
聖徳教育 科目	教養科目、専門基礎科目 及び外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ③ 児童学部の学生は、全学共通科目（A類）については、別表II－1、2、3、4、5、6、7のとおり履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④ 聖徳教育科目（別表II－1）はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目（別表II－2）は12単位以上（小学校教員養成コースは8単位以上）が必修です。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～C類まで一つの群に集中することなくバランスよく履修してください。
D類の「日本国憲法」は、小学校教員養成コース、特別支援教育コース、幼稚園教員養成コース、保育士養成コース及び教員免許状・保育士資格を取得する者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目（別表II－3）「基礎数学」、「基礎科学」は、小学校教員養成コースは必修です（4単位）。また、小学校教員養成コース以外で小学校教諭免許状を取得しようとする者は履修することが望れます。これらの単位を修得した場合は、教養科目の修得単位として算入されます。
- ⑦ 外国語科目（別表II－4）は、英語I、英語II、英語III、英語IV（4単位）及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語のうち1ヶ国語（4単位）、計8単位以上を修得してください。なお、小学校教員養成コース及び特別支援教育コースの小学校免許群の選択外国語は、英語V～英語VIIが必修となります。
- ⑧ 健康教育科目（別表II－5、II－6）は、コースごとに別表II－5 または別表II－6 の欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑨ 情報活用科目（別表II－7）は別表II－7 の受講区分に従い履修してください。
- ⑩ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・Cと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目

別表 II-1

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座			2	○			●●		● 春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 I			1	○	○	○	○	○	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 II		演	1	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III (SEITOKU Academic Literacy I)			1	○	○				
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III (SEITOKU Academic Literacy II)		演	1	○		○			
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III (SEITOKU Academic Literacy III)		演	1	○			●●		
	計		7						

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表 II-2

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
A 類	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			○	○		△ 教養科目と外国語科目を併せて20単位以上必修。(外国語は8単位以上必修) ※小学校教員養成コースは、教養科目と外国語科目を併せて16単位以上と専門基礎科目4単位必修(外国語科目は8単位以上必修)
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			○	○		
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			○	○		
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2			○	○		
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える (文化領域 II・インターナンシップ)	演	2						
B 類	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			○	○		△ 教養科目は表中のA類、B類、C類 各類から1科目以上履修すること。 △ 同じ科目(領域)を重複履修することはできません。
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			○	○		
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			○	○		
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			○	○		
C 類	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			○	○		△ 日本国憲法は、幼稚園教員コース、保育士養成コース、小学校教員養成コース、特別支援教育コース、教育職員免許状及び保育士資格を取得する者は必修。 △ 企業系就職希望者は、Business Field Linkage科目を履修することが望ましい。
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			○	○		
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			○	○		
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			○	○		
D 類	<input type="checkbox"/> 日本国憲法		2		●●				△ 企業系就職希望者は、Business Field Linkage科目を履修することが望ましい。
	< Business Field Linkage >								
	<input type="checkbox"/> 特別講義 I		2			○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義 II		2			○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義 III		1			○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義 IV		2			○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義 V		2			○			
	計		38						

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。又●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期又は秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

専門基礎科目

別表 II-3

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	基礎数学		2		○				△ 小学校教員養成コースは基礎数学及び基礎科学は必修。
<input type="checkbox"/>	基礎科学		2			○			
	計		4						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

外国語科目

別表 II-4

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	英語 I	演	1	○	○				△ 外国語科目については、卒業必修科目として英語 I、II、III、IV(4単位)及び選択外国語として(英語 V～VIII、フランス語 I～IV、ドイツ語 I～IV)のうち1か国語(4単位)、計8単位以上必修。
<input type="checkbox"/>	英語 II	演	1	○		○			
<input type="checkbox"/>	英語 III	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	英語 IV	演	1	○			○		
<input type="checkbox"/>	英語 V	演	1	※			○		※ ただし小学校教員養成コース及び特別支援教育コースの小学校免許群は英語 V～英語 VIII の8単位必修。
<input type="checkbox"/>	英語 VI	演	1	※				○	
<input type="checkbox"/>	英語 VII	演	1	※				○	
<input type="checkbox"/>	英語 VIII	演	1	※				○	
<input type="checkbox"/>	フランス語 I	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	フランス語 II	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	フランス語 III	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	フランス語 IV	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	フランス語 V	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	フランス語 VI	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	フランス語 VII	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	フランス語 VIII	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 I	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 II	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 III	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 IV	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 V	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VI	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VII	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VIII	演	1					○	
			24						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

別表 II-5**健康教育科目（幼稚園コース、保育士コース、小学校コース、特別支援教育コース、スポーツ健康コース）**

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 I (小教)	※	1	注1	○				
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 II (小教)	※	1	注1		○			
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育 I	※	1	注2	○				
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育 II	※	1	注2		○			
			2						

【授業の方法】演：演習、無印：講義、※：講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 1) 幼稚園教員養成コース、保育士養成コース、スポーツ健康コースの学生は基礎専門体育 I・IIを履修すること。

2) 小学校教員養成コースの学生はスポーツと健康 I・II (小教)を履修すること。

3) 特別支援教育コースで小学校教員免許を取得しようとする学生は、スポーツと健康 I・II (小教)を

履修すること。特別支援教育コースで幼稚園教諭免許状を取得しようとする学生、幼稚園教諭免許状と併せて小学校教諭免許状、保育士資格を取得しようとする学生は、基礎専門体育 I・II を履修すること。

別表 II-6**健康教育科目（児童心理コース、児童文化コース）**

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 I	※	1	注1	○				
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 II	※	1	注1		○			
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 I (小教)	※	1	注2	○				
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 II (小教)	※	1	注2		○			
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育 I	※	1	注3	○				
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育 II	※	1	注3		○			
			2						

【授業の方法】演：演習、無印：講義、※：講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 1) 児童心理コース、児童文化コースで幼稚園教諭免許状または保育士資格を取得しようとする学生及び、小学校教諭免許状と合わせて幼稚園教諭免許状または保育士資格を取得しよう

とする学生は基礎専門体育 I・II を履修すること。

2) 児童心理コース、児童文化コースで小学校教諭免許状を取得しようとする学生は、スポーツと健康 I・II (小教)を履修すること。

3) 上記以外の学生はスポーツと健康 I、II を履修すること。

情報活用科目**別表 II-7**

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○				△ 情報活用科目の受講区分は注のとおり
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	注1.2		○			
			2						

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 1) 幼稚園教員コース、小学校教員養成コース、特別支援教育コースは情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも履修すること。

2) 上記のコース以外で、教育職員免許状を取得する学生は、情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも必修。

帰国子女科目

別表 II-8

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	日本語 I	演	1		○				△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語 II	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	日本語 III	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	日本語 IV	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	日本語 V	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	日本語 VI	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史 I		2				○		
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史 II		2					○	
			10						

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

児童学部 児童学科 幼稚園教員養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 幼稚園教員養成コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	B類計
77	17	94

- ③ 幼稚園教員養成コースの専門教育科目については、別表II-9の卒業必修欄に○印の付いている科目63単位、※印の付いている科目については2科目4単位、専門領域科目の中からいずれか1領域10単位の合計77単位と、別表II-9の選択科目及び別表II-10~17に記載されている科目から17単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、小一免欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 保育士の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、保育士欄に○印のついている科目と、△印のついている科目から、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）又は保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）の組み合わせで2科目3単位選択履修してください。
- ⑥ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表II-16のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表II-17のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑧ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表VIII-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑩ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑪ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	小一免	履修年次				備考	
								1	2	3	4		
								春秋	春秋	春秋	春秋		
学科共通科目	□児童学概論		2	○				○				通年 通年	
	□児童学演習	演	2	○				○					
コ ス 必 修 科 目	□3年次ゼミ	演	2	○						○	○	通年 通年	
	□卒業研究ゼミ		3	○							○		
	□キャリアデザイン I	演	1	○				○				ピアノ(2年通年) ピアノ(2年通年)	
	□キャリアデザイン II	演	1	○				○					
	□児童学特論 I		2				●	●	●	●	●	わらべ歌を含む わらべ歌を含む	
	□児童学特論 II		2				●	●	●	●	●		
	□児童学特論 III		2				●	●	●	●	●	幼一免を取得しようとする者は、 ※の科目のうち2科目を選択履修すること。	
	□児童学特論 IV		2				●	●	●	●	●		
	□児童学特論 V		2				●	●	●	●	●	ピアノ(2年通年) ピアノ(2年通年)	
	□児童学特論 VI		2				●	●	●	●	●		
	□児童学特論 VII		2				●	●	●	●	●	わらべ歌を含む わらべ歌を含む	
	□児童学特論 VIII		2				●	●	●	●	●		
	□児童学特論 IX		2				●	●	●	●	●	健康	
	□児童学特論 X		2				●	●	●	●	●		
	□児童学特論 X I		1				●	●	●	●	●	人間関係	
	□児童学特論 X II		1				●	●	●	●	●		
	□児童学特論 X III		1				●	●	●	●	●	環境	
	□児童学特論 X IV		1				●	●	●	●	●		
	□児童学特論 X V		1				●	●	●	●	●	言葉	
	□初等教科研究・音楽実技 I	演	2	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・音楽実技 II	演	2	○	○	○	○			○	○		
	□初等教科研究・音楽理論 I	演	1	○	○	○	○	○				言葉	
	□初等教科研究・音楽理論 II	演	1	○	○	○	○	○					
	□初等教科研究・図画工作 I	演	1	○	○	○	○		○			音楽	
	□初等教科研究・図画工作 II	演	1	○	○	○	○		○				
	□初等教科研究・専門体育 III	演	1	○	○	○			○			音楽	
	□初等教科研究・専門体育 IV	演	1	○	○	○			○				
	□初等教科研究・国語		2	※	※		○	●	●			造形	
	□初等教科研究・数学		2	※	※		○	●	●				
	□初等教科研究・生活		2	※	※		○			●	●	造形	
	□教職入門		2	○	○	○	○	●	●	●	●		
	□教育原理		2	○	○	○	○	●	●	●	●	人形劇	
	□発達心理学 I		2	○	○		○		●	●	●		
	□特別支援教育総論		2	○	○		○	●	●			折紙	
	□教育社会学		1	○	○		○		●	●			
	□教育方法学		2	○	○		○		●	●		表現あそび	
	□教育課程論		2	○	○		○		●	●			
	□保育原理 I		2	○	○	○			○			事前・事後オリエンテーション等	
	□保育内容総論	演	1	○	○	○		○					
	□保育内容指導法 I	演	1	○	○	○			○			附属幼実習	
	□保育内容指導法 II	演	1	○	○	○			○				
	□保育内容指導法 III	演	1	○	○	○				○		外部幼実習	
	□保育内容指導法 IV	演	1	○	○	○				○			
	□保育内容指導法 V	演	1	○	○	○			○				
	□保育内容指導法 VI	演	1	○	○	○			○				
	□保育内容指導法 VII	演	1	○	○	○				○			
	□保育内容指導法 VIII	演	1	○	○	○					○		
	□保育内容指導法 IX	演	1	○	○	○					○		
	□保育内容指導法 X	演	1	○	○	○					○		
	□保育内容指導法 X I	演	1	○	○	○					○		
	□保育内容指導法 X II	演	1	○	○	○					○		
	□幼児理解・保育相談		2	○	○			○					
	□教育相談		2	○	○		○			●	●		
	□児童文化演習 I～1	演	1	○	○	○		●	●				
	□児童文化演習 I～2	演	1	○	○	○		●	●				
	□児童文化演習 II～1	演	1	○	○	○				●	●		
	□教職実践演習(幼・小)	演	2	○	○	○	○				○		
	□幼児教育実習 I	実	1	○	○			○		○			
	□幼児教育実習 II	実	2	○	○			○					
	□幼児教育実習 III	実	2	○	○					○			

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	小一免	履修年次				備考					
								1		2		3		4			
								春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋				
専 門 領 域 科 目 群	【幼稚教育指導法開発領域】		1 領域 10 単位 必修	1 領域 10 単位 必修													
	<input type="checkbox"/> 幼児と自然体験				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 文芸創作演習				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 遊具と遊び				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 行事運営実践				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 危機管理演習				2									● ●			
	【乳児保育領域】																
	<input type="checkbox"/> 赤ちゃん学概論				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 現代保育課題研究				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 乳児保育の実践演習				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 乳児期とメディア				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 子育て支援と現代育児論				2									● ●			
	【音楽表現領域】																
	<input type="checkbox"/> 音遊び・手遊び				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> オペレッタ・ミュージカル				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 歌唱指導・わらべうた				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> ボディパーカッション・楽器遊び				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> リトミック				2									● ●			
	【造形表現領域】																
	<input type="checkbox"/> 立体表現				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 平面表現				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 造形表現デザイン				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 幼児と文化財				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 造形指導法				2									● ●			
	【インクルーシブ保育領域】																
	<input type="checkbox"/> 障害児・者の権利論				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 障害文化論				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> ライフステージ支援研究				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 医療・保育連携論				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> インクルーシブ保育研究				2									● ●			
	【多文化保育領域】																
	<input type="checkbox"/> 保育における多文化理解				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 世界の子どもの生活と文化				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 異文化間コミュニケーション論				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 保育における外国語活動				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 世界の就学前教育				2									● ●			
	【運動・健康領域】																
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達・発育と運動論				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 運動遊び研究				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 遊具での運動遊びと安全				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 子どもの自然活動基礎論				2									● ●			
	<input type="checkbox"/> 運動行事研究				2									● ●			

運動遊び・伝承遊び・リズム遊び

別表 II-9

児童学科 幼稚園教員養成コース専門教育科目 (B類)

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	小一免	履修年次				備考		
								1		2		3		
								春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	
コ ー ス 選 択 科 目	□子ども家庭福祉		2			○		●●						保育所実習 施設実習 保育所実習(選択) 施設実習(選択) 必修事前・事後指導 選択事前・事後指導 選択事前・事後指導
	□社会福祉学 I		2			○		●●						
	□社会的養護 I		2			○			●●					
	□社会的養護 II	演	1			○				●●				
	□保育の心理学		2			○		●●						
	□子どもの理解と援助	演	1			○				●●				
	□子どもの保健		2			○		●●						
	□子どもの健康と安全	演	1			○			●●					
	□子どもの食と栄養	演	2			○				●●				
	□子ども家庭支援の心理学		2			○			●●					
	□子ども家庭支援論		2			○			●●					
	□子育て支援	演	1			○				●●				
	□保育課程論		2			○			●●					
	□乳児保育 I		2			○			●●					
	□乳児保育 II	演	1			○				●●				
	□障害児保育	演	2			○		●●						
	□保育実習 I (保育所)	実	2			○					○			
	□保育実習 I (施設)	実	2			○					○			
	□保育実習 II (保育所)	実	2			△					○			
	□保育実習 III (施設)	実	2			△					○			
	□保育実習指導 I	演	2			○				○○				
	□保育実習指導 II (保育所)	演	1			△					○			
	□保育実習指導 III (施設)	演	1			△					○			
	□初等教科研究・書道	演	1			○		●●						
	□初等教科研究・社会		1			○				○			○	
	□初等教科研究・理科		1			○			○				○	
	□初等教科研究・家庭		1			○			●●				○	
	□初等教科研究・専門体育 I	演	1			○			●●					
	□初等教科研究・専門体育 II	演	1			○			●●					
	□小学校外国語		1			○				○				
	□道徳教育の指導法		2			○			●●					
	□総合的な学習の時間の指導法		2			○				●●				
	□特別活動の指導法		1			○				●●			○	
	□国語科教育法 I	演	1			○				○				
	□国語科教育法 II	演	1			○				○				
	□社会科教育法	演	2			○				○				
	□算数科教育法 I	演	1			○				○				
	□算数科教育法 II	演	1			○				○				
	□理科教育法	演	2			○				○				
	□生活科教育法	演	2			○					○			
	□音楽科教育法	演	2			○			●●					
	□図画工作科教育法	演	2			○				●●				
	□家庭科教育法	演	2			○				●●				
	□体育科教育法	演	2			○				●●				
	□小学校外国語の指導法	演	2			○				○				
	□生徒指導(進路指導含む)		2			○			●●					
	□初等教育実習 I	実	1			○				○○			○○	事前・事後オリエンテーション等 2年附属小、4年小学校教育実習
	□初等教育実習 II	実	4			○			●●				○	
	□介護体験実習	実	1			○				○○				
計				77	56	70	71							

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期 いずれかに配当される。
諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免は、幼一免欄の※の科目のうち2科目必修。
- ◆2 保育実習 II (保育所)・保育実習指導 II (保育所) または保育実習 III (施設)・保育実習指導 III (施設)
いずれかの組合せを選択すること。
- ◆3 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い講義に出席すること。

幼稚園教員養成コース

教育課題に対する応対

保育の基礎を学ぼう

標容
目內

実習を通して学ぶ

幼児教育を探究する

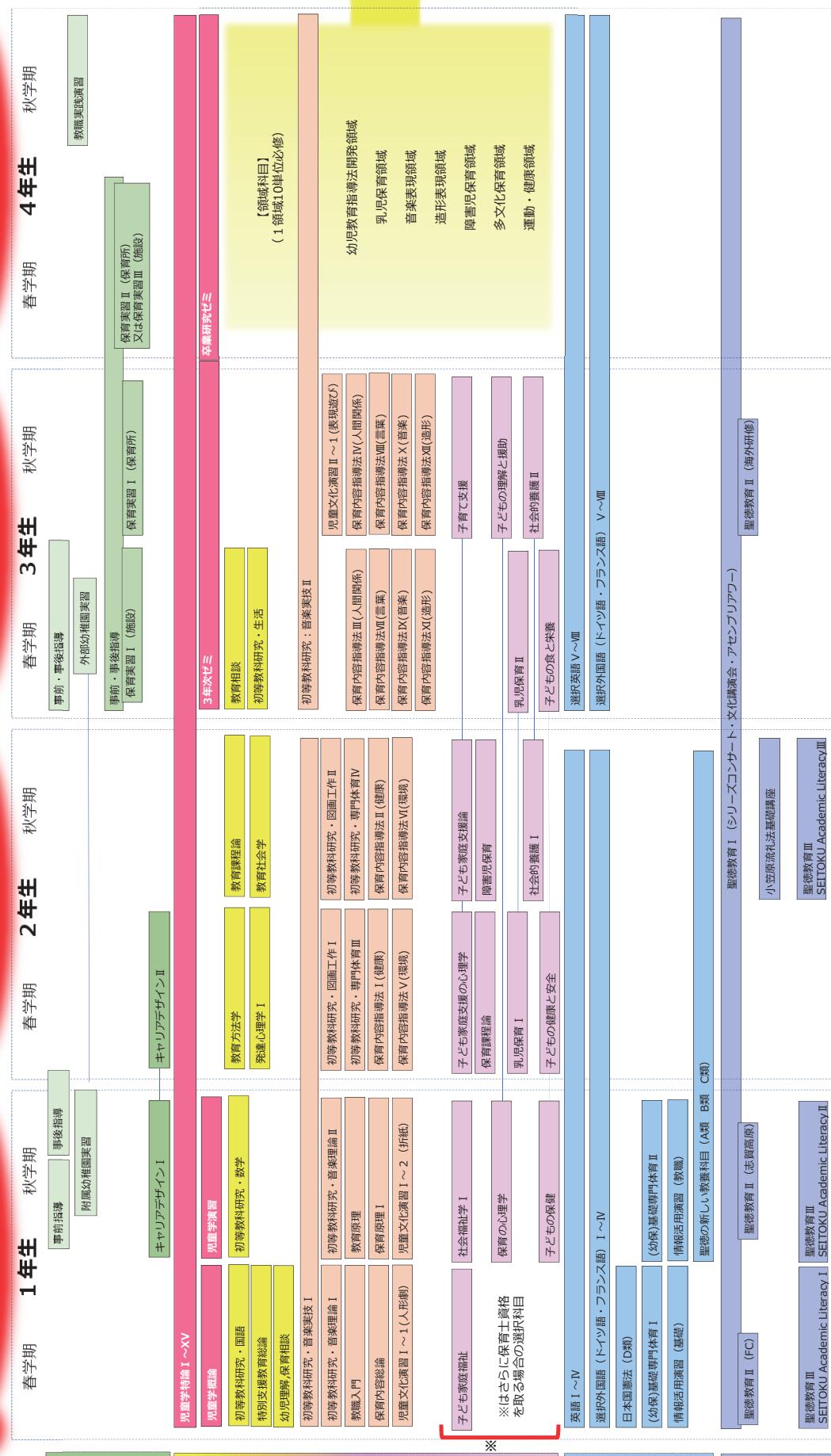
豊かな教養を高める

人間性を高める

8

カリキュラムマップ

「保育の聖徳®」にふさわしい実践力を身につけ、社会に貢献できる保育者になろう



令和3年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 幼稚園教員養成コース

教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協動的な問題解決力で社会に貢献する

保育の基礎を学ぼう
保育理論と実践の基礎を学ぶ

保育の理論と実践力を身につけよう
理論と実践力を磨く

保育の実践力を伸ばそう
専門分野を強みに変える

保育の専門性を深めよう
専門分野を強く

目標 内容	1年生			2年生			3年生			4年生			卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果			
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
実習を通して学ぶ	幼稚園実習を通して、子どもたちを取り巻く諸課題を理解し、学びの基礎を形成することができます。	幼稚園実習を通して、幼稚園の実態や具体的な指導法を考えることができます。	幼稚園実習を通して、子どもの特性、多様な保育の方法、幼稚園教員としての職務を理解することができます。	幼稚園実習を通して、専門性を身につけての専門性を身につけることができる。	幼稚園実習を通して、子どもの特徴、多様な職務と職業倫理について理解することができます。	幼稚園実習を通して、多様な職務と職業倫理について理解することができます。	幼稚園実習を通して、豊かな心や成長に關する知識や技能を体系的に理解することができる。	幼稚園実習を通して、豊かな心や成長に關する知識や技能を体系的に理解することができる。	各専門領域の学びを生かし、多様な教育課題について学び続けることができます。	各専門領域の学びを生かし、多様な教育課題について学び続けることができます。	各専門領域の学びを生かし、多様な実践教育の理論や実践の方法を理解することができます。	各専門領域の学びを生かし、多様な実践教育の理論や実践の方法を理解することができます。	各専門領域の学びを生かし、多様な実践教育の理論や実践の方法を理解することができます。	各専門領域の学びを生かし、多様な実践教育の理論や実践の方法を理解することができます。	各専門領域の学びを生かし、多様な実践教育の理論や実践の方法を理解することができます。	各専門領域の学びを生かし、多様な実践教育の理論や実践の方法を理解することができます。
実習評価・実習録	試験・レポート・SDチャート	試験・レポート	実習評価・実習録	実習評価・実習録	実習評価・実習録	実習評価・実習録	試験・レポート	試験・レポート	試験・レポート・GPA	試験・レポート	試験・レポート	試験・レポート	試験・レポート	試験・レポート	試験・レポート	試験・レポート
実習を通じて学ぶ	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める
幼稚園教育を探求する	礼法やグループワークを通じて、対人関係を適切に形成することができます。	礼法やグループワークを通じて、対人関係を適切に形成することができます。	礼法やグループワークを通じて、対人関係を適切に形成することができます。	礼法やグループワークを通じて、対人関係を適切に形成することができます。	礼法やグループワークを通じて、対人関係を適切に形成することができます。	礼法やグループワークを通じて、対人関係を適切に形成することができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。
子どもに対する深い愛情をもち、幼稚園教員になろうとする意欲をもちこができる	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。	海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができます。
子どもに対する深い愛情をもち、幼稚園教員になろうとする意欲をもちこができる	レポート・聖徳祭学学科コーナー展示物	レポート・聖徳祭学学科コーナー展示物	レポート・聖徳祭学学科コーナー展示物	レポート・聖徳祭学学科コーナー展示物	レポート・聖徳祭学学科コーナー展示物	レポート・聖徳祭学学科コーナー展示物	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察	レポート・参加観察

児童学科 免許・資格取得履修モデル
児童学科幼稚園教員養成コース (幼稚園教諭+保育士資格 履修モデル)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 英語 II ドイツ語 I ドイツ語 II 基礎専門体育 II 情報活用演習（教職）	教養科目 教養科目 英語 III ドイツ語 III ドイツ語 IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV
科目数	5	8	5	4
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 保育内容総論 児童文化演習 I～1 幼児理解、保育相談 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 教職入門 保育原理 I 児童文化演習 I～2 教育原理	初等教科研究・图画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 III 保育内容指導法 I 保育内容指導法 V 発達心理学 I 教育方法学	初等教科研究・图画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 IV 保育内容指導法 II 保育内容指導法 VI 教育社会学 教育課程論
科目数	7	6	7	7
保育士科目	子ども家庭福祉 社会福祉学 I 保育の心理学	子どもの保健	子ども家庭支援の心理学 社会的養護 I 保育課程論 子どもの健康と安全	子どもの家庭支援論 乳児保育 I 障害児保育
科目数	3	1	4	3
実習		附属幼稚園実習		
科目数計	16	17	17	14

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技 II 初等教科研究・生活 保育内容指導法 III 保育内容指導法 VII 保育内容指導法 IX 保育内容指導法 X I 教育相談	初等教科研究・音楽実技 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VIII 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 児童文化演習 II～1	初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目 領域科目	初等教科研究・音楽実技 II 教職実践演習（幼・小） 領域科目 領域科目
科目数	7	6	4	4
保育士科目	子どもの食と栄養 乳児保育 II	社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援		
科目数	2	3		
実習	外部幼稚園実習 施設実習	保育所実習	保育所実習	
科目数計	10	10	5	5

※ 4年次に履修する領域科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

児童学部 児童学科 保育士養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 保育士養成コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	B類計
91	3	94

- ③ 保育士養成コースの専門教育科目については、別表II-10の卒業必修欄に○印の付いている科目78単位、△印のついている科目から、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）または保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）の組み合わせで3単位、専門領域科目の中からいずれか1領域10単位の合計91単位と、別表II-10の選択科目及び別表II-9、11~17に記載されている科目から3単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、小一免欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、幼一免欄に○印のついている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。
- ⑥ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表II-16のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表II-17のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑧ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表VIII-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑩ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑪ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	保育士	幼一免	小一免	履修年次								備考		
								1				2		3		4		
								春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
学 科 共 通 科 目	□児童学概論		2	○				○										通年
	□児童学演習	演	2	○					○									
	□3年次ゼミ	演	2	○								○	○					通年
	□卒業研究ゼミ		3	○										○	○			
	□キャリアデザイン I	演	1	○					○									
	□キャリアデザイン II	演	1	○					○									
	□児童学特論 I		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 II		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 III		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 IV		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 V		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 VI		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 VII		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 VIII		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 IX		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 X		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 X I		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 X II		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 X III		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 X IV		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 X V		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コ ス 必 修 科 目	□子ども家庭福祉		2	○	○			●	●									保育所実習 施設実習 保育所実習(選択) 施設実習(選択) 必修事前・事後指導 選択事前・事後指導 選択事前・事後指導 ピアノ(2年通年) ピアノ(2年通年) わらべ歌を含む わらべ歌を含む 健康 健康 人間関係 人間関係 環境 環境 言葉 言葉 音楽 音楽 造形 造形 人形劇 折紙 表現あそび
	□社会福祉学 I		2	○	○			●	●									
	□社会的養護 I		2	○	○				●	●								
	□社会的養護 II	演	1	○	○					●	●							
	□保育の心理学		2	○	○			●	●									
	□子どもの理解と援助	演	1	○	○					●	●							
	□子どもの保健		2	○	○			●	●									
	□子どもの健康と安全	演	1	○	○				●	●								
	□子どもの食と栄養	演	2	○	○					●	●							
	□子ども家庭支援の心理学		2	○	○				●	●								
	□子ども家庭支援論		2	○	○				●	●								
	□子育て支援	演	1	○	○					●	●							
	□保育課程論		2	○	○				●	●								
	□乳児保育 I		2	○	○				●	●								
	□乳児保育 II	演	1	○	○					●	●							
	□障害児保育	演	2	○	○				●	●								
	□保育実習 I (保育所)	実	2	○	○							○						
	□保育実習 I (施設)	実	2	○	○							○						
	□保育実習 II (保育所)	実	2	△	△								○					
	□保育実習 III (施設)	実	2	△	△								○					
	□保育実習指導 I	演	2	○	○							○	○					
	□保育実習指導 II (保育所)	演	1	△	△							○	○					
	□保育実習指導 III (施設)	演	1	△	△							○	○					
	□初等教科研究・音楽実技 I	演	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ピアノ(2年通年) ピアノ(2年通年) わらべ歌を含む わらべ歌を含む	
	□初等教科研究・音楽実技 II	演	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・音楽理論 I	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・音楽理論 II	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・図画工作 I	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・図画工作 II	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・専門体育 III	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・専門体育 IV	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□教職入門		2	○	○	○	○	○	●	●								
	□教育原理		2	○	○	○	○	○	●	●								
	□保育原理 I		2	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容総論	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 I	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 II	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 III	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 IV	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 V	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 VI	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 VII	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 VIII	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 IX	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 X	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 X I	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□保育内容指導法 X II	演	1	○	○	○	○	○	○	○								
	□児童文化演習 I～1	演	1	○	○	○	○	○	●	●								
	□児童文化演習 I～2	演	1	○	○	○	○	○	●	●								
	□児童文化演習 II～1	演	1	○	○	○	○	○	○	●	●							
	□教職実践演習(幼・小)	演	2	○	○	○	○	○	○	○	○							

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	保育士	幼一免	小一免	履修年次				備考	
								1		2			
								春秋	春秋	春秋	春秋		
専 門 領 域 科 目 群	【医療保育領域】			1 領域 10 単位 必修									
	□ 医療保育概論	2									● ●		
	□ 保育士に必要な医学的知識	2									● ●		
	□ 病棟保育の実践	2									● ●		
	□ 病児保育の実践	2									● ●		
	□ 医療保育とセーフティマネジメント	2									● ●		
	【乳児保育領域】												
	□ 赤ちゃん学概論	2									● ●		
	□ 現代保育課題研究	2									● ●		
	□ 乳児保育の実践演習	2									● ●		
	□ 乳児期とメディア	2									● ●		
	□ 子育て支援と現代育児論	2									● ●		
	【音楽表現領域】												
	□ 音遊び・手遊び	2									● ●		
	□ オペレッタ・ミュージカル	2									● ●		
	□ 歌唱指導・わらべうた	2									● ●		
	□ ボディパーカッション・楽器遊び	2									● ●		
	□ リトミック	2									● ●		
	【造形表現領域】												
	□ 立体表現	2									● ●		
	□ 平面表現	2									● ●		
	□ 造形表現デザイン	2									● ●		
	□ 幼児と文化財	2									● ●		
	□ 造形指導法	2									● ●		
	【インクルーシブ保育領域】												
	□ 障害児・者の権利論	2									● ●		
	□ 障害文化論	2									● ●		
	□ ライフステージ支援研究	2									● ●		
	□ 医療・保育連携論	2									● ●		
	□ インクルーシブ保育研究	2									● ●		
	【多文化保育領域】												
	□ 保育における多文化理解	2									● ●		
	□ 世界の子どもの生活と文化	2									● ●		
	□ 異文化間コミュニケーション論	2									● ●		
	□ 保育における外国語活動	2									● ●		
	□ 世界の就学前教育	2									● ●		
	【運動・健康領域】												
	□ 子どもの発育・発達と運動論	2									● ●		
	□ 運動遊び研究	2									● ●	運動遊び・伝承遊び・リズム遊び	
	□ 遊具での運動遊びと安全	2									● ●		
	□ 子どもの自然活動基礎論	2									● ●		
	□ 運動行事研究	2									● ●		

児童学科 保育士養成コース専門教育科目 (B類)

別表 II-10

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	保育士	幼一免	小一免	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
コ ー ス 選 択 科 目	□ 初等教科研究・国語		2			※	○	●	●								幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目のうち2科目を選択履修すること。 事前・事後オリエンテーション等 附属幼実習 外部幼実習 ○ ○ ○
	□ 初等教科研究・数学		2			※	○	●	●								
	□ 初等教科研究・生活		2			※	○					●	●				
	□ 発達心理学 I		2			○	○			●	●						
	□ 特別支援教育総論		2			○	○					○					
	□ 教育社会学		1			○	○			●	●						
	□ 教育方法学		2			○	○			●	●						
	□ 教育課程論		2			○	○			●	●						
	□ 幼児理解、保育相談		2			○		○									
	□ 教育相談		2			○	○					●	●				
	□ 幼児教育実習 I	実	1			○			○					○			
	□ 幼児教育実習 II	実	2			○			○								
	□ 幼児教育実習 III	実	2			○							○				
	□ 初等教科研究・書道	演	1				○	●	●								
	□ 初等教科研究・社会		1				○			○						○	
	□ 初等教科研究・理科		1				○			○						○	
	□ 初等教科研究・家庭		1				○			●	●					○	
	□ 初等教科研究・専門体育 I	演	1				○			●	●						
	□ 初等教科研究・専門体育 II	演	1				○			●	●						
	□ 小学校外国語		1				○					○					
	□ 道徳教育の指導法		2				○			●	●						
	□ 総合的な学習の時間の指導法		2				○					●	●				
	□ 特別活動の指導法		1				○					●	●			○	
	□ 国語科教育法 I	演	1				○			○							
	□ 国語科教育法 II	演	1				○				○						
	□ 社会科教育法	演	2				○				○						
	□ 算数科教育法 I	演	1				○			○							
	□ 算数科教育法 II	演	1				○				○						
	□ 理科教育法	演	2				○			○		○					
	□ 生活科教育法	演	2				○						○				
	□ 音楽科教育法	演	2				○			●	●						
	□ 図画工作科教育法	演	2				○					●	●				
	□ 家庭科教育法	演	2				○					●	●				
	□ 体育科教育法	演	2				○					●	●				
	□ 小学校外国語の指導法	演	2				○				○			○			
	□ 生徒指導(進路指導含む)		2				○			●	●						
	□ 初等教育実習 I	実	1				○			○	○			○	○	○	事前・事後オリエンテーション等 2年附属小、4年小学校教育実習
	□ 初等教育実習 II	実	4				○			●	●				○	○	
	□ 介護体験実習	実	1				○			○	○						
計						91	70	56	71								

【授業の方法】 演:演習、実:実習・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期 いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免は、幼一免欄の※の科目のうち2科目必修。
- ◆2 保育実習 II(保育所)・保育実習指導 II(保育所)または保育実習 III(施設)・保育実習指導 III(施設)
いずれかの組合せを選択すること。
- ◆3 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い講義に出席すること。

カリキュラムマップ

令和3年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 保育士養成コース

子どもとその家族、地域社会の保育ニーズに対応できる実践力を身につけた保育士を養成します

保育・養護の基礎を学ぼう

目標内容

保育・養護の実践力を身につけよう
保育・養護の理論と実践を学ぶ

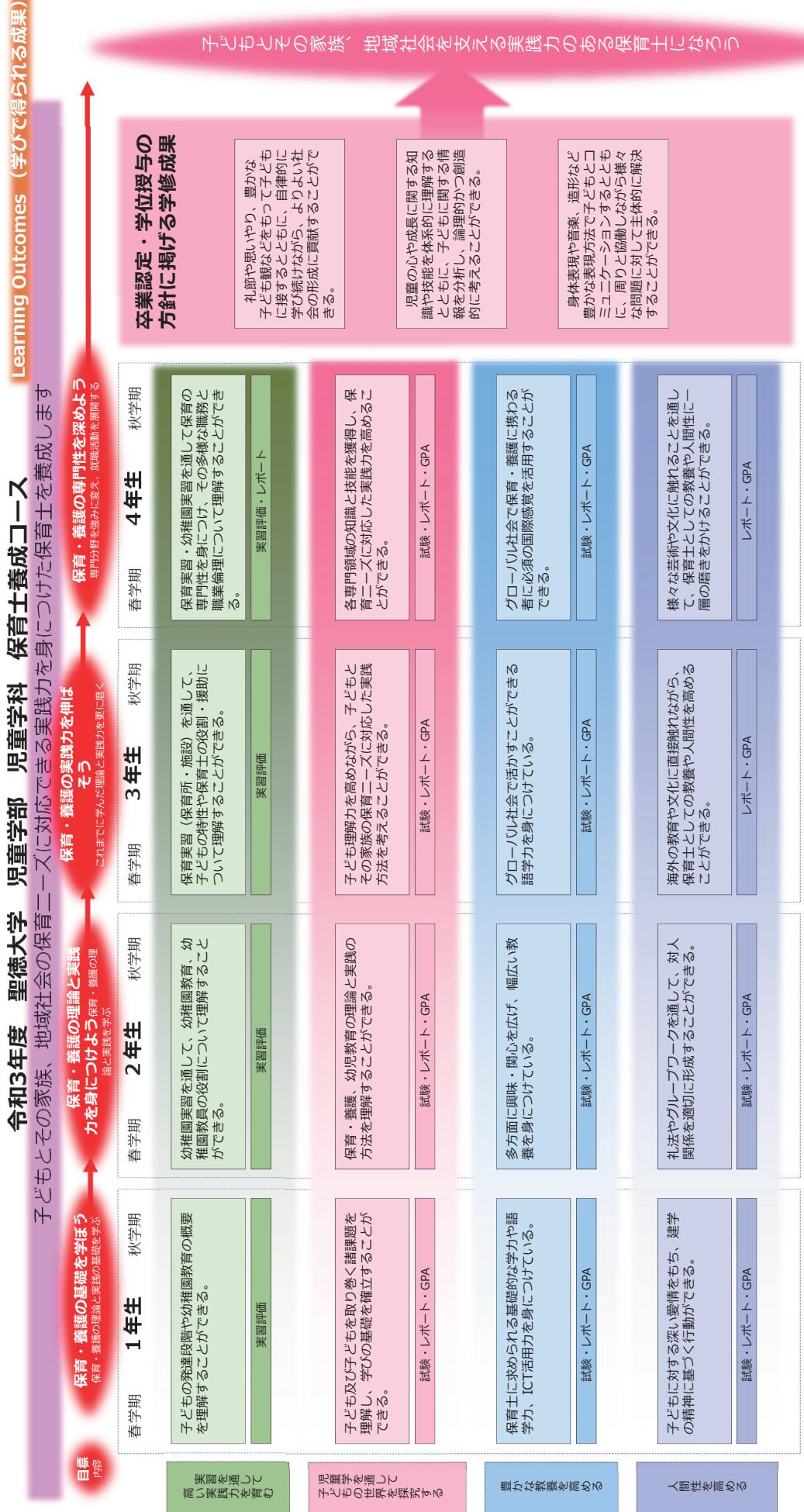
専門分野を身につけよう
保育・養護の専門性を深めよう



児童学を通して高い実践力を育む

児童学を契機として子どもの世界を探求する

※



児童学科 免許・資格取得履修モデル
児童学科保育士養成コース（保育士資格+幼稚園教諭 履修モデル）

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語I 基礎専門体育I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 英語II ドイツ語I ドイツ語II 基礎専門体育II 情報活用演習（教職）	教養科目 教養科目 英語III ドイツ語III ドイツ語IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	5	8	5	4
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザインI	キャリアデザインII	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論I 初等教科研究・音楽実技I 社会福祉学I 保育の心理学 児童文化演習I～1 子ども家庭福祉 保育内容総論	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技I 教職入門 保育原理I 児童文化演習I～2 子どもの保健 教育原理	初等教科研究・図画工作I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育III 保育内容指導法I 保育内容指導法V 子ども家庭支援の心理学 保育課程論 子どもの健康と安全 社会的養護I	初等教科研究・図画工作II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育IV 保育内容指導法II 保育内容指導法VI 子どもの家庭支援論 乳児保育I 障害児保育
科目数	7	7	9	8
幼稚園科目	幼児理解、保育相談	初等教科研究・国語	教育課程論 教育社会学	発達心理学I 教育方法学
科目数	1	1	2	2
実習			附属幼稚園実習	
科目数計	14	18	17	14

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法III 保育内容指導法VII 保育内容指導法IX 保育内容指導法X I 子どもの食と栄養 乳児保育II 社会的養護II	初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法VIII 保育内容指導法X 保育内容指導法X II 児童文化演習II～1 子どもの理解と援助 子育て支援	初等教科研究・音楽実技II 領域科目 領域科目 領域科目	初等教科研究・音楽実技II 教職実践演習（幼・小） 領域科目 領域科目
科目数	8	8	4	4
幼稚園科目	教育相談 特別支援教育総論	初等教科研究・生活		
科目数	2	1		
実習	施設実習	保育所実習	保育所実習 外部幼稚園実習	
科目数計	11	10	5	5

※ 4年次に履修する領域科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

児童学部 児童学科 小学校教員養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 小学校教員養成コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
91	3	94

- ③ 小学校教員養成コースの専門教育科目については、別表II-11の卒業必修欄に○印の付いている科目81単位と10専修の中からいずれか1専修10単位との合計91単位と、別表II-11の選択科目及び別表II-9~10、12~17に記載されている科目から3単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-11の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、幼一免欄に○印のついている科目と、※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表II-11の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）又は保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）の組み合わせで2科目履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑥ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-11の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、別表II-16のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表II-11の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、別表II-17のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑧ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表VIII-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑩ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑪ 又、単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。
- ⑫ 小学校教員養成コースにおいては「介護体験実習（1単位）」を修得してください。（教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です）

児童学科 小学校教員養成コース授業科目配当表（B類）

別表 II-11

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	保育士	履修年次				備考		
								1		2		3		
								春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
学科共通科目	□児童学概論		2	○				○					通年	
	□児童学演習	演	2	○				○						
学科共通科目	□3年次ゼミ	演	2	○						○	○		通年	
	□卒業研究ゼミ		3	○							○	○		
	□キャリアデザイン I	演	1	○				○						
	□キャリアデザイン II	演	1	○				○						
	□児童学特論 I		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 II		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 III		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 IV		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 V		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 VI		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 VII		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 VIII		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 IX		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 X		2					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 XI		1					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 XII		1					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 XIII		1					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 XIV		1					●●	●●	●●	●●	●●		
	□児童学特論 XV		1					●●	●●	●●	●●	●●		
コ ー ス 必 修 科 目	□初等教科研究・国語		2	○	○	※		●●	●●				幼一免を取得しようと する者は、幼一免欄の ○ ※の科目のうち2科目 を選択履修すること。 ○	
	□初等教科研究・書道	演	1	○	○			●●	●●					
	□初等教科研究・社会		1	○	○				○				ピアノ(2年通年) ピアノ(2年通年)	
	□初等教科研究・数学		2	○	○	※		●●	●●					
	□初等教科研究・理科		1	○	○				○				わらべ歌を含む わらべ歌を含む	
	□初等教科研究・生活		2	○	○	※				●●	●●			
	□初等教科研究・音楽実技 I	演	2	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	□初等教科研究・音楽実技 II	演	2	○	○	○	○			○	○	○		
	□初等教科研究・音楽理論 I	演	1	○	○	○	○	○					○	
	□初等教科研究・音楽理論 II	演	1	○	○	○	○	○						
	□初等教科研究・図画工作 I	演	1	○	○	○	○		○				○	
	□初等教科研究・図画工作 II	演	1	○	○	○	○			○				
	□初等教科研究・家庭		1	○	○				●●	●●			○	
	□初等教科研究・専門体育 I	演	1	○	○				●●	●●				
	□初等教科研究・専門体育 II	演	1	○	○				●●	●●			○	
	□小学校外国語		1	○	○					○				
	□教職入門		2	○	○	○	○	●●	●●				○	
	□教育原理		2	○	○	○	○	●●	●●					
	□発達心理学 I		2	○	○	○			●●	●●			○	
	□特別支援教育総論		2	○	○	○		○						
	□教育社会学		1	○	○	○			●●	●●			○	
	□教育方法学		2	○	○	○			●●	●●				
	□教育課程論		2	○	○	○			●●	●●			○	
	□道徳教育の指導法		2	○	○				●●	●●				
	□総合的な学習の時間の指導法		2	○	○				●●	●●			○	
	□特別活動の指導法		1	○	○				●●	●●				
	□国語科教育法 I	演	1	○	○				○				○	
	□国語科教育法 II	演	1	○	○				○					
	□社会科教育法	演	2	○	○				○				○	
	□算数科教育法 I	演	1	○	○				○					
	□算数科教育法 II	演	1	○	○				○				○	
	□理科教育法	演	2	○	○				○					
	□生活科教育法	演	2	○	○						○		○	
	□音楽科教育法	演	2	○	○				●●	●●				
	□図画工作科教育法	演	2	○	○					●●	●●		○	
	□家庭科教育法	演	2	○	○					●●	●●			
	□体育科教育法	演	2	○	○					●●	●●		○	
	□小学校外国語の指導法	演	2	○	○					○				
	□生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○				●●	●●			○	
	□教育相談		2	○	○	○				●●	●●			
	□初等教育実習 I	実	1	○	○			○	○		○	○	○	
	□初等教育実習 II	実	4	○	○			○			○			
	□教職実践演習(幼・小)	演	2	○	○	○	○					○	○	
	□介護体験実習	実	1		○				○	○				

別表 II-11

児童学科 小学校教員養成コース授業科目配当表 (B類)

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	保育士	履修年次				備考	
								1		2			
								春秋	春秋	春秋	春秋		
コ ス 必 修 科 目	【学校教育実践専修】									●	●		
	□現代教育課題解決論		2							●	●		
	□カリキュラムマネジメント論		2							●	●		
	□生徒指導・教育相談演習	演	2							●	●		
	□学級経営論		2							●	●		
	□カリキュラムデザイン演習	演	2							●	●		
	【英語教育専修】									●	●		
	□英語教育教材づくり論		2							●	●		
	□英語教育評価論		2							●	●		
	□異文化・国際理解教育		2							●	●		
1 専 修 10 単 位 必 修	□ストーリーテリング		2							●	●		
	□英語科実践場面演習		2							●	●		
	【国語専修】									●	●		
	□現代文学概論		2							●	●		
	□古典文学概論		2							●	●		
	□日本語学概論		2							●	●		
	□日本語表現概論		2							○			
	□国語科実践場面演習		2							○			
	【社会専修】									●	●		
	□地理学		2							●	●		
1 専 修 10 単 位 必 修	□歴史学		2							●	●		
	□政治学		2							●	●		
	□社会学		2							●	●		
	□社会科実践場面演習		2							●	●		
	【算数・数学専修】									●	●		
	□初等代数学		2							●	●		
	□初等幾何学		2							●	●		
	□初等解析学		2							○			
	□基礎確率・統計		2							○			
	□算数科実践場面演習		2							○			
1 専 修 10 単 位 必 修	【理科専修】									●	●		
	□エネルギー		2							●	●		
	□粒子		2							●	●		
	□生命		2							●	●		
	□地球		2							●	●		
	□理科実践場面演習		2							●	●		
	【音楽専修】									●	●		
	□ソルフェージュ	演	2							●	●		
	□歌唱法基礎演習	演	2							●	●		
	□合奏	演	2							●	●		
1 専 修 10 単 位 必 修	□音楽科教育内容研究		2							●	●		
	□音楽科実践場面演習		2							●	●		
	【家庭専修】									●	●		
	□ライフデザイン		2							●	●		
	□食生活学		2							●	●		
	□人間環境学		2							●	●		
	□消費生活と環境		2							●	●		
	□家庭科実践場面演習		2							●	●		
	【図画工作・美術専修】									●	●		
	□美術理論・美術史		2							●	●		
1 専 修 10 単 位 必 修	□絵画デザイン表現	演	2							●	●		
	□立体表現	演	2							●	●		
	□工芸	演	2							●	●		
	□図画工作科・美術科実践場面演習		2							●	●		
	【体育専修】									●	●		
	□スポーツ基礎理論		2							●	●		
	□学校保健		2							●	●		
	□運動生理学		2							●	●		
	□体育原理		2							●	●		
	□体育科実践場面演習		2							●	●		

児童学科 小学校教員養成コース授業科目配当表（B類）

別表 II-11

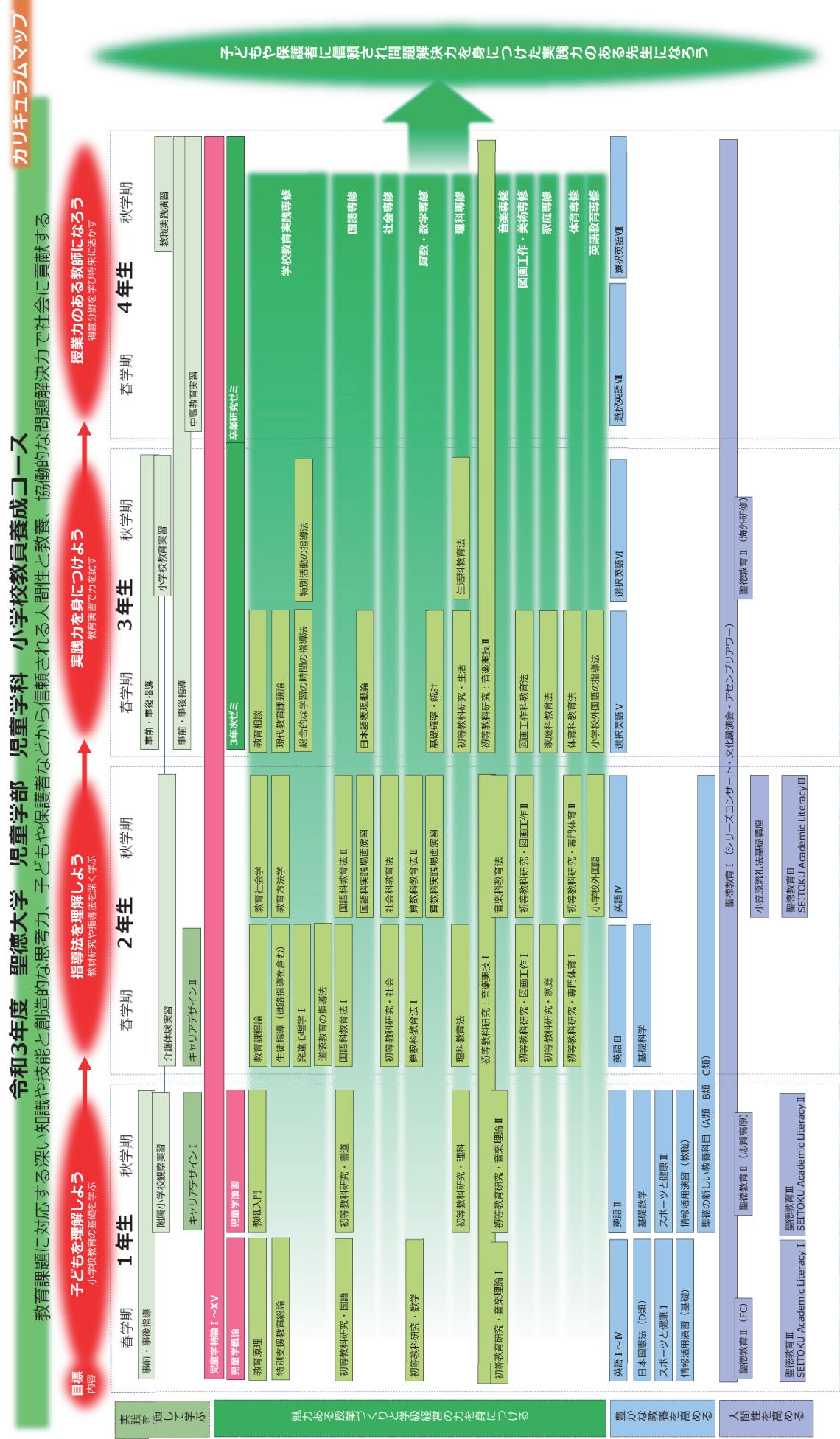
チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	保育士	履修年次				備考
								1	2	3	4	
								春秋	春秋	春秋	春秋	
コ ー ス 選 択 科 目	□初等教科研究・専門体育III	演	1			○	○		○			
	□初等教科研究・専門体育IV	演	1			○	○			○		
	□保育原理I		2			○	○	○				
	□保育内容総論	演	1			○	○	○				健康
	□保育内容指導法I	演	1			○	○		○			健康
	□保育内容指導法II	演	1			○	○			○		人間関係
	□保育内容指導法III	演	1			○	○			○		人間関係
	□保育内容指導法IV	演	1			○	○			○		環境
	□保育内容指導法V	演	1			○	○		○			環境
	□保育内容指導法VI	演	1			○	○		○			言葉
	□保育内容指導法VII	演	1			○	○			○		言葉
	□保育内容指導法VIII	演	1			○	○			○		音楽
	□保育内容指導法IX	演	1			○	○			○		音楽
	□保育内容指導法X	演	1			○	○			○		造形
	□保育内容指導法X I	演	1			○	○			○		造形
	□保育内容指導法X II	演	1			○	○			○		
	□幼児理解、保育相談		2			○		○				
	□幼児教育実習I	実	1			○			○		○	事前・事後オリエンテーション等 附属幼実習
	□幼児教育実習II	実	2			○			○			外部幼実習
	□幼児教育実習III	実	2			○					○	人形劇 折紙
	□児童文化演習I～1	演	1			○	○	●	●			
	□児童文化演習I～2	演	1			○	○	●	●			
	□児童文化演習II～1	演	1			○	○			●	●	
	□子ども家庭福祉		2			○	●	●				
	□社会福祉学I		2			○	●	●				
	□社会的養護I		2			○		●	●			
	□社会的養護II	演	1			○			●	●		
	□保育の心理学		2			○	●	●				
	□子どもの理解と援助	演	1			○			●	●		
	□子どもの保健		2			○	●	●				
	□子どもの健康と安全	演	1			○		●	●			
	□子どもの食と栄養	演	2			○			●	●		
	□子ども家庭支援の心理学		2			○		●	●			
	□子ども家庭支援論		2			○		●	●			
	□子育て支援	演	1			○			●	●		
	□保育課程論		2			○		●	●			
	□乳児保育I		2			○		●	●			
	□乳児保育II	演	1			○			●	●		
	□障害児保育		2			○		●	●			
	□保育実習I(保育所)	実	2			○				○		保育所実習
	□保育実習I(施設)	実	2			○				○		施設実習
	□保育実習II(保育所)	実	2			△				○		保育所実習(選択)
	□保育実習III(施設)	実	2			△				○		施設実習(選択)
	□保育実習指導I	演	2			○				○	○	必修事前・事後指導
	□保育実習指導II(保育所)	演	1			△				○	○	選択事前・事後指導
	□保育実習指導III(施設)	演	1			△				○	○	選択事前・事後指導
計				91	71	56	70					

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。

備考欄○印の科目は、演習30コマで2単位とする。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目的うち2科目選択履修すること。
- ◆2 小一免と幼一免を両方取得する場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法I～X IIのうち半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって履修を免除することができる。ただし、保育士資格を取得する場合は、この限りでない。
- ◆3 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習II(保育所)・保育実習指導II(保育所)又は保育実習III(施設)・保育実習指導III(施設)いずれかの組合せを選択履修すること。
- ◆4 キャリアデザインI及びキャリアデザインIIは学科の指示に従い授業に出席すること。



令和3年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 小学校教員養成コース

教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する

目標
内容
子どもを理解しよう
小学校教育の基礎を学ぶ

指導法を理解しよう
教材研究や指導法を深く学ぶ

授業力を身につけよう
教育実習で力を試す

授業力のある教師になろう

卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果		方針に沿った授業		方針に沿った授業		方針に沿った授業		方針に沿った授業		方針に沿った授業	
春学期	1年生	秋学期	2年生	秋学期	3年生	秋学期	春学期	4年生	秋学期	春学期	卒業期
実践を通して学ぶ	実習評価	実習評価	実習評価	指導方法や指導技術を駆使して教科指導や学級経営の力を身につける。	指導実習を通して子どもや保護者等とのかかわり方を理解することができる。	教育相談等の意義を理解し、児童理解力を高めながら個性の伸長を図る指導方法等を工夫した授業づくりを身につける。	各教科等の指導内容についてより専門性を高めることができる。	英語力を高め指導力を身につける。	英語力を高め指導力を身につける。	豊かな教養を高める	人間性を高める
豊かな教養を高める	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA
人間性を高める											

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 日本国憲法 基礎数学 英語II スポーツと健康II 情報活用演習(教職)	基礎科学 英語III	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語IV
科目数	4	9	2	3
学科科目必修	児童学概論	児童学演習 キャリアデザインI	キャリアデザインII	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・書道 初等教科研究・理科 教職入門	初等教科研究・图画工作I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育I 初等教科研究・社会 初等教科研究・家庭 発達心理学I 教育課程論 道徳教育の指導法 国語科教育法I 算数科教育法I 理科教育法 生徒指導(進路指導を含む)	初等教科研究・图画工作II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育II 教育社会学 教育方法学 国語科教育法II 社会科教育法 算数科教育法II 音楽科教育法 国語科実践場面演習 算数科実践場面演習 小学校外国語
科目数	6	5	12	12
選択、特支科目			障害者教育論 知的障害者の心理 知的障害者の教育 視覚障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理	知的障害者の生理・病理 聴覚障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理 発達障害者の教育 発達障害者の心理・生理・病理
科目数			5	5
実習		附属小学校観察実習	介護体験実習(春・秋どちらか)	介護体験実習(春・秋どちらか)
科目数	11	16	20	20

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
学科科目必修	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・生活 图画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 教育相談 日本語表現概論 基礎確率・統計 現代教育課題論 総合的な学習の時間の指導法 小学校外国語の指導法	初等教科研究・音楽実技II 特別活動の指導法 生活科教育法	初等教科研究・音楽実技II 専修制科目 専修制科目 専修制科目	初等教科研究・音楽実技II 教職実践演習(幼・小) 専修制科目 専修制科目
科目数	11	3	4	4
選択、特支科目	肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理 肢体不自由者の教育	病弱者の生理・病理 病弱者の教育 重複障害者の教育 重複障害者の心理・生理・病理		
科目数	5	4		
実習		小学校教育実習		特別支援学校教育実習
科目数	18	9	6	6

※ 4年次に履修する専修制科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語I スポーツと健康I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 日本国憲法 基礎数学 英語II スポーツと健康II 情報活用演習（教職）	基礎科学 英語III	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語IV
科目数	4	9	2	3
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザインI	キャリアデザインII	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・書道 初等教科研究・理科 教職入門	初等教科研究・图画工作I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育I 初等教科研究・社会 初等教科研究・家庭 発達心理学I 教育課程論 道徳教育の指導法 国語科教育法I 算数科教育法I 理科教育法 生徒指導（進路指導を含む）	初等教科研究・图画工作II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育II 教育社会学 教育方法学 国語科教育法II 社会科教育法 算数科教育法II 音楽科教育法 国語科実践場面演習 算数科実践場面演習 小学校外国語
科目数	6	5	12	12
幼稚園科目	保育内容総論 児童文化演習I～1 幼児理解・保育相談	保育原理I 児童文化演習I～2	初等教科研究・専門体育III 保育内容指導法I 保育内容指導法V	初等教科研究・専門体育IV 保育内容指導法II 保育内容指導法VI
科目数	3	2	3	3
実習		附属小学校観察実習	介護体験実習（春・秋どちらか） 附属幼稚園実習	
科目数計	14	18	18	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
学科科目必修	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・生活 图画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 教育相談 日本語表現概論 基礎確率・統計 現代教育課題論 総合的な学習の時間の指導法 小学校外国語の指導法	初等教科研究・音楽実技II 特別活動の指導法 生活科教育法	初等教科研究・音楽実技II 専修制科目 専修制科目 専修制科目	初等教科研究・音楽実技II 教職実践演習（幼・小） 専修制科目 専修制科目
科目数	11	3	4	4
選択科目・幼稚園	保育内容指導法III 保育内容指導法VII 児童文化演習II～1 児童学特論I（小学校等教育実践研究）・児童学特論XII・児童学特論XIII	保育内容指導法IV 保育内容指導法VIII		
科目数	4	2		
実習		小学校教育実習		外部幼稚園実習
科目数計	17	7	6	6

※ 4年次に履修する専修制科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

児童学部 児童学科 特別支援教育コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 特別支援教育コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
コース選択	必修科目	選択科目	計
小学校教諭一種免許	93	1	94
幼稚園教諭一種免許	79	15	94

※小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状の取得に加え、原則として特別支援学校教諭一種免許状を取得することになります。（小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状のみを取得して卒業することも可能ですが）どちらを卒業要件とするかを、全員が選択します。

- ③ 特別支援教育コースの専門教育科目については下記のとおりに履修してください。
1. 小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合
卒業必修欄○の全科目＋小免欄○の全科目＋特別支援科目群の特支欄○の全科目を履修してください。
 2. 幼稚園教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合
卒業必修欄○の全科目＋幼免欄○の全科目及び※より2科目選択必修＋特別支援科目群の特支欄○の全科目を履修してください。
 3. 小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合
卒業必修欄○の全科目＋小免欄○の全科目＋幼免欄○の全科目＋特別支援科目群の特支欄○の全科目を履修してください。
- なお、特別支援科目群の科目と別表II-12の選択科目及び別表II-9～11、13～17に記載されている科目的単位は、専門教育科目（B類）の選択科目に計上することができます。
- ④ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表II-12の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）又は保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）の組み合わせで2科目履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表II-12の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、別表II-17のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表VIII-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑧ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑨ 又、単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児童学科 特別支援教育コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-12

チ ェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	特支一免	保育士	履修年次				備考
									1 春	2 秋	3 春秋	4 春秋	
学科共通科目	□児童学概論		2	○					○				
	□児童学演習	演	2	○					○				
	□3年次ゼミ	演	2	○							○	○	通年
	□卒業研究ゼミ		3	○							○	○	通年
	□キャリアデザイン I	演	1	○					○				
	□キャリアデザイン II	演	1	○					○				
	□児童学特論 I		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 II		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 III		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 IV		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 V		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 VI		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 VII		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 VIII		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 IX		2						●	●	●	●	
必修科目	□児童学特論 X		2						●	●	●	●	
	□児童学特論 X I		1						●	●	●	●	
	□児童学特論 X II		1						●	●	●	●	
	□児童学特論 X III		1						●	●	●	●	
	□児童学特論 X IV		1						●	●	●	●	
	□児童学特論 X V		1						●	●	●	●	
	□初等教科研究・音楽実技 I	演	2	○	○	○			○	○	○	○	ピアノ(2年通年)
	□初等教科研究・音楽実技 II	演	2	○	○	○			○	○	○	○	ピアノ(2年通年)
	□初等教科研究・音楽理論 I	演	1	○	○	○			○	○			わらべ歌を含む
	□初等教科研究・音楽理論 II	演	1	○	○	○			○				わらべ歌を含む
	□初等教科研究・図画工作 I	演	1	○	○	○			○				
	□初等教科研究・図画工作 II	演	1	○	○	○			○				
	□教職入門		2	○	○	○			●	●			
	□教育原理		2	○	○	○			●	●			
	□発達心理学 I		2	○	○	○							
	□特別支援教育総論		2	○	○	○			○				
	□教育社会学		1	○	○	○							
	□教育方法学		2	○	○	○							
	□教育課程論		2	○	○	○							
	□教育相談		2	○	○	○							
小学校教員免許科目群	□教職実践演習(幼・小)	演	2	○	○	○			○				
	□障害者教育論		2	○					○				
	□知的障害者の教育		2	○					○				
	□肢体不自由者の教育		2	○					○				
	□病弱者の教育		2	○					○				
	□発達障害者の教育		2	○					○				
	□インクルーシブ教育論		2	○						●	●		
	□初等教科研究・国語		2		○	※			●	●			小免群:全て履修すること。
	□初等教科研究・数学		2		○	※			●	●			幼免群:※の科目のうち2科目選択履修すること。
	□初等教科研究・生活		2		○	※				●	●		
小学校教員免許科目群	□初等教科研究・書道	演	1	①	○				●	●			○
	□初等教科研究・社会		1	①	○				○				○
	□初等教科研究・理科		1	①	○				○				○
	□初等教科研究・家庭		1	①	○					●	●		
	□初等教科研究・専門体育 I	演	1	①	○					●	●		
	□初等教科研究・専門体育 II	演	1	①	○					●	●		
	□小学校外国語	演	1	①	○					○			
	□道徳教育の指導法		2	①	○					●	●		
	□総合的な学習の時間の指導法		2	①	○						●	●	
	□特別活動の指導法		1	①	○						●	●	
	□国語科教育法 I	演	1	①	○					○			
	□国語科教育法 II	演	1	①	○					○			
	□社会科教育法	演	2	①	○					○			
	□算数科教育法 I	演	1	①	○					○			
	□算数科教育法 II	演	1	①	○					○			
	□理科教育法	演	2	①	○					○			
	□生活科教育法	演	2	①	○						○		
	□音楽科教育法	演	2	①	○					●	●		
	□図画工作科教育法	演	2	①	○						●	●	
	□家庭科教育法	演	2	①	○						●	●	
	□体育科教育法	演	2	①	○						●	●	
	□小学校外国語の指導法	演	2	①	○						○		
	□生徒指導(進路指導を含む)		2	①	○						●	●	
	□初等教育実習 I	実	1	①	○				○	○		○	事前・事後オリエンテーション等
	□初等教育実習 II	実	4	①	○				○			○	1年附属小、3年小学校教育実習
	□介護体験実習	実	1		○					●	●		
	□現代教育課題解決論		2							●	●		教育行政特論
	□日本語表現概論		2								○		
	□国語科実践場面演習		2							○			
	□基礎確率・統計		2								○		
	□算数科実践場面演習		2							○			

児童学科 特別支援教育コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-12

子 エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	特支一免	保育士	履修年次					備考	
									1		2		3		
									春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	
幼稚園教員免許科目群	□初等教科研究・専門体育III	演	1	(2)		○		○		○					
	□初等教科研究・専門体育IV	演	1	(2)		○		○		○					
	□保育原理 I		2	(2)		○		○		○					
	□保育内容総論	演	1	(2)		○		○							健康
	□保育内容指導法 I	演	1	(2)		○		○		○					健康
	□保育内容指導法 II	演	1	(2)		○		○							人間関係
	□保育内容指導法 III	演	1	(2)		○		○							人間関係
	□保育内容指導法 IV	演	1	(2)		○		○							環境
	□保育内容指導法 V	演	1	(2)		○		○		○					環境
	□保育内容指導法 VI	演	1	(2)		○		○							言葉
	□保育内容指導法 VII	演	1	(2)		○		○							言葉
	□保育内容指導法 VIII	演	1	(2)		○		○							音楽
	□保育内容指導法 IX	演	1	(2)		○		○							音楽
	□保育内容指導法 X	演	1	(2)		○		○							造形
	□保育内容指導法 XI	演	1	(2)		○		○							造形
	□保育内容指導法 XII	演	1	(2)		○		○							
	□幼児理解、保育相談		2	(2)		○			○						
	□幼児教育実習 I	実	1	(2)		○			○		○				事前・事後オリエンテーション等
	□幼児教育実習 II	実	2	(2)		○				○					附属幼実習
	□幼児教育実習 III	実	2	(2)		○					○				外部幼実習
	□児童文化演習 I ~1	演	1	(2)		○		○	●	●					人形劇
	□児童文化演習 I ~2	演	1	(2)		○		○	●	●					折紙
	□児童文化演習 II ~1	演	1	(2)		○		○			●	●			
特別支援教育科目群	□視覚障害者の教育		1					○	○						
	□視覚障害者の心理・生理・病理		1					○	○						
	□聴覚障害者の教育		1					○		○					
	□聴覚障害者の心理・生理・病理		1					○		○					
	□重複障害者の教育		1					○				○			
	□重複障害者の心理・生理・病理		1					○				○			
	□知的障害者の心理		2					○		○					
	□知的障害者の生理・病理		2					○				○			
	□肢体不自由者の心理		2					○				○			
	□肢体不自由者の生理・病理		2					○				○			
	□病弱者の心理		2					○				○			
	□病弱者の生理・病理		2					○				○			
	□特別支援教育研究入門		2							○					
	□特別支援学校教育実習	実	3						○			○	○	○	事前事後指導を含む
	□脳科学・遺伝学からみた特別支援教育		2									○			
	□特別支援教育教材・教具制作演習		1									○			
コース選択科目	□子ども家庭福祉		2					○	●	●					
	□社会福祉学 I		2					○	●	●					
	□社会的養護 I		2					○		●	●				
	□社会的養護 II	演	1					○			●	●			
	□保育の心理学		2					○	●	●					
	□子どもの理解と援助	演	1					○			●	●			
	□子どもの保健		2					○	●	●					
	□子どもの健康と安全	演	1					○		●	●				
	□子どもの食と栄養	演	2					○			●	●			
	□子ども家庭支援の心理学		2					○		●	●				
	□子ども家庭支援論		2					○		●	●				
	□子育て支援	演	1					○			●	●			
	□保育課程論		2					○		●	●				
	□乳児保育 I		2					○		●	●				
	□乳児保育 II	演	1					○			●	●			
	□障害児保育	演	2					○		●	●				
	□保育実習 I (保育所)	実	2					○				○			保育所実習
	□保育実習 I (施設)	実	2					○				○			施設実習
	□保育実習 II (保育所)	実	2					△				○			保育所実習(選択)
	□保育実習 II (施設)	実	2					△				○			施設実習(選択)
	□保育実習 III(施設)	実	2					○				○			必修事前・事後指導
	□保育実習指導 I	演	2					○			○	○			選択事前・事後指導
	□保育実習指導 II (保育所)	演	1					△				○			選択事前・事後指導
	□保育実習指導 III (施設)	演	1					△				○			選択事前・事後指導

【授業の方法】 演:演習、実:実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。

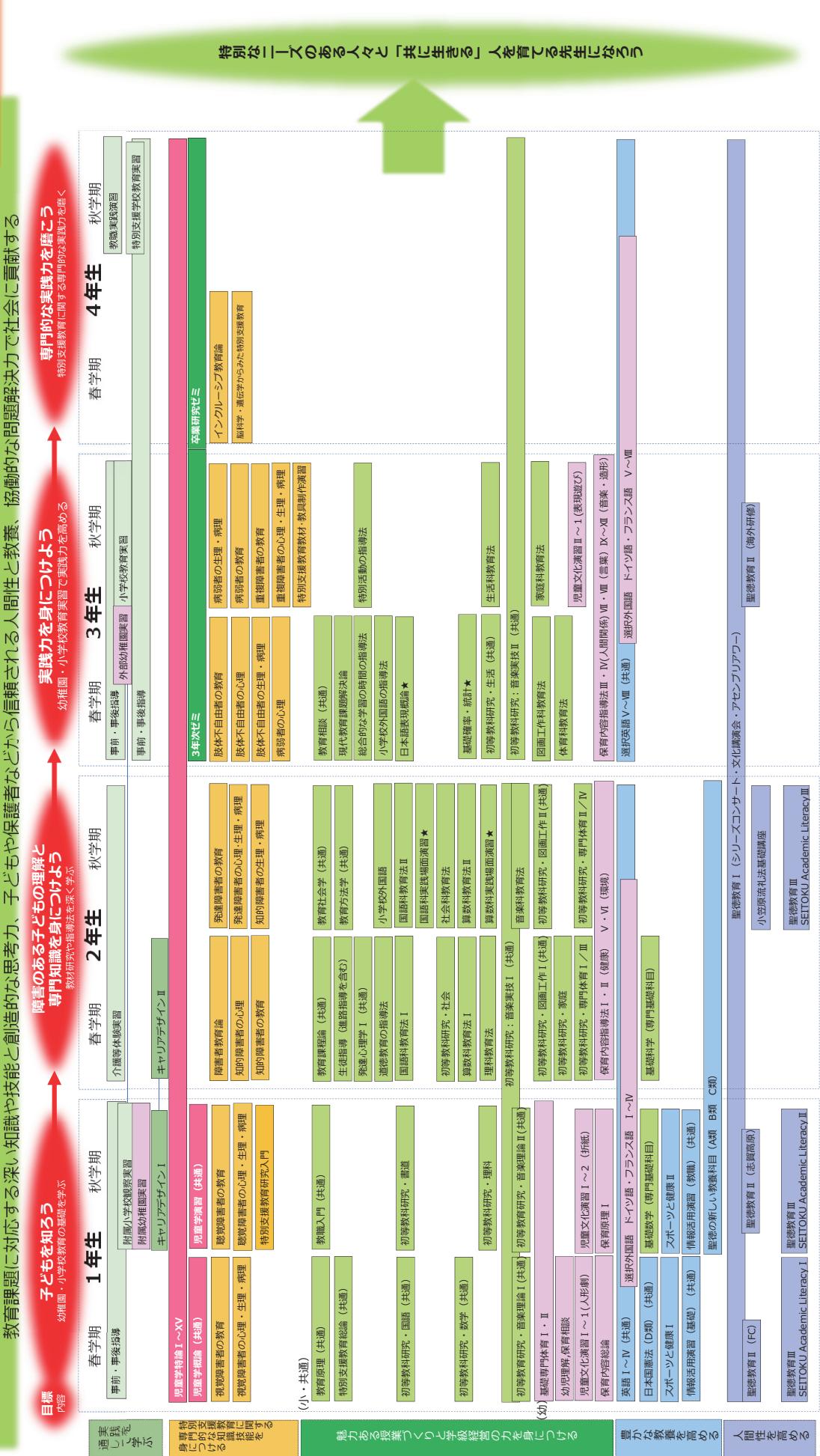
【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期

いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目のうち2科目選択履修すること。
- ◆2 小一免と幼一免を両方取得する場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法 I ~ X II のうち半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって履修を免除することができる。ただし、保育士資格を取得する場合は、この限りでない。
- ◆3 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習 II (保育所)・保育実習指導 II (保育所) 又は保育実習 III (施設)・保育実習指導 III (施設)いずれかの組合せを選択履修すること。
- ◆4 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。

カリキュラムマップ

令和3年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 特別支援教育コース



令和3年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 特別支援教育コース Learning Outcomes (学びで得られる成果)

教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する

子どもを知ろう
小学校教育の基礎を学ぶ
教科別で指導法を深く学ぶ

障害のある子どもとの理解と実践力を身につけよう

理論と実践を深めていく
教科別で指導法を深く学ぶ

目標 内容

春学期	1年生	秋学期	2年生	春学期	3年生	秋学期	4年生	春学期	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果
実践を通して学ぶ	子どもの発達段階や幼稚園・小学校教育の概要を理解することができる。	視覚障害及び聽覚障害についての専門知識、指導法の概要を理解している。	特別支援教育の理念や歩みを理解するとともに、障害についての専門知識、指導法の概要を理解している。	介護等体験実習を通して障害のある人や高齢者への理解を深めるとともにかかわり方を理解することができる。	指導方法や指導技術を駆使して教科指導や学級経営の力を身につけている。	障害についての専門知識を深め、指導計画や学習指導案の作成に生かすことができる。	インクルーシブ教育の考え方とその実際にについて理解し、組織的・計画的に推進する意義を理解している。	子どもの実態を的確に把握し、個々の発達や障害の状態等に基づいた授業を進める力を身につけている。	礼節や思いやり、豊かな子ども観などをもって子どもに接するところに、自律的に学び続けながらよりよい社会の形成に貢献することができる。
探る 学ぶ	小学校教育に付ける力と教科別に異なる各教科の目標・内容等について理解することができる。	学習目標の位置づけや基準性、各教科等について理解することができる。	教材研究・教材解説の意義を理解し、指導方法等を工夫した授業づくりをすることができる。	教材研究・教材解説の意義を理解し、児童理解力を高めながら個性の伸長を図る指導方法等を工夫した授業を工夫した授業ができる。	教材研究・教材解説の意義を理解し、児童理解力を高めながら個性の伸長を図る指導方法等を工夫した授業ができる。	教材研究・教材解説の意義を理解し、児童理解力を高めることができる。	教材研究・教材解説の意義を理解し、児童理解力を高めることができる。	教材研究・教材解説の意義を理解し、児童理解力を高めることができる。	児童の心や成長に関する知識や技能を体系的に理解するところに、子どもに開する情報報を分析し、論理的かつ創造的に考へることができる。
探る 学ぶ	探究する力と教科別に異なる各教科の目標・内容等について理解することができる。	子ども及び子どもを取り巻く諸課題を理解し、学びの基礎を形成することができる。	基礎的な学術力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけていている。	基礎的な学術力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけていている。	基礎的な学術力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけていている。	基礎的な学術力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけていている。	基礎的な学術力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけていている。	基礎的な学術力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけていている。	基礎的な学術力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけていている。
豊かな教養を高める	子どもに対する深い愛情をもち、建学の精神に基づく行動ができる。	子どもに対する深い愛情をもち、建学の精神に基づく行動ができる。	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める	豊かな教養を高める

特別なニーズのある人々と「共に生きる」人を育てる先生になろう

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 基礎数学 英語II スポーツと健康II 情報活用演習(教職)	教養科目 基礎科学 英語III	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	5	8	3	4
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザインI	キャリアデザインII	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・書道 初等教科研究・理科 教職入門 特別支援教育研究入門	初等教科研究・図画工作I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育I 初等教科研究・社会 初等教科研究・家庭 発達心理学I 教育課程論 道徳教育の指導法 国語科教育法I 算数科教育法I 理科教育法 生徒指導(進路指導を含む) 障害者教育論 知的障害者の教育	初等教科研究・図画工作II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育II 教育社会学 教育方法学 国語科教育法II 社会科教育法 算数科教育法II 音楽科教育法 小学校外国語 発達障害者の教育
科目数	6	6	14	11
選択特支科目	視覚障害者の教育 視覚障害者の心理・生理・病理	聴覚障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理	知的障害者の心理	知的障害者の生理・病理 発達障害者の心理・生理・病理 国語科実践場面演習 算数科実践場面演習
科目数	2	2	1	4
実習		附属小学校観察実習	介護等体験実習(春・秋どちらか)	介護等体験実習(春・秋どちらか)
科目数	14	18	19	19

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
学科科目必修	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・生活 図画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 教育相談 小学校外国語の指導法 総合的な学習の時間の指導法 肢体不自由者の教育	初等教科研究・音楽実技II 特別活動の指導法 生活科教育法 病弱者の教育	初等教科研究・音楽実技II インクルーシブ教育論	初等教科研究・音楽実技II 教職実践演習(幼・小)
科目数	9	4	2	2
選択、特支科目	肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理	病弱者の生理・病理 重複障害者の教育 重複障害者の心理・生理・病理 特別支援教材・教具制作演習	脳科学・遺伝学からみた特別支援教育	
科目数	4	4	1	
実習		小学校教育実習		特別支援学校教育実習
科目数	15	10	5	4

児童学科 免許・資格取得履修モデル
児童学科特別支援教育コース (幼稚園教諭+特別支援免許+保育士資格 履修モデル)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 聖徳教育II(FC, 志賀) 日本国憲法 英語I 基礎専門体育I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 英語II (選択外国語) ドイツ語I (選択外国語) ドイツ語II 基礎専門体育II 情報活用演習(教職)	教養科目 教養科目 英語III (選択外国語) ドイツ語III (選択外国語) ドイツ語IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	8	5	4
科必科目修科	児童学概論	児童学演習 キャリアデザインI	キャリアデザインII	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・国語 保育原理I 児童文化演習I～1 幼児理解、保育相談 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技I 教職入門 保育内容総論 児童文化演習I～2 教育原理 特別支援教育研究入門	初等教科研究・図画工作I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育III 保育内容指導法I 保育内容指導法V 発達心理学I 教育方法学 障害者教育論 知的障害者の教育	初等教科研究・図画工作II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育IV 保育内容指導法II 保育内容指導法VI 教育社会学 教育課程論 発達障害者の教育
科目数	7	7	9	8
選択特支科目	視覚障害者の教育 視覚障害者の心理・生理・病理	聴覚障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理	知的障害者の心理	知的障害者の生理・病理 発達障害者の心理・生理・病理
科目数	2	2	1	2
科目数	3	1	4	3
実習		附属幼稚園実習		
科目数計	17	18	19	15

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・生活 保育内容指導法III 保育内容指導法VII 保育内容指導法IX 保育内容指導法X I 教育相談 肢体不自由者の教育	初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法VIII 保育内容指導法X 保育内容指導法X II 児童文化演習II～1 病弱者の教育	初等教科研究・音楽実技II インクルーシブ教育論	初等教科研究・音楽実技II 教職実践演習(幼・小)
科目数	8	7	2	2
選択特支科目	肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理 児童学特論I(小学校等教育実践研究)・児童学特論III・児童学特論X III	病弱者の生理・病理 重複障害者の教育 重複障害者の心理・生理・病理 特別支援教育教材・教具制作演習	脳科学・遺伝学からみた特別支援教育	
科目数	4	4	1	
科目数	子どもの食と栄養 乳児保育II	社会的養護II 子どもの理解と援助 子育て支援		
科目数	2	3		
実習	外部幼稚園実習 (施設実習)	(保育所実習)	(保育所実習)	特別支援学校教育実習
科目数計	15	15	4	3

児童学部 児童学科 児童心理コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 児童心理コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
51	43	94

- ③ 児童心理コースの専門教育科目については、別表II-13の卒業必修欄に○印の付いている科目51単位と別表II-13の選択科目及び別表II-9~12、14~17に記載されている科目から43単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-13の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、小一免欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-13の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、幼一免欄に○印のついている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑥ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表II-13の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）又は保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）の組み合わせで2科目履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ 認定心理士の資格を取得しようとする者は、別表II-13の認定心理士欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に必修科目として算入されます）
- ⑧ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-13の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、別表II-16のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑨ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表II-13の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、別表II-17のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑩ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑪ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表VIII-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑫ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑬ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児童学科 児童心理コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-13

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	保育士	認定心理士	履修年次				備考
									1	2	3	4	
									春秋	春秋	春秋	春秋	
学科共通科目	□児童学概論		2	○					○				通年 通年
	□児童学演習	演	2	○					○				
必修科目	□3年次ゼミ	演	2	○						○ ○			【子ども発達理解フィールド】 【心理学概論】 【心理学基礎実験 I】 【心理学基礎実験 II】 【心理学研究法 I】 【心理学研究法 II】 【心理統計法 I】 【心理統計法 II】 【乳幼児心理学】 【児童心理学】 【青年心理学】 【社会心理学】 【認知心理学】 【人格心理学】 【子ども発達支援フィールド】 【特別支援教育総論】 【臨床心理学】 【カウンセリング心理学】 【心理療法面接実習 I】 【心理療法面接実習 II】 【心理検査法実習 I】 【心理検査法実習 II】 【人間関係論】 【教育心理学】 【家族心理学】 【神経心理学】 【児童精神医学】 【発達臨床心理学】 【心理英語】 【初等教科研究・国語】 【初等教科研究・書道】 【初等教科研究・社会】 【初等教科研究・数学】 【初等教科研究・理科】 【初等教科研究・生活】 【初等教科研究・音楽実技 I】 【初等教科研究・音楽実技 II】 【初等教科研究・音楽理論 I】 【初等教科研究・音楽理論 II】 【初等教科研究・図画工作 I】 【初等教科研究・図画工作 II】 【初等教科研究・家庭】 【初等教科研究・専門体育 I】 【初等教科研究・専門体育 II】 【小学校外国語】 【教職入門】 【教育原理】 【発達心理学 I】 【教育社会学】 【教育方法学】 【教育課程論】 【道徳教育の指導法】 【総合的な学習の時間の指導法】
	□卒業研究ゼミ		3	○				○			○ ○		
	□キャリアデザイン I	演	1	○					○				
	□キャリアデザイン II	演	1	○					○				
	□児童学特論 I		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 II		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 III		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 IV		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 V		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 VI		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 VII		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 VIII		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 IX		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 X		2					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 X I		1					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 X II		1					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 X III		1					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 X IV		1					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
	□児童学特論 X V		1					● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	
選択科目	【子ども発達理解フィールド】												【子ども発達理解フィールド】 【心理学概論】 【心理学基礎実験 I】 【心理学基礎実験 II】 【心理学研究法 I】 【心理学研究法 II】 【心理統計法 I】 【心理統計法 II】 【乳幼児心理学】 【児童心理学】 【青年心理学】 【社会心理学】 【認知心理学】 【人格心理学】 【子ども発達支援フィールド】 【特別支援教育総論】 【臨床心理学】 【カウンセリング心理学】 【心理療法面接実習 I】 【心理療法面接実習 II】 【心理検査法実習 I】 【心理検査法実習 II】 【人間関係論】 【教育心理学】 【家族心理学】 【神経心理学】 【児童精神医学】 【発達臨床心理学】 【心理英語】 【初等教科研究・国語】 【初等教科研究・書道】 【初等教科研究・社会】 【初等教科研究・数学】 【初等教科研究・理科】 【初等教科研究・生活】 【初等教科研究・音楽実技 I】 【初等教科研究・音楽実技 II】 【初等教科研究・音楽理論 I】 【初等教科研究・音楽理論 II】 【初等教科研究・図画工作 I】 【初等教科研究・図画工作 II】 【初等教科研究・家庭】 【初等教科研究・専門体育 I】 【初等教科研究・専門体育 II】 【小学校外国語】 【教職入門】 【教育原理】 【発達心理学 I】 【教育社会学】 【教育方法学】 【教育課程論】 【道徳教育の指導法】 【総合的な学習の時間の指導法】
	□心理学概論		2	○				○ ○					
	□心理学基礎実験 I	実	1	○				○					
	□心理学基礎実験 II	実	1	○				○					
	□心理学研究法 I		2	○				○			○		
	□心理学研究法 II		2	○				○			○		
	□心理統計法 I		2	○				○			○		
	□心理統計法 II	演	1	○				○			○		
	□乳幼児心理学		2	○				○ ○					
	□児童心理学		2	○				○ ○					
	□青年心理学		2	○				● ●					
	□社会心理学		2	○				○ ○					
	□認知心理学		2	○				○ ○					
	□人格心理学		2	○				○ ○					
	【子ども発達支援フィールド】												
	□特別支援教育総論		2	○ ○ ○ ○				○					
	□臨床心理学		2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□カウンセリング心理学		2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□心理療法面接実習 I	演	1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□心理療法面接実習 II	演	1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□心理検査法実習 I	演	1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□心理検査法実習 II	演	2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□人間関係論		2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□教育心理学		2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□家族心理学		2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
選択科目	□神経心理学		2							● ●			【子ども発達理解フィールド】 【子ども発達支援フィールド】 【子ども発達支援フィールド】 【子ども発達支援フィールド】 幼一免を取得しようと する者は、幼一免欄の ○※の科目のうち2科目 を選択履修すること。 ○ ピアノ(2年通年) ピアノ(2年通年) わらべ歌を含む わらべ歌を含む ○
	□児童精神医学		2							○			
	□発達臨床心理学		2							○			
	□心理英語		2							○			
	□初等教科研究・国語		2	○	※			● ●					
	□初等教科研究・書道	演	1	○				● ●					
	□初等教科研究・社会		1	○				○					
	□初等教科研究・数学		2	○	※			● ●					
	□初等教科研究・理科		1	○				○					
	□初等教科研究・生活		2	○	※			● ●					
	□初等教科研究・音楽実技 I	演	2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□初等教科研究・音楽実技 II	演	2	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□初等教科研究・音楽理論 I	演	1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□初等教科研究・音楽理論 II	演	1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□初等教科研究・図画工作 I	演	1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□初等教科研究・図画工作 II	演	1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□初等教科研究・家庭		1	○ ○ ○ ○				● ●					
	□初等教科研究・専門体育 I	演	1	○ ○ ○ ○				● ●					
	□初等教科研究・専門体育 II	演	1	○ ○ ○ ○				● ●					
	□小学校外国語		1	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○					
	□教職入門		2	○ ○ ○ ○				● ●					
	□教育原理		2	○ ○ ○ ○				● ●					
	□発達心理学 I		2	○ ○ ○ ○				● ●					
	□教育社会学		1	○ ○ ○ ○				● ●					
	□教育方法学		2	○ ○ ○ ○				● ●					
	□教育課程論		2	○ ○ ○ ○				● ●					
	□道徳教育の指導法		2	○ ○ ○ ○				● ●					
	□総合的な学習の時間の指導法		2	○ ○ ○ ○				● ●					

児童学科 児童心理コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-13

チ ニ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	保育士	認定心理士	履修年次						備考		
									1		2		3		4		
									春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
コ ー ス 選 択 科 目	□ 特別活動の指導法	演	1	○							●	●				○	
	□ 国語科教育法 I	演	1	○						○							
	□ 国語科教育法 II	演	1	○						○							
	□ 社会科教育法	演	2	○						○							
	□ 算数科教育法 I	演	1	○						○							
	□ 算数科教育法 II	演	1	○						○							
	□ 理科教育法	演	2	○						○							
	□ 生活科教育法	演	2	○							○						
	□ 音楽科教育法	演	2	○					●	●							
	□ 図画工作科教育法	演	2	○						●	●						
	□ 家庭科教育法	演	2	○						●	●						
	□ 体育科教育法	演	2	○						●	●						
	□ 小学校外国語の指導法	演	2	○						○							
	□ 生徒指導(進路指導を含む)		2	○					●	●							
	□ 教育相談		2	○	○					●	●						
	□ 初等教育実習 I	実	1	○						○	○		○	○	事前・事後オリエンテーション等 2年附属小、4年小学校教育実習		
	□ 初等教育実習 II	実	4	○						●	●			○			
	□ 教職実践演習(幼・小)	演	2	○	○	○									○		
	□ 介護体験実習	実	1	○						○	○						
	□ 初等教科研究・専門体育 III	演	1		○	○				○							
	□ 初等教科研究・専門体育 IV	演	1		○	○				○							
	□ 保育原理 I		2		○	○				○							
	□ 保育内容総論	演	1		○	○			○							健康	
	□ 保育内容指導法 I	演	1		○	○				○						健康	
	□ 保育内容指導法 II	演	1		○	○				○						人間関係	
	□ 保育内容指導法 III	演	1		○	○				○						人間関係	
	□ 保育内容指導法 IV	演	1		○	○				○						環境	
	□ 保育内容指導法 V	演	1		○	○				○						環境	
	□ 保育内容指導法 VI	演	1		○	○				○						言葉	
	□ 保育内容指導法 VII	演	1		○	○				○						言葉	
	□ 保育内容指導法 VIII	演	1		○	○				○						音楽	
	□ 保育内容指導法 IX	演	1		○	○				○						音楽	
	□ 保育内容指導法 X	演	1		○	○						○				造形	
	□ 保育内容指導法 XI	演	1		○	○					○					造形	
	□ 保育内容指導法 XII	演	1		○	○					○						
	□ 幼児理解、保育相談		2		○				○								
	□ 幼児教育実習 I	実	1		○					○			○		事前・事後オリエンテーション等 附属幼実習		
	□ 幼児教育実習 II	実	2		○					○						外部幼実習	
	□ 幼児教育実習 III	実	2		○								○			人形劇	
	□ 児童文化演習 I～1	演	1		○	○			●	●						折紙	
	□ 児童文化演習 I～2	演	1		○	○			●	●						表現あそび	
	□ 児童文化演習 II～1	演	1		○	○				●	●						
	□ 子ども家庭福祉		2		○				●	●							
	□ 社会福祉学 I		2		○				●	●							
	□ 社会的養護 I		2		○				●	●							
	□ 社会的養護 II	演	1		○					●	●						
	□ 保育の心理学		2		○				●	●							
	□ 子どもの理解と援助	演	1		○					●	●						
	□ 子どもの保健		2		○				●	●							
	□ 子どもの健康と安全	演	1		○					●	●						
	□ 子どもの食と栄養	演	2		○					●	●						
	□ 子ども家庭支援の心理学		2		○					●	●						
	□ 子ども家庭支援論		2		○					●	●						
	□ 子育て支援	演	1		○						●	●					
	□ 保育課程論		2		○					●	●						
	□ 乳児保育 I		2		○					●	●						
	□ 乳児保育 II	演	1		○					●	●						
	□ 障害児保育	演	2		○					●	●						

児童学科 児童心理コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-13

選 択 科 目	授 業 科 目	授業の方法	単 位	卒業必修	小一免	幼一免	保 育 士	認定心理士	履 修 年 次								備 考	
									1		2		3		4			
									春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
コ ー ス 選 択 科 目	□ 保育実習 I (保育所)	実	2				○						○					保育所実習
	□ 保育実習 I (施設)	実	2				○					○						施設実習
	□ 保育実習 II (保育所)	実	2				△						○					保育所実習(選択)
	□ 保育実習 III (施設)	実	2				△					○						施設実習(選択)
	□ 保育実習指導 I	演	2				○					○	○					必修事前・事後指導
	□ 保育実習指導 II (保育所)	演	1				△					○						選択事前・事後指導
	□ 保育実習指導 III (施設)	演	1				△					○						選択事前・事後指導
	計				47	71	56	70	37									

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目的うち2科目を選択履修すること。
- ◆2 小一免と幼一免を両方取得しようとする場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法 I ~ X II のうち半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって履修を免除することができる。ただし、保育士資格を取得しようとする場合は、この限りでない。
- ◆3 小一免又は幼一免を取得しようとする者は、教育相談の代わりに、カウンセリング論の単位取得をもって履修の免除をすることができる。
- ◆4 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習 II (保育所)・保育実習指導 II (保育所) 又は保育実習 III (施設)・保育実習指導 III (施設)いずれかの組合せを選択履修すること。
- ◆5 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。

令和3年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 児童心理コース

教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する

心のしくみを知ろう
心理学の基礎を知る

心のはたらきを探ろう
心理学の実践方法を知る

心理学を実践で使う
心理学の活用力を高める

Learning Outcomes (学びで得られる成果)

心理学を学び、子どもと保護者を支援できる先生になろう

1年生		2年生		3年生		4年生		卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
実践を通して学ぶ	心のメカニズムを学ぶ	自己や他人、社会を心理学的に捉え直し、説明できる。	教育・保育領域において求められる常識を身につけていく。	教育・保育領域における常識を身につけていく。	豊かな教養を身につける。	教育・保育領域に限らずさまざまな領域で必要とされる常識を身につけていく。	豊かな教養を高め、自らの進路に役立てることができる。	児童の心や成長に関する知識や技能を体系的に理解するなど、子どもに開設する情報分析し、論理的かつ創造的に考へることができる。	礼節や思いやり、豊かな子どもなどをもつて子どもに、自律的に学びがんばらせることができる。
実習評価	実習評価	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で子どもとコミュニケーションするなど、周りと協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。	心理学の専門性を深める
心理学の専門性を深める	心理学の実践方法を知る	心理学を実践で使う	心理学の活用力を高める	心理学を実践で使う	心理学の活用力を高める	心理学を実践で使う	心理学の活用力を高める	心理学の活用力を高める	心理学の活用力を高める

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 英語 II フランス語 I フランス語 II スポーツと健康 II	教養科目 教養科目 英語 III フランス語 III フランス語 IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 教養科目 教養科目 英語 IV
科目数	4	6	5	6
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	1		
コース必修科目	心理学概論 乳幼児心理学 特別支援教育総論	青年心理学 社会心理学	心理学基礎実験 I 認知心理学 児童心理学 臨床心理学	心理学基礎実験 II 心理統計法 I カウンセリング心理学
科目数	3	2	4	3
小免科目・特支科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 教育原理	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 初等教科研究・理科 教職入門	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 I 初等教科研究・社会 国語科教育法 I 算数科教育法 I 理科教育法 発達心理学 I 教育社会学 教育課程論 障害者教育論 知的障害者の心理 知的障害者の教育 視覚障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理	初等教科研究・図画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 II 初等教科研究・家庭 国語科教育法 II 算数科教育法 II 社会科教育法 音楽科教育法 道徳教育の指導法 教育方法学 小学校外国語 知的障害者の生理・病理 聴覚障害者の教育 視覚障害者の心理・生理・病理 発達障害者の教育 発達障害者の心理・生理・病理
科目数	4	6	14	16
実習			附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護体験実習(春・秋どちらか)	附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護体験実習(春・秋どちらか)
科目数計	12	15	23	25

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
科必科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	心理統計法 II 心理学研究法 I 人間関係論 人格心理学 心理療法面接実習 I	心理学研究法 II 心理療法面接実習 II 心理検査法実習 I 教育心理学	心理検査法実習 II 家族心理学	
科目数	5	4	2	
小免科目・特支科目	初等教科研究・音楽実技 II 初等教科研究・生活 体育科教育法 特別活動の指導法 総合的な学習の時間の指導法 小学校外国語の指導法 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理 肢体不自由者の教育	初等教科研究・音楽実技 II 生活科教育法 図画工作科教育法 家庭科教育法 病弱者の生理・病理 病弱者の教育 重複障害者の教育 重複障害者の心理・生理・病理	初等教科研究・音楽実技 II	初等教科研究・音楽実技 II 教職実践演習(幼・小)
科目数	10	8	1	2
実習				小学校教育実習 特別支援学校教育実習
科目数計	16	13	4	3

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 英語 II フランス語 I フランス語 II スポーツと健康 II	教養科目 教養科目 英語 III フランス語 III フランス語 IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 教養科目 教養科目 英語 IV
科目数	4	6	5	6
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	2		
コース必修科目	心理学概論 特別支援教育総論 乳幼児心理学	青年心理学 社会心理学	心理学基礎実験 I 認知心理学 児童心理学 臨床心理学	心理学基礎実験 II 心理統計法 I カウンセリング心理学
科目数	3	2	4	3
幼稚園・保育士科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 保育内容総論 児童文化演習 I～1 幼児理解・保育相談 子ども家庭福祉 社会福祉学 I 保育の心理学	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 保育原理 I 教職入門 児童文化演習 I～2 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 子どもの保健	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 III 保育内容指導法 I 保育内容指導法 V 発達心理学 I 教育社会学 教育課程論 社会的養護 I 乳児保育 I 保育課程論	初等教科研究・図画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 IV 保育内容指導法 II 保育内容指導法 VI 教育方法学 子どもの健康と安全 子ども家庭支援の心理学 障害児保育 子ども家庭支援論
科目数	8	9	11	10
実習			附属幼稚園実習	
科目数計	16	19	20	19

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	心理統計法 II 心理学研究法 I 人間関係論 人格心理学 心理療法面接実習 I	心理学研究法 II 心理療法面接実習 II 心理検査法実習 I 教育心理学	心理検査法実習 II 家族心理学	
科目数	5	4	2	
幼稚園・保育士科目	初等教科研究・音楽実技 II 保育内容指導法 III 保育内容指導法 VII 保育内容指導法 IX 保育内容指導法 X I 児童文化演習 II～1 子どもの食と栄養	初等教科研究・音楽実技 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VIII 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 乳児保育 II 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援	初等教科研究・音楽実技 II	初等教科研究・音楽実技 II 教職実践演習（幼・小）
科目数	7	9	1	2
実習	施設実習	保育所実習	外部幼稚園実習 保育所実習	
科目数計	13	14	4	3

児童学部 児童学科 児童文化コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 児童文化コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
47	47	94

- ③ 児童文化コースの専門教育科目については別表II-14の卒業必修欄に○印の付いている科目47単位及び★印の付いている科目から2単位以上と、別表II-14の選択科目及び別表II-9~13、15~17に記載されている科目から47単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-14のコース必修科目に加えて小一免欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-14のコース必修科目に加えて幼一免欄に○印の付いている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑥ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表II-14のコース必修科目に加えて保育士欄に○印の付いている科目と、△印の付いている科目から、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）又は保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）の組み合わせで2科目履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-14のコース必修科目に加えて、別表II-16のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑧ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表II-14のコース必修科目に加えて、別表II-17のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑨ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加えて別表VIII-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑪ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑫ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児童学科 児童文化コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-14

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	幼一免	保育士	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
学科共通科目	□児童学概論		2	○				○									通年 通年
	□児童学演習	演	2	○					○								
コース必修科目	□3年次ゼミ	演	2	○						○	○						レクリエーションインストラクター科目 レクリエーションインストラクター科目 通年
	□卒業研究ゼミ	演	3	○							○						
	□キャリアデザイン I	演	1	○				○									
	□キャリアデザイン II	演	1	○				○									
	□児童学特論 I		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 II		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 III		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 IV		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 V		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 VI		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 VII		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 VIII		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 IX		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 X		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 XI		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 XII		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 XIII		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 XIV		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	□児童学特論 XV		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コース選択科目	【子ども環境・交流フィールド】																★の科目から3年次に1科目以上、4年次に2科目以上を選択履修すること。
	□野外活動論		2	○				○									
	□生涯学習とボランティア活動		2	○				○									
	□子どものための地域活動	演	2	○					○								
	□レクリエーション基礎演習	演	1	○						○							
	□生涯学習論		2	○													
	□子どもビジネスの世界	演	2	○						○							
	【子ども文化・表現フィールド】																
	□児童文化概論		2	○				○									
	□絵本		2	○				○									
	□昔話・わらべうた		2	○				○									
	□伝承遊び	演	1	○					○								
	□児童文化実習	実	2	○						○	○						
	□児童文学		2	○							○						
	□玩具・遊具		2	○							○						
	□造形ワークショップ	演	1	○				○									
	□絵画表現基礎		2	○						○							
	□写真・映像表現	演	1	○						○							
	□マンガ・アニメ論 I		2	○						○							
コース選択科目	□リズム遊び	演	1	○					○								○ ピアノ(2年通年) ○ ピアノ(2年通年) ○ わらべ歌を含む ○ わらべ歌を含む ○
	□身体リズム	演	1	○					○								
	□児童文化実践演習	演	2	○													
	□舞台芸術演習	演	1	★						●	●						
	□子どものための演奏	演	1	★						●	●						
	□子どもとことば		1	★						●	●						
	□マンガ・アニメ論 II	演	1	★						●	●						

児童学科 児童文化コース授業科目配当表（B類）

別表 II-14

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	①卒業必修	小一免	幼一免	保育士	履修年次				備考
								1	2	3	4	
								春秋	春秋	春秋	春秋	
コ ス 選 択 科 目	□ 教育課程論		2		○	○			●	●		
	□ 小学校外国語		1		○				○			
	□ 道徳教育の指導法		2		○			●	●			
	□ 総合的な学習の時間の指導法		2		○				●	●		
	□ 小学校外国語の指導法		2		○				○			
	□ 特別活動の指導法		1		○				●	●		
	□ 国語科教育法 I	演	1		○				○			
	□ 国語科教育法 II	演	1		○				○			
	□ 社会科教育法	演	2		○				○			
	□ 算数科教育法 I	演	1		○				○			
	□ 算数科教育法 II	演	1		○				○			
	□ 理科教育法	演	2		○				○			
	□ 生活科教育法	演	2		○					○		
	□ 音楽科教育法	演	2		○			●	●			
	□ 図画工作科教育法	演	2		○				●	●		
	□ 家庭科教育法	演	2		○				●	●		
	□ 体育科教育法	演	2		○				●	●		
	□ 生徒指導(進路指導を含む)		2		○			●	●			
	□ 教育相談		2		○	○				●	●	
	□ 初等教育実習 I	実	1		○				○	○		事前・事後オリエンテーション等 2年附属小、4年小学校教育実習
	□ 初等教育実習 II	実	4		○				●	●		
	□ 教職実践演習(幼・小)	演	2		○	○	○					
	□ 介護体験実習	実	1		○				○	○		
	□ 初等教科研究・専門体育 III	演	1			○	○		○			
	□ 初等教科研究・専門体育 IV	演	1			○	○		○			
	□ 保育原理 I		2			○	○		○			
	□ 保育内容総論	演	1			○	○	○				
	□ 保育内容指導法 I	演	1			○	○		○			健康
	□ 保育内容指導法 II	演	1			○	○		○			健康
	□ 保育内容指導法 III	演	1			○	○			○		人間関係
	□ 保育内容指導法 IV	演	1			○	○					人間関係
	□ 保育内容指導法 V	演	1			○	○		○			環境
	□ 保育内容指導法 VI	演	1			○	○		○			環境
	□ 保育内容指導法 VII	演	1			○	○			○		言葉
	□ 保育内容指導法 VIII	演	1			○	○			○		言葉
	□ 保育内容指導法 IX	演	1			○	○			○		音楽
	□ 保育内容指導法 X	演	1			○	○			○		音楽
	□ 保育内容指導法 X I	演	1			○	○			○		造形
	□ 保育内容指導法 X II	演	1			○	○			○		造形
	□ 幼児理解、保育相談		2			○		○				
	□ 幼児教育実習 I	実	1			○			○		○	事前・事後オリエンテーション等 附属幼実習
	□ 幼児教育実習 II	実	2			○			○			外部幼実習
	□ 幼児教育実習 III	実	2			○					○	
	□ 児童文化演習 I～1	演	1			○	○	●	●			人形劇
	□ 児童文化演習 I～2	演	1			○	○	●	●			折紙
	□ 児童文化演習 II～1	演	1			○	○			●	●	表現あそび
	□ 子ども家庭福祉		2				○	●	●			
	□ 社会福祉学 I		2				○	●	●			
	□ 社会的養護 I		2				○		●	●		
	□ 社会的養護 II	演	1				○			●	●	
	□ 保育の心理学		2				○	●	●			
	□ 子どもの理解と援助	演	1				○			●	●	
	□ 子どもの保健		2				○	●	●			
	□ 子どもの健康と安全	演	1				○		●	●		
	□ 子どもの食と栄養	演	2				○		●	●		
	□ 子ども家庭支援の心理学		2				○		●	●		
	□ 子ども家庭支援論		2				○		●	●		
	□ 子育て支援	演	1				○			●	●	
	□ 保育課程論		2				○		●	●		
	□ 乳児保育 I		2				○		●	●		
	□ 乳児保育 II	演	1				○			●	●	
	□ 障害児保育	演	2				○		●	●		

児童学科 児童文化コース授業科目配当表（B類）

別表II-14

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	①卒業必修	小一免	幼一免	保育士	履修年次								備考	
								1 春	2 秋	3 春	4 秋	春	秋	春	秋		
コ ース 選 択 科 目	□ 保育実習 I (保育所)	実	2				○						○				保育所実習
	□ 保育実習 I (施設)	実	2				○					○					施設実習
	□ 保育実習 II (保育所)	実	2				△						○				保育所実習(選択)
	□ 保育実習 III(施設)	実	2				△						○				施設実習(選択)
	□ 保育実習指導 I	演	2				○					○	○				必修事前・事後指導
	□ 保育実習指導 II (保育所)	演	1				△						○				選択事前・事後指導
	□ 保育実習指導 III(施設)	演	1				△						○				選択事前・事後指導
	計			47	71	56	70										

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

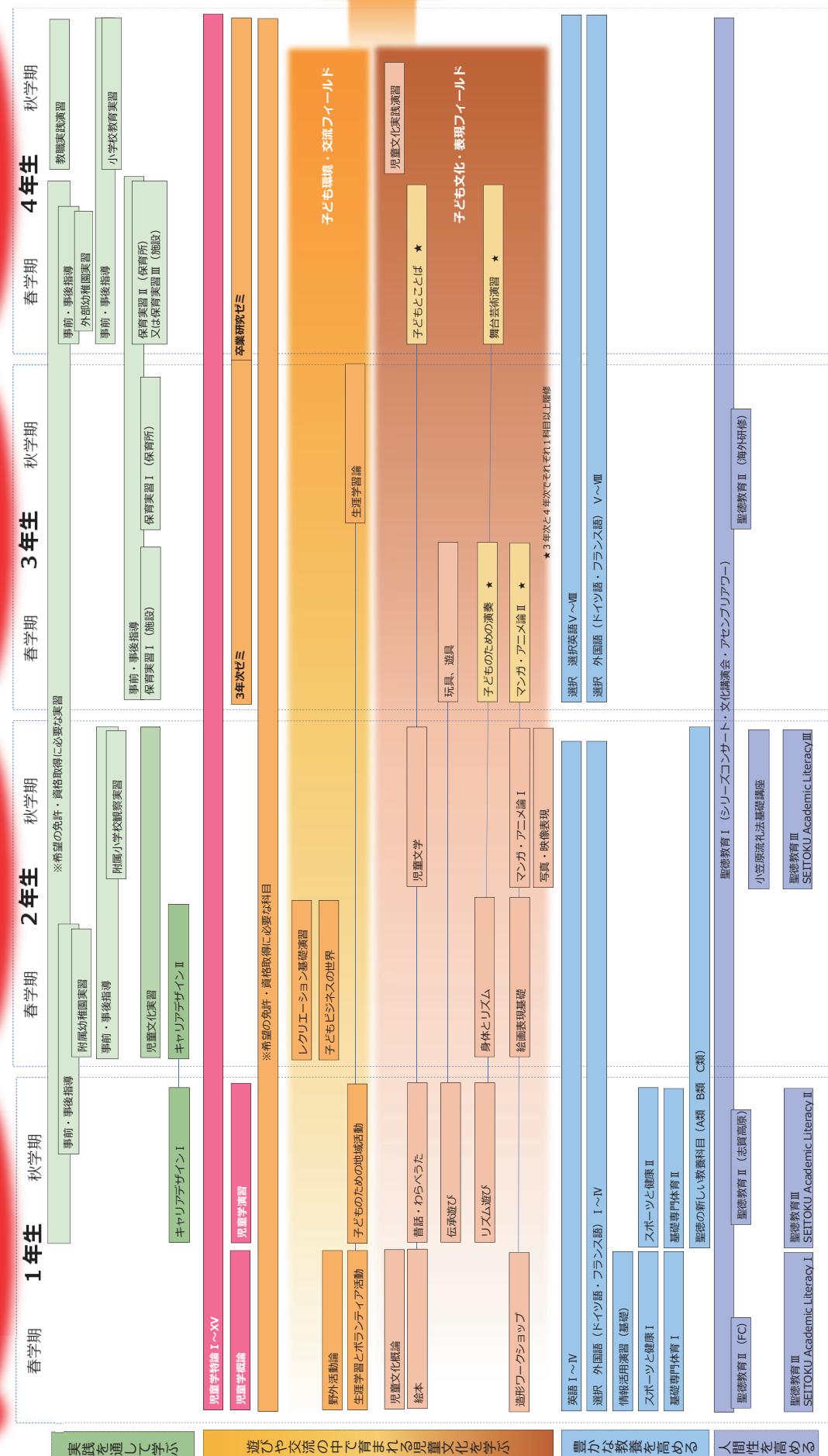
- ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目的うち2科目選択履修すること。
- ◆2 小一免と幼一免を両方取得しようとする場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法 I ~ X II のうち半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって履修を免除することができる。ただし、保育士資格を取得しようとする場合は、この限りでない。
- ◆3 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習 II (保育所)・保育実習指導 II (保育所) 又は保育実習 III(施設)・保育実習指導 III(施設)いずれかの組合せを選択履修すること。
- ◆4 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。

令和3年度 聖徳大学 健康・看護学部 健康文化コース

教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する

子どもと遊ぶ・交流するスキルを身につけよう児童文化の基礎の理解

子どもがよりよく生きる地域社会をを考えよう児童文化による理解



令和3年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 児童文化コース Learning Outcomes (学びで得られる成果)

教育課題に対する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する

子どもと遊ぶ・交流する
児童文化による支えの理解

スキルを身につけよう
児童文化による支えの理解

子どもがよく生きる
地域社会を考えよう



春学期		1年生		春学期		2年生		秋学期		3年生		春学期		4年生		秋学期		
目標 内容	実践を通して学ぶ	子どもたちの発達段階や各資格の概要を理解することができる。	児童館実習、各資格実習を通して子どもや保護者等とのかかわり方を理解することができる。	児童文化の概略と基礎を理解している。	児童文化、交流するスキルを実践で活かせる。	社会人に求められる基本的な常識を身につけている。	豊かな教養を高める	海外の教育や文化に直接触れながら、国際人としての教養や人間性を高めようとしている。	様々な芸術や文化に触れ、子どもや地域社会を支援する意欲を持つことができる。	豊かな教養を高める	英語力を高め文交流できる力を身につける。	児童文化の得意分野を深められる。	児童文化の得意分野を深め、地域社会に活かせる。	英語力を高め表現力を身につける。	豊かな教養を高める	礼節や思いやり、豊かな子どもに接するところに、自律的に学び続けるながらよりよい社会の形成に貢献することができる。	児童の心や成長に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。	身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で子どもとコミュニケーションするとともに、周りと協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。
実習評価	実習評価	実習評価	実習評価	試験・レポート・実技・GPA	試験・レポート・実技・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	レポート	レポート	レポート	
目標 内容	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解	児童文化による支えの理解

児童学科 免許・資格取得履修モデル
児童学科児童文化コース (小学校教員免許 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 英語 II フランス語 I フランス語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	教養科目 教養科目 英語 III フランス語 III フランス語 IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語 IV
科目数	5	9	5	3
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	児童文化概論 絵本 野外活動論 造形ワークショップ 生涯学習とボランティア活動	昔話・わらべうた 伝承遊び リズム遊び 子どものための地域活動	児童文化実習 絵画表現基礎 レクリエーション基礎演習 身体とリズム	児童文化実習 児童文学 写真・映像表現 マンガ・アニメ論 I
科目数	5	4	4	4
小免科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 教職入門	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 初等教科研究・理科 初等教科研究・数学 教育原理	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 I 初等教科研究・社会 国語科教育法 I 算数科教育法 I 理科教育法 発達心理学 I 教育社会学 教育課程論	初等教科研究・図画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 II 初等教科研究・家庭 国語科教育法 II 算数科教育法 II 社会科教育法 音楽科教育法 教育方法学 道徳教育の指導法 生徒指導（進路指導を含む） 小学校外国語
科目数	4	6	10	12
実習			附属小学校観察実習（春・秋どちらか） 介護体験実習（春・秋どちらか）	附属小学校観察実習（春・秋どちらか） 介護体験実習（春・秋どちらか）
科目数計	15	21	20	19

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
必修コース	玩具・遊具 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論 II ★	こどもビジネスの世界 生涯学習論	舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論 II ★	児童文化実践演習
科目数	5	2	1	1
小免科目	初等教科研究・音楽実技 II 初等教科研究・生活 体育科教育法 図画工作科教育法 特別活動の指導法 教育相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育総論 小学校外国語の指導法	初等教科研究・音楽実技 II 家庭科教育法 生活科教育法 外国語活動教育法	初等教科研究・音楽実技 II	初等教科研究・音楽実技 II 教職実践演習（幼・小）
科目数	9	4	1	2
実習				小学校教育実習
科目数計	15	7	3	4

※★印の付された科目は3年次、4年次ともに1科目以上履修（同じ科目の重複履修は不可）。

児童学科 免許・資格取得履修モデル
児童学科児童文化コース (幼稚園教諭+保育士資格 履修モデル)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 英語 II フランス語 I フランス語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	教養科目 英語 III フランス語 III フランス語 IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV
科目数	5	7	5	5
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	児童文化概論 絵本 野外活動論 造形ワークショップ 生涯学習とボランティア活動	昔話・わらべうた 伝承遊び リズム遊び 子どものための地域活動	児童文化実習 絵画表現基礎 レクリエーション基礎演習 身体とリズム	児童文化実習 児童文学 写真・映像表現 マンガ・アニメ論 I
科目数	5	4	4	4
幼稚園・保育士科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 教職入門 保育内容総論 児童文化演習 I～1 子ども家庭福祉 社会福祉学 I 保育の心理学 幼児理解・保育相談	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 保育原理 I 児童文化演習 I～2 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 子どもの保健	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 III 保育内容指導法 I 保育内容指導法 V 発達心理学 I 教育社会学 教育課程論 社会的養護 I 乳児保育 I 保育課程論	初等教科研究・図画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 IV 保育内容指導法 II 保育内容指導法 VI 教育方法学 子ども家庭支援の心理学 子ども家庭支援論 子どもの健康と安全 障害児保育
科目数	9	8	11	10
実習			附属幼稚園実習	
科目数計	20	21	21	19

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	玩具・遊具 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論 II★	こどもビジネスの世界 生涯学習論	舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論 II★	児童文化実践演習
科目数	5	2	4	1
幼稚園・保育士科目	初等教科研究・音楽実技 II 保育内容指導法 III 保育内容指導法 VII 保育内容指導法 IX 保育内容指導法 X I 児童文化演習 II～1 教育相談 子どもの食と栄養 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽実技 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VIII 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 乳児保育 II 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援	初等教科研究・音楽実技 II	初等教科研究・音楽実技 II 教職実践演習（幼・小）
科目数	9	9	1	2
実習	施設実習	保育所実習	外部幼稚園実習 保育所実習	
科目数計	15	12	6	4

*★印の付された科目は3年次、4年次ともに1科目以上履修（同じ科目の重複履修は不可）。

児童学部 児童学科 スポーツ健康コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② スポーツ健康コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
41	53	94

- ③ スポーツ健康コースの専門教育科目については別表II-15の卒業必修欄に○印の付いている科目37単位及び※1印の付いている科目から4単位以上の合計41単位と、別表II-15の選択科目及び別表II-9～14、16、17に記載されている科目から53単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-15のコース必修科目に加えて小一免欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-15のコース必修科目に加えて幼一免欄に○印の付いている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑥ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表II-15のコース必修科目に加えて保育士欄に○印の付いている科目と、△印の付いている科目から、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）又は保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）の組み合わせで2科目履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-15のコース必修科目に加えて、別表II-16のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑧ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表II-15のコース必修科目に加えて、別表II-17のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑨ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加えて別表VIII-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑪ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑫ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児童学科 スポーツ健康コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-15

チ エ ック 欄	授 業 科 目	授業の方法	単位	卒業必修	J S 指	健 運 指	障 S 指	レク	キ ャ ン プ	小一免	幼一免	保 育 士	履修年次				備 考				
													1年		2年		3年		4年		
													春	秋	春	秋	春	秋			
学 科 共 通 科 目	□児童学概論		2	○									○								
	□児童学演習	演	2	○									○								
	□3年次ゼミ	演	2	○									○ ○								
	□卒業研究ゼミ	演	3	○																	
	□キャリアデザイン I	演	1	○									○								
	□キャリアデザイン II	演	1	○									○								
	□児童学特論 I		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 II		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 III		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 IV		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 V		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 VI		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 VII		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 VIII		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 IX		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 X		2										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 XI		1										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 XII		1										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 XIII		1										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 XIV		1										● ● ● ● ● ● ● ●								
	□児童学特論 XV		1										● ● ● ● ● ● ● ●								
コ ー ス 共 通 科 目	□スポーツ文化論		2	○ ○									○								
	□生涯スポーツ論		2	○ ○									○								
	□子どもの発育発達論と運動論	演	2	○ ○									○ ○								
	□スポーツコーチング論		2	○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツ基礎理論	演	2	○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツ栄養学		2	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツ生理学		2	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツバイオメカニクス		2	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツ心理学		2	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□運動処方論	演	2	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツトレーニング	実	1	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツ医学	演	2	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツ現場実習 I	演	2	○ ○ ○ ○									○ ○								
	□スポーツ実技 I ~1(ダンス)	実	1	○ ○ ○ ○									○ ○								
選 択 必 修 科 目	□スポーツ社会学		2										○ ○								
	□健康管理論		2										○ ○								
	□スポーツ実技 II ~1(陸上運動)	実	1	※1	○ ○								○ ○						※1より4科目以上選択必修		
	□スポーツ実技 III ~1(体操・器械運動)	実	1	※1	○ ○								○ ○						※1より4科目以上選択必修		
	□スポーツ実技 IV ~1(水泳)	実	1	※1	○ ○								○ ○						※1より4科目以上選択必修		
	□スポーツ実技 V ~1(球技)	実	1	※1	○ ○								○ ○						※1より4科目以上選択必修		
	□スポーツ実技 VI ~1(エアロビック・エクササイズ)	実	1	※1	○ ○								○ ○						※1より4科目以上選択必修		
	□レクリエーション実習 I (夏季野外スポーツ)	実	1	※1						※2	※3		○ ○						※1より4科目以上選択必修		
コ ー ス 選 択 科 目	□レクリエーション実習 II (冬季野外スポーツ)	実	1	※1						※2	※3		○ ○						※1より4科目以上選択必修		
	□スポーツ解剖学		2										○ ○								
	□スポーツ経営学		2										○ ○								
	□アダプティッドスポーツ論		2										○ ○								
	□運動遊び研究	演	2										○ ○								
	□遊具での運動遊びと安全	演	2										○ ○								
	□子どもの自然活動基礎論		2										○ ○								
	□運動行事研究	演	2										○ ○								
	□オリンピック・パラリンピック概論		2										○ ○								
	□体育科実践場面演習	演	2										○ ○								
	□レクリエーション概論		2										○ ○								
	□レクリエーション基礎演習	実	1										○ ○								
	□レクリエーション事業参加		1										○ ○								
	□スポーツ現場実習 II	演	2										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 I ~2(ダンス)	実	1										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 II ~2(陸上運動)	実	1										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 III ~2(体操・器械運動)	実	1										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 IV ~2(水泳)	実	1										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 V ~2(球技)	実	1										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 VI ~2(エアロビック・エクササイズ)	実	1										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 VII (ヨガ・ピラティス)	実	1										○ ○						※4		
	□スポーツ実技 VIII (レクリエーションスポーツ)	実	1										○ ○						(含:アダプティッドスポーツ)		
	□スポーツ実技 IX (ゴルフ)	実	1										○ ○								
	□野外活動実習 I (アクアティックスポーツ)	実	1										○ ○								
	□野外活動実習 II (スクーバダイビング)	実	1										○ ○								

児童学科 スポーツ健康コース授業科目配当表 (B類)

別表 II-15

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	JS指	健運指	障S指	レク	キャンプ	小一免	幼一免	保育士	履修年次				備考	
													1年		2年			
													春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	
コ ー ス 選 択 科 目	□初等教科研究・国語		2							○	※5		●	●				
	□初等教科研究・書道	演	1							○			●	●				
	□初等教科研究・社会		1							○					○			
	□初等教科研究・数学		2							○	※5		●	●				
	□初等教科研究・理科		1							○					○			
	□初等教科研究・生活		2							○	※5				●	●		
	□初等教科研究・音楽実技I	演	2							○	○	○	○	○	○	○		
	□初等教科研究・音楽実技II	演	2							○	○	○				○	○	○
	□初等教科研究・音楽理論I	演	1							○	○	○	○					
	□初等教科研究・音楽理論II	演	1							○	○	○			○			
	□初等教科研究・図画工作I	演	1							○	○	○			○			
	□初等教科研究・図画工作II	演	1							○	○	○			○			
	□初等教科研究・家庭		1							○					●	●		
	□初等教科研究・専門体育I	演	1							○					●	●		
	□初等教科研究・専門体育II	演	1							○					●	●		
	□小学校外国語		1							○					○			
	□教職入門		2							○	○	○	●	●				
	□教育原理		2							○	○	○	●	●				
	□発達心理学I		2							○	○				●	●		
	□教育社会学		1							○	○				●	●		
	□教育方法学		2							○	○				●	●		
	□特別支援教育総論		2							○	○					○		
	□教育課程論		2							○	○				●	●		
	□道徳教育の指導法		2							○					●	●		
	□総合的な学習の時間の指導法		2							○					●	●		
	□特別活動の指導法		1							○					●	●		
	□国語科教育法I	演	1							○					○			
	□国語科教育法II	演	1							○					○			
	□社会科教育法	演	2							○					○			
	□算数科教育法I	演	1							○					○			
	□算数科教育法II	演	1							○					○			
	□理科教育法	演	2							○					○			
	□生活科教育法	演	2							○						○		
	□音楽科教育法	演	2							○			●	●				
	□図画工作科教育法	演	2							○			●	●				
	□家庭科教育法	演	2							○			●	●				
	□体育科教育法	演	2							○			●	●				
	□小学校外国語の指導法		2							○					○			
	□生徒指導(進路指導を含む)		2							○			●	●				
	□教育相談		2							○	○		●	●				
	□初等教育実習I	実	1							○					○	○	○	○
	□初等教育実習II	実	4							○			●	●			○	
	□教職実践演習(幼・小)	演	2							○	○	○					○	
	□介護体験実習	実	1							○			○	○				

幼一免を取得しようとす
る者は、幼一免欄の※5
の科目のうち2科目を選
択履修。

児童学科 スポーツ健康コース授業科目配当表 (B類)

別表II-15

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	JS指	健運指	障S指	レク	キャンプ	小一免	幼一免	保育士	履修年次				備考			
													1年		2年		3年			
													春秋	春秋	春秋	春秋	春秋			
コ ー ス 選 択 科 目	□保育原理 I		2							○	○	○	○							
	□保育内容総論	演	1							○	○	○	○							
	□保育内容指導法 I	演	1							○	○	○	○					健康		
	□保育内容指導法 II	演	1							○	○	○	○					健康		
	□保育内容指導法 III	演	1							○	○	○	○					人間関係		
	□保育内容指導法 IV	演	1							○	○	○	○					人間関係		
	□保育内容指導法 V	演	1							○	○	○	○					環境		
	□保育内容指導法 VI	演	1							○	○	○	○					環境		
	□保育内容指導法 VII	演	1							○	○	○	○					言葉		
	□保育内容指導法 VIII	演	1							○	○	○	○					言葉		
	□保育内容指導法 IX	演	1							○	○	○	○					音楽		
	□保育内容指導法 X	演	1							○	○	○	○					音楽		
	□保育内容指導法 XI	演	1							○	○	○	○					造形		
	□保育内容指導法 XII	演	1							○	○	○	○					造形		
	□幼児理解、保育相談		2							○	○	○	○							
	□幼児教育実習 I	実	1							○	○	○	○					事前・事後オリエンテーション等		
	□幼児教育実習 II	実	2							○	○	○	○					附属幼実習		
	□幼児教育実習 III	実	2							○	○	○	○					外部幼実習		
	□児童文化演習 I ~ 1	演	1							○	○	●	●					人形劇		
	□児童文化演習 I ~ 2	演	1							○	○	●	●					折紙		
	□児童文化演習 II ~ 1	演	1							○	○			●	●			表現あそび		
	□子ども家庭福祉		2							○	●	●	●							
	□社会福祉学 I		2							○	●	●	●							
	□社会的養護 I		2							○		●	●							
	□社会的養護 II	演	1							○		●	●							
	□保育的心理学		2							○	●	●	●							
	□子どもの理解と援助	演	1							○		●	●							
	□子どもの保健		2							○	●	●	●							
	□子どもの健康と安全	演	1							○		●	●							
	□子どもの食と栄養	演	2							○		●	●							
	□子ども家庭支援の心理学		2							○		●	●							
	□子ども家庭支援論		2							○		●	●							
	□子育て支援	演	1							○		●	●							
	□保育課程論		2							○		●	●							
	□乳児保育 I		2							○		●	●							
	□乳児保育 II	演	1							○		●	●							
	□障害児保育		2							○		●	●							
	□保育実習 I (保育所)	実	2							○		●	●							
	□保育実習 I (施設)	実	2							○		△	△							
	□保育実習 II (保育所)	実	2							○		△	△							
	□保育実習 II (施設)	実	2							○		△	△							
	□保育実習指導 I	演	2							○		△	△		○	○				
	□保育実習指導 II (保育所)	演	1							○		△	△							
	□保育実習指導 III (施設)	演	1							○		△	△							
	計			37							70									

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目のうち2科目選択履修すること。
- ◆2 小一免と幼一免を両方取得しようとする場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法 I ~ X II のうち半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって履修を免除することができる。
- ◆3 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。

【資格名称】

JS指:ジュニアスポーツ指導員

健運指:健康運動実践指導者

障S指:初級障がい者スポーツ指導員

レク:レクリエーションインストラクター

キャンプ:キャンプインストラクター

【幼稚園一種免許状並びに保育士資格取得希望者は以下の科目を取得すること】

子どもの発育発達論と運動論、子どもの自然活動基礎論、遊具での運動遊びと安全、運動遊び研究、運動行事研究、スポーツ実技 I -1、I -2

【小学校一種免許状取得希望者は以下の科目を取得すること】

スポーツ文化論、スポーツ基礎理論、スポーツ生理学、体育科実践場面演習、健康管理論(学校保健)、スポーツ実技 I -1

令和3年度 聖徳大学 児童学部 健康コース 教育課題に応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する



令和3年度 聖徳大学 児童学部 スポーツ健康コース Learning Outcomes (学びで得られる成果)

教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協調的な問題解決力で社会に貢献する



実践を通して学ぶ 多様なスポーツ活動に応できる資質を高める	社会人に求められる基本的な常識を身につけている。 豊かな教養を高める 人間性を高める	高度な語学力を身につけ、国際感覚を形成する力を身につけている。 様々なスポーツ活動を通じて、仲間と支え合い、協働して課題解決を図る力を高めることができる。	より高度な語学力を身につけ、国際感覚を形成する力を身につけている。 豊かな表現や音楽、造形など多様な表現方法で子どもとコミュニケーションするとともに、周りと協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。	スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけ、他者とスポーツの楽しさを共有しようと力を身につけています。 スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけ、実践力を身につける。	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA	試験・レポート・GPA
実習評価										
実習評価										
実習評価										
実習評価										
実習評価										

児童学科 免許・資格取得履修モデル
児童学科スポーツ健康コース (小学校教員免許 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 英語 II フランス語 I フランス語 II 基礎専門体育 II 情報活用演習（教職）	教養科目 教養科目 英語 III フランス語 III フランス語 IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語 IV
科目数	5	9	5	3
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	2	1	
コース共通科目	生涯スポーツ論 子どもの発育発達論と運動論 スポーツ基礎論 ※スポーツ実技II-1（陸上運動） ※スポーツ実技IV-1（水泳） ※スポーツ実技V-1（球技）	スポーツ文化論（体育原理） スポーツコーチング論 スポーツ生理学 スポーツ現場実習1 スポーツトレーニング ※スポーツ実技III-I（器械運動）	運動処方論（測定・評価） スポーツ栄養学 スポーツ実技I-1（ダンス） ※スポーツ実技VI-1（エアロビ・エクササイズ） ※レクリエーション実習I（夏季野外実習）	スポーツ心理学 スポーツ医学 ※レクリエーション実習II（冬季野外実習）
科目数	5	5	3	2
小免科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 教職入門	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 初等教科研究・理科 初等教科研究・数学 教育原理	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 I 初等教科研究・社会 国語科教育法 I 算数科教育法 I 理科教育法 発達心理学 I 教育社会学 教育課程論	初等教科研究・図画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 II 初等教科研究・家庭 国語科教育法 II 算数科教育法 II 社会科教育法 音楽科教育法 教育方法学 道徳教育の指導法 生徒指導（進路指導を含む） 小学校外国語
科目数	4	6	10	12
実習			附属小学校観察実習（春・秋どちらか） 介護体験実習（春・秋どちらか）	附属小学校観察実習（春・秋どちらか） 介護体験実習（春・秋どちらか）
科目数計	15	22	19	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
共通科目	スポーツバイオメカニクス		健康管理論	体育科教育学
科目数	1		1	1
小免科目	初等教科研究・音楽実技 II 初等教科研究・生活 体育科教育法 図画工作科教育法 小学校外国語の指導法 特別活動の指導法 教育相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽実技 II 家庭科教育法 生活科教育法 外国語活動教育法	初等教科研究・音楽実技 II 初等教科研究・音楽実技 II 教職実践演習（幼・小）	初等教科研究・音楽実技 II 教職実践演習（幼・小）
科目数	9	4	1	2
実習				小学校教育実習
科目数計	11	5	3	4

※の付されたスポーツ実技科目で、健康運動実践指導員資格には、陸上運動、水泳、エアロビクスが必修となる。
※の付されたスポーツ実技科目から、4科目以上は選択必修となる。

児童学科 免許・資格取得履修モデル
児童学科スポーツ健康コース (幼稚園教諭+保育士資格 履修モデル)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語I 基礎専門体育I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 英語II フランス語I フランス語II 基礎専門体育II 情報活用演習(教職)	教養科目 教養科目 英語III フランス語III フランス語IV	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 教養科目 英語IV
科目数	5	7	5	5
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザインI	キャリアデザインII	
科目数	1	2	1	
コース共通科目	生涯スポーツ論 子どもの発育発達論と運動論 スポーツ基礎論 ※スポーツ実技II-1(陸上運動) ※スポーツ実技IV-1(水泳) ※スポーツ実技V-1(球技)	スポーツ文化論(体育原理) スポーツコーチング論 スポーツ生理学 スポーツトレーニング スポーツ現場実習1 ※スポーツ実技III-I(器械運動)	運動処方論(測定・評価) スポーツ栄養学 スポーツ実技I-1(ダンス) ※スポーツ実技VI-1(エアロビ・エクササイズ) ※レクリエーション実習I(夏季野外実習)	スポーツ心理学 スポーツ医学 スポーツ実技I-2(ダンス) ※レクリエーション実習II(冬季野外実習)
科目数	3	4	4	3
幼稚園・保育士科目	初等教科研究・音楽理論I 初等教科研究・音楽実技I 教職入門 保育内容総論 児童文化演習I～1 子ども家庭福祉 社会福祉学I 保育の心理学 幼児理解・保育相談	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技I 保育原理I 児童文化演習I～2 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 子どもの保健	初等教科研究・图画工作I 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育III 保育内容指導法I 保育内容指導法V 発達心理学I 教育社会学 教育課程論 社会的養護I 乳児保育I 保育課程論	初等教科研究・图画工作II 初等教科研究・音楽実技I 初等教科研究・専門体育IV 保育内容指導法II 保育内容指導法VI 教育方法学 子ども家庭支援の心理学 子ども家庭支援論 子どもの健康と安全 障害児保育
科目数	9	8	11	10
実習			附属幼稚園実習	
科目数計	18	21	21	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
共通科目	スポーツバイオメカニクス		遊具での運動遊びと安全運動遊び研究	運動行事研究
科目数	1		2	1
幼稚園・保育士科目	初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法III 保育内容指導法VII 保育内容指導法IX 保育内容指導法X I 児童文化演習II～1 教育相談 子どもの食と栄養 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法VIII 保育内容指導法X 保育内容指導法X II 乳児保育II 社会的養護II 子どもの理解と援助 子育て支援	初等教科研究・音楽実技II	初等教科研究・音楽実技II 教職実践演習(幼・小)
科目数	9	9	1	2
実習	施設実習	保育所実習	外部幼稚園実習 保育所実習	
科目数計	11	10	4	4

※の付されたスポーツ実技科目で、健康運動実践指導員資格には、陸上運動、水泳、エアロビクスが必修となる。
※の付されたスポーツ実技科目から、4科目以上は選択必修となる。

[特別支援学校教諭一種免許状関係科目]

別表 II-16

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	特支一免	履修年次				備考	
					1		2			
					春秋	春秋	春秋	春秋		
特別支援教育の基礎理論に関する科目										
<input type="checkbox"/>	障害者教育論		2	○			○			
特別支援教育領域に関する科目										
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目										
<input type="checkbox"/>	知的障害者の心理		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	知的障害者の生理・病理		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	肢体不自由者の心理		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	肢体不自由者の生理・病理		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	病弱者の心理		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	病弱者の生理・病理		2	○			○			
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目										
<input type="checkbox"/>	知的障害者の教育		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	肢体不自由者の教育		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	病弱者の教育		2	○			○			
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目										
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目										
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目										
<input type="checkbox"/>	視覚障害者の教育		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	視覚障害者の心理・生理・病理		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	聴覚障害者の教育		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	聴覚障害者の心理・生理・病理		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	発達障害者の教育		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	発達障害者の心理・生理・病理		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	重複障害者の教育		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	重複障害者の心理・生理・病理		1	○			○			
<input type="checkbox"/>	特別支援教育教材・教具制作演習※		1					○		
<input type="checkbox"/>	脳科学・遺伝学からみた特別支援教育※		2					○		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習										
<input type="checkbox"/>	特別支援学校教育実習	実	3	○			○	○	○	
	計		31							

左記※印の2科目は、選択履修することが可能。ただし、特別支援学校教諭1種免許状取得の要件とはならない。

【特別支援学校教育実習について】
実習時期は4年秋学期となります。実習事前・事後指導は3年春学期～4年秋学期までの期間で実施します。

[注]

- 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、特支一免欄に○印を付された科目を修得しなければならない。
- 授業の方法欄に演印を付された科目は演習科目、実印を付された科目は実習科目、無印は講義科目。
- 履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
- 特別支援学校教諭一種免許状の課程履修は、原則として児童学科の学生のみを対象とする。
- 原則として幼稚園教諭一種免許状又は、小学校教諭一種免許状を取得する者を対象とする。

[ピアヘルパー受験資格関係科目]

別表 II-17

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	ピアヘルパー	履修年次				備考	
					1		2			
					春秋	春秋	春秋	春秋		
児童心理学										
<input type="checkbox"/>	青年心理学		2	☆			○			
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	☆	●	●				
<input type="checkbox"/>	人間関係論		2	☆				○		
<input type="checkbox"/>	臨床心理学		2	☆			○			
<input type="checkbox"/>	児童精神医学		2	☆				○		
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	☆	●	●		●		
<input type="checkbox"/>	保育の心理学		2	☆	●	●				
<input type="checkbox"/>	カウンセリング心理学		2	○			○			
<input type="checkbox"/>	心理療法面接実習 I	演	1	☆				○		
<input type="checkbox"/>	心理療法面接実習 II	演	1	○				○		

カウンセリング心理学、心理療法面接実習IIは必修。その他☆印より2科目選択必修。
(●の時期は年度やコースによって異なるので注意)

心理・福祉学部 心理学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理・福祉学部心理学科は、心理学を基礎から幅広く学び、社会における様々な心の問題に向き合い解決に取り組む力をもつ人材を多く輩出してきました。

現代社会において心理学の知識やスキルが求められるフィールドは拡大し続けており、目の前の課題に対して他者と協働しながら自分自身で考え方行動する実践力が本学科の学生に求められています。さらに、国や文化の垣根を超えた支援の力も今後求められます。

そのような社会的要請に応える人材育成のため、心理・福祉学部心理学科では豊かな感性と相互扶助の心を備えた上で、心の働きに関する科学的根拠に基づいた学問知を有するとともに、現実社会の様々な場面において課題を発見・解決するフィールド知を備え、グローバルに活躍できる女性を育成します。このような人材育成のため、本学科では、心理支援専修、産業・社会心理専修、危機管理専修、教育・発達心理専修、家族支援専修の五つの専修を設けます。また、心理支援専修を中心にいくつかの専修を組み合わせることによって、公認心理師資格取得のために大学で必要な科目も履修することができます。本学科は、心の健康や福祉の増進等の社会からの要請に応えることを理念とし、以下の六つの教育目標を設けます。

【教育目標】

1. 心の働きと多様性を学び、人間を複眼的に見ることによって、広い視野を育成する。
2. 心理演習および実習科目を通して、心のケアを必要とする人を支援するための基本的な技能を育成する。
3. 他者と協働するために豊かな感性をもって自分と相手双方に配慮できる対人コミュニケーション能力を育成する。
4. 物事の真意を検証する実証的态度を育成する。
5. 科学的な情報を適切に扱い、自己の考えを明確に説明する情報リテラシーを育成する。
6. 日常生活の中から未解決の課題を発見し、解決策を提案し実行する力を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

1. 心理学の基礎領域を幅広く学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる。
2. 実践現場で応用される心理学を学び実際に体験することで、多様な価値観に基づく心の働きや課題に関する知識を獲得し、複眼的に人の心の働きを捉え、心のケアを必要とする人の支援ができる。
3. 他者と協働し課題解決に取り組む中で、コミュニケーション・スキルを活用しチームで働くことができる。
4. 文化的・芸術的な作品を体験するプログラム、語学教育や海外研修といったプログラムを通して、豊かな感性を持ち自国以外の文化や価値観を受け入れ理解しながら活躍

する素養を身につけることができる。

5. 曖昧な心の働きを明確な概念として定義し、他者にも理解できる指標で測定できる。
6. 心理学研究法の知識及びスキルによって、心の働きを科学的に検証することができる。
7. 研究倫理を遵守し適切な手法で心理データを測定・管理し、自分の考えを適切なソフトウェアや機器を活用しながら他者にプレゼンテーションすることができる。
8. 大学内で学んだことを活かし、フィールドワークにおいて自治体や企業における心理的課題を見出すことができる。
9. 発見した課題に対して、自身の学びや他者との連携に基づいて解決策を提案し実行することができる。

上記の学修成果に基づく教育課程において所定の単位を修得した人に学士（心理学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

心理・福祉学部心理学科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を、以下の方針に基づいて編成しています。

本学科では、学科の教育目標を達成するために五つの専修を設け、専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

1. 人間の心の仕組みについて理解を深める科目群を設定し、実践を通して、多様で複眼的な視点から身近な現象を科学的に説明できる学術的な基礎力を育成します。
心理支援専修では、心理支援に必要な専門的知識や技能を実践的に学び、心の問題を抱える人に対して心理的援助のできる基礎的技能を育みます。
産業・社会心理専修では、企業の広告や商品開発に必要な消費者心理などを学び、マーケティング・リサーチ技術の力を育みます。
危機管理専修では、事故や災害、ストレスなど、傷ついた心の回復を助ける応急処置や、ストレス・マネジメントに関する専門性を育みます。
教育・発達心理専修では、学校や福祉施設など、子どものそばで心の支援ができる力を育成します。
家族支援専修では、子どもから高齢者まで様々な世代を支える家族支援のできる専門性を育みます。
2. 心理支援専修に加えて、いくつかの専修を組み合わせて学び、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働などの分野の施設において実習を行い、チームアプローチ、多職種連携および地域連携、職業倫理について理解し、心の問題を抱える人たちを支援することのできる実践力を育成します。
3. コミュニケーション・スキルおよびチームワーク力を高める科目群を設定し、「心理学基礎講座」を中心として自分の考えを伝え、他者の話に耳を傾け、互いを大切にしつつグローバルな社会で豊かな感性を持って共に生きる力を育みます。

4. 物事の真意を検証するスキルを磨く科目群を設定し、「心理学実験実習Ⅰ・Ⅱ」を中心として、曖昧な「心の働き」を科学的に捉える力を育成します。
5. 科学的研究を行うための基礎力を高める科目群を設定し、「心理学演習」を中心として心理学研究に取り組むために必要な情報検索力、情報整理力、論理的思考力などの情報リテラシーを育成します。
6. 社会の中で課題を発見し解決する科目群を設定し、「フィールド学習」を中心として、心理学の理論を活かし他者と連携しながら環境を動かす実践力を育成します。

【教育課程実施の方針】

心理・福祉学部心理学科では、学修成果を効果的に達成するために、授業計画に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 一年次は心理学の基礎を学び、二年次以降は学生の興味関心に対応した学びの専門性を深めるため、特色のある五つの専修から複数の専修を組み合わせて学んでいきます。
2. 授業方法として大学内での専門的な講義や実習、演習とともに、社会現場におけるフィールドワーク学習と心理演習および実習を導入し、実践的な心理学の学びを促進しています。
3. 社会で心理学スキルを活用するために、さまざまな課題発見や解決を実践に移す方法を、専門性を深めながら繰り返し段階的に学んでゆきます。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

心理・福祉学部心理学科は、フィールドにおける実地体験を通して実践的な心理学を学ぶことができる、という他大学には見られない特質を活かして、ディプロマ・ポリシーでも挙げた「豊かな感性と人間の心の仕組みに関する学問知を有し、課題を発見・解決するフィールド知とコミュニケーション能力を備えた人材」を育成するために、以下の資質を持った入学者を求めています。

1. 心理学を幅広く学ぶための基礎的学力を有している人。
2. 心のメカニズムを解明するための論理的思考能力と情報処理技能をもっている人。
3. 実習や理論学習などの授業に主体的、協働的に取り組むことができる人。
4. 大学院進学も視野にいれ、臨床心理士や公認心理師資格取得を目指し、心理支援の専門家になって社会に貢献したい人。

心理・福祉学部心理学科ではこのような人を受け入れるために、多くの受験機会を設け、多種類の入学試験を行っています。こうした試験を通して、本学科では、学びに必要な基礎的な文章読解力や表現力、情報を収集したり活用したりする技能、独自性のある自己表現と周囲との協働力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、小論文、作文、面接などによって多面的・総合的に評価します。

心理・福祉学部 社会福祉学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理・福祉学部社会福祉学科では、現代社会の福祉・教育問題の解決に必要な専門的知識と高度な技術を取得し、福祉・教育分野で活躍する人材の養成を目的として社会福祉コース、介護福祉コース、養護教諭コースの三コースを設け、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、養護教諭、保育士などとして活躍する人材を社会に輩出してきました。

現在我が国は少子高齢化、グローバル化(地球規模化)が進行する中で福祉・教育ニーズが複雑化・多様化しています。このような複雑化・多様化する福祉・教育ニーズに対応するためには個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として、社会と個人の生活のかかわりについて深く洞察し、福祉社会づくりに寄与できる幅広い知識・能力、感性を持った専門職の養成が求められています。心理・福祉学部社会福祉学科では、このような社会の要請に応えるため、個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として、女性の立場から生活の視点を持ち、それを福祉・教育分野で活躍する専門職の養成を目指し、福祉社会づくりに貢献します。

以上の教育理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、人々の生活を支援することができる人間力を備えた人材を育成する。
2. 社会福祉学の専門的知識・技術・態度を身につけ、それに基づいた判断力と課題解決力をもった人材を育成する。
3. 人々の個別の福祉・教育ニーズに応じたサービスを提供することができる実践力を備えた人材を育成する。
4. 保健・医療など他業種と連携を図りながら、福祉社会づくりに貢献できる人材を育成する。

上記の学科共通の教育目標をもとに、各コースに次のような具体的目標を設定します

- (1) 社会福祉コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、生活の総合相談ができる能力をもったソーシャルワーカーを育成する。
- (2) 介護福祉コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、高齢者・障害者など介護を必要とする人びとの介護福祉の実践ができる介護福祉士を育成する。
- (3) 養護教諭コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、子どもの心身の発達・成長の支援と生涯にわたる健康づくりに貢献できる養護教諭を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

1. 確かな人間性を有し福祉・教育の実践者としての資質を兼ね備えている。
 2. 社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら福祉・教育課題を探求し課題解決策を提示することができる。
 3. 福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、個々人の福祉・教育ニーズに応じたサービス提供を実践することができる。
 4. 他業種間の連携を図り、地域社会づくりや福祉社会づくりなど社会貢献ができる。
- 以上のような学修成果に基づいて編成された教育課程を履修し、修了した人に学士（社会福祉学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

心理・福祉学部社会福祉学科は、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 社会福祉分野の基礎となる個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本とした専門基礎科目群を設定し、福祉・教育の実践に必要な基礎的能力を養成します。
2. 社会福祉分野の専門的知識・技術・態度を高めるための科目群を設定し、現代的課題に対応した判断力や課題解決力を育成します。そこで学習した内容をもとに演習科目や実習科目を配置し、福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、課題解決に向けた実践力を育成します。
3. 福祉・教育の課題解決のための科目群を設定し、専門職業人として自立し、卒業後の各種福祉現場、学校、地域社会で他職種との連携の下、幅広く活躍できる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

心理・福祉学部社会福祉学科では、学生自ら課題を発見し解決するという主体的、創造的な方法で教育課程を実施します。また、福祉的な問題を科学的に理解するための文献やデータを収集分析し、少人数で討論するなどの演習形式の授業やフィールドワークやインタビューを行うなど、問題発見・解決型学習（Problem-Based Learning）を取り入れながら実施します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

現代社会の福祉ニーズに対応するための人材育成が急務となっています。心理・福祉学部社会福祉学科では、それに応えるため個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として「一人ひとり」を支え、守り、育てる福祉・教育の専門職の養成を目指しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質を持った人を心理・福祉学部社会福祉学科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

1. 主体的に福祉・教育を学習する意欲があり、授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。
2. 社会福祉の基礎的・基本的な知識・技能を習得しようと考えている人。
3. 現代社会の課題に関心を持ち社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、養護教諭、保育士など福祉・教育の専門家として社会に貢献する夢を持っている人。

心理・福祉学部社会福祉学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での修学に必要な基礎学力、知識、技術、コミュニケーション力、他者と協働する能力などについて、書類審査、学力試験、小論文、作文、面接などを組み合わせて多面的・総合的に評価します。

心理・福祉学部 全学共通科目 履修要項

- ① 心理・福祉学部各学科の卒業所要単位数は、下表のとおりです。

学科名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	計
心理学科	30 単位	94 単位	124 単位
社会福祉学科	30 単位	96 単位	126 単位

- ② 心理・福祉学部の全学共通科目（A類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

全 学 共 通 科 目 (A類)				
聖徳教育	教養科目と 外国語	健康教育	情報活用	計
7	20	2	1	30

- ③ 心理・福祉学部の学生は、全学共通科目（A類）については、別表III-1、2、3、4、5、6、7 のとおり履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④ 聖徳教育科目（別表III-1）はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目（別表III-2）は外国語科目と併せて20単位以上を修得すること（外国語は8単位以上）。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～D類まで一つの群に集中することなくバランスよく履修してください。
D類の「日本国憲法」は、教員免許状・保育士資格を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 外国語科目（別表III-3）は、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳを含む合計8単位が必修です。
- ⑦ 健康教育科目（別表III-4、III-5）及び情報活用科目（別表III-6）は備考に記載のとおり履修してください。
- ⑧ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・C・Nと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目(心理学科)

別表III-1

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座			2	○			●	●					● 春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育I	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育II	演	1	○	○			○	○					(通年履修)	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy II)	演	1	○	○	○									
<input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy III)	演	1	○			●	●							
計			7											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

聖徳教育科目(社会福祉学科)

別表III-1

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座			2	○			●	●					● 春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育I	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育II	演	1	○	○			○	○					(通年履修)	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy II)	演	1	○	○	○									
<input type="checkbox"/> 聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy III)	演	1	○			●	●							
計			7											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表III-2

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
A類	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			○	○	○					△ 教養科目と別表III-3の外国語科目を併せて20単位以上修得すること(外国語は8単位以上)。	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			○	○	○					△ 教養科目は表中のA類、B類、及びC類から1科目以上選択し、12単位以上を修得すること。	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			○	○	○					△ 同じ科目(領域)を重複履修することはできません。	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域I)		2			○	○	○					△ 日本国憲法は、教育職員免許状及び社会福祉学科で保育士資格を取得する者は必ず修得すること。	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域II・インターンシップ)	演	2					○	○				△ 企業系就職希望者は、Business Field Linkage科目を履修することが望ましい。	
B類	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			○	○	○						
C類	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			○	○	○						
D類	<input type="checkbox"/> 日本国憲法		2		●	●								
	< Business Field Linkage >													
	<input type="checkbox"/> 特別講義I		2			○								
	<input type="checkbox"/> 特別講義II		2			○								
	<input type="checkbox"/> 特別講義III		1				○							
	<input type="checkbox"/> 特別講義IV		2				○							
	<input type="checkbox"/> 特別講義V		2					○						
計			38											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。又●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期又は秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

外国語科目配当表

別表III-3

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 英語I	演	1	○	○					△ 外国語科目は、卒業必修科目として英語I、英語II、英語III、英語IV、(4単位)及び選択外国語(英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語、韓国語)として4単位、計8単位以上が必修です。
<input type="checkbox"/> 英語II	演	1	○	○					△ 「フランス語」、「ドイツ語」、「イタリア語」、「中国語」、及び「韓国語」は各学科に週2回開講されるためIとII、IIIとIVを同一学期に履修すること。
<input type="checkbox"/> 英語III	演	1	○		○				※ 詳細につきましては、学部・学科より説明がありますので、その指示に従ってください。
<input type="checkbox"/> 英語IV	演	1	○			○			
<input type="checkbox"/> 英語V	演	1	○				○		
<input type="checkbox"/> 英語VI	演	1					○		
<input type="checkbox"/> 英語VII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> 英語VIII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> フランス語I	演	1			○				
<input type="checkbox"/> フランス語II	演	1			○				
<input type="checkbox"/> フランス語III	演	1			○				
<input type="checkbox"/> フランス語IV	演	1			○				
<input type="checkbox"/> フランス語V	演	1					○		
<input type="checkbox"/> フランス語VI	演	1					○		
<input type="checkbox"/> フランス語VII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> フランス語VIII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> ドイツ語I	演	1			○				
<input type="checkbox"/> ドイツ語II	演	1			○				
<input type="checkbox"/> ドイツ語III	演	1				○			
<input type="checkbox"/> ドイツ語IV	演	1				○			
<input type="checkbox"/> ドイツ語V	演	1					○		
<input type="checkbox"/> ドイツ語VI	演	1					○		
<input type="checkbox"/> ドイツ語VII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> ドイツ語VIII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> イタリア語I	演	1			○				
<input type="checkbox"/> イタリア語II	演	1			○				
<input type="checkbox"/> イタリア語III	演	1				○			
<input type="checkbox"/> イタリア語IV	演	1				○			
<input type="checkbox"/> イタリア語V	演	1					○		
<input type="checkbox"/> イタリア語VI	演	1					○		
<input type="checkbox"/> イタリア語VII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> イタリア語VIII	演	1					○		
<input type="checkbox"/> 中国語I	演	1			○				
<input type="checkbox"/> 中国語II	演	1			○				
<input type="checkbox"/> 中国語III	演	1				○			
<input type="checkbox"/> 中国語IV	演	1				○			
<input type="checkbox"/> 中国語V	演	1					○		
<input type="checkbox"/> 中国語VI	演	1						○	
<input type="checkbox"/> 中国語VII	演	1						○	
<input type="checkbox"/> 中国語VIII	演	1						○	
<input type="checkbox"/> 韓国語I	演	1			○				
<input type="checkbox"/> 韓国語II	演	1			○				
<input type="checkbox"/> 韓国語III	演	1				○			
<input type="checkbox"/> 韓国語IV	演	1				○			
<input type="checkbox"/> 韓国語V	演	1					○		
<input type="checkbox"/> 韓国語VI	演	1						○	
<input type="checkbox"/> 韓国語VII	演	1						○	
<input type="checkbox"/> 韓国語VIII	演	1						○	
計		48							

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

別表III-4

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/> スポーツと健康I	※	1	○	○									△ スポーツと健康I・IIを履修すること。	
<input type="checkbox"/> スポーツと健康II	※	1	○		○									
<input type="checkbox"/> スポーツと健康III		2												
<input type="checkbox"/> スポーツと健康IV~1	※	1												
<input type="checkbox"/> スポーツと健康IV~2	※	1												
	計		6											

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目(社会福祉学科)

別表III-5

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/> スポーツと健康I	※	1		○									△ 1)社会福祉学科で保育士資格を取得しようとする者は、基礎専門体育I・IIを履修すること。	
<input type="checkbox"/> スポーツと健康II	※	1			○								2)上記以外の学生は、スポーツと健康I・IIを履修すること。	
<input type="checkbox"/> スポーツと健康III		2												
<input type="checkbox"/> スポーツと健康IV~1	※	1												
<input type="checkbox"/> スポーツと健康IV~2	※	1												
<input type="checkbox"/> 基礎専門体育I	※	1		○										
<input type="checkbox"/> 基礎専門体育II	※	1			○									
	計		8											

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目

別表III-6

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									△ 1)情報活用演習(基礎)必修。	
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(教職)	演	1			○								2)教育職員免許状を取得しようとする者は情報活用演習(基礎)・(教職)両科目とも修得すること。	
		2												

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】注

帰国子女科目

別表III-7

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/> 日本語I	演	1		○									△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。	
<input type="checkbox"/> 日本語II	演	1			○									
<input type="checkbox"/> 日本語III	演	1				○								
<input type="checkbox"/> 日本語IV	演	1					○							
<input type="checkbox"/> 日本語V	演	1						○						
<input type="checkbox"/> 日本語VI	演	1							○					
<input type="checkbox"/> 日本の社会と歴史I		2							○					
<input type="checkbox"/> 日本の社会と歴史II		2								○				
		10												

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

心理学科 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 30 単位以上、専門教育科目 94 単位以上、計 124 単位以上です。
② 専門教育科目（B 類）の最低卒業所要単位数は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B 類）		
必修科目	選択科目	計
63	31	94

- ③ 専門教育科目（B 類）については、別表III-8 のとおり卒業必修に○の付された科目 64 単位と、選択科目（学部共通科目、基礎科目、専門科目、専修科目）を 30 単位以上履修して下さい。
- ④ 公認心理師受験資格取得に必要となる科目的履修を希望する人は、別表III-8 の「公認心理師」欄に○のついた科目すべてを履修して下さい。履修の仕方は、毎年度最初のオリエンテーションで説明します。
- ⑤ 認定心理士の資格取得を希望する人（認定心理士資格取得に必要な単位は、必修科目を履修することで満たされます）は、申請の仕方を 2 年次および 3 年次のオリエンテーションで説明します。
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、別表III-8 の「准学校心理士」欄に○のついた科目すべてを履修して下さい。履修の仕方は、毎年度最初のオリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表VIII-1、2、3、4、5 により、履修してください（卒業要件に算入することはできません）。
- ⑧ 単位を修得（成績表に S・A・B・C・N と表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単 位	卒 業 必 修	公 認 心 理 師	准 学 校 心 理 士	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学部共通科目	<input type="checkbox"/> 法学			2				○									
	<input type="checkbox"/> 社会学			2				○									
	<input type="checkbox"/> 倫理学			2				○									
	<input type="checkbox"/> 環境論			2				○									
	小計			8													
基礎科目	<input type="checkbox"/> 心理学概論			4	○	○		○									
	<input type="checkbox"/> 心理学基礎講座 I			2	○			○									
	<input type="checkbox"/> 心理学基礎講座 II			2	○			○									
	<input type="checkbox"/> 心理統計法			2	○	○				○							
	<input type="checkbox"/> 心理統計法演習	演		2	○					○							
	<input type="checkbox"/> データ解析			2	○						○						
	<input type="checkbox"/> データ解析演習	演		2	○						○						
	<input type="checkbox"/> 心理学英語講読			2							○						
	<input type="checkbox"/> 心理学英語演習	演		2							○						
	<input type="checkbox"/> 心理学研究法			2	○	○				○							
	<input type="checkbox"/> 心理学調査法			2	○					○							
	<input type="checkbox"/> 心理学実験 I	実		1	○	○				○						オムニバス	
	<input type="checkbox"/> 心理学実験 II	実		1	○	○				○							
	<input type="checkbox"/> 心理的アセスメント I			2	○	○	○					○				オムニバス	
	<input type="checkbox"/> 心理的アセスメント II	実		2	○	○	○				○						
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 I	演		1	○				○							◎通年集中 ●心理学特講 I ~VIIは 春学期または秋学期のい ずれかに配当される。諸 事情により開講時期が変 更される場合があるため 時間割を特に確認すること。	
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 II	演		1	○					○							
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略演習	演		1	○						○						
	<input type="checkbox"/> フィールド学習（目標の設定）	演		2	○			○									
	<input type="checkbox"/> フィールド学習（解決策の提案）	演		2	○				○								
	<input type="checkbox"/> フィールド学習（解決策の実行）	演		2	○					○							
	<input type="checkbox"/> フィールド学習（解決策の評価）	演		2	○						○						
	<input type="checkbox"/> 心理実習 I	実		1		○						◎	◎				
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 I			2				●	●	●	●	●	●	●	●		
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 II			2				●	●	●	●	●	●	●	●		
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 III			2				●	●	●	●	●	●	●	●		
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 IV			2				●	●	●	●	●	●	●	●		
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 V			1				●	●	●	●	●	●	●	●		
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 VI			1				●	●	●	●	●	●	●	●		
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 VII			1				●	●	●	●	●	●	●	●		
	<input type="checkbox"/> 心理学特講 VIII			1				●	●	●	●	●	●	●	●		
	小計			54	37	15	4										

心理学科 専門教育科目

別表III-8

区分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	公認心理師	准学校心理士	履修年次						備考		
								1		2		3				
								春	秋	春	秋	春	秋			
専 門 科 目	<input type="checkbox"/> 障害者・障害児心理学			2		○	○					○				
	<input type="checkbox"/> 学習・言語心理学			2	○	○			○							
	<input type="checkbox"/> 知覚・認知心理学			2	○	○				○						
	<input type="checkbox"/> 応用認知心理学			2						○						
	<input type="checkbox"/> 神経・生理心理学			2		○			○							
	<input type="checkbox"/> 心理学ゼミ	演		2	○							○				
	<input type="checkbox"/> 心理学特別ゼミ	演		2	○							○				
	<input type="checkbox"/> 卒業論文			4	○								○	○		
	<input type="checkbox"/> 心理学論文講読			2	○									○		
	<input type="checkbox"/> 心理学論文講読演習	演		2	○									○		
	<input type="checkbox"/> 臨床心理学概論			2	○	○				○						
	<input type="checkbox"/> 社会・集団・家族心理学 I			2	○	○			○							
	<input type="checkbox"/> 社会・集団・家族心理学 II			2	○	○			○							
	<input type="checkbox"/> 感情・人格心理学			2	○	○			○							
	<input type="checkbox"/> 発達心理学 I			2	○	○	○		○							
	<input type="checkbox"/> 精神疾患とその治療			2		○			○							
	<input type="checkbox"/> 健康・医療心理学			2		○						○				
	<input type="checkbox"/> 心理学史			2										○		
	<input type="checkbox"/> 人体の構造と機能及び疾病			2		○			○							
	<input type="checkbox"/> 公認心理師の職責			2		○			○							
心 理 修 支 援	<input type="checkbox"/> カウンセリング特講			2								○				
	<input type="checkbox"/> 心理学的支援法			2		○	○				○					
	<input type="checkbox"/> 心理演習	演		2		○					○					
	<input type="checkbox"/> 心理実習 II	演		1		○						◎	◎	◎通年集中		
教 育 修 發 達	<input type="checkbox"/> 教育・学校心理学			2		○	○					○				
	<input type="checkbox"/> 福祉心理学			2		○	○				○					
	<input type="checkbox"/> 教育心理学			2						○						
	<input type="checkbox"/> 発達心理学 II			2		○	○				○					
危 機 修 管 理	<input type="checkbox"/> 危機管理論			2								○				
	<input type="checkbox"/> ストレス心理学			2						○						
	<input type="checkbox"/> 司法・犯罪心理学			2		○				○						
	<input type="checkbox"/> 関係行政論			2		○					○					
家 族 修 支 援	<input type="checkbox"/> 家族臨床心理学			2							○					
	<input type="checkbox"/> 老年心理学			2								○				
	<input type="checkbox"/> ジェンダー論			2				○								
	<input type="checkbox"/> 家族心理学特講			2						○						
産 業 修 組 織	<input type="checkbox"/> 産業・組織心理学			2		○							○			
	<input type="checkbox"/> 人間関係論			2							○					
	<input type="checkbox"/> 社会心理学特講			2						○						
	<input type="checkbox"/> メンタルヘルス論			2						○						
	小計			81	26	43	12									
	計			143	63	58	16									

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 心理学科 力りキュラムマップ

心理學とキリスト教の福音宣傳

聖徳大学心理・福祉学部 心理学科 学びで得られる成果（Learning Outcomes）

心理学スキルをグローバルなフィールドで活用できる女性を目指して

教育目標	【心理学を学ぶ基礎を身につけよう】			【学問としての心理学を知ろう】			【心理学の専門性を高めよう】			【心理学を生活に活かそう】		
	1年次春学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期	
心の動きと多様性を学び、人間を複眼的に見ることにより、広い視野を育成する。	心理学を学習するためのスキルを身につける。	基礎的な心の働きについて説明できる	複数の心理学分野の視点から心の働きを説明するこができる	心理学の専門性について説明できる	実践に応用できる	心理学論理について歴史的背景を説明できる	心理学諸理論の歴史的背景について説明できる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	
心のケアを必要とする人を支援する基本的技能を育成する。	心理学を身につける。	心と体の仕組みについて説明でき、専門家としての心得が身についている	心を取り巻く諸問題について説明するこができる	援助場面における実践に必要な、心のカスクルを獲得している	実践に応用できる	心理学論理について歴史的背景を説明できる	心理学諸理論の歴史的背景を説明できる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	
自分と相手双方に配慮できる対人コミュニケーション能力を育成する。	心理学を身につける。	多様な価値観や立場があることを理解している	人間関係の多様性に関する知識が身についている	非日常場面において他者と協力して学び、相互に配慮できる	実践に応用できる	心理学論理について歴史的背景を説明できる	心理学諸理論の歴史的背景を説明できる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	
物事の真意を検証する実証的態度を育成する。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学研究の方法論を理解してデータに基づいた論理的説明ができる	心理学研究の方法論を理解してデータに基づいた計画に基づいて共同研究活動を遂行できる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	
科学的情報用いて考えを説明する情報リテラシー	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	統計学スキルを獲得し、数的根拠に基づいた推論や説明ができる	統計ソフトウェアを活用しながら、実践的な研究データの解釈と説明ができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学修成果	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	
日常生活から未解決課題を見出し、解決策を立案・実行する力を育成する。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	身边は事例から自己の興味に基づく課題を見出しうることができる	他者と協働しながら、見出した課題の解決策を探り提案できる	多様な心理的課題を見出しうことができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	
グローバル社会に生きる語学力を養い、多様な視点から対人交流できる力をつける	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	基礎的な英語スキルを獲得し、文法事項を理解できる	より実践的な英語スキルを獲得し、多様な視点から対人交流できる	心理学に習熟し、英語文献の内容を理解説明できる	高度な英語スキルを獲得し、実践的なコミュニケーションに活用できる	豊かな感性を持ち多様な価値観を理解しながら活躍する素養を身につけていく。	豊かな感性を持ち多様な価値観を理解しながら活躍する素養を身につけていく。	
キャリアをデザインする	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	論理的思考力を備え、課題の本質を把握しながら、自ら学ぶ姿勢を獲得している	日本の文化を知り、しきたりを理解する事が出来る	心理学に習熟し、英語文献の内容を理解説明できる	高度な英語スキルを獲得し、実践的なコミュニケーションに活用できる	自身の学びや他者の進歩に基づいて解説策を提案実行できる	自身の学びや他者の進歩に基づいて解説策を提案実行できる	
大学での学びを理解し、心理学の全体像を説明することができる	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学を身につける。	心理学の学びを理解し、心理学の全体像を説明することができる	心理学の学びを理解し、心理学の全体像を説明することができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	心理学の基礎領域を学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる	自己理解や職業理解を深め、キャリア形成について認識している	自己理解や職業理解を深め、キャリア形成について認識している	

心理学科 メンタルヘルス・マネジメント検定取得 履修モデル
(産業組織専修+危機管理専修)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 教養科目 教養科目
科目数	5	5	4	4
必修科目	心理学概論 心理学基礎講座 I 心理学基礎講座 II フィールド学習（目標の設定） 社会・集団・家族心理学 I 社会・集団・家族心理学 II 感情・人格心理学	キャリア戦略 I フィールド学習（解決策の提案） 学習・言語心理学 発達心理学 I	心理統計法 心理学研究法 心理学実験 I キャリア戦略 II フィールド学習（解決策の実行） 知覚・認知心理学 臨床心理学概論	心理統計法演習 心理学調査法 心理学実験 II フィールド学習（解決策の評価） キャリア戦略演習
科目数	7	4	7	5
選択科目	社会学	法学 倫理学 環境論 神経・生理心理学	ストレス心理学 司法・犯罪心理学 メンタルヘルス論 社会心理学特講	応用認知心理学 心理学の支援法 人間関係論
科目数	1	4	4	3
科目数計	13	13	15	12

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
必修科目	データ解析 心理的アセスメント I 心理的アセスメント II 心理学ゼミ	データ解析演習 心理学特別ゼミ	卒業論文 心理学論文講読	卒業論文 心理学論文講読演習
科目数	1	1	1	1
選択科目	4	2	2	2
科目数	2	3	0	0
科目数計	7	6	3	3

心理学科 公認心理師受験資格取得 履修モデル
(心理支援専修+教育発達専修)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語I スポーツと健康I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語II スポーツと健康II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語III 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	5	5	4	4
必修科目	心理学概論 心理学基礎講座I 心理学基礎講座II フィールド学習（目標の設定） 社会・集団・家族心理学I 社会・集団・家族心理学II 感情・人格心理学	キャリア戦略I フィールド学習（解決策の提案） 学習・言語心理学 発達心理学I	心理統計法 心理学研究法 心理学実験I キャリア戦略II フィールド学習（解決策の実行） 知覚・認知心理学 臨床心理学概論	心理統計法演習 心理学調査法 心理学実験II フィールド学習（解決策の評価） キャリア戦略演習
科目数	7	4	7	5
選択科目	社会学 精神疾患とその治療	環境論 神経・生理心理学 人体の構造と機能及び疾病 公認心理師の職責	司法・犯罪心理学	心理学的支援法 福祉心理学 教育心理学
科目数	2	4	1	3
科目数計	14	13	12	12

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
必修科目	データ解析 心理的アセスメントI 心理的アセスメントII 心理学ゼミ	データ解析演習 心理学特別ゼミ	卒業論文 心理学論文講読	卒業論文 心理学論文講読演習
科目数	4	2	2	2
選択科目	心理学英語講読 カウンセリング特講 心理演習 発達心理学II 関係行政論 心理実習I	心理学英語演習 障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 教育・学校心理学 産業・組織心理学 心理実習I	心理実習II	心理実習II
科目数	6	6	1	1
科目数計	11	9	4	4

社会福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）96単位以上、計126単位以上です。

②社会福祉コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
35	61	96

③社会福祉コースの専門教育科目（B類）については別表III-9の通り卒業必修欄に○印の付いている科目35単位と選択科目から61単位以上を履修してください。

④高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得しようとする者は、高一免（福祉）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-13、14に記載の通り履修してください（III-14の科目は卒業要件に算入できません）。

⑤養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目（B類）に記載の養護教諭欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-15、16に記載の通り履修してください（III-16の科目は卒業要件に算入できません）。

⑥社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。

⑦精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。

⑧保育士の資格を取得しようとする者は、保育士欄に○印と△印の付いている科目を履修してください。なお、△印についている科目については、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）あるいは保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）いずれかの組合せを選択し履修してください。

⑨准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。

⑩図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表VIII-1、2、3、4、5により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。

⑪単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

社会福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目(B類)

別表III-9

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	養護教諭	履修年次								備考	
										1		2		3		4			
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 法学			2	○							○								
<input type="checkbox"/> 社会学			2	○	○	○						○							
<input type="checkbox"/> 倫理学			2	○							○								
<input type="checkbox"/> 環境論			2															○	
<input type="checkbox"/> 社会福祉学Ⅰ			2	○	○	○	○	○	○		○								
<input type="checkbox"/> 社会福祉学Ⅱ			2		○	○	○	○			○								
<input type="checkbox"/> 社会保障論Ⅰ			2		○	○						○							
<input type="checkbox"/> 社会保障論Ⅱ			2		○	○						○							
<input type="checkbox"/> 諸外国の社会福祉Ⅰ			2	○			○					○							
<input type="checkbox"/> 諸外国の社会福祉Ⅱ			2	○			○					○							
<input type="checkbox"/> 社会福祉演習	演		2	○											○	○			
<input type="checkbox"/> 卒業論文			3	○													○	○	
<input type="checkbox"/> 社会調査法Ⅰ			2	○	○	○						○							
<input type="checkbox"/> 社会調査法Ⅱ			2	○	○	○						○							
<input type="checkbox"/> 保健医療制度論			2		○	○											○		
<input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーク論			2														○		
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの基盤と専門職			2		○	○						○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)			2		○	○						○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			2		○							○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			2		○							○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ			2		○							○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ			2		○							○							
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術総論Ⅰ			2				○					○							
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術総論Ⅱ			2				○					○							
<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ	演	1	○									○							
<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ	演	1	○									○							
<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅰ			2									○							
<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅱ			2									○							
<input type="checkbox"/> 保育者論			2									○							
<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅰ	演	2										○							
<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅱ	演	1										○							
<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅰ			2									○							
<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅱ	演	1										○							
<input type="checkbox"/> 福祉計画論			2		○	○											○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉運営管理論			2		○												○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉行政財政論			2		○	○											○		
<input type="checkbox"/> 介護概論Ⅰ			2		○	○						○					○		
<input type="checkbox"/> 介護概論Ⅱ			2		○							○							
<input type="checkbox"/> 介護技術	演	1										○						○	
<input type="checkbox"/> 児童福祉学Ⅰ			2	○	○	○	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 児童福祉学Ⅱ			2		○												○		
<input type="checkbox"/> 地域福祉論Ⅰ			2		○	○											○		
<input type="checkbox"/> 地域福祉論Ⅱ			2		○	○											○		
<input type="checkbox"/> 公的扶助論			2		○	○											○		
<input type="checkbox"/> 障害福祉論Ⅰ			2		○	○	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 障害福祉論Ⅱ			2		○	○						○							
<input type="checkbox"/> 障害児保育	演	2										○					○		
<input type="checkbox"/> 高齢者福祉論Ⅰ			2		○		○										○		
<input type="checkbox"/> 高齢者福祉論Ⅱ			2		○												○		
<input type="checkbox"/> 就労支援論			2		○												○		
<input type="checkbox"/> 更生保護制度論			2		○												○		
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉の原理Ⅰ			2			○											○		
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉の原理Ⅱ			2			○											○		
<input type="checkbox"/> 精神障害リハビリテーション論			2			○											○		
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉制度論			2			○											○		
<input type="checkbox"/> ソーシャルワーク演習	演	1		○	○												○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習Ⅰ	演	1		○													○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習Ⅱ	演	2		○													◎		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習Ⅲ	演	1		○													○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習	実	6		○		○		○									○	○	
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1		○		○		○									○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1		○		○		○									○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1		○		○		○									○		

社会福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目(B類)

別表III-9

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	養護教諭	履修年次								備考	
										1		2		3		4			
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
□ 精神保健福祉援助演習(基礎)	演	1			○							○							
□ 精神保健福祉援助演習Ⅰ	演	1			○								○						
□ 精神保健福祉援助演習Ⅱ	演	1			○								○						
□ 精神保健福祉援助演習Ⅲ	演	1			○													○	
□ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1			○								○						
□ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1			○								○						
□ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1			○								○						
□ 精神保健福祉援助実習	実	5			○											○	○		
□ 保育内容総論	演	1				○			○										
□ 保育内容指導法Ⅰ	演	1				○							○						健康
□ 保育内容指導法Ⅱ	演	1				○							○						健康
□ 保育内容指導法Ⅲ	演	1				○							○						人間関係
□ 保育内容指導法Ⅳ	演	1				○							○						人間関係
□ 保育内容指導法Ⅴ	演	1				○							○						環境
□ 保育内容指導法Ⅵ	演	1				○							○						環境
□ 保育内容指導法Ⅶ	演	1				○							○						言葉
□ 保育内容指導法Ⅷ	演	1				○							○						言葉
□ 保育内容指導法Ⅸ	演	1				○								○					音楽
□ 保育内容指導法Ⅹ	演	1				○									○				音楽
□ 保育内容指導法Ⅺ	演	1				○									○				造形
□ 保育内容指導法Ⅻ	演	1				○									○				造形
□ 保育課程論		2				○							○						
□ 子育て支援	演	1				○									○				
□ 保育実習Ⅰ(保育所)	実	2				○									○				保育所実習(必修)
□ 保育実習Ⅰ(施設)	実	2				○									○				施設実習(必修)
□ 保育実習Ⅱ(保育所)	実	2				△									○				保育所実習(選択)
□ 保育実習Ⅲ(施設)	実	2				△									○				施設実習(選択)
□ 保育実習指導Ⅰ	演	2				○									○				事前・事後指導(必修)
□ 保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1				△									○				事前・事後指導(選択)
□ 保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1				△									○				事前・事後指導(選択)
□ 保育技能Ⅰ	実	2				○			○		○	○	○	○					音楽実技
□ 保育技能Ⅱ	実	2				○									○	○	○	○	音楽実技
□ 保育技能Ⅲ	演	1				○													音楽理論
□ 保育技能Ⅳ	演	1				○													音楽理論
□ 保育技能Ⅴ	演	1				○													図画工作
□ 保育技能Ⅵ	演	1				○													図画工作
□ 保育技能Ⅶ	演	1				○									○				専門体育
□ 保育技能Ⅷ	演	1				○									○				専門体育
□ 保育技能Ⅸ	演	1				○									○				児童文化
□ 保育技能Ⅹ	演	1				○												○	児童文化
□ 保育技能Ⅺ	演	1				○												○	児童文化
□ 保育実践演習	演	2				○												○	
□ 介護実習Ⅰ	実	2				○											○		
□ 医学一般Ⅰ		2	○	○	○	○	○						○						
□ 医学一般Ⅱ		2	○	○	○	○	○						○						
□ こころとからだのしくみⅠ		2				○							○						
□ こころとからだのしくみⅡ		2				○							○						
□ 精神医学Ⅰ		2				○							○						
□ 精神医学Ⅱ		2				○							○						
□ 精神保健学Ⅰ		2				○							○						
□ 精神保健学Ⅱ		2				○							○						
□ 子どもの保健		2				○							○						
□ 子どもの健康と安全	実	1				○											○		
□ 養護概説		2				○							○						
□ 学校保健Ⅰ		2				○							○						
□ 学校保健Ⅱ		2				○							○						
□ 健康相談活動		2				○							○						
□ 健康科学		2				○							○						
□ 衛生学		2				○							○						
□ 公衆衛生学		2				○							○						
□ 免疫学		2				○							○						
□ 解剖生理学		2				○							○					○	

社会福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目(B類)

別表III-9

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	養護教諭	履修年次								備考	
										1		2		3		4			
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 基礎看護			2						○	○									
<input type="checkbox"/> 小児看護			2						○		○								
<input type="checkbox"/> 成人看護			2						○		○								
<input type="checkbox"/> 学校救急看護			2						○		○								
<input type="checkbox"/> 精神看護			2						○			○							
<input type="checkbox"/> 看護実習	実		1						○				○						
<input type="checkbox"/> 精神保健			2						○			○							
<input type="checkbox"/> 母性保健			2						○				○						
<input type="checkbox"/> 心理学			2	○	○	○	○			○									
<input type="checkbox"/> 保育の心理学			2						○		○								
<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援の心理学	演		2						○			○							
<input type="checkbox"/> 子どもの理解と援助	演		1						○			○							
<input type="checkbox"/> 発達心理学I			2							○								★	
<input type="checkbox"/> 発達心理学II			2								○							★	
<input type="checkbox"/> 教育心理学			2									○							
<input type="checkbox"/> 家族援助論			2						○				○						
<input type="checkbox"/> 栄養学			2						○				○						
<input type="checkbox"/> 食品学			2						○			○							
<input type="checkbox"/> 子どもの食と栄養			2						○				○						
<input type="checkbox"/> 権利擁護と成年後見制度			2		○	○							○						
<input type="checkbox"/> 教育原理			2						○			○						★	
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論I			2																
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論II			2																
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論III			2																
	計				35	80	71	40	72	37									

備考欄の★の科目は、発達心理学I=発達心理学、教育心理学=教育心理学、教育原理=教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することができます。

保育実習II(保育所)・保育実習指導II(保育士)または保育実習III(施設)・保育実習指導III(施設)いずれかの組合せを選択すること。

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 社会福祉コース カリキュラムマップ

1年次春学期		1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期	
福祉の世界をひいてみよう		福祉の専門的知識を身につけよう		福祉の専門性を理解しよう					
実践的能力を養う	対人援助・学校保健等の理論を学び、技能を身につける	社会福祉・学校保健の専門的な知識を学ぶ	ソーシャルワークの基礎と専門職 ソーシャルワークの基礎と専門職（専門）	ソーシャルワークの理論と方法 I ソーシャルワークの理論と方法 II	ソーシャルワークの理論と方法 I ソーシャルワークの理論と方法 II	ソーシャルワークの理論と方法 I ソーシャルワークの理論と方法 II	ソーシャルワークの理論と方法 I ソーシャルワークの理論と方法 II	ソーシャルワークの理論と方法 I ソーシャルワークの理論と方法 II	
				保育技術 I 保育技術 III 保育内容総論	保育技術 I 保育技術 IV 保育技術 V	保育技術 I 保育内容指導法 I 保育内容指導法 III 保育内容指導法 V 保育内容指導法 VII	保育技術 I 保育内容指導法 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VI 保育内容指導法 VIII	保育技術 I 保育内容指導法 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VI 保育内容指導法 VIII	
				社会福祉実習 I 看護実習 看護実習と安全	社会福祉実習 I (保育所・施設) 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II (施設) 精神保健福祉技術指導 II (施設)	社会福祉実習 I 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II (施設) 精神保健福祉技術指導 II (施設)	社会福祉実習 I 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II 精神保健福祉技術指導 III	社会福祉実習 I 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II 精神保健福祉技術指導 III	
				社会福祉演習 保育実習指導 I 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II (施設) 精神保健福祉技術指導 III	社会福祉演習 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II 精神保健福祉技術指導 III	社会福祉演習 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II 精神保健福祉技術指導 III	社会福祉演習 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II 精神保健福祉技術指導 III	社会福祉演習 精神保健福祉技術指導 I 精神保健福祉技術指導 II 精神保健福祉技術指導 III	
				卒業論文	卒業論文	卒業論文	卒業論文	卒業論文	
				社会の課題解決に貢献できる福祉・教育職					

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 社会福祉コース 学びで得られる成果（Learning Outcomes）

	1年次春学期 福祉の世界をのぞいてみよう	1年次秋学期 福祉の専門的知識を身につけよう	2年次春学期 福祉の専門性を理解しよう	2年次秋学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	3年次春学期 福祉の専門性を理解しよう	3年次秋学期 福祉の専門性を理解しよう	4年次春学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	4年次秋学期 福祉実践者としての総合力を高めよう
実践能力を養う								学位授与の方針に掲げる学修成果
対人援助・学 校保健等の理 技を身につける	社会福祉の基礎的な知識を学ぶ	社会福祉実践に關わる理論・ 方法を説明できる	個人の尊厳を重視した支援が できる能力を示している	社会福祉実践等と政策の連関 的な取り組みを説明できる	福社ニーズ等に応じた支援方 法を説明できる	個人の尊厳を重視した支援が できる能力を示している	支援の展開にあたって多機 関・多職種とのチームアブ ローチを理解し実践する能力 を示している	他業種間の連携を図り、 地域社会づくりなど社会貢献が できる
人間性を高める	社会福祉の基礎的な知識を学ぶ	社会福祉実践に關わる理論・ 方法を説明できる	差別や社会的排除等の社会的 問題を説明できる	福社課題について解決策をブ レゼンテーションすることができる	GPA	GPA/コシビテシスアセメントシート	GPA/実習報告会	GPA/自己評価シート
教育目標	社会福祉に関する基礎を学ぶ	社会の多様性を受け入れ、尊重す ることができる	利用者・住民の特性をひもめた福 祉課題を発見することができる	情操豊かで円満な女性として振 舞うことができる	社会福祉の基礎的な知識を有している	社会の多様性を受け入れ、尊重す ることができる	あらゆる場面において「和」の 精神を発揮することができる	4年次
	1年次	2年次	社会福祉の専門的知識を学ぶ	GPA/自己評価シート	GPA/SD Chart	GPA/自己評価シート	GPA/自己評価シート	3年次
			社会福祉専門職としての資質・能力を高める					社会福祉専門職としての資質・能力を高める

社会福祉学科 社会福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(社会福祉士・精神保健福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 第2外国語III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
社会福祉、精神保健福祉	ソーシャルワークの基盤と専門職 介護概論 I	社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） 介護概論 II	社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 社会福祉行政財論 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 精神保健福祉の原理 I 精神医学 I 精神保健学 I	社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 精神保健福祉の原理 II 精神医学 II 精神保健学 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	2	3	8	10
科目数計	10	12	17	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
社会福祉、精神保健福祉	保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） I 地域福祉論 I 公的扶助論 精神障害リハビリテーション論 ソーシャルワーク演習 社会福祉援助技術演習 I 精神保健福祉援助演習（基礎）	福祉計画論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） II 地域福祉論 II 更生保護制度論 精神保健福祉制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 精神保健福祉援助演習 I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I	社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 精神保健福祉援助演習 II 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 II	社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 精神保健福祉援助演習 III 精神保健福祉援助実習指導 III
科目数	8	10	6	5
科目数計	10	11	7	6

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 幼保基礎専門体育 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I 幼保基礎専門体育 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 第2外国語III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
社会福祉、保育士	ソーシャルワークの基盤と専門職 介護概論 I 保育原理 I 保育者論 保育内容総論 保育技能 I 保育技能 III	社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） 介護概論 II 乳児保育 I 保育技能 I 保育技能 IV 保育の心理学 I 教育原理	社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 社会福祉行政政策論 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 乳児保育 II 保育内容指導法 I 保育内容指導法 III 保育内容指導法 V 保育内容指導法 VII 保育課程論 保育技能 I 保育技能 V 保育技能 VII 子どもの保健 子ども家庭支援の心理学	社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 権利擁護と成年後見制度 社会的養護 保育内容指導法 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VI 保育技能 I 保育技能 VI 保育技能 VIII 子どもの理解と援助
科目数	7	8	16	16
科目数計	15	17	25	23

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
社会福祉、保育士	保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） I 地域福祉論 I 公的扶助論 社会福祉援助技術演習 I 社会の養護内容 障害児保育 I 保育内容指導法 IX 保育内容指導法 X I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習指導 I 保育技能 II 保育技能 IX 子どもの食と栄養 家族援助論 子どもの健康と安全	福祉計画論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） II 地域福祉論 II 更正保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 障害児保育 II 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 保育相談支援 保育実習 II または III 保育実習指導 II または III 保育技能 II 保育技能 X	社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 保育技能 II 保育技能 X I	社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 保育技能 II 保育実践演習
科目数	16	15	5	5
科目数計	18	16	6	6

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
社会福祉、養護教諭	ソーシャルワークの基盤と専門職 介護概論 I 学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） 介護概論 II 養護概説 小児看護 成人看護	社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 社会福祉行財政論 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導論	社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 権利擁護と成年後見制度 学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談
科目数	5	6	14	16
科目数計	13	15	23	23

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
社会福祉、養護教諭	保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） I 地域福祉論 I 公的扶助論 ソーシャルワーク演習 I 看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習	福祉計画論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） II 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 母性保健 教育社会学	社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 免疫学	社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 教職実践演習（養護教諭）
科目数	9	8	4	4
科目数計	11	9	5	5

社会福祉学科 介護福祉コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）96単位以上、計126単位以上です。

②介護福祉コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
35	61	96

③介護福祉コースの専門教育科目（B類）については別表III-10の通り卒業必修欄に○印の付いている科目35単位と選択科目から61単位以上を履修してください。

④介護福祉士受験資格を取得しようとする者は、介護福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。

⑤高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得しようとする者は、高一免（福祉）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-13、14に記載の通り履修してください（III-14の科目は卒業要件に算入できません）。

⑥養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目（B類）に記載の養護教諭欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-15、16に記載の通り履修してください（III-16の科目は卒業要件に算入できません）。

⑦社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。

⑧精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。

⑨准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。

⑩図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表VII-1、2、3、4、5により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。

⑪単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

社会福祉学科 介護福祉コース 専門教育科目(B類)

別表III-10

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	介護福祉士	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	養護教諭	履修年次								備考	
										1		2		3		4			
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 法学			2	○	○						○								
<input type="checkbox"/> 社会学			2	○	○	○	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 倫理学			2	○	○						○								
<input type="checkbox"/> 環境論			2															○	
<input type="checkbox"/> 社会福祉学Ⅰ			2	○	○	○	○	○	○		○								
<input type="checkbox"/> 社会福祉学Ⅱ			2			○	○	○			○								
<input type="checkbox"/> 社会保障論Ⅰ			2			○	○					○							
<input type="checkbox"/> 社会保障論Ⅱ			2			○	○					○							
<input type="checkbox"/> 諸外国の社会福祉Ⅰ			2	○					○			○							
<input type="checkbox"/> 諸外国の社会福祉Ⅱ			2	○				○				○							
<input type="checkbox"/> 社会福祉演習		演	2	○										○	○				
<input type="checkbox"/> 卒業論文			3	○										○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 社会調査法Ⅰ			2	○	○	○	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 社会調査法Ⅱ			2	○		○	○					○							
<input type="checkbox"/> 保健医療制度論			2			○	○								○				
<input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーク論			2															○	
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの基盤と専門職			2			○	○				○								
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)			2			○	○				○								
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			2			○						○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			2			○						○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ			2			○						○							
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ			2			○						○							
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術総論Ⅰ			2		○			○			○								
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術総論Ⅱ			2				○				○								
<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ		演	1	○							○								
<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ		演	1	○							○								
<input type="checkbox"/> 福祉計画論			2			○	○										○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉運営管理論			2			○								○					
<input type="checkbox"/> 社会福祉行政財政論			2			○	○						○						
<input type="checkbox"/> 介護概論Ⅰ			2		○	○			○		○								
<input type="checkbox"/> 介護概論Ⅱ			2		○	○					○								
<input type="checkbox"/> 介護福祉専門職論Ⅰ			2		○													○	
<input type="checkbox"/> 介護福祉専門職論Ⅱ			2		○									○					
<input type="checkbox"/> 介護福祉専門職論Ⅲ			2		○									○					
<input type="checkbox"/> セーフティマネジメント論			2		○								○						
<input type="checkbox"/> 介護技術		演	1					○										○	
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅰ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅱ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅲ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅳ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅴ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅵ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅶ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅷ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅸ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 生活支援技術Ⅹ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 介護におけるコミュニケーションの基本Ⅰ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 介護におけるコミュニケーションの基本Ⅱ		演	1		○						○								
<input type="checkbox"/> 介護過程Ⅰ		演	1		○									○					
<input type="checkbox"/> 介護過程Ⅱ		演	1		○									○					
<input type="checkbox"/> 介護過程Ⅲ		演	1		○									○					
<input type="checkbox"/> 介護事例研究Ⅰ		演	1		○												○		
<input type="checkbox"/> 介護事例研究Ⅱ		演	1		○												○		
<input type="checkbox"/> 介護福祉管理論		演	1		○									○					
<input type="checkbox"/> 児童福祉学Ⅰ			2	○	○	○		○					○						
<input type="checkbox"/> 児童福祉学Ⅱ			2			○							○						
<input type="checkbox"/> 地域福祉論Ⅰ			2			○	○						○						
<input type="checkbox"/> 地域福祉論Ⅱ			2			○	○						○						
<input type="checkbox"/> 公的扶助論			2			※	○	○									○		
<input type="checkbox"/> 障害福祉論Ⅰ			2			○	○	○					○						
<input type="checkbox"/> 障害福祉論Ⅱ			2			○	○	○					○						
<input type="checkbox"/> 高齢者福祉論Ⅰ			2			○	○		○				○						
<input type="checkbox"/> 高齢者福祉論Ⅱ			2			○	○						○						
<input type="checkbox"/> 就労支援論			2			○								○					
<input type="checkbox"/> 更生保護制度論			2			○											○		
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉の原理Ⅰ			2				○						○						
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉の原理Ⅱ			2				○						○						
<input type="checkbox"/> 精神障害リハビリテーション論			2				○						○						
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉制度論			2				○							○					
<input type="checkbox"/> ソーシャルワーク演習		演	1			○	○							○					

※下記参照

社会福祉学科 介護福祉コース 専門教育科目(B類)

別表III-10

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	介護福祉士	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	養護教諭	履修年次								備考	
										1		2		3		4			
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習 I	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習 II	演	2			○											◎			
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習 III	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習	実	6			○		○									○	○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導 I		1			○		○									○			
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導 II		1			○											○			
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導 III		1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習(基礎)	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習 I	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習 II	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習 III	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習指導 I		1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習指導 II		1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習指導 III		1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習	実	5			○											○	○		
<input type="checkbox"/> 介護実習 I	実	2			○		○									○	○		
<input type="checkbox"/> 介護実習 II	実	2			○											○	○		
<input type="checkbox"/> 介護実習 III	実	2			○											○	○		
<input type="checkbox"/> 介護実習 IV	実	4			○											○			
<input type="checkbox"/> 介護総合演習 I	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 介護総合演習 II	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 介護総合演習 III	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 介護総合演習 IV	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 医学一般 I		2	○	○	○	○	○	○			○								
<input type="checkbox"/> 医学一般 II		2	○	○	○	○	○	○			○								
<input type="checkbox"/> こころとからだのしくみ I		2			○				○							○			
<input type="checkbox"/> こころとからだのしくみ II		2			○				○							○			
<input type="checkbox"/> 医療的ケア I		2			○											○			
<input type="checkbox"/> 医療的ケア II		2			○											○			
<input type="checkbox"/> 医療的ケア III		2			○											○			
<input type="checkbox"/> 医療的ケア IV	演	1			○											○			
<input type="checkbox"/> 精神医学 I		2					○									○			
<input type="checkbox"/> 精神医学 II		2					○									○			
<input type="checkbox"/> 精神保健学 I		2					○									○			
<input type="checkbox"/> 精神保健学 II		2					○									○			
<input type="checkbox"/> 養護概説		2							○							○			
<input type="checkbox"/> 学校保健 I		2							○							○	○		
<input type="checkbox"/> 学校保健 II		2							○							○	○		
<input type="checkbox"/> 健康相談活動		2							○							○	○		
<input type="checkbox"/> 健康科学		2							○							○	○		
<input type="checkbox"/> 衛生学		2							○							○	○		
<input type="checkbox"/> 公衆衛生学		2							○							○	○		
<input type="checkbox"/> 免疫学		2							○								○		
<input type="checkbox"/> 解剖生理学		2							○										
<input type="checkbox"/> 基礎看護		2							○										
<input type="checkbox"/> 小児看護		2							○										
<input type="checkbox"/> 成人看護		2							○										
<input type="checkbox"/> 学校救急看護		2							○										
<input type="checkbox"/> 精神看護		2							○										
<input type="checkbox"/> 看護実習	実	1							○							○	○		
<input type="checkbox"/> 精神保健		2							○							○			
<input type="checkbox"/> 母性保健		2							○								○		
<input type="checkbox"/> 心理学		2	○	○	○	○	○	○	○									★	
<input type="checkbox"/> 発達心理学 I		2														○		★	
<input type="checkbox"/> 発達心理学 II		2														○		★	
<input type="checkbox"/> 教育心理学		2														○			
<input type="checkbox"/> 高齢者の心理		2														○			
<input type="checkbox"/> 障害者の心理		2														○			
<input type="checkbox"/> 家族援助論		2														○			
<input type="checkbox"/> 栄養学		2														○			
<input type="checkbox"/> 食品学		2														○			
<input type="checkbox"/> 権利擁護と成年後見制度		2							○							○			
<input type="checkbox"/> 教育原理		2														○		★	
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論 I		2														○			
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論 II		2															○		
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論 III		2															○		
計					35	87	80	71	40	37									
卒必と合わせた単位数					92	95	85	55	66										

I ~1 デイサービス
 I ~2 特別養護老人ホーム
 II 障害者支援施設
 III 介護老人保健施設
 IV 特別養護老人ホーム

備考欄の★の科目は、発達心理学 I = 発達心理学、教育心理学 = 教育心理学、教育原理 = 教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することができます。

※「公的扶助論」生活保護法等重要な法条を学ぶ必要があるため、可能な限り履修してください。

【授業の方法】演:演習・実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース 学びで得られる成果（Learning Outcomes）

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース 学びで得られる成果（Learning Outcomes）

教育目標	社会福祉に関する基礎を学ぶ	1年次春学期 福祉の世界をのぞいてみよう		2年次春学期 福祉の専門的知識を身につけよう		3年次春学期 福祉の専門性を理解しよう		4年次春学期 福祉実践者としての総合力を高めよう		4年次秋学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	GPA/自己評価シート
		1年次春学期 福祉の世界をのぞいてみよう	2年次春学期 福祉の専門的知識を身につけよう	3年次春学期 福祉の専門性を理解しよう	4年次春学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	3年次秋学期 福祉の専門性を理解しよう	4年次秋学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	3年次秋学期 福祉の専門性を理解しよう	4年次秋学期 福祉実践者としての総合力を高めよう		
実践能力を養う	対人援助・学 校保健等の理 学校保健等を身につける	介護福祉実践に応じた支援 方法を説明できる	介護福祉ニーズに応じた支援 方法を説明できる	個人の尊厳を重視した支援ができる能力を示している	介護福祉実践と政策の連関的な取り組みを説明できる	介護福祉実践してより良い共生 社会を築くための役割を示している	介護福祉実践してより良い共生 社会を築くための役割を示している	介護福祉実践と政策の連関的な取り組みを説明できる	介護福祉実践してより良い共生 社会を築くための役割を示している	他業種間の連携を図り、他地域社会につくるべき社会貢献が	学位授与の方針に掲げる学修成果
対人援助・学 校保健等の理 学校保健等を身につける	社会福祉・学 校保健の基礎を学ぶ	社会福祉実践に闇わる理論・ 方法を説明できる	社会福祉実践に闇わる理論・ 方法を説明できる	差別や社会的排除等の社会的 問題を説明できる	介護福祉課題について解決策 をブレゼンテーションするこ とができる	介護福祉・学 校保健の基礎を学ぶ	介護福祉・学 校保健の基礎を学ぶ	介護福祉課題について解決策 をブレゼンテーションするこ とができる	介護福祉課題について解決策 をブレゼンテーションするこ とができる	社会福祉の実践場面で福 女性の立場から生活の視 点を持ち、個々人の福 祉・教育ニーズに応じた サービスを実践する能 力を示している	他業種間の連携を図り、他地域社会につくるべき社会貢献が
対人援助・学 校保健等の理 学校保健等を身につける	人間性を高める	介護福祉実践に闇わる倫理を説明できる	介護福祉実践に闇わる倫理を説明できる	利用者の特性をふまえた介護福祉 課題を発見することができる	介護福祉実践に必要な教養を身につけている	介護福祉の基礎的な知識を有している	介護福祉の基礎的な知識を有している	社会の多様性を受け入れ、尊重す ることができる	情操豊かで円満な女性として振 舞うことができる	あらゆる場面において「和」の 精神を発揮することができる	社会福祉専門職としての資質・能力を高める
教育目標	社会福祉に関する基礎を学ぶ	1年次	2年次	3年次	4年次	社会福祉の専門的知識を学ぶ	社会福祉の専門的知識を学ぶ	GPA/自己評価シート	GPA/自己評価シート	GPA/自己評価シート	社会福祉専門職としての資質・能力を高める

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース カリキュラムマップ

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期
福祉・介護の世界をのぞいてみよう		福祉・介護の専門的知識を身につけよう		福祉・介護の専門性を理解しよう		福祉・質権取扱実践者としての総合力を高めよう
実践能力を養う						
対人援助・学校保健等の理論を学び、技能を身につける						
社会福祉・学校保健の専門的な知識を学ぶ						
学びの基礎を身につける						
教育目標						

社会の課題解決に貢献できる福祉・教育職

社会福祉学科 介護福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(介護福祉士・社会福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
介護福祉、社会福祉	介護概論 I 介護福祉専門職論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II ソーシャルワークの基盤と専門職 介護におけるコミュニケーションの基本 I	介護概論 II 介護福祉専門職論 II 生活支援技術 III 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 介護におけるコミュニケーションの基本 II 高齢者の心理 社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 介護福祉専門職論 III 生活支援技術 V 生活支援技術 VI 介護実習 I 介護総合演習 I こころとからだのしくみ I 社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 社会福祉行政論	セーフティマネジメント論 高齢者福祉論 II 生活支援技術 VIII 生活支援技術 IX 介護過程 I 介護実習 I 介護総合演習 II こころとからだのしくみ II 障害者の心理 社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	6	9	11	15
科目数計	14	18	20	22

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
介護福祉、社会福祉	生活支援技術 X 介護過程 II 介護実習 II 介護実習 III 介護総合演習 III 医療的ケア I ~ 1 医療的ケア I ~ 2 保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） I 地域福祉論 I 公的扶助論 ソーシャルワーク演習	介護過程 III 介護実習 II 介護実習 III 介護実習 IV 介護総合演習 IV 医療的ケア II 医療的ケア III 福祉計画論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） II 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I	介護事例研究 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 社会福祉援助技術総論 I	介護事例研究 II 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 社会福祉援助技術総論 II
科目数	12	13	5	5
科目数計	14	14	6	6

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
介護福祉、精神保健福祉	介護概論 I 介護福祉専門職論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II 介護におけるコミュニケーションの基本 I	介護概論 II 介護福祉専門職論 II 生活支援技術 III 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 介護におけるコミュニケーションの基本 II 高齢者の心理 社会福祉学 II	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 介護福祉専門職論 III 生活支援技術 V 生活支援技術 VI 介護実習 I 介護総合演習 I こころとからだのしくみ I 社会保障論 I 社会福祉行財政論 精神保健福祉の原理 I 精神医学 I 精神保健学 I	セーフティマネジメント論 高齢者福祉論 II 生活支援技術 VIII 生活支援技術 IX 介護過程 I 介護実習 I 介護総合演習 II こころとからだのしくみ II 障害者の心理 社会保障論 II 障害福祉論 II 精神保健福祉の原理 II 精神医学 II 精神保健学 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	5	8	13	15
科目数計	13	17	22	22

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
介護福祉、精神保健福祉	生活支援技術 X 介護過程 II 介護実習 II 介護実習 III 介護総合演習 III 医療的ケア I ~ 1 医療的ケア I ~ 2 保健医療制度論 地域福祉論 I 公的扶助論 精神障害リハビリテーション論 ソーシャルワーク演習 精神保健福祉援助演習(基礎)	介護過程 III 介護実習 II 介護実習 III 介護実習 IV 介護総合演習 IV 医療的ケア II 医療的ケア III 福祉計画論 地域福祉論 II 精神保健福祉制度論 精神保健福祉援助演習 I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I	介護事例研究 I 精神保健福祉援助演習 II 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 II 社会福祉援助技術総論 I	介護事例研究 II 精神保健福祉援助演習 III 精神保健福祉援助実習指導 III 社会福祉援助技術総論 II
科目数	13	13	5	4
科目数計	15	14	6	5

社会福祉学科 介護福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(介護福祉士・養護教諭 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
介護福祉、養護教諭	介護概論 I 介護福祉専門職論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II 介護におけるコミュニケーションの基本 I 社会福祉援助技術総論 I 学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	介護概論 II 介護福祉専門職論 II 生活支援技術 III 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 介護におけるコミュニケーションの基本 II 高齢者の心理 養護概説 小児看護 成人看護	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 介護福祉専門職論 III 生活支援技術 V 生活支援技術 VI 介護実習 I 介護総合演習 I こころとからだのしくみ I 社会保障論 I 健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導論	セーフティマネジメント論 高齢者福祉論 II 生活支援技術 VIII 生活支援技術 IX 介護過程 I 介護実習 I 介護総合演習 II こころとからだのしくみ II 障害者の心理 学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談
科目数	9	10	18	18
科目数計	17	19	27	25

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
介護福祉、養護教諭	生活支援技術 X 介護過程 II 介護実習 II 介護実習 III 介護総合演習 III 医療的ケア I ~ 1 医療的ケア I ~ 2 看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習	介護過程 III 介護実習 II 介護実習 III 介護実習 IV 介護総合演習 IV 医療的ケア II 医療的ケア III 母性保健 教育社会学	介護事例研究 I 免疫学 社会福祉援助技術総論 I	介護事例研究 II 教職実践演習（養護教諭） 社会福祉援助技術総論 II
科目数	11	9	3	4
科目数計	13	10	4	5

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）96単位以上、計126単位以上です。

②養護教諭コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
35	61	96

③養護教諭コースの専門教育科目（B類）については別表III-11の通り卒業必修欄に○印の付いている科目35単位と「養護教諭」欄に○印の付いている科目37単位を含み61単位以上を履修してください。

④養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目（B類）に記載の養護教諭欄に○印のある科目と、別表III-12の教職に関する科目を併せて履修してください。さらに、別表III-15に記載のとおり履修してください。なお、別表III-12の教職に関する科目の単位は、専門教育科目（B類）の選択科目の単位に計上することができます。

⑤高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得しようとする者は、高一免（福祉）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-13、14に記載の通り履修してください（III-14の科目は卒業要件に算入できません）。

⑥社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。

⑦精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。

⑧保育士の資格を取得しようとする者は、保育士欄に○印と△印の付いている科目を履修してください。なお、△印についている科目については、保育実習II（保育所）・保育実習指導II（保育所）あるいは保育実習III（施設）・保育実習指導III（施設）いずれかの組合せを選択し履修してください。

⑨准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。

⑩図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表VIII-1、2、3、4、5により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。

⑪単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目(B類)

別表Ⅲ-11

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	養護教諭	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	履修年次						備考	
										1		2		3			
										春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 法学			2	○							○						
<input type="checkbox"/> 社会学			2	○		○	○					○					
<input type="checkbox"/> 倫理学			2	○								○					
<input type="checkbox"/> 環境論			2														○
<input type="checkbox"/> 社会福祉学Ⅰ			2	○		○	○	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/> 社会福祉学Ⅱ			2			○	○	○			○						
<input type="checkbox"/> 社会保障論Ⅰ			2			○	○					○					
<input type="checkbox"/> 社会保障論Ⅱ			2			○	○					○					
<input type="checkbox"/> 諸外国の社会福祉Ⅰ			2	○							○						
<input type="checkbox"/> 諸外国の社会福祉Ⅱ			2	○							○						
<input type="checkbox"/> 社会福祉演習	演		2	○										○	○		
<input type="checkbox"/> 卒業論文			3	○											○	○	
<input type="checkbox"/> 社会調査法Ⅰ			2	○		○	○					○					
<input type="checkbox"/> 社会調査法Ⅱ			2	○		○	○					○					
<input type="checkbox"/> 保健医療制度論			2			○	○							○			
<input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーク論			2														○
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの基盤と専門職			2			○	○				○						
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)			2			○	○				○						
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			2			○						○					
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			2			○						○					
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ			2			○							○				
<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ			2			○							○				
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術総論Ⅰ			2						○		○						
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術総論Ⅱ			2						○		○						
<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ			1	○							○						
<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ			1	○							○						
<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅰ			2						○	○							
<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅱ			2								○						
<input type="checkbox"/> 保育者論			2						○	○							
<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅰ			2						○	○							
<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅱ	演		1						○					○			
<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅰ			2						○				○				
<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅱ	演		1						○				○				
<input type="checkbox"/> 福祉計画論			2			○	○							○			
<input type="checkbox"/> 社会福祉運営管理論			2			○							○				
<input type="checkbox"/> 社会福祉行政財政論			2			○	○						○				
<input type="checkbox"/> 介護概論Ⅰ			2			○			○		○						
<input type="checkbox"/> 介護概論Ⅱ			2			○					○						
<input type="checkbox"/> 介護技術	演		1						○							○	
<input type="checkbox"/> 児童福祉学Ⅰ			2	○		○		○	○			○					
<input type="checkbox"/> 児童福祉学Ⅱ			2			○						○					
<input type="checkbox"/> 地域福祉論Ⅰ			2			○	○						○				
<input type="checkbox"/> 地域福祉論Ⅱ			2			○	○						○				
<input type="checkbox"/> 公的扶助論			2			○	○						○				
<input type="checkbox"/> 障害福祉論Ⅰ			2			○	○		○				○				
<input type="checkbox"/> 障害福祉論Ⅱ			2			○	○						○				
<input type="checkbox"/> 障害児保育	演		2							○				○			
<input type="checkbox"/> 高齢者福祉論Ⅰ			2			○		○				○					
<input type="checkbox"/> 高齢者福祉論Ⅱ			2			○						○					
<input type="checkbox"/> 就労支援論			2			○							○				
<input type="checkbox"/> 更生保護制度論			2			○								○			
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉の原理Ⅰ			2				○					○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉の原理Ⅱ			2				○					○					
<input type="checkbox"/> 精神障害リハビリテーション論			2			○						○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉制度論			2			○							○				
<input type="checkbox"/> ソーシャルワーク演習	演		1			○	○						○				
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習Ⅰ			1			○							○				
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習Ⅱ			2			○							◎				
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術演習Ⅲ			1			○											
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術実習	実		6			○		○						○		○	○
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ			1			○		○					○				
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ			1			○							○				
<input type="checkbox"/> 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ			1			○							○				

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目(B類)

別表III-11

チ エ ツ ク 欄	授業の方法 授業科目	単位	卒業必修	養護教諭	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	履修年次								備考	
									1		2		3		4			
									春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習(基礎)	演	1			○								○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習Ⅰ	演	1			○								○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習Ⅱ	演	1			○								○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助演習Ⅲ	演	1			○								○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1			○								○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1			○								○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1			○								○					
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉援助実習	実	5			○								○	○				
<input type="checkbox"/> 養護概説		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 学校保健Ⅰ		2		○						○								
<input type="checkbox"/> 学校保健Ⅱ		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 健康相談活動		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 健康科学		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 衛生学		2		○								○						
<input type="checkbox"/> 公衆衛生学		2		○								○						
<input type="checkbox"/> 免疫学		2		○										○				
<input type="checkbox"/> 解剖生理学		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 基礎看護		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 小児看護		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 成人看護		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 学校救急看護		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 精神看護		2		○							○							
<input type="checkbox"/> 看護実習	実	1		○									○					
<input type="checkbox"/> 精神保健		2		○								○						
<input type="checkbox"/> 母性保健		2		○									○					
<input type="checkbox"/> 栄養学		2		○								○						
<input type="checkbox"/> 食品学		2		○								○						
<input type="checkbox"/> 保育内容総論	演	1								○	○							
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅰ	演	1								○		○						健康
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅱ	演	1								○		○						健康
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅲ	演	1								○		○						人間関係
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅳ	演	1								○		○						人間関係
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅴ	演	1								○		○						環境
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅵ	演	1								○		○						環境
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅶ	演	1								○		○						言葉
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅷ	演	1								○		○						言葉
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅸ	演	1								○			○					音楽
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅹ	演	1								○				○				音楽
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法XⅠ	演	1								○				○				造形
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法XⅡ	演	1								○				○				造形
<input type="checkbox"/> 保育課程論		2								○			○					
<input type="checkbox"/> 子育て支援	演	1								○				○				保育所実習(必修)
<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(保育所)	実	2								○			○					施設実習(必修)
<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(施設)	実	2								○			○					保育所実習(選択)
<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅱ(保育所)	実	2								△			○					施設実習(選択)
<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅲ(施設)	実	2								△			○					事前・事後指導(必修)
<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅰ	演	2								○			○					事前・事後指導(選択)
<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1								△				○				事前・事後指導(選択)
<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1								△			○					事前・事後指導(選択)
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅰ	実	2								○	○	○	○	○				音楽実技
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅱ	実	2								○				○	○	○	○	音楽実技
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅲ	演	1								○	○							音楽理論
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅳ	演	1								○		○						図画工作
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅴ	演	1								○				○				図画工作
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅵ	演	1								○			○					専門体育
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅶ	演	1								○			○					専門体育
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅷ	演	1								○			○					児童文化
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅸ	演	1								○			○					児童文化
<input type="checkbox"/> 保育技能Ⅹ	演	1								○					○			児童文化
<input type="checkbox"/> 保育技能XⅠ	演	1								○					○			児童文化
<input type="checkbox"/> 保育実践演習	演	2								○				○				
<input type="checkbox"/> 介護実習Ⅰ	実	2								○			○					

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目(B類)

別表Ⅲ-11

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	養 護 教 諭	社 会 福 祉 士	精 神 保 健	高 一 免 (福 祉)	保 育 士	履修年次						備考	
										1		2		3			
										春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 医学一般 I			2	○		○	○	○		○							
<input type="checkbox"/> 医学一般 II			2	○		○	○	○			○						
<input type="checkbox"/> こころとからだのしくみ I			2					○			○						
<input type="checkbox"/> こころとからだのしくみ II			2					○			○						
<input type="checkbox"/> 精神医学 I			2				○				○						
<input type="checkbox"/> 精神医学 II			2				○				○						
<input type="checkbox"/> 精神保健学 I			2				○				○						
<input type="checkbox"/> 精神保健学 II			2				○				○						
<input type="checkbox"/> 子どもの保健			2						○		○						
<input type="checkbox"/> 子どもの健康と安全	実	1							○			○					
<input type="checkbox"/> 心理学			2	○		○	○	○		○							
<input type="checkbox"/> 保育の心理学			2						○		○						
<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援の心理学	演	2							○			○					
<input type="checkbox"/> 子どもの理解と援助	演	1						○	○			○					
<input type="checkbox"/> 発達心理学 I			2								○					★	
<input type="checkbox"/> 発達心理学 II			2								○					★	
<input type="checkbox"/> 教育心理学			2									○				★	
<input type="checkbox"/> 家族援助論			2							○				○			
<input type="checkbox"/> 子どもの食と栄養			2							○			○				
<input type="checkbox"/> 権利擁護と成年後見制度			2			○	○						○				
<input type="checkbox"/> 教育原理			2						○		○					★	
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論 I			2										○				
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論 II			2											○			
<input type="checkbox"/> 社会福祉学特論 III			2											○			
						35	37	80	71	40	72						

備考欄の★の科目は、発達心理学 I = 発達心理学、教育心理学 = 教育心理学、教育原理 = 教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することができます。

保育実習 II (保育所)・保育実習指導 II (保育士) または保育実習 III (施設)・保育実習指導 III (施設) いずれかの組合せを選択すること。

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 養護教諭コース 学びで得られる成果（Learning Outcomes）

教育目標	1年次 社会福祉に 関する基礎を学ぶ	2年次 社会福祉の専門的 知識を身につける	3年次 秋学期 福社の専門性を理解しよう	4年次 春学期 福社実践者としての総合力を高めよう	4年次秋学期 福社実践者としての総合力を高めよう	4年次秋学期 福社実践者としての総合力を高めよう
対人援助・学校保健等の基本的な支援方法を説明できる	対人援助・学校保健等の基本的な支援方法を説明できる	対人援助・学校保健等の基本的な支援方法を説明できる	対人援助・学校保健等の基本的な支援方法を説明できる	対人援助・学校保健等の基本的な支援方法を説明できる	対人援助・学校保健等の基礎的な知識を学ぶ	対人援助・学校保健等の基礎的な知識を学ぶ
実践能力を養う	実践能力を養う	実践能力を養う	実践能力を養う	実践能力を養う	実践能力を養う	実践能力を養う
社会福祉・学校保健の基礎的な知識を学ぶ	社会福祉・学校保健の基礎的な知識を学ぶ	社会福祉・学校保健の基礎的な知識を学ぶ	社会福祉・学校保健の基礎的な知識を学ぶ	社会福祉・学校保健の基礎的な知識を学ぶ	社会福祉・学校保健の基礎的な知識を有している	社会福祉・学校保健の基礎的な知識を有している
人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	人間性を高める	建学の精神「和」について、説明することができる	建学の精神「和」について、説明することができる
教育目標	社会福祉に 関する基礎を学ぶ	社会福祉の専門的 知識を身につける	社会福祉の専門性を理解しよう	社会福祉実践者としての総合力を高めよう	社会福祉実践者としての総合力を高めよう	社会福祉実践者としての総合力を高めよう

社会福祉学科 養護教諭コース 免許・資格取得履修モデル
(養護教諭・社会福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
養護教諭、社会福祉士	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護 ソーシャルワークの基盤と専門職 介護概論 I	養護概説 小兒看護 成人看護 社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） 介護概論 II	健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導論 社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 社会福祉行政財論 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I	学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	5	6	14	16
科目数計	13	15	23	23

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
養護教諭、社会福祉士	看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習 保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） I 地域福祉論 I 公的扶助論 ソーシャルワーク演習	母性保健 教育社会学 福祉計画論 ソーシャルワークの理論と方法（専門） II 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I	免疫学 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II	教職実践演習（養護教諭） 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III
科目数	9	8	4	4
科目数計	11	9	5	5

社会福祉学科 養護教諭コース 免許・資格取得履修モデル
(養護教諭・精神保健福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
社会福祉、養護教諭	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	養護概説 小児看護 成人看護 社会福祉学 II	健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導論 社会保障論 I 社会福祉行政論 障害福祉論 I 精神保健福祉の原理 I 精神医学 I 精神保健学 I	学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 社会保障論 II 障害福祉論 II 精神保健福祉の原理 II 精神医学 II 精神保健学 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	3	4	15	15
科目数計	11	13	24	22

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
社会福祉、養護教諭	看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習 保健医療制度論 地域福祉論 I 公的扶助論 精神障害リハビリテーション論 ソーシャルワーカー演習 精神保健福祉援助演習（基礎）	母性保健 教育社会学 福祉計画論 地域福祉論 II 精神保健福祉制度論 精神保健福祉援助演習 I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I	免疫学 精神保健福祉援助演習 II 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 II	教職実践演習（養護教諭） 精神保健福祉援助演習 III 精神保健福祉援助実習指導 III
科目数	10	8	4	3
科目数計	12	9	5	4

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 幼保基礎専門体育 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I 幼保基礎専門体育 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 第2外国語III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
養護教諭、保育士	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護 社会福祉援助技術総論 I 保育原理 I 保育者論 保育内容総論 保育技能 I 保育技能 III	養護概説 小児看護 成人看護 乳児保育 I 保育技能 I 保育技能 IV 保育の心理学 教育原理	健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導論 乳児保育 II 保育内容指導法 I 保育内容指導法 III 保育内容指導法 V 保育内容指導法 VII 保育課程論 保育技能 I 保育技能 V 保育技能 VII 子どもの保健 子ども家庭支援の心理学	学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 社会保障論 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VI 保育内容指導法 VIII 保育技能 I 保育技能 VI 保育技能 VIII 子どもの健康と安全 子どもの理解と援助
科目数	9	8	20	19
科目数計	17	17	29	26

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1			
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
養護教諭、保育士	看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習 社会福祉援助技術演習 I 社会の養護内容 障害児保育 I 保育内容指導法IX 保育内容指導法X I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習指導 I 保育技能 II 保育技能 IX 子どもの食と栄養 家族援助論 子どもの健康と安全	母性保健 教育社会学 社会福祉援助技術演習 I 障害児保育 II 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 保育相談支援 保育実習 II または III 保育実習指導 II または III 保育技能 II 保育技能 X	免疫学 保育技能 II 保育技能 X I	教職実践演習（養護教諭） 保育技能 II 保育実践演習
科目数	17	12	3	3
科目数計	19	13	4	4

教職課程履修について〔高等学校教諭一種免許状 福祉〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許状」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表III－13

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修科目が必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/>	英語I	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語II	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康I	講、実	1	○	○								保育士履修者は「基礎専門体育I、II」で充当します。	
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康II	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわりなく、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

社会福祉学科各コースの専門教育科目(B類)に記載の高免(福祉)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表III－14

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修科目が必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△									△はいずれか1科目必修	
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△				○						
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学I		2	○						○				
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	福祉科教育法I	演	2	○					○					
<input type="checkbox"/>	福祉科教育法II	演	2	○						○				
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育方法学		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○								○		
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○							○			
計			33	31										

[注] 1. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。

2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。

3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

教職課程履修について【養護教諭一種免許状】

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許状」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表III-15

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	要履 な修 科が 目必	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/>	英語I	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語II	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康I	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康II	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「養護に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別に係わり無く、下記のとおりに履修してください。

○養護に関する科目

社会福祉学科各コースの専門教育科目(B類)に記載の養護教諭一種欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の養護に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表III-16

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	要履 な修 科が 目必	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○		○								
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△									△はいずれか1科目必修	
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△			○							
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学I		2	○							○			
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	道徳教育の指導法		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○				●	●					
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育方法学		2	○		○								
<input type="checkbox"/>	生徒指導論		2	○		○								
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(養護教諭)	演	2	○								○		
<input type="checkbox"/>	養護実習	実	5	○					○					
	計		33	31										

[注] 1. 養護教諭一種免許状を取得する者は、○印を付された科目全部と△印を付された科目より1科目を履修しなければならない。

2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。

3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

文学部 文学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部文学科は、特色ある複数学科を統合し、2013年に新たな学部として誕生しました。いつの時代においても普遍的な理念である聖徳太子の「和」の精神を建学理念とする女性総合大学の文学部として、円満な人格を備えた社会人・家庭人としての良き女性の育成を教育の根幹としています。したがって、文学部文学科は心豊かな人間性、その表象となる気品、幅広い教養と人文科学に関する各領域の専門性を育むことに重きを置く教育を行っています。

一方、現代社会は多くの問題を抱えています。それらは既成の知や技術のみによって解決を図ることは難しく、なによりも人間性への深い洞察に基づいた多文化社会に関する広い視野と優れた識見を必要としています。

文学部文学科は、そのような現代社会の要請にも応え、人文科学に関する専門領域別に、英語・英文学コース、日本語・日本文学コース、歴史文化コース、書道文化コース、図書館情報コース、教養デザインコースの六コースを設け、専門性の高い人材育成を行っています。そして、さまざまな時代・地域の文学・文化・芸術に関する幅広く奥行きのある教養に基づき、時代や地域を超えて多様な他者の価値観を理解できる柔軟な思考力、社会の各領域において輝き続ける行動力を備えた人材を育成し、多くの問題を抱えた社会に広く貢献していきます。

以上の理念を具現化していくために、以下の三つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 伝統の本物教育を重視し、女性としての心豊かな教養と日本社会の気品の模範としての礼法を備えた人材を育成する。
2. 現代社会を生きるための総合的な人間力を備えた人材を育成する。
3. 文学・文化・芸術に関する各学問領域の専門的な知識を有し、自らの考えを適切に表現できる社会的・職業的に自立した人材を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

1. 伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、及び日本社会の気品の模範としての礼法を身につけ、実践できる。
2. グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をも有した総合的な人間力を身につけ、実践できる。
3. 文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる。

文学部文学科では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

文学部文学科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学部共通科目

伝統の本物教育を具現化し、体験型・参加型教育を重視した科目を設置しており、これらの科目を RE(Reality Experience)科目と名付けています。RE 科目の他、ゼミ、キャリア論、コミュニケーション技法を学部共通科目として設定することにより、学生自らが課題を発見し自ら主体的に学修成果を高め、課題探求力を身につけます。

2. コース別専門科目群

(1) 英語・英文学コース

英米の文学・文化・言語を学び、英語の 4 技能（聞く、話す、読む、書く）の力を着実に身につける教育課程を編成しています。

(2) 日本語・日本文学コース

日本語を専門的に学ぶことによって、日本語の基本的な運用能力を養い、日本の文学作品の鑑賞・批評・創作を通じた自己表現力を育成する教育課程を編成しています。

(3) 歴史文化コース

歴史学・考古学・民俗学・美術史学の知識と専門理論を学び、歴史的に形成された現代社会の課題に多面的に取り組む力を育成する教育課程を編成しています。

(4) 書道文化コース

書道学を学ぶことによって、書の実相を理論と実技を通して理解し、書の真髄を見極め作品を創作する力を育成する教育課程を編成しています。

(5) 図書館情報コース

図書館情報学を学ぶことによって、図書館の機能と情報資源の多様性を理解し、情報技術を身につけて、現代図書館を運営する力を育成する教育課程を編成しています。

(6) 教養デザインコース

人文科学としての教養力の基盤の上に、相手志向で思いやるホスピタリティ力と、人・組織・会社・世界と円滑な関係を築き上げるコミュニケーション力を養い、実社会における総合的な人間力を育成する教育課程を編成しています。

【教育課程実施の方針】

文学部文学科では、全学共通科目と専門教育科目の教育課程を編成し、学修成果を効果的に達成するために、以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 伝統の本物教育を具現化し、体験型・参加型教育を重視した特別授業を開講し、学生自らが課題を発見し自ら主体的に学修成果を高める方法を重要視しています。それらの科目を RE(Reality Experience)科目と名付けています。
2. 文学・文化・芸術に関する各学問領域の専門科目では、作品・学習対象の鑑賞・批評・創作をチームによるアクティブ・ラーニングやプロジェクト学習等を活用し実施しています。
3. キャリア科目におけるインターンシップやフィールドワークをはじめ、実習など、現地現物主義によって実践的な能力を身につけられるよう実施しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部文学科は、建学の理念である「和」の精神を理解し、文学・文化・芸術に関する学問領域に興味を持ち、将来、心豊かな教養と気品を持った女性として、社会の各分野で活躍したいという基本的資質をもった人を求めています。具体的には以下のようない入学者を求めていきます。

1. 心豊かな女性として、気品ある行動を大切にできる人。
2. 協調性、誠実性、自主性を備え、自分の考えや気持ちを表現するなど、多様な人々と協働する意欲がある人。
3. 文学・文化・芸術に関する特定のテーマを掘り下げ深く学ぼうとする意欲がある人。
4. 高等学校等での学びを通して、文学部文学科での学修に必要な知識、技能、思考力、学ぶ力を身に附けている人。

文学部文学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要な知識、技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

文学部 文学科 全学共通科目 履修要項

- ① 文学部文学科各コースの卒業所要単位数は、下表のとおりです。

コース名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	計
英語・英文学	30単位	94単位	124単位
日本語・日本文学	30単位	94単位	124単位
歴史文化	30単位	94単位	124単位
書道文化	30単位	94単位	124単位
図書館情報	30単位	94単位	124単位
教養デザイン	30単位	94単位	124単位

- ② 文学部文学科の全学共通科目（A類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

全 学 共 通 科 目 (A類)				
聖徳教育 科目	教養科目、専門基礎科目及び 外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ③ 文学部の学生は、全学共通科目（A類）については、別表IV-1～7のとおり履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④ 聖徳教育科目（別表IV-1）はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目（別表IV-2）は外国語科目と併せて14単位以上を修得すること（外国語は8単位以上）。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～D類まで一つの群に集中することなくバランスよく履修してください。
D類の「日本国憲法」は、教育職員免許状を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目（別表IV-3）はすべて卒業必修です。
- ⑦ 外国語科目（別表IV-4）は、英語I、II、III、IV（4単位）及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語、中国語のうち1か国語（4単位）、計8単位が必修です。
- ⑧ 健康教育科目（別表IV-5）及び情報活用科目（別表IV-6）は、備考に記載のとおり履修してください。
- ⑨ 単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記される）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖德教育科目

別表IV-1

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表IV-2

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
A類	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2		○	○	○		△ 教養科目と別表IV-3の外国語科目を併せて20単位以上修得すること(外国語は8単位以上)
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2		○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2		○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅰ)		2		○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	1					○ ○	
B類	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2		○	○	○		△ 教養科目は表中のA類～D類から選択し、6単位以上を修得すること。
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2		○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2		○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2		○	○	○		
C類	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2		○	○	○		△ 同じ科目(領域)を重複履修することはできません。
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2		○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2		○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2		○	○	○		
D類	<input type="checkbox"/> 日本国憲法		2		●	●			△ 日本国憲法は、教育職員免許状を取得する者は必ず修得すること。
	< Business Field Linkage >								
	<input type="checkbox"/> 特別講義Ⅰ		2		○				△ 企業系就職希望者は、Business Field Linkage科目を履修することが望ましい。
	<input type="checkbox"/> 特別講義Ⅱ		2		○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義Ⅲ		1		○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義Ⅳ		2		○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義Ⅴ		2			○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義Ⅵ		1				○		

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。又●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期又は秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること

專門基礎科目

別表IV-3

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> ベーシックコミュニケーションⅠ			2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
<input type="checkbox"/> コンピュータ・コミュニケーションⅠ			1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
<input type="checkbox"/> コンピュータ・コミュニケーションⅡ			1	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
<input type="checkbox"/> 異文化コミュニケーション			2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	計		6						

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

外国語科目配当表

別表IV-4

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
□	英語I	演	1	○	○				△ 別表IV-2の教養科目と外国語科目を併せて20単位以上修得すること。
□	英語II	演	1	○		○			△ 外国語科目は、卒業必修科目として英語I、英語II、英語III、英語IV(4単位)及び選択外国語として(英語、フランス語、ドイツ語、中国語)のうち1か国語(4単位)、計8単位以上が必修です。
□	英語III	演	1	○		○			△ 「フランス語」、「ドイツ語」及び「中国語」は各学期に週2回開講されるのでIとII、IIIとIVを同一学期に履修すること。
□	英語IV	演	1	○		○			
□	英語V	演	1			○			
□	英語VI	演	1				○		
□	英語VII	演	1					○	
□	英語VIII	演	1					○	
□	フランス語I	演	1		○				
□	フランス語II	演	1		○				
□	フランス語III	演	1			○			
□	フランス語IV	演	1			○			
□	フランス語V	演	1				○		
□	フランス語VI	演	1					○	
□	フランス語VII	演	1					○	
□	フランス語VIII	演	1					○	
□	ドイツ語I	演	1		○				
□	ドイツ語II	演	1		○				
□	ドイツ語III	演	1			○			
□	ドイツ語IV	演	1			○			
□	ドイツ語V	演	1				○		
□	ドイツ語VI	演	1					○	
□	ドイツ語VII	演	1					○	
□	ドイツ語VIII	演	1					○	
□	中国語I	演	1		○				
□	中国語II	演	1		○				
□	中国語III	演	1			○			
□	中国語IV	演	1			○			
□	中国語V	演	1				○		
□	中国語VI	演	1					○	
□	中国語VII	演	1					○	
□	中国語VIII	演	1					○	
			32						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目

別表IV-5

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> スポーツと健康Ⅰ		※	1	○	○				△ スポーツと健康Ⅰ・Ⅱを修得すること。
<input type="checkbox"/> スポーツと健康Ⅱ		※	1	○	○				
			2						

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目

別表IV-6

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎)		演	1	○	○				△ 情報活用演習(基礎)が必修です。教育職員免許状を取得しようとする者は、情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも修得すること。
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(教職)		演	1		○				
			2						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

帰国子女科目

別表IV-7

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅰ		演	1	○					△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅱ		演	1		○				
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅲ		演	1		○				
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅳ		演	1			○			
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅴ		演	1				○		
<input type="checkbox"/> 日本語VI		演	1				○		
<input type="checkbox"/> 日本の社会と歴史Ⅰ			2			○			
<input type="checkbox"/> 日本の社会と歴史Ⅱ			2				○		
			10						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

文学科 英語・英文学コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。

②英語・英文学コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
49	20	25	94

③英語・英文学コースの専門教育科目（B類）については、別表IV-8の通り卒業必修欄に○印の付いている科目49単位と選択必修科目20単位、そして別表IV-8の選択科目及び別表IV-11、IV-14、IV-19、IV-22、IV-23に記載されている科目から25単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。

④中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）を取得しようとする者は、①に加えて、中一免（英語）、高一免（英語）欄に○印の付いている科目を全部と、△印の付いている科目より8単位以上を選択履修してください。併せて別表IV-9、10に記載の通り履修してください。

⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表VIII-1～5（P.279～P.283）により履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。

⑥単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

文学科 英語・英文学コース 専門教育科目 (B類)

別表IV-8

区 分 分 区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免 (英語)	高一免 (英語)	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学 科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 I (RE科目)	2	○			○											エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 II (RE科目)	2	○				○										
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション I	2	○				○										
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 I	2	○			○											
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 II	2	○			○											
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 I	2	○				○										
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 II	2	○					○									
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ入門	演	1	○					○								
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ I (3年次ゼミ I)	演	1	○						○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ II (3年次ゼミ II)	演	1	○							○						
科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ III (4年次ゼミ I)	演	1	○								○					学科必修科目 (計23単位)
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ IV (4年次ゼミ II)	演	1	○									○				
	<input type="checkbox"/> 卒業研究			4	○												
	(小計)			23	23												
	<input type="checkbox"/> 英語のリーディング I	2	○			○											SEEP SEEP
	<input type="checkbox"/> 英語のリーディング II	2	○				○										
	<input type="checkbox"/> 英語のライティング I	2	○					○									
	<input type="checkbox"/> 英語のライティング II	2	○						○								
	<input type="checkbox"/> 基礎英文法 I	2	○	△	△	○											SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP
	<input type="checkbox"/> 基礎英文法 II	2	○	△	△	○											
科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング I	2	○	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング II	2	○	△	△	○											
	<input type="checkbox"/> 英語の語彙と用法 I	演	1	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 英語の語彙と用法 II	演	1	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 英語の語彙と用法 III	演	1	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 英語の語彙と用法 IV	演	1	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 英語音声学 I	演	1	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 英語音声学 II	演	1	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 海外英語特講			4	○								※	※			
	(小計)			26	26												※ 海外研修 コース必修科目 (計26単位)
科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 英語のリーディング III	2					○										SEEP SEEP
	<input type="checkbox"/> 英語のリーディング IV	2						○									
	<input type="checkbox"/> 英語のリーディング V	2							○								
	<input type="checkbox"/> 英語のリーディング VI	2								○							
	<input type="checkbox"/> 英語のライティング III	2								○							
	<input type="checkbox"/> 英語のライティング IV	2									○						
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング III	2								○							
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング IV	2									○						
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング V	2										○					
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング VI	2											○				
科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 英語のコミュニケーション I	2											○				SEEP SEEP
	<input type="checkbox"/> 英語のコミュニケーション II	2												○			
	<input type="checkbox"/> 英語学入門 I	2															
	<input type="checkbox"/> 英語学入門 II	2															
	<input type="checkbox"/> 現代イギリス事情 I	演	1														SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP
	<input type="checkbox"/> 現代アメリカ事情 I	演	1														
	<input type="checkbox"/> イギリス文学史 I		2										●				
	<input type="checkbox"/> イギリス文学史 II		2										●	●			
	<input type="checkbox"/> アメリカ文学史 I		2										●				
	<input type="checkbox"/> アメリカ文学史 II		2										●				
科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション I	2															SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP SEEP
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション II	2															
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 I	2															
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 II	2															
	<input type="checkbox"/> メディア論入門		2														
	(小計)		46	20													コース選択必修科目 (計20単位)
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング VII	2											○				
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング VIII	2												○			
	<input type="checkbox"/> 英文法 I	2											●				
	<input type="checkbox"/> 英文法 II	2											●	●			
科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 英語学 I	2											○				
	<input type="checkbox"/> 英語学 II	2											○				
	<input type="checkbox"/> イギリスの歴史	2											○				
	<input type="checkbox"/> アメリカの歴史	2											○				
	<input type="checkbox"/> 現代イギリス事情 II	演	1		△	△											
	<input type="checkbox"/> 現代アメリカ事情 II	演	1		△	△											
	<input type="checkbox"/> 英米の詩 I	演	1		△	△							●				
	<input type="checkbox"/> 英米の詩 II	演	1		△	△							●				
	<input type="checkbox"/> 英米の戯曲 I	演	1										○				
	<input type="checkbox"/> 英米の戯曲 II	演	1										○				

文学科 英語・英文学コース 専門教育科目 (B類)

別表IV-8

区 分 分 類	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免 (英語)	高一免 (英語)	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
コ ース 選 択 科 目	<input type="checkbox"/> 英米の小説 I	演	1		△	△			○		●						SEEP SEEP SEEP
	<input type="checkbox"/> 英米の小説 II	演	1		△	△			○		●						
	<input type="checkbox"/> 英米の批評・随筆 I	演	1		△	△				○		●					
	<input type="checkbox"/> 英米の批評・随筆 II	演	1		△	△					○		●				
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション III		2						○								
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション IV		2							○							
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 III		2						○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 IV		2						○								
	<input type="checkbox"/> メディアの英語		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本文化入門		2					○									
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 I		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 II		2							○							
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 I		2					○									
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 II		2					○									
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学講読 I		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学講読 II		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学講読 I		2					○									
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学講読 II		2					○									
	<input type="checkbox"/> 比較文学 I		2						○								
	<input type="checkbox"/> 比較文学 II		2						○								
	<input type="checkbox"/> 書学入門		2					○									
	<input type="checkbox"/> 図書館概論		2					○									
	<input type="checkbox"/> 図書館情報資源概論		2					○									エアラインプラチナP 各2単位 コース選択科目 (計25単位)
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ概論		2					○									
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション II		2						○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティマネジメント I		2						○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティマネジメント II		2						○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論 I		2						○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論 II		2						○								
	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション I		2						○								
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 III		2							○							
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 IV		2							○							
	<input type="checkbox"/> ベーシックコミュニケーション II		2					○									
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション I		2						○								
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション II		2						○								
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション III		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本語教育の概要 I		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本語教育の概要 II		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本語教授法 I		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本語教授法 II		2						○								
	<input type="checkbox"/> 日本語教育教材研究 I	演	1						○								
	<input type="checkbox"/> 日本語教育教材研究 II	演	1						○								
	<input type="checkbox"/> 日本語教育演習 I	演	1							○							
	<input type="checkbox"/> 日本語教育演習 II	演	1							○							
	<input type="checkbox"/> 日本事情 I		2							○							
	<input type="checkbox"/> 日本事情 II		2							○							
	<input type="checkbox"/> 言語学概論 I		2							○							
	<input type="checkbox"/> 言語学概論 II		2							○							
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク I		2					○	○	○	○	○	○	○			(1~3週まで／1単位～3単位) (4週～20週／4単位～20単位) (1~12週まで／1単位～12単位) (13週～／13単位～20単位)
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク II		2					○	○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク III		2					○	○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/> 短期インターンシップ		2						○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/> 長期インターンシップ		20						○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/> 短期留学		12						○	○	○	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 長期留学		20						○	○	○	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 特別講義 I キャリア・デザイン I		2							○							
	<input type="checkbox"/> 特別講義 II キャリア・デザイン II		2								○						
	<input type="checkbox"/> 特別講義 III リーダーシップ		2							○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義 IV 教職実践論 I		2									○					
	<input type="checkbox"/> 特別講義 V 教職実践論 II		2									○					
	<input type="checkbox"/> 特別講義 VI～XX																
	(小計)		180	25													
	合計		275	94													

【授業の方法】 演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

※1 中一免（英語）、高一免（英語）取得希望者は中一免（英語）欄、高一免（英語）欄の△のうち8単位を修得すること。

教職課程履修について [中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 英語]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表IV-9

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修な修科が目必	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/>	英語I	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語II	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康I	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康II	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

英語・英文学コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(英語)、高一免(英語) 欄にある○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表IV-10

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	中 免 高 免	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△ △					○					
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△ △					○					
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学I		2	○ ○						○				
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	英語科教育法I	演	2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	英語科教育法II	演	2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	英語科教育法III	演	2	○					○					
<input type="checkbox"/>	英語科教育法IV	演	2	○					○					
<input type="checkbox"/>	道徳教育の指導法		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○ ○				●	●				△はいずれか1科目必修	
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	教育方法学		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○ ○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○ ○							○			
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○					○					
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○					○					
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○			○							
	計		45	40	31									

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。
 2. 高学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 英語・英文学コース カリキュラムマップ

		1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
学びの扉を開こう		専門的知識を身につけよう					考える力・創作力を養おう		
専門的職業人としての資質・能力を身につける							実践力を養おう		
教員		日本国憲法 情報活用演習（教職）	教職入門 教育基礎論 教育方法論 生徒指導 英語科教育法Ⅰ 介護本体実習 教職特別講座	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 教育相談 英語科教育法Ⅱ 特別活動の指導法 教職特別講座	道徳活動の指導法 生徒指導	教育社会学Ⅰ 総合的な学習の時間の指導法	教育実践演習	教職実践論Ⅰ	4年次秋学期
専門知識		基礎英文法Ⅰ 英語の語彙と用法Ⅰ 英語音声学Ⅰ 英語学入門Ⅰ イギリス文學史Ⅰ アメリカ文學史Ⅰ 現代イギリス事情Ⅰ 現代アメリカ事情Ⅰ 英語のリーディングⅠ 英語のスピーキング・リスニングⅠ グローバル コミュニケーションⅠ	基礎英文法Ⅱ 英語の語彙と用法Ⅱ 英語音声学Ⅱ 英語学入門Ⅱ イギリス文學史Ⅱ アメリカ文學史Ⅱ 現代イギリス事情Ⅱ 現代アメリカ事情Ⅱ 英語のリーディングⅡ 英語のスピーキング・リスニングⅡ 英語のライティングⅡ コミュニケーションⅡ	専門ゼミ入門 英文法Ⅰ 英語の語彙と用法Ⅲ 英米の詩Ⅰ 英米の小説Ⅰ 英米の詩Ⅱ	専門ゼミⅠ 英語学Ⅰ 英米の戯曲Ⅰ イギリスの歴史	専門ゼミⅡ 英語学Ⅱ 英米の戯曲Ⅱ アメリカの歴史	専門ゼミⅢ 英語学Ⅲ 英米の批評・随筆Ⅰ 卒業研究	専門ゼミⅣ 英米の批評・隨筆Ⅱ 卒業研究	4年次秋学期
4技能		英語の専門知識と4技能を身につける	英語のリーディングⅢ 英語のスピーキング・リスニングⅢ 英語のライティングⅢ コミュニケーションⅢ	英語のリーディングⅣ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のライティングⅣ コミュニケーションⅣ	英語のリーディングⅤ 英語のスピーキング・リスニングⅤ 英語のライティングⅤ コミュニケーションⅤ	英語のリーディングⅥ 英語のスピーキング・リスニングⅥ 英語のライティングⅥ コミュニケーションⅥ	英語のスピーキング・リスニングⅦ 英語のライティングⅦ 英語のコミュニケーションⅦ	英語のスピーキング・リスニングⅧ 英語のライティングⅧ 英語のコミュニケーションⅧ	4年次秋学期
基礎		社会人として必要な能力を身につける	女性キャラリア論Ⅰ コミュニケーションⅠ メディア論入門 学内フィールドワークⅠ	女性キャラリア論Ⅱ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ概論 学内フィールドワークⅡ	キャラリア戦略Ⅰ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ マネジメントⅠ プレゼンテーションⅠ ホスピタリティ英語Ⅰ 学内フィールドワークⅡ	キャラリア戦略Ⅱ コミュニケーションⅢ ホスピタリティ コミュニケーションⅢ マネジメントⅡ プレゼンテーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅱ ホスピタリティ英語Ⅲ 短期インターンシップ	キャラリア戦略Ⅲ コミュニケーションⅣ ホスピタリティ コミュニケーションⅣ マネジメントⅢ プレゼンテーションⅢ ホスピタリティ英語Ⅲ ホスピタリティ英語Ⅳ	キャラリア戦略Ⅳ コミュニケーションⅤ ホスピタリティ コミュニケーションⅤ マネジメントⅣ プレゼンテーションⅣ ホスピタリティ英語Ⅳ ホスピタリティ英語Ⅴ	4年次秋学期
		学びの基礎を身につける	人文科学入門Ⅰ （RE科目） コミュニケーションⅠ 英語Ⅰ 情報活用演習（基礎）	人文科学入門Ⅱ （RE科目） 英語Ⅱ 外国語 教養科目	人文科学入門Ⅲ （RE科目） 英語Ⅲ 外国語 教養科目	人文科学入門Ⅳ （RE科目） 英語Ⅳ 教養科目	人文科学入門Ⅴ （RE科目） 英語Ⅴ 教養科目	人文科学入門Ⅵ （RE科目） 英語Ⅵ 教養科目	4年次秋学期
人間性を高める			聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy I スポーツと健康Ⅰ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy IV 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy V 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy VI 小笠原流礼法基礎講座	4年次秋学期
教育目標		学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	<調べる・考える・議論する>ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する				

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 英語・英文学科 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

学びの扉を開こう
専門的知識を身につけよう
考える力・創作力を身につけよう

1年次

2年次

3年次
4年次

学位授与の方針に掲げる
学修成果

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性



専門的職業人資質・能力を身につける	教員として必要な基礎的知識が身についている	中学・高校の教員として必要な知識・技術を身についている	中学校・高校の英語科教員として必要な知識・技術を身につける	実習における課題を振り返り、自己の課題を実習にて見ことができる	文部省の専門能⼒を身につける
英語の専門知識・技能を身につける	英語の基礎的な知識・技能が身についている	英語の専門的な知識・技能を身につける	英語の専門的な知識・技能を身につける	調査・研究の技能を深く探求することができることで、自分の課題探求の成果を、論文としてまとめ、わかりやすく伝えることができる	自己の課題探求の成果を、論文としてまとめる
社会人として必要な能力を身につける	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている	社会人として必要な知識・技能について理解している	社会人として必要な知識・技能について理解している	課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる	自己の課題を深く探求することができることで、自分の課題探求の成果を、論文としてまとめる
学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	教養を深め、高めるために必要な知識を身につけて、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現できる	社会人として必要な知識・技能について理解している
人間性を育める	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。「日本女性の禮節」としての「気品」どちらかを理解できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。「日本女性の禮節」としての「気品」どちらかを理解できる	身についた「礼節」を応用し、実践できる。日常生活においても、自由に応用できる	伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本の社会の気品の傳承としている
教育目標	学修の基礎を身につける	専門分野の基礎を理解する	(アーバンメントテスト・成績評価)	(成績評価・GPA)	課題解決のための実践力を修得する

文学科 英語・英文学コース 教員免許取得履修モデル
中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状（英語）を取得する場合

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	6	3	4
コ学・科ス必修科目	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 英語のリーディング I 基礎英文法 I 英語のスピーキング・リスニング I 英語の語彙と用法 I 英語音声学 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 英語のリーディング II 基礎英文法 II 英語のスピーキング・リスニング II 英語の語彙と用法 II 英語音声学 II	キャリア戦略 I 英語のライティング I 英語の語彙と用法 III 海外英語特講	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 英語のライティング II 英語の語彙と用法 IV
科目数	7	8	4	4
必修科選択	英語学入門 I 現代アメリカ事情 I 現代イギリス事情 I	英語学入門 II	英語のリーディング III 英語のスピーキング・リスニング III	英語のリーディング IV 英語のスピーキング・リスニング IV
科目数	3	1	2	2
選択科ス			教職特別講座	現代アメリカ事情 II 教職特別講座
科目数	0	0	1	2
教職科目			教職入門 教育基礎論 教育方法学 英語科教育法 I 介護体験実習	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 英語科教育法 II
科目数	0	0	5	6
科目数計	16	15	15	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
コ学・科ス必修科目	専門ゼミ I	専門ゼミ II	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
必修科選択	イギリス文学史 I アメリカ文学史 I	イギリス文学史 II アメリカ文学史 II		
科目数	2	2	0	0
選択科ス	英文法 I 英語学 I 英米の詩 I	英文法 II 英語学 II 英米の詩 II 教職実践論 I	英語のスピーキング・リスニング VII 教職実践論 II	英語のスピーキング・リスニング VIII
科目数	3	4	2	1
教職科目	英語科教育法 III 道徳活動の指導法 生徒指導（進路指導を含む）	教育社会学 I 英語科教育法 IV 総合的な学習の時間の指導法（中・高） 教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	3	4	0	1
科目数計	10	12	5	5

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全 学 共 通 科 目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV 外国語科目 I II コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	5	3	6
コ 学 一 科 ス必 必修 修科 科目 目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 英語のリーディング I 基礎英文法 I 英語のスピーキング・リスニング I 英語の語彙と用法 I 英語音声学 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 英語のリーディング II 基礎英文法 II 英語のスピーキング・リスニング II 英語の語彙と用法 II 英語音声学 II	キャリア戦略 I 英語のリーディング I 英語の語彙と用法 III 海外英語特講	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 英語のリーディング II 英語の語彙と用法 IV
科目数	7	8	4	4
コ 必 修 科 目 選 択	現代アメリカ事情 I 現代イギリス事情 I	グローバルコミュニケーション I ホスピタリティ英語 I	英語のリーディング III 英語のスピーキング・リスニング III グローバルコミュニケーション II ホスピタリティ英語 II	英語のリーディング IV 英語のスピーキング・リスニング IV
科目数	2	2	4	2
選 コ 科 目	学内フィールドワーク I	学内フィールドワーク II	英文法 I メディアの英語 英米の小説 I 英米の詩 I	英文法 II 現代イギリス事情 II 現代アメリカ事情 II グローバルコミュニケーション III ホスピタリティ英語 III
科目数	1	1	4	5
教 職 科 目				
科目数				
科目数計	16	16	15	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全 学 共 通 科 目	(英語 V) 外国語科目 III IV	(英語 VI)	(英語 VII)	(英語 VIII)
科目数	2	0	0	0
コ 学 一 科 ス必 必修 修科 科目 目・	専門ゼミ I 英語のコミュニケーション I	専門ゼミ II 英語のコミュニケーション II	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
コ 必 修 科 目 選 択	英語のリーディング V 英語のライティング III 英語のスピーキング・リスニング V 英語学入門 I キャリア戦略 III	英語のリーディング VI 英語のライティング IV 英語のスピーキング・リスニング VI 英語学入門 II キャリア戦略 IV		
科目数	5	5	0	0
選 コ 科 目	グローバルコミュニケーション IV ホスピタリティ英語 IV 英語学 I イギリスの歴史 短期インターナーシップ	英語学 II アメリカの歴史	英語のスピーキング・リスニング VII	英語のスピーキング・リスニング VIII
科目数	5	2	1	1
教 職 科 目				
科目数				
科目数計	14	9	3	3

習熟度に応じ「グローバルコミュニケーション I II」は、「ホスピタリティ英語 I II」からの履修を推奨する。

文学科 日本語・日本文学コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。

②日本語・日本文学コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
53	18	23	94

③日本語・日本文学コースの専門教育科目（B類）については、別表IV-11の通り卒業必修欄に○印の付いている科目53単位と選択必修科目18単位、そして別表IV-11の選択科目及び別表IV-8、IV-14、IV-19、IV-22、IV-23から23単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。

④中学校教諭一種免許状（国語）、高等学校教諭一種免許状（国語）を取得しようとする者は、①に加えて、中一免（国語）、高一免（国語）欄に○印の付いている科目を全部履修してください。併せて別表IV-12、13に記載の通り履修してください。

⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表VIII-1～5（P.279～P.283）により履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。

⑥単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

文学科 日本語・日本文学コース 専門教育科目 (B類)

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免 (国語)	高一免 (国語)	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学科必修科目	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 I (RE科目)			2	○			○									学科必修科目 (計23単位)
	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 II (RE科目)			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション I			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 I			2	○			○									
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 II			2	○			○									
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 I			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 II			2	○					○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ入門	演	1	○					○								
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ I (3年次ゼミ I)		1	○						○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ II (3年次ゼミ II)		1	○							○						
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ III (4年次ゼミ I)		1	○								○					
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ IV (4年次ゼミ II)			1	○								○				
	<input type="checkbox"/> 卒業研究			4	○									○			
	(小計)			23	23												
コース必修科目	<input type="checkbox"/> 日本文化入門			2	○			○									コース必修科目 (計30単位)
	<input type="checkbox"/> 国際文化論			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 I			2	○			○									
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 II			2	○	○	○		○								
	<input type="checkbox"/> 日本語概説 I			2	○	○	○	○									
	<input type="checkbox"/> 日本語概説 II			2	○	○	○	○									
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 I			2	○	○	○		○								
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 II			2	○	○	○			○							
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 I			2	○	○	○	○									
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 II			2	○	○	○	○									
	<input type="checkbox"/> 日本語の語法 I			2	○	○	○		○								
	<input type="checkbox"/> 日本語の語法 II			2	○					○							
	<input type="checkbox"/> 日本語の歴史 I			2	○	○	○			○							
	<input type="checkbox"/> 日本語の歴史 II			2	○	○	○				○						
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 I	演	1	○	○	○	○	○									
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 II		1	○	○	○	○		○								
	(小計)			30	30												
コース選択必修科目	<input type="checkbox"/> 日本文学特講 I			2										○			コース選択必修科目 (計18単位)
	<input type="checkbox"/> 日本文学特講 II			2										○			
	<input type="checkbox"/> 古典語の研究 I	演	1								○						
	<input type="checkbox"/> 古典語の研究 II		1								○						
	<input type="checkbox"/> 現代語の研究 I	演	1							○							
	<input type="checkbox"/> 現代語の研究 II		1							○							
	<input type="checkbox"/> 日本語学特講 I		2											○			
	<input type="checkbox"/> 日本語学特講 II		2											○			
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 I	演	1		○	○	○			●							
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 II		1		○	○	○		○	●							
	<input type="checkbox"/> 日本語表現法 I	演	1		○	○	○			○							
	<input type="checkbox"/> 日本語表現法 II		1		○	○	○				○						
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学講読 I		2							○							
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学講読 II		2							○							
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学講読 I		2						○			●					
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学講読 II		2						○			●					
	<input type="checkbox"/> 書写・書道 I	演	1		○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 書写・書道 II		1		○	○	○										
	<input type="checkbox"/> 日本語の音声		2		○	○	○							○			
	<input type="checkbox"/> 編集・ジャーナリズム論		2											○			
	<input type="checkbox"/> 文芸創作 I		2											○			
	<input type="checkbox"/> 文芸創作 II		2											○			
	(小計)		34	18													
コース選択科目	<input type="checkbox"/> 日本古典文学特講 I			2										○			
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学特講 II			2										○			
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学特講 I			2										○			
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学特講 II			2										○			
	<input type="checkbox"/> 比較文学 I			2							○			●			
	<input type="checkbox"/> 比較文学 II			2							○			●			
	<input type="checkbox"/> 日本語の方言 I			2										○			
	<input type="checkbox"/> 日本語の方言 II			2										○			
	<input type="checkbox"/> メディア論入門			2													
	<input type="checkbox"/> 現代イギリス事情 I	演	1														
	<input type="checkbox"/> 現代アメリカ事情 I		1														
	<input type="checkbox"/> イギリス文学史 I			2													
	<input type="checkbox"/> イギリス文学史 II			2													

文学科 日本語・日本文学コース 専門教育科目（B類）

別表IV—11

区 分 分 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免 (国語)	高一免 (国語)	履修年次				備考	
							1		2			
							春秋	春秋	春秋	春秋		
コ ー ス 選 択 科 目	□ アメリカ文学史 I		2			○					(1~3週まで/1単位~3単位) (4週~20週/4単位~20単位) (1~12週まで/1単位~12単位) (13週~/13単位~20単位)	
	□ アメリカ文学史 II		2			○						
	□ 英米の詩 I	演	1				○					
	□ 英米の詩 II	演	1					○				
	□ 英米の戯曲 I	演	1				○					
	□ 英米の戯曲 II	演	1					○				
	□ 英米の小説 I	演	1				○					
	□ 英米の小説 II	演	1					○				
	□ 英米の批評・随筆 I	演	1						○			
	□ 英米の批評・随筆 II	演	1							○		
	□ 日本史概説 I		2			○						
	□ 日本史概説 II		2			○						
	□ 日本古代史 I		2			○						
	□ 日本古代史 II		2			○						
	□ 日本中世史 I		2				○					
	□ 日本中世史 II		2					○				
	□ 日本近世史 I		2			○						
	□ 日本近世史 II		2			○						
	□ 日本近現代史 I		2				○					
	□ 日本近現代史 II		2					○				
	□ 古文書学 I		2						○			
	□ 古文書学 II		2							○		
	□ 書学入門		2			○						
	□ ホスピタリティ産業論 II		2						○			
	□ プレゼンテーション I		2					○				
	□ プレゼンテーション II		2						○			
	□ キャリア戦略 III		2						○			
	□ キャリア戦略 IV		2							○		
	□ ベーシックコミュニケーション II		2				○					
	□ ビジネスコミュニケーション I		2					○				
	□ ビジネスコミュニケーション II		2						○			
	□ ビジネスコミュニケーション III		2							○		
	□ 学内フィールドワーク I		2				○	○	○	○	各2単位	
	□ 学内フィールドワーク II		2				○	○	○	○		
	□ 学内フィールドワーク III		2				○	○	○	○		
	□ 短期インターンシップ		2					○	○	○		
	□ 長期インターンシップ		20					○	○	○		
	□ 短期留学		12					○	○	○		
	□ 長期留学		20					○	○	○		
	□ 特別講義 I キャリア・デザイン I		2						○			
	□ 特別講義 II キャリア・デザイン II		2							○		
	□ 特別講義 III リーダーシップ		2					○	○	○		
	□ 特別講義 IV 教職実践論 I		2							○		
	□ 特別講義 V 教職実践論 II		2									
	□ 特別講義 VI~XX											
	□ 日本語教育の概要 I		2						○			
	□ 日本語教育の概要 II		2							○		
	□ 日本語教授法 I		2					○				
	□ 日本語教授法 II		2						○			
	□ 日本語教育教材研究 I	演	1						○			
	□ 日本語教育教材研究 II	演	1							○		
	□ 日本語教育演習 I	演	1							○		
	□ 日本語教育演習 II	演	1									
	□ 日本事情 I		2							○		
	□ 日本事情 II		2									
	□ 言語学概論 I		2						○			
	□ 言語学概論 II		2							○		
(小計)			170	23							コース選択科目(計23単位)	
合計			257	94								

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

教職課程履修について [中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 国語]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表IV-12

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	必履 科目 要 修 な が	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/>	英語I	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語II	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康I	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康II	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

日本語・日本文学コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(国語)、高一免(国語)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目的単位は、専門教育科目(B類)の選択科目的単位に計上することができます。

別表IV-13

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	中 免	高 免	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△	△				○					△はいずれか1科目必修	
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△	△				○						
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学I		2	○	○					○					
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	国語科教育法I	演	2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	国語科教育法II	演	2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	国語科教育法III	演	2	○				○							
<input type="checkbox"/>	国語科教育法IV	演	2	○					○						
<input type="checkbox"/>	道徳教育の指導法		2	○	○				○						
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○				●	●					
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育方法学		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○						○				
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○						○					
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3		○					○					
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○				○							
		計	45	40	33										

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 高学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目的単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 日本語・日本文学コース カリキュラムマップ

		1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
学びの扉を開こう	専門的知識を身につけよう	考える力・創作力を養おう	実践力を養おう	教職実践演習	教職実践論	教職実践論			
教員 専門的職業人としての資質・能力を身につける	日本語教員 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ 日本国語法 日本国語活用演習（教職） 生徒指導 国語科教育法Ⅰ 介護主体的学習 教職特別講座 日本語教育の概要Ⅰ 日本語教授法Ⅰ 日本語教育教材研究Ⅰ	特別支援教育総論 教育相談 教育課程論 特別活動の指導法 国語科教育法Ⅱ 教職特別講座 日本語教育の概要Ⅰ 日本語教授法Ⅰ 日本語教育教材研究Ⅰ	道徳教育の指導法 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ 教職特別講座 日本語教育演習Ⅰ 日本事情Ⅰ	教育社会学Ⅰ 総合的な学習の時間の指導法（中・高）教育実習 国語科教育法Ⅴ 教職実践論Ⅰ 日本語教育演習Ⅱ 日本事情Ⅱ	文芸創作Ⅰ 日本近現代文学講読Ⅰ 日本古典文学史Ⅰ 日本古典文学講読Ⅱ 日本古典文学特講Ⅰ 日本古典文学特講Ⅱ 日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ 比較文学Ⅰ 日本語の語法Ⅰ 現代語の語法Ⅰ 現代語の研究Ⅰ 日本語の音声	専門ゼミⅢ 文芸創作Ⅱ 日本近現代文学特講Ⅰ 日本古典文学特講Ⅱ 日本古典文学特講Ⅰ 日本古典文学特講Ⅱ 日本語の歴史Ⅰ 古典語の研究Ⅰ 日本語の方言Ⅰ 日本語の方言Ⅱ	専門ゼミⅣ 卒業研究 日本文学特講Ⅰ	日本文学特講Ⅱ	
教員 日本の言語と文学を理解する	日本文化入門 日本文学概説Ⅰ 日本近現代文学史Ⅰ 日本古典文学の基礎Ⅰ 漢文学の基礎Ⅰ	日本近現代文学講読Ⅰ 日本古典文学の基礎Ⅱ 日本古典文学の基礎Ⅲ 日本古典文学講読Ⅰ 日本古典文学講読Ⅱ 日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ 比較文学Ⅰ 日本語概説Ⅰ	日本近現代文学講読Ⅱ 日本古典文学史Ⅰ 日本古典文学講読Ⅱ 日本古典文学表現法Ⅰ 日本語の語法Ⅰ 現代語の語法Ⅰ 現代語の研究Ⅰ 日本語の音声	日本語の歴史Ⅱ 古典語の研究Ⅱ 日本語の方言Ⅰ 日本語の方言Ⅱ	日本語学特講Ⅰ 日本語学特講Ⅱ	日本語学特講Ⅲ 日本語学特講Ⅳ			
教員 社会人として必要な能力を身につける	女性キャラリア論Ⅰ ベーシックコミュニケーションⅠ コミュニケーションⅠ コミュニケーションⅠ メディア論入門 学内フィールドワークⅠ	女性キャラリア論Ⅱ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ 英語Ⅱ	キャラリア戦略Ⅰ コミュニケーションⅠ コミュニケーションⅠ コミュニケーションⅠ コミュニケーションⅠ コミュニケーションⅠ 英語Ⅲ	キャラリア戦略Ⅱ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅡ 英語Ⅳ	キャラリア戦略Ⅲ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅢ 英語Ⅴ	キャラリア戦略Ⅳ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅣ 英語Ⅵ			
教員 人間性を高める	人文科学入門Ⅰ (RE科目) コンピュータ 英語Ⅰ 情報活用演習（基礎）	人文科学入門Ⅱ (RE科目) コンピュータ 英語Ⅱ 情報活用演習（基礎）	国際文化論 英語Ⅲ 教養科目	コントピュータ 英語Ⅳ 教養科目	英語Ⅴ 教養科目	英語Ⅵ 教養科目			
教員 教育目標	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy I スポーツと健康Ⅰ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ			
教員 3年次	1年次	2年次	3年次	4年次	4年次	課題解決のための実践力を修得する			
教員 4年次	学修の基礎を身につける	専門分野の基礎を理解する	<調べる・考える・議論する>ための技能を修得する						

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 日本語・日本文学コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

学びの扉を開こう > 専門的知識を身につけよう > 考える力・創作力を身につけよう

		実践力を養おう		
		3年次	4年次	
教員	専門的職業人としての職責・能力を身につける	必要な基礎的知識が身についている (成績評価・GPA)	中学校・高校の教員として必要な基礎的知識・技能を身についている (レポート・成績評価・GPA)	文化的教養を深め、社会に貢献できる女性 （実習評価・成績評価・GPA）
		日本語教育における基礎的な知識・技能を説明できる (レポート・成績評価・GPA)	日本語教育の専門的な知識・技能を身につけて、その応用的側面を学び、実践できる (レポート・成績評価・GPA)	文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけて、主体的に課題を解決できる （実習評価・成績評価・GPA）
教員	日本語と文學を理解し、その豊かさを味わい実践できる	日本文化的根柢を成す日本語学・日本文学の基礎概念を学び、説明できる (レポート・成績評価・GPA)	日本語学・日本文学の基礎を踏まえたうえで、その歴史的觀点や異文化との比較的の観点から、応用的側面を学び、身につける (レポート・成績評価・GPA)	自己の課題探求の成果を、論文としてまとめて、わかりやすく伝えることができる （発表・論文・成績評価・GPA）
		社会人として必要な能力を身につける (レポート・成績評価・GPA)	自己のキャリアリバビリションを設定し、そのため必要な知識・技能について理解している (レポート・成績評価・GPA)	課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる （発表・レポート・成績評価・GPA）
教員	学びの基礎を高める 人間性を高める	必要な教養を養うための学びの基礎を身につける (レポート・成績評価・GPA)	教養を深め、高めるために必要な知識を身につける、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現できる (発表・レポート・成績評価・GPA)	現代社会の課題を認識し、社会に動きかけることができる （発表・レポート・成績評価・GPA）
		連学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる (アーチーフメントテスト・成績評価)	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる (成績評価・GPA)	伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本の気品の模範としての「礼節」を身につける （成績評価・GPA）
教員	教育目標	1年次 学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する	2年次 専門分野の基礎を理解する	3年次 課題解決のための実践力を修得する 4年次 課題解決のための実践力を修得する

文学科 日本語・日本文学コース 教員免許取得履修モデル
中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 (国語) を取得する場合

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	6	3	4
コ学 一科 ス必 修科 科目・ 必修科 科目	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 日本文化入門 日本文学概説 I 日本語概説 I 日本近現代文学史 I 日本古典文学の基礎 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 日本文学概説 II 日本語概説 II 日本近現代文学史 II 日本古典文学の基礎 II	キャリア戦略 I 国際文化論 日本古典文学史 I 日本語の語法 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本古典文学史 II 日本語の語法 II
科目数	7	7	4	4
科 目 一 ・ ス 選 択 科 必 修 科 目	書写・書道 I メディア論入門	書写・書道 II	日本古典文学講読 I 日本語表現法 I 漢文学の基礎 I 教職特別講座	日本古典文学講読 II 日本語表現法 II 漢文学の基礎 II 教職特別講座
科目数	2	1	4	4
教 職 科 目			教職入門 教育基礎論 教育方法論 生徒指導（進路指導を含む） 国語科教育法 I 介護体験実習	特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育心理学 国語科教育法 II
科目数	15	14	17	17
科目数計				

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
コ学 一科 ス必 修科 科目・ 必修科 科目	専門ゼミ I 日本語の歴史 I	専門ゼミ II 日本語の歴史 II	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
修 科 一 科 ス 目 ・ 選 択 科 必 修 科 目	日本古典文学特講 I 古典語の研究 I 日本語の音声 比較文学 I 日本近現代文学講読 I	日本古典文学特講 II 古典語の研究 II 比較文学 II 日本近現代文学講読 II 教職実践論 I	日本文学特講 I 日本語学特講 I 教職実践論 II	日本文学特講 II 日本語学特講 II
科目数	5	5	3	2
教 職 科 目	道徳活動の指導法 国語科教育法 III	教育社会学 I 国語科教育法 IV 総合的な学習の時間の指導法 教育相談 (中・高) 教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	2	5	0	1
科目数計	10	13	6	6

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	5	3	4
コ 学 一 科 ス 必 必 修 修 科 科 目 ・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 日本文化入門 日本文学概説 I 日本語概説 I 日本近現代文学史 I 日本古典文学の基礎 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 日本文学概説 II 日本語概説 II 日本近現代文学史 II 日本古典文学の基礎 II	キャリア戦略 I 日本古典文学史 I 日本語の語法 I 日本語の歴史 I 国際文化論	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本古典文学史 II 日本語の語法 II 日本語の歴史 II
科目数	7	7	5	5
コ ー 選 ス 科 目 ・ 必 修 科 目	メディア論入門 学内フィールドワーク I	ベーシックコミュニケーション II 学内フィールドワーク II	日本近現代文学講読 I 比較文学 I 現代語の研究 I 日本語表現法 I 日本古典文学講読 I プレゼンテーション I	日本近現代文学講読 II 比較文学 II 現代語の研究 II 日本語表現法 II 日本古典文学講読 II 編集・ジャーナリズム論 ホスピタリティ産業論 II
科目数	2	2	6	7
科目数計	15	14	13	16

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
コ 学 一 科 ス 必 必 修 修 科 科 目 ・	専門ゼミ I 日本語の歴史 I	専門ゼミ II 日本語の歴史 II	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
コ ー 選 ス 科 目 ・ 必 修	日本近現代文学特講 I 文芸創作 I キャリア戦略 III プレゼンテーション II 短期インターンシップ	日本近現代文学特講 II 文芸創作 II キャリア戦略 IV	日本文学特講 I 日本語学特講 I	日本文学特講 II 日本語学特講 II
科目数	5	3	2	2
科目数計	8	6	5	5

文学科 歴史文化コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。

②歴史文化コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
51	16	27	94

③歴史文化コースの専門教育科目（B類）については、別表IV-14の通り卒業必修欄に○印の付いている科目51単位と選択必修科目16単位、そして別表IV-14の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-19、IV-22、IV-23から27単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。

④中学校教諭一種免許状（社会）を取得しようとする者は、①に加えて、中一免（社会）欄に○印の付いている科目を全部と、△印の付いている科目のうち6単位を選択履修してください。併せて別表IV-15、16に記載の通り履修してください。

⑤高等学校教諭一種免許状（地理歴史）を取得しようとする者は、①に加えて、高一免（地歴）欄に○印の付いている科目を全部と、△印の付いている科目のうち4単位を選択履修してください。併せて別表IV-17、18に記載の通り履修してください。

⑥図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表VIII-1～5（P.279～P.283）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。

⑦単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

文学科 歴史文化コース 専門教育科目 (B類)

別表IV—14

区分	チエック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免 (社会)	高一免 (地歴)	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
学科必修科目	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 I (RE科目)			2	○			○									学科必修科目 (計23単位)
	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 II (RE科目)			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション I			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 I			2	○			○									
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 II			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 I			2	○					○							
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 II			2	○					○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ入門 (2年次秋)	演		1	○					○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ I (3年次ゼミ I)	演		1	○					○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ II (3年次ゼミ II)	演		1	○					○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ III (4年次ゼミ I)	演		1	○						○						
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ IV (4年次ゼミ II)	演		1	○						○						
	<input type="checkbox"/> 卒業研究			4	○												
	(小計)			23	23												
コース必修科目	<input type="checkbox"/> 国際文化論			2	○					○							コース必修科目 (計28単位)
	<input type="checkbox"/> 歴史文化入門 I			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> 歴史文化入門 II			2	○					○							
	<input type="checkbox"/> 日本史概説 I			2	○	○	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 日本史概説 II			2	○	○	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 日本古代史 I			2	○	△	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 日本中世史 I			2	○	△	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 日本近世史 I			2	○	△	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 日本近現代史 I			2	○	△	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 日本考古学 I			2	○		○		○								
	<input type="checkbox"/> 民俗文化論 I			2	○				○								
	<input type="checkbox"/> 日本美術史 I			2	○			○									
	<input type="checkbox"/> 西洋史概説			2	○	○	○	○	○		●						
	<input type="checkbox"/> 東洋史概説			2	○	○	○	○	○		●						
	(小計)			28	28												
コース選択必修科目	<input type="checkbox"/> 日本古代史 II			2		△	△		○								コース選択必修科目 (計16単位)
	<input type="checkbox"/> 日本中世史 II			2		△	△			○							
	<input type="checkbox"/> 日本近世史 II			2		△	△		○								
	<input type="checkbox"/> 日本近現代史 II			2		△	△			○							
	<input type="checkbox"/> 日本考古学 II			2			△			○							
	<input type="checkbox"/> 民俗文化論 II			2						○							
	<input type="checkbox"/> 日本美術史 II			2			△			○							
	<input type="checkbox"/> 古文書学 I			2						○							
	<input type="checkbox"/> 古文書学 II			2							○						
	<input type="checkbox"/> 日本史特講 I			2							○						
	<input type="checkbox"/> 日本史特講 II			2								○					
	<input type="checkbox"/> 日本考古学特講			2								○					
	<input type="checkbox"/> 民俗学特講			2								○					
	<input type="checkbox"/> 芸術学特講			2								○					
	<input type="checkbox"/> 地理学 I			2		○	○		○			●					
	<input type="checkbox"/> 地理学 II			2		○	○			○		●					
	<input type="checkbox"/> 地誌学			2		○	○				○		○				
	<input type="checkbox"/> 社会学入門 I			2		○	○		○								
	<input type="checkbox"/> 宗教学入門			2		○	○		○								
	<input type="checkbox"/> 倫理学入門			2		○			○			●					
	<input type="checkbox"/> 政治学入門			2		○			○			●					
	<input type="checkbox"/> 経済学入門			2		○			○			●					
	(小計)			44	16												
コース選択科目	<input type="checkbox"/> 日本文化入門			2					○								通年科目 通年科目
	<input type="checkbox"/> 文化財研究 I			2						○	○						
	<input type="checkbox"/> 文化財研究 II			2							○	○					
	<input type="checkbox"/> イギリスの歴史			2								○					
	<input type="checkbox"/> アメリカの歴史			2								○					
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 I			2					○								
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 II			2					○								
	<input type="checkbox"/> 日本語概説 I			2					○								
	<input type="checkbox"/> 日本語概説 II			2					○								
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 I	演		1					○								
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 II	演		1					○								
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 I	演		1					○								
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 II	演		1					○								

文学科 歴史文化コース 専門教育科目（B類）

別表IV—14

区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免（社会）	高一免（地歴）	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
コ ース 選 択 科 目	I ス 選 択 科 目	□ 日本古典文学史 I		2						○							(1~3週まで/1単位~3単位) (4週~20週/4単位~20単位) (1~12週まで/1単位~12単位) (13週~/13単位~20単位)
		□ 日本古典文学史 II		2							○						
		□ 日本近現代文学史 I		2				○									
		□ 日本近現代文学史 II		2					○								
		□ 日本語の歴史 I		2						○							
		□ 日本語の歴史 II		2							○						
		□ 書学入門		2				○									
		□ 日本書道史概説		2							○						
		□ 図書館概論		2				○									
		□ 図書館情報資源概論		2					○								
		□ メディア論入門		2				○									
		□ 生涯学習概論		2					○								
		□ 博物館概論		2					○								
		□ 博物館経営論		2						○							
		□ 博物館資料論		2						○							
		□ 博物館資料保存論		2							○						
		□ 博物館展示論		2								○					
		□ 博物館情報・メディア論		2							○						
		□ 博物館教育論		2								○					
		□ 博物館実習	実	3							○	○					
		□ キャリア戦略III		2							○						
		□ キャリア戦略IV		2								○					
		□ ベーシックコミュニケーションII		2				○									
		□ プレゼンテーションI		2					○								
		□ プレゼンテーションII		2							○						
		□ ビジネスコミュニケーションI		2						○							
		□ ビジネスコミュニケーションII		2							○						
		□ ビジネスコミュニケーションIII		2								○					
		□ ホスピタリティ英語I		2				○									
		□ ホスピタリティ英語II		2					○								
		□ ホスピタリティ英語III		2						○							
		□ ホスピタリティ英語IV		2							○						
		□ グローバルコミュニケーションI		2				○									
		□ グローバルコミュニケーションII		2					○								
		□ グローバルコミュニケーションIII		2						○							
		□ グローバルコミュニケーションIV		2							○						
		□ 学内フィールドワークI		2				○									
		□ 学内フィールドワークII		2					○								
		□ 学内フィールドワークIII		2						○							
		□ 短期インターンシップ		2							○	○	○	○	○	○	
		□ 長期インターンシップ		20							○	○	○	○	○	○	
		□ 短期留学		12							○	○	○	○	○	○	
		□ 長期留学		20							○	○	○	○	○	○	
		□ 特別講義I キャリア・デザインI		2							○						各2単位 コース選択科目 (計27単位)
		□ 特別講義II キャリア・デザインII		2								○					
		□ 特別講義III リーダーシップ		2							○	○	○	○			
		□ 特別講義IV 教職実践論I		2									○				
		□ 特別講義V 教職実践論II		2										○			
		□ 特別講義VI～XX															
		(小計)		165	27												
		合計		260	94												

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

※1 中一免（社会）取得希望者は中一免（社会）欄の△の科目のうち6単位を選択履修すること。

※2 高一免（地理歴史）取得希望者は高一免（地歴）欄の△の科目のうち4単位を選択履修すること。

教職課程履修について [中学校教諭一種免許状 社会]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表IV-15

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修な修科が目必	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 日本国憲法			2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/> 英語Ⅰ	演	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/> 英語Ⅱ	演	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/> スポーツと健康Ⅰ	講、実	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/> スポーツと健康Ⅱ	講、実	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎)	演	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(教職)	演	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

歴史文化コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(社会)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表IV-16

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	中免	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 教職入門			2	○			○							
<input type="checkbox"/> 教育基礎論			2	○			○							
<input type="checkbox"/> 教育心理学			2	△				○						
<input type="checkbox"/> 発達心理学			2	△					○					
<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論			2	○			○							
<input type="checkbox"/> 教育社会学Ⅰ			2	○						○				
<input type="checkbox"/> 教育課程論			2	○				○						
<input type="checkbox"/> 社会科・地歴科教育法Ⅰ	演	演	2	○			○							
<input type="checkbox"/> 社会科・地歴科教育法Ⅱ	演	演	2	○			○							
<input type="checkbox"/> 社会科・公民科教育法Ⅰ	演	演	2	○				○						
<input type="checkbox"/> 社会科・公民科教育法Ⅱ	演	演	2	○					○					
<input type="checkbox"/> 道徳教育の指導法			2	○					○					
<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間の指導法			2	○					●	●				
<input type="checkbox"/> 特別活動の指導法			2	○				○						
<input type="checkbox"/> 教育方法学			2	○			○							
<input type="checkbox"/> 生徒指導(進路指導を含む)			2	○			○							
<input type="checkbox"/> 教育相談			2	○			○							
<input type="checkbox"/> 教職実践演習(中・高)	演	演	2	○							○			
<input type="checkbox"/> 中学校教育実習	実	実	5	○					○					
<input type="checkbox"/> 介護体験実習	実	実	1	○			○							
	計		42	40										

[注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印が付された科目全部と△印が付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

3. 履修年次欄に○印が付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

教職課程履修について [高等学校教諭一種免許状 地歴]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表IV-17

チ エ ック 欄	授業科目	授業 方法 の 方 法	単 位	要履 修 な 科 目 が 必 要	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

歴史文化コースの専門教育科目(B類)に記載の高一免(地歴)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表IV-18

チ エ ック 欄	授業科目	授業 の 方 法	単 位	高 免	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△				○						
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△					○					
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○						○				
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	社会科・地歴科教育法Ⅰ	演	2	○			○							
<input type="checkbox"/>	社会科・地歴科教育法Ⅱ	演	2	○			○							
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育方法学		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○							○			
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○						○				
	計		33	31										

- [注] 1. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 3. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 歴史文化コース カリキュラムマップ

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
	学びの扉を開こう	専門的知識を身につけよう			考える力・創作力を養おう		実践力を養おう	
教員 専門的職業人としての資質・能力を身につける	日本憲法 情報活用演習（教職）	教職入門 教育基礎論	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法	道徳教育の指導法 生徒指導 教育相談 教育方法論	教育社会学 I 総合的な学習の時間の指導法	教職実践演習		
学芸員 日本の歴史と文化を理解する	社会科・地歴科教育法 I 介護体験美習 教職特別講座 生涯学習論 博物館概論	社会科・地歴科教育法 I 教職特別講座 博物館説明論 博物館資料論 博物館美習	社会科・公民科教育法 II 社会科・公民科教育法 II （中・高）教育美習 教職実践論 I 博物館保存論 博物館情報論 博物館展示論 博物館教育論	社会科・公民科教育法 II （中・高）教育美習 教職実践論 I 博物館展示論 博物館教育論	教育社会学 I 総合的な学習の時間の指導法	教職実践演習		
基礎 社会人として必要な能力を身につける	歴史文化入門 I 日本史概説 I 日本古代史 I 日本近世史 I	歴史文化入門 II 日本史概説 II 日本古代史 II 日本近世史 II	日本中世史 I 日本近現代史 I 日本考古学 I 民俗文化論 I 日本美術史 I 西洋史概説 I 地理学 I	日本中世史 II 日本近現代史 II 日本考古学 II 民俗文化論 II 日本美術史 II 東洋史概説 II 地理学 II	専門ゼミ入門 古文書学 I 日本史特講 I 芸術学特講 日本古学特講 民俗学特講	専門ゼミ III 古文書学 II 日本史特講 II 芸術学特講 II 日本古学特講 II	専門ゼミ IV 古文書学 III 日本史特講 III 芸術学特講 III 日本古学特講 III	専門ゼミ V 古文書学 IV 日本史特講 IV 芸術学特講 IV 日本古学特講 IV
基礎 企業就職	社会学入門 I 宗教学入門	宗教学入門	倫理学入門 政治学入門	経済学入門				
基礎 社会人として必要な能力を身につける	女性キャラリア論 I コミュニケーション I メディア論入門 学内フィールドワーク I	女性キャラリア論 II コミュニケーション II コミュニケーション I プレゼンテーション I コミュニケーション II ホスピタリティ英語 I ホスピタリティ英語 II 学内フィールドワーク II	キャラリア戦略 I コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーション I コミュニケーション II ホスピタリティ英語 I ホスピタリティ英語 II	キャラリア戦略 II キャラリア戦略 III キャラリア戦略 IV	キャラリア戦略 III キャラリア戦略 IV	キャラリア戦略 IV		
基礎 学びの基礎を身につける	人文科学入門 I （RE科目） コミュニケーション I 英語 I 情報活用演習（基礎）	人文科学入門 II （RE科目） コミュニケーション I 英語 II 外国语	国際文化論 英語 III 外国语 教養科目	国際文化論 英語 IV 外国语 教養科目	国際文化論 英語 IV 外国语 教養科目	国際文化論 英語 IV 外国语 教養科目		
人間性を高める	聖徳教育 I SEITOKU Academic Literacy I スポーツと健康 I	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育 I 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育 I 聖徳教育 II	聖徳教育 I 聖徳教育 II	聖徳教育 I 聖徳教育 II	聖徳教育 I 聖徳教育 II
教育目標	1年次 学修への姿勢を確立する	2年次 専門分野の基礎を理解する	3年次 <調べる・考える・議論する>ための技能を修得する	4年次 課題解決のための実践力を修得する	3年次 専門分野の基礎を理解する	4年次 課題解決のための実践力を修得する		

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 歴史文化コース 学びで得られる成果（Learning Outcomes）

学びの扉を開こう		専門的知識を身につけよう		考える力・創作力を身につけよう		実践力を養おう		学位授与の方針に掲げる学修成果
1年次		2年次		3年次		4年次		
教員として必要な基礎的知識が身についている （成績評価・GPA）	教員として必要な基礎的知識が身についている （成績評価・GPA）	中学・高校の教員として必要な基礎的知識・技能が身についている （成績評価・GPA）	中学・高校の社会科教員として必要な知識・技術を身につけ、それを実習の場で活用することができる （成績評価・GPA）	日本史学・考古学・民俗学・美術史学の専門的な知識・技能が身についている （成績評価・GPA）	日本史学・考古学・民俗学・美術史学の専門的な知識・技能が身についている （成績評価・GPA）	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている （成績評価・GPA）	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている （成績評価・GPA）	文化的教養を深め、社会に貢献できる女性
専門的職業人としての資質・能力を身につける （学芸員）	専門的職業人としての資質・能力を身につける （学芸員）	専門的職業人としての資質・能力を身につける （学芸員）	専門的職業人としての資質・能力を身につける （学芸員）	専門的な知識・技能を身につけ、博物館・美術館における実習で活用することができる （実習評価・成績評価・GPA）	専門的な知識・技能を身につけ、博物館・美術館における実習で活用することができる （実習評価・成績評価・GPA）	社会人として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける （成績評価・GPA）	社会人として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける （成績評価・GPA）	伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本の社会の気品と併せて生きる力を身につけて実践できる （成績評価・GPA）
日本の歴史と文化を理解する （学芸員）	日本の歴史と文化を理解する （学芸員）	日本の歴史と文化を理解する （学芸員）	日本の歴史と文化を理解する （学芸員）	日本の歴史と文化を理解する （学芸員）	日本の歴史と文化を理解する （学芸員）	人間性を高める （アーチーフメントテスト・成績評価）	人間性を高める （アーチーフメントテスト・成績評価）	伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本の社会の気品と併せて生きる力を身につけて実践できる （成績評価・GPA）
教育目標 学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する	教育目標 学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する	教育目標 専門分野の基礎を理解する	教育目標 専門分野の基礎を理解する	教育目標 〈調べる・考える・議論する〉ための技能を修得する	教育目標 課題解決の実践力を修得する	4年次	4年次	4年次

文学科 歴史文化コース 免許・資格取得履修モデル
中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地歴）を取得する場合

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 I 中国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III 中国語 III 中国語 IV	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	8	5	4
学 科 必 修 選 科 必 修 ス 科 必 修 目 修 ・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 歴史文化入門 I 日本史概説 I 日本古代史 I 日本近世史 I 社会学入門 I 宗教学入門	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 歴史文化入門 II 日本史概説 II 日本古代史 II 日本近世史 II	キャリア戦略 I 国際文化論 日本中世史 I 日本近現代史 I 日本考古学 I 日本美術史 I 民俗文化論 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本考古学 II 日本美術史 II 民俗文化論 II
科目数	8	7	7	5
選 科 必 修 ス 科 必 修 目 修 ・			教職特別講座	教職特別講座
科目数	0	0	1	1
教 職 科 目			教職入門 教育基礎論 社会科・地歴科教育法 I 介護体験実習	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 社会科・地歴科教育法 II
科目数	0	0	4	5
科目数計	14	15	17	16

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数	0	0	0	0
学 科 必 修 選 科 必 修 ス 科 必 修 目 修 ・	専門ゼミ I 古文書学 I 西洋史概説 地理学 I 倫理学入門 政治学入門	専門ゼミ II 古文書学 II 東洋史概説 地理学 II 地誌学 経済学入門	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	6	6	2	2
選 科 必 修 ス 科 必 修 目 修 ・		教職実践論 I	文化財研究 II（通年） 教職実践論 II	文化財研究 II（通年）
科目数	0	1	2	1
教 職 科 目	社会科・公民科教育法 I 道徳活動の指導法 生徒指導（進路指導を含む） 教育相談 教育方法学	社会科・公民科教育法 II 教育社会学 I 総合的な学習の時間の指導法（中・高） 教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	5	4	0	1
科目数計	11	11	4	4

文学科 歴史文化コース 企業就職履修モデル

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	5	3	4
学科 必 修 選 ・ 選 科 必 修 ・ 科 必 修 ・ 科 必 修 ・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 歴史文化入門 I 日本史概説 I 日本古代史 I 日本近世史 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 歴史文化入門 II 日本史概説 II	キャリア戦略 I 国際文化論 日本中世史 I 日本近現代史 I 日本考古学 I 日本美術史 I 民俗文化論 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本中世史 II 日本近現代史 II 日本考古学 II 日本美術史 II 民俗文化論 II
科目数	6	5	6	6
選 科 目	学内フィールドワーク I メディア論入門	学内フィールドワーク II ベーシックコミュニケーション II ホスピタリティ英語 I	ホスピタリティ英語 II プレゼンテーション I 情報資源概論	ホスピタリティ英語 III
科目数	2	3	3	1
科目数計	14	12	12	13

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
学科 必 修 選 ・ 選 科 必 修 ・ 科 必 修 ・ 科 必 修 ・	専門ゼミ I 日本史特講 I 芸術学特講 西洋史概説 政治学入門	専門ゼミ II 日本考古学特講 民俗学特講 東洋史概説 経済学入門	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	5	5	2	2
選 科 目	キャリア戦略 III ホスピタリティ英語 IV プレゼンテーション II 短期インターンシップ	キャリア戦略 IV		
科目数	4	1	0	0
科目数計	10	7	3	3

文学科 書道文化コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。

②書道文化コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
49	8	37	94

③書道文化コースの専門教育科目（B類）については、別表IV-19の通り卒業必修欄に○印の付いている科目49単位と選択必修科目8単位、そしてIV-19の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-14、IV-22、IV-23から37単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。

④高等学校教諭一種免許状（書道）を取得しようとする者は、①に加えて、高一免（書道）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表IV-20、21に記載の通り履修してください。

⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表VIII-1～5（P.279～P.283）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。

⑥単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

文学科 書道文化コース 専門教育科目 (B類)

別表IV-19

区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修 (書道)	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学 科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 I (RE科目)			2	○	○									学科必修科目 (計23単位)
	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 II (RE科目)			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション I			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 I			2	○	○									
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 II			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 I			2	○			○							
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 II			2	○				○						
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ入門 (2年次秋)	演		1	○				○						
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ I (3年次ゼミ I)	演		1	○					○					
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ II (3年次ゼミ II)	演		1	○						○				
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ III (4年次ゼミ I)	演		1	○							○			
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ IV (4年次ゼミ II)	演		1	○							○			
	<input type="checkbox"/> 卒業研究			4	○							○			
	(小計)			23	23										
コ ース 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 国際文化論			2	○			○							コース必修科目 (計26単位)
	<input type="checkbox"/> 書学入門			2	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 日本書道史概説			2	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 楷書の技法 (A) I	演		1	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 楷書の技法 (A) II	演		1	○	○		○							
	<input type="checkbox"/> 楷書の技法 (B) I	演		1	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 楷書の技法 (B) II	演		1	○	○				○					
	<input type="checkbox"/> 行書の技法 I	演		1	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 行書の技法 II	演		1	○	○				○					
	<input type="checkbox"/> 草書の技法 I	演		1	○	○					○				
	<input type="checkbox"/> 草書の技法 II	演		1	○	○						○			
	<input type="checkbox"/> 隸書の技法	演		1	○	○						○			
	<input type="checkbox"/> 篆書の技法	演		1	○	○						○			
	<input type="checkbox"/> かなの技法 I	演		1	○	○						○			
	<input type="checkbox"/> かなの技法 II	演		1	○	○						○			
コ ース 選 択 必 修	<input type="checkbox"/> 篆刻の技法 I	演		1	○							○			コース選択必修科目 (計 8 単位)
	<input type="checkbox"/> 篆刻の技法 II	演		1	○							○			
	<input type="checkbox"/> 中国書道史概説			2	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 書論・鑑賞			2	○	○						○			
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 I	演		1	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 II	演		1	○	○		○							
	(小計)			26	26										
コ ース 選 択 必 修	<input type="checkbox"/> 漢字作品制作法 I			2								○			コース選択必修科目 (計 8 単位)
	<input type="checkbox"/> 漢字作品制作法 II			2								○			
	<input type="checkbox"/> かな作品制作法 I			2								○			
	<input type="checkbox"/> かな作品制作法 II			2								○			
	<input type="checkbox"/> 古文書学 I			2								○			
	<input type="checkbox"/> 古文書学 II			2								○			
	<input type="checkbox"/> 漢字かな交じり書法	演		1								○			
コ ース 選 択 科 目	<input type="checkbox"/> 実用書道	演		1								○			コース選択科目 (計 15 単位)
	(小計)			14	8										
	<input type="checkbox"/> 日本文化入門			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 I			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 II			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本語概説 I			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本語概説 II			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 I			2		○		○				●			
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 II			2		○			○			●			
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 I			2		○	○				●				
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 II			2		○		○			●				
	<input type="checkbox"/> 日本語の語法 I			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本語の語法 II			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本語の歴史 I			2								○		●	
	<input type="checkbox"/> 日本語の歴史 II			2								○		●	
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 I	演		1								●			
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 II	演		1								●			
	<input type="checkbox"/> 日本語表現法 I	演		1								○			
	<input type="checkbox"/> 日本語表現法 II	演		1								○			
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学講読 I			2								○			
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学講読 II			2								○			

文学科 書道文化コース 専門教育科目（B類）

別表IV—19

区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	高一免(書道)	履修年次				備考
							1	2	3	4	
コ ース 選 択 科 目	<input type="checkbox"/> 書写・書道I	演	1			○	○				
	<input type="checkbox"/> 書写・書道II	演	1			○		○			
	<input type="checkbox"/> 日本語の音声		2						○		
	<input type="checkbox"/> 漢文講読I		2					○		●	
	<input type="checkbox"/> 漢文講読II		2					○		●	
	<input type="checkbox"/> 日本史概説I		2			○					
	<input type="checkbox"/> 日本史概説II		2				○				
	<input type="checkbox"/> 日本古代史I		2			○					
	<input type="checkbox"/> 日本古代史II		2				○				
	<input type="checkbox"/> 日本中世史I		2					○			
	<input type="checkbox"/> 日本中世史II		2						○		
	<input type="checkbox"/> 日本近世史I		2			○					
	<input type="checkbox"/> 日本近世史II		2				○				
	<input type="checkbox"/> 日本近現代史I		2					○			
	<input type="checkbox"/> 日本近現代史II		2						○		
	<input type="checkbox"/> 東洋史概説		2					○		●	
	<input type="checkbox"/> 図書館概論		2			○					
	<input type="checkbox"/> 図書館情報資源概論		2				○				
	<input type="checkbox"/> 日本語教育の概要I		2					○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教育の概要II		2						○		
	<input type="checkbox"/> 日本語教授法I		2				○				
	<input type="checkbox"/> 日本語教授法II		2					○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教育教材研究I	演	1					○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教育教材研究II	演	1					○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教育演習I	演	1						○		
	<input type="checkbox"/> 日本語教育演習II	演	1							○	
	<input type="checkbox"/> 日本事情I		2						○		
	<input type="checkbox"/> 日本事情II		2							○	
	<input type="checkbox"/> 言語学概論I		2				○				
	<input type="checkbox"/> 言語学概論II		2					○			
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略III		2						○		
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略IV		2							○	
	<input type="checkbox"/> ベーシックコミュニケーションII		2				○				
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーションI		2					○			
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーションII		2						○		
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーションIII		2							○	
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワークI		2				○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワークII		2				○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワークIII		2				○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 短期インターンシップ		2					○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 長期インターンシップ		20					○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 短期留学		12					○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 長期留学		20					○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 特別講義I キャリア・デザインI		2						○		
	<input type="checkbox"/> 特別講義II キャリア・デザインII		2							○	
	<input type="checkbox"/> 特別講義III リーダーシップ		2					○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 特別講義IV 教職実践論I		2							○	
	<input type="checkbox"/> 特別講義V 教職実践論II		2								○
	<input type="checkbox"/> 特別講義VI～XX										
	(小計)			170	37	10					

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

教職課程履修について [高等学校教諭一種免許状 書道]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表IV-20

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修な 科が 目必	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
□	日本国憲法		2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
□	英語Ⅰ	演	1	○	○									
□	英語Ⅱ	演	1	○		○								
□	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○									
□	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○		○								
□	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
□	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

書道文化コースの専門教育科目(B類)に記載の高一免(書道)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表IV-21

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	高 免	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
□	教職入門		2	○			○							
□	教育基礎論		2	○		○								
□	教育心理学		2	△				○						
□	発達心理学		2	△					○					
□	特別支援教育総論		2	○			○							
□	教育社会学Ⅰ		2	○							○			
□	教育課程論		2	○			○							
□	書道科教育法Ⅰ	演	2	○				○						
□	書道科教育法Ⅱ	演	2	○					○					
□	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●				
□	特別活動の指導法		2	○				○						
□	教育方法学		2	○			○							
□	生徒指導(進路指導を含む)		2	○			○							
□	教育相談		2	○			○							
□	教職実践演習(中・高)	演	2	○								○		
□	高等学校教育実習	実	3	○						○				
	計		33	31										

- [注] 1. 高学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 3. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

カリキュラムマップ
書道文化コース
文学科 文学部 聖徳大学 令和3年度



文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

文学科 書道文化コース 教員免許取得履修モデル
高等学校教諭一種免許状（書道）を取得する場合

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベースックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 I 中国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III 中国語 III 中国語 IV	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	8	5	4
コ学 一科 ス必 修科 科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 書学入門 楷書の技法（A） I 漢文学の基礎 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 楷書の技法（A） II 漢文学の基礎 II	キャリア戦略 I 国際文化論 楷書の技法（B） I 行書の技法 I 隸書の技法 かなの技法 I 中国書道史概説	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本書道史概説 楷書の技法（B） II 行書の技法 II 篆書の技法 かなの技法 II
科目数	5	5	7	7
選 択 科 目				
科目数				
選 択 科 目	書写・書道 I 日本文学概説 I	書写・書道 II 日本文学概説 II	教職特別講座	教職特別講座
科目数	2	2	1	1
教 職 科 目				
科目数			3	5
科目計	13	15	16	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
コ学 一科 ス必 修科 科目・	専門ゼミ I 草書の技法 I 篆刻の技法 I	専門ゼミ II 草書の技法 II 篆刻の技法 II 書論・鑑賞	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	3	4	2	2
選 択 科 目	漢字作品制作法 I かな作品制作法 I	漢字作品制作法 II かな作品制作法 II	漢字かな交じり書法	実用書道
科目数	2	2	1	1
選 択 科 目	日本古典文学の基礎 I 日本語概説 I 日本古典文学史 I 日本近現代文学史 I 漢文講読 I	日本古典文学の基礎 II 日本語概説 II 日本古典文学史 II 日本近現代文学史 II 漢文講読 II 東洋史概説 教職実践論 I	日本語の歴史 I 教職実践論 II	日本語の歴史 II
科目数	5	7	2	1
教 職 科 目	書道科教育法 I 生徒指導（進路指導を含む）	教育社会学 I 書道科教育法 II 総合的な学習の時間の指導法 高等学校教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	2	4	1	
科目計	12	17	5	5

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 I 中国語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III 中国語 III 中国語 IV	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	7	5	4
コ学 - 科 ス 必 修 科 目 ・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 書学入門 楷書の技法（A） I 漢文学の基礎 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 楷書の技法（A） II 漢文学の基礎 II	キャリア戦略 I 国際文化論 楷書の技法（B） I 行書の技法 I 隸書の技法 かなの技法 I 中国書道史概説	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本書道史概説 楷書の技法（B） II 行書の技法 II 篆書の技法 かなの技法 II
科目数	5	5	7	7
選 科 ス 必 修				
科目数				
選 科 ス 目	書写・書道 I 日本文学概説 I 日本文化入門 学内フィールドワーク I	書写・書道 II 学内フィールドワーク II	日本古典文学購読 I 日本近現代文学史 I 漢文購読 I	日本古典文学購読 II 日本近現代文学史 II 漢文購読 II 東洋史概説
科目数	4	2	3	4
教 職 科 目				
科目数				
科目数計	15	14	15	15

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
コ学 - 科 ス 必 修 科 目 ・	専門ゼミ I 草書の技法 I 篆刻の技法 I	専門ゼミ II 草書の技法 II 篆刻の技法 II 書論・鑑賞	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	3	4	2	2
選 科 ス 必 修	漢字作品制作法 I かな作品制作法 I	漢字作品制作法 II かな作品制作法 II	漢字かな交じり書法	実用書道
科目数	2	2	1	1
選 科 ス 目	日本古典文学史 I 日本語教育の概要 I 古文書学 I キャリア戦略 III 短期インターンシップ	日本古典文学史 II 日本語教育の概要 II 古文書学 II キャリア戦略 IV	日本事情 I	日本事情 II
科目数	5	4	1	1
教 職 科 目				
科目数				
科目数計	10	10	4	4

文学科 図書館情報コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。

②図書館情報コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
51	10	33	94

③図書館情報コースの専門教育科目（B類）については、別表IV-22の通り卒業必修欄に○印の付いている科目51単位と選択必修科目10単位、そして別表IV-22の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-14、IV-19、IV-23から33単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。

④図書館情報コースは、図書館司書資格取得が卒業必修となっており、卒業要件を満たすことにより図書館司書資格を取得することができます。

⑤学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表VIII-1～5（P.279～P.283）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。

⑥単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学 科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 I (RE科目)			2	○										備考
	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 II (RE科目)			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション I			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 I			2	○	○									
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 II			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 I			2	○			○							
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 II			2	○				○						
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ入門 (2年次秋)	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ I (3年次ゼミ I)	演	1	○					○						
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ II (3年次ゼミ II)	演	1	○						○					
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ III (4年次ゼミ I)	演	1	○							○				
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ IV (4年次ゼミ II)	演	1	○								○			
	<input type="checkbox"/> 卒業研究			4	○										
	(小計)			23	23										学科必修科目 (計23単位)
コ ー ス 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 國際文化論			2	○			○							備考
	<input type="checkbox"/> 図書館概論			2	○	○									
	<input type="checkbox"/> 生涯学習概論			2	○	○									
	<input type="checkbox"/> 図書館情報資源概論			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織論			2	○	○									
	<input type="checkbox"/> 図書館情報技術論			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 I	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 II	演	1	○					○						
	<input type="checkbox"/> 図書館サービス概論			2	○	○									
	<input type="checkbox"/> 図書・図書館史			2	○			○							
	<input type="checkbox"/> 情報サービス論			2	○		○								
	<input type="checkbox"/> 情報サービス演習 I	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/> 情報サービス演習 II	演	1	○					○						
	<input type="checkbox"/> 児童サービス論			2	○			○							
	<input type="checkbox"/> 図書館サービス特論			2	○				○						
	<input type="checkbox"/> 図書館制度・経営論			2	○			○							
	(小計)			28	28										コース必修科目 (計28単位)
コ ー ス 選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 図書館基礎特論			2					○						備考
	<input type="checkbox"/> 図書館施設論			2					○						
	<input type="checkbox"/> 図書館情報資源特論			2						○					
	<input type="checkbox"/> 図書館情報学特論 I			2				○							
	<input type="checkbox"/> 図書館情報学特論 II			2						○					
	<input type="checkbox"/> 未来図書館論			2						○					
	<input type="checkbox"/> 原典講読			2						○					
	<input type="checkbox"/> 図書館総合演習	演	1	△						○					
	<input type="checkbox"/> 図書館実習	実	1	△						○					
	<input type="checkbox"/> 学校経営と学校図書館			2				○							
	<input type="checkbox"/> 学習指導と学校図書館			2					○						
	<input type="checkbox"/> 読書と豊かな人間性			2						○					
	<input type="checkbox"/> 情報メディアの活用			2						○					
	<input type="checkbox"/> 古文書学 I			2				○							
	<input type="checkbox"/> 古文書学 II			2					○						
	(小計)			28											コース選択必修科目 (計10単位)
コ ー ス 選 択 科 目	<input type="checkbox"/> メディア論入門			2		○									備考
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ概論			2		○									
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティマネジメント I			2			○								
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティマネジメント II			2				○							
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論 I			2				○							
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論 II			2					○						
	<input type="checkbox"/> ベーシックコミュニケーション II			2				○							
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション II			2					○						
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略III			2						○					
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略IV			2							○				
	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション I			2				○							
	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション II			2					○						
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション I			2			○								
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション II			2				○							
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション III			2					○						
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション IV			2						○					
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション I			2				○							
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション II			2					○						
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション III			2						○					
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング I			2			○								
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング II			2				○							
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング III			2					○						
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング IV			2						○					
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング V			2							○				
	<input type="checkbox"/> 英語のスピーキング・リスニング VI			2								○			
	<input type="checkbox"/> 書学入門			2			○								
	<input type="checkbox"/> 編集・ジャーナリズム論			2				○							

区 分	チ エ ツ ク 欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	卒 業 必 修	履 修 年 次						備 考	
						1		2		3			
						春	秋	春	秋	春	秋		
コ ー ス 選 択 科 目	<input type="checkbox"/> 日本語表現法 I	演	1		○								
	<input type="checkbox"/> 日本語表現法 II	演	1			○							
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 I	演	1		○								
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学の基礎 II	演	1			○							
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 I	演	1		○								
	<input type="checkbox"/> 漢文学の基礎 II	演	1			○							
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 I		2				○						
	<input type="checkbox"/> 日本古典文学史 II		2					○					
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 I		2				○						
	<input type="checkbox"/> 日本近現代文学史 II		2					○					
	<input type="checkbox"/> 日本語の語法 I		2					○					
	<input type="checkbox"/> 日本語の歴史 I		2					○					
	<input type="checkbox"/> 日本語の歴史 II		2						○				
	<input type="checkbox"/> 民俗文化論 I		2					○					
	<input type="checkbox"/> 民俗文化論 II		2						○				
	<input type="checkbox"/> 日本美術史 I		2					○					
	<input type="checkbox"/> 日本美術史 II		2						○				
	<input type="checkbox"/> 歴史文化入門 I		2			○							
	<input type="checkbox"/> 歴史文化入門 II		2				○						
	<input type="checkbox"/> 日本史概説 I		2			○							
	<input type="checkbox"/> 日本史概説 II		2				○						
	<input type="checkbox"/> 博物館概論		2					○					
	<input type="checkbox"/> 博物館経営論		2						○				
	<input type="checkbox"/> 博物館資料論		2						○				
	<input type="checkbox"/> 博物館資料保存論		2						○				
	<input type="checkbox"/> 博物館展示論		2							○			
	<input type="checkbox"/> 博物館情報・メディア論		2							○			
	<input type="checkbox"/> 博物館教育論		2							○			
	<input type="checkbox"/> 博物館実習	実	3							○	○		
	<input type="checkbox"/> 論述技法演習 I	演	1							○			
	<input type="checkbox"/> 論述技法演習 II	演	1								○		
	<input type="checkbox"/> 日本語教育の概要 I		2						○				
	<input type="checkbox"/> 日本語教育の概要 II		2							○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教授法 I		2						○				
	<input type="checkbox"/> 日本語教授法 II		2							○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教育教材研究 I	演	1						○				
	<input type="checkbox"/> 日本語教育教材研究 II	演	1							○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教育演習 I	演	1							○			
	<input type="checkbox"/> 日本語教育演習 II	演	1								○		
	<input type="checkbox"/> 日本事情 I		2							○			
	<input type="checkbox"/> 日本事情 II		2								○		
	<input type="checkbox"/> 言語学概論 I		2						○				
	<input type="checkbox"/> 言語学概論 II		2							○			
	(インターンシップ)												
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク I		2			○	○	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク II		2			○	○	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク III		2			○	○	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 短期インターンシップ		2					○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 長期インターンシップ		20					○	○	○	○		
	(留学)												
	<input type="checkbox"/> 短期留学		12					○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 長期留学		20					○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 特別講義 I キャリア・デザイン I		2						○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義 II キャリア・デザイン II		2							○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義 III リーダーシップ		2					○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 特別講義 IV～XX												
	(小計)		195	0									
	(合計)		274	51									

(1～3週まで/1単位～3単位)
(4週～20週/4単位～20単位)(1～12週まで/1単位～12単位)
(13週～/13単位～20単位)

各2単位

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。

【「学校司書」対応科目】 この表中に表記された科目以外に必要な科目があります。

教職課程論、教育基礎論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育総論です。発達心理学と教育心理学については、どちらか1科目を選択して履修してください。必ず、ライブラリーアテンダント・学校司書履修モデルを見てください。

カリキュラムマップ
図書館情報コース 文学科 聖徳大学 令和3年度

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 図書館情報コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

学びの扉を開こう
専門的知識を身につけよう

考える力・創作力を身につけよう

1年次

2年次

専門的職業人としての資質・能力を身につける

図書館に関する基礎的な知識・技能が身についている

図書館に関する専門的な知識・技能が身についている

(レポート・成績評価・GPA)

学びの基礎を身につける

大学生として必要な教養を養うための基礎を身につける

(レポート・成績評価・GPA)

人間性を高める

建学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる

(アーバーメントテスト・成績評価)

学位授与の方針に掲げる
学修成果

実践力を養おう

3年次

4年次

図書館に関する専門的な知識・技能が身につくことができる

(レポート・成績評価・GPA)

社会人として必要な教養を身につける

(レポート・成績評価・GPA)

人間性を高める

(成績評価・GPA)

教育目標

専門分野の基礎を理解する

(成績評価・GPA)

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性



文学科 図書館情報コース 履修モデル
ライブラリーアテンダント、企業就職履修モデル

(○が司書資格科目)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	5	3	4
コース必修科目	人文科学入門 I 女性キャリア論 I ○図書館概論 ○生涯学習概論 ○情報資源組織論 ○図書館サービス概論	人文科学入門 II 女性キャリア論 II ホスピタリティコミュニケーション I ○図書館情報資源概論 ○情報サービス論 ○図書館情報技術論	キャリア戦略 I 国際文化論 ○情報サービス演習 I ○児童サービス論 ○情報資源組織演習 I ○図書館制度・経営論	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 ○情報資源組織演習 II ○情報サービス演習 II ○図書館サービス特論 図書館情報学特論 I
科目数	6	6	6	6
選択コース	学内フィールドワーク I 英語のスピーキング・リスニング I ホスピタリティ概論	学内フィールドワーク II 英語のスピーキング・リスニング II ホスピタリティ英語 I	英語のスピーキング・リスニング III メディア論入門 ビジネスコミュニケーション I ホスピタリティ英語 II	英語のスピーキング・リスニング IV ベーシックコミュニケーション II ビジネスコミュニケーション II 編集・ジャーナリズム論 ホスピタリティ英語 III
科目数	3	3	4	5
科目数計	15	13	13	16

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	専門ゼミ I 図書館情報学特論 II 図書館実習 ○図書・図書館史 図書館施設論	専門ゼミ II 未来図書館論 原典購読 図書館情報資源特論	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	5	4	2	2
選択コース	キャリア戦略 III ビジネスコミュニケーション III 短期インターンシップ プレゼンテーション I ホスピタリティ産業論 I	キャリア戦略 IV ホスピタリティ産業論 II		
科目数	5	2	0	0
科目数計	11	7	3	3

文学科 図書館情報コース 履修モデル
 ライブライアテンダント、学校司書履修モデル
 (○が司書資格科目、◎が学校司書モデルカリキュラム対応科目)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	5	3	4
ココロ学 スス必 選必修 修科 目・科・ 目	人文科学入門 I 女性キャリア論 I ○図書館概論 ○生涯学習概論 ○○情報資源組織論 ○図書館サービス概論	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II ○○図書館情報資源概論 ○○情報サービス論 ○○図書館情報技術論	キャリア戦略 I 国際文化論 ○○情報サービス演習 I ○児童サービス論 ○○情報資源組織演習 I ○図書館制度・経営論 ○学校経営と学校図書館	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 ○○情報資源組織演習 II ○○情報サービス演習 II ○図書館情報学特論 I ○学習指導と学校図書館
科目数	6	6	7	6
選択コース	学内フィールドワーク I メディア論入門 ホスピタリティ概論	学内フィールドワーク II ベーシックコミュニケーション II	民俗文化論 I ビジネスコミュニケーション I	民俗文化論 II ビジネスコミュニケーション II 編集・ジャーナリズム論
科目数	3	2	2	3
教職科目				○特別支援教育総論 ○教育基礎論 ○教育課程論
科目数	0	0	0	3
科目数計	15	12	12	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
ココロ学 スス必 選必修 修科 目・科・ 目	専門ゼミ I 図書館実習 ○図書・図書館史 ◎読書と豊かな人間性 図書館基礎特論	専門ゼミ II 未来図書館論 情報メディアの活用 ○図書館サービス特論 図書館情報資源特論	専門ゼミ III 卒業研究 図書館施設論	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	5	5	3	2
選択コース	ビジネスコミュニケーション III プレゼンテーション I 短期インターンシップ			
科目数	3	1	0	0
教職科目	◎発達心理学			
科目数	1	0	0	0
科目数計	10	7	4	3

文学科 教養デザインコース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。

②教養デザインコースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
23	40	31	94

③教養デザインコースの専門教育科目（B類）については、別表IV-23の通り卒業必修欄に○印の付いている科目 23 単位、ホスピタリティ・ヒューマン・ビジネス・グローバル・人文科学基礎の科目より 40 単位、そして別表IV-23 の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-14、IV-19、IV-22 から 31 単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。

④図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表VIII-1～5（P.279～P.283）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。

⑤単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

教養デザインコース 専門教育科目 (B類)

別表IV-23

区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考		
						1				2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
学 科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 I (RE科目)			2	○	○										エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> 人文科学入門 II (RE科目)			2	○		○									エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション I			2	○		○									エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 I			2	○	○										エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> 女性キャリア論 II			2	○		○									エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 I			2	○			○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 II			2	○				○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ入門 (2年次秋)	演	1	○				○								
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ I (3年次ゼミ I)	演	1	○					○							
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ II (3年次ゼミ II)	演	1	○						○						
学 科 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ III (4年次ゼミ I)	演	1	○							○					
	<input type="checkbox"/> 専門ゼミ IV (4年次ゼミ II)	演	1	○								○				
	<input type="checkbox"/> 卒業研究			4	○								○			
	(小計)			23	23											学科必修科目 (計23単位)
選 択 必 修 科 目	(ホスピタリティ)															
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ概論			2	△	○										エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティコミュニケーション II			2	△		○									エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティマネジメント I			2	△			○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティマネジメント II			2	△				○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論 I			2	△			○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ産業論 II			2	△				○							エアラインプラチナP
				12												
	(ヒューマン・コミュニケーション)															
	<input type="checkbox"/> ベーシックコミュニケーション II			2	△		○									エアラインプラチナP
選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション I			2	△			○								
	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション II			2	△				○							
	<input type="checkbox"/> ロジカルコミュニケーション I			2	△			○								
	<input type="checkbox"/> ロジカルコミュニケーション II			2	△				○							
				10												
	(ビジネス・コミュニケーション)															
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 III			2	△				○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> キャリア戦略 IV			2	△					○						エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション I			2	△			○								
	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション II			2	△				○							
選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> ビジネスコミュニケーション III			2	△					○						
				10												
	(グローバル・コミュニケーション)															
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 I			2	△		○									SEEP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 II			2	△			○								SEEP
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 III			2	△				○							
	<input type="checkbox"/> ホスピタリティ英語 IV			2	△					○						
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション I			2	△		○									SEEP
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション II			2	△			○								SEEP
	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション III			2	△				○							SEEP
選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション IV			2	△					○						SEEP
				16												
	(人文科学基礎科目)															
	<input type="checkbox"/> 現代イギリス事情 I	演	1	△	○											
	<input type="checkbox"/> 現代イギリス事情 II	演	1	△		○										
	<input type="checkbox"/> 現代アメリカ事情 I	演	1	△	○											
	<input type="checkbox"/> 現代アメリカ事情 II	演	1	△		○										
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 I		2	△	○											
	<input type="checkbox"/> 日本文学概説 II		2	△		○										
	<input type="checkbox"/> 日本語概説 I		2	△	○											
選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 日本語概説 II		2	△		○										
	<input type="checkbox"/> 歴史文化入門 I		2	△	○											
	<input type="checkbox"/> 歴史文化入門 II		2	△		○										
	<input type="checkbox"/> 日本史概説 I		2	△	○											
	<input type="checkbox"/> 日本史概説 II		2	△		○										
	<input type="checkbox"/> 書学入門		2	△	○											
	<input type="checkbox"/> 日本書道史概説		2	△				○								
	<input type="checkbox"/> 図書館概説		2	△	○											
	<input type="checkbox"/> 図書館情報資源概説		2	△		○										
	<input type="checkbox"/> 図書館サービス概説		2	△	○											
選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> メディア論入門		2	△	○											
	<input type="checkbox"/> 編集・ジャーナリズム論		2	△				○								
	<input type="checkbox"/> 情報サービス論		2	△		○										
	<input type="checkbox"/> 児童サービス論		2	△			○									
			86	40												
	(小計)															△ (ホスピタリティ、ヒューマン、ビジネス、グローバル、人文科学基礎) から40単位以上必修

教養デザインコース 専門教育科目（B類）

別表IV-23

区 分	チ エ ツ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	履 修 年 次				備 考
						1	2	3	4	
						春	秋	春	秋	
コ ー ス 選 択 科 目	英米文学系	(英米文学系)								
		□ 基礎英文法 I		2	○					SEEP
		□ 基礎英文法 II		2		○				SEEP
		□ 英語学入門 I		2	○					
		□ 英語学入門 II		2		○				
		□ 英文法 I		2			○			
		□ 英文法 II		2				○		
		□ 英語学 I		2					○	
		□ 英語学 II		2					○	
		□ 英語のスピーキング・リスニング I		2	○					SEEP
		□ 英語のスピーキング・リスニング II		2		○				SEEP
		□ 英語の語彙と用法 I	演	1	○					SEEP
		□ 英語の語彙と用法 I	演	1		○				SEEP
		□ 英語の語彙と用法 III	演	1			○			SEEP
		□ 英語の語彙と用法 IV	演	1				○		SEEP
		□ 英語音声学 I	演	1						
		□ 英語のリーディング I		2	○					SEEP
		□ 英語のリーディング II		2		○				SEEP
		□ 英語のリーディング III		2			○			SEEP
		□ 英語のリーディング IV		2				○		SEEP
		□ 英語のライティング I		2		○				
		□ 英語のライティング II		2			○			
		□ 英語のスピーキング・リスニング III		2		○				
		□ 英語のスピーキング・リスニング IV		2			○			
		□ 英語のスピーキング・リスニング V		2				○		
		□ 英語のスピーキング・リスニング VI		2					○	
		□ 英語のコミュニケーション I		2				○		SEEP
		□ 英語のコミュニケーション II		2					○	SEEP
		□ メディアの英語		2			○			SEEP
		□ イギリスの歴史		2				○		※
		□ アメリカの歴史		2					○	※
		□ イギリス文学史 I		2	○					
		□ イギリス文学史 II		2		○				
		□ アメリカ文学史 I		2	○					
		□ アメリカ文学史 II		2		○				
		□ 英米の詩 I	演	1			○			
		□ 英米の詩 II	演	1				○		
		□ 英米の戯曲 I	演	1					○	
		□ 英米の戯曲 II	演	1					○	
		□ 英米の小説 I	演	1			○			
		□ 英米の小説 II	演	1				○		
日本文学系	日本文学系	(日本文学系)								
		□ 日本語表現法 I	演	1			○			
		□ 日本語表現法 II	演	1				○		
		□ 日本古典文学の基礎 I	演	1	○					
		□ 日本古典文学の基礎 II	演	1		○				
		□ 漢文学の基礎 I	演	1	○					
		□ 漢文学の基礎 II	演	1		○				
		□ 日本古典文学史 I		2			○			
		□ 日本古典文学史 II		2				○		
		□ 日本近現代文学史 I		2	○					
		□ 日本近現代文学史 II		2		○				
		□ 日本語の語法 I		2			○			
		□ 日本語の歴史 I		2			○			
		□ 日本語の歴史 II		2				○		
		□ 現代語の研究 I		2			○			
		□ 現代語の研究 II		2				○		
		□ 文芸創作 I		2					○	
		□ 文芸創作 II		2					○	
		□ 比較文学 I		2			○			
		□ 比較文学 II		2				○		
		□ 日本古典文学講読 I		2			○			
		□ 日本古典文学講読 II		2				○		
		□ 日本近現代文学講読 I		2			○			
		□ 日本近現代文学講読 II		2				○		

教養デザインコース 専門教育科目（B類）

別表IV-23

区 分 分 区 分	チ エ ヅ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	单 位	卒 業 必 修	履 修 年 次				備 考
						1	2	3	4	
						春	秋	春	秋	
コ ー ス 選 択 科 目	(歴史文化系)									
	<input type="checkbox"/> 日本考古学 I			2			○			
	<input type="checkbox"/> 日本考古学 II			2				○		
	<input type="checkbox"/> 民俗文化論 I			2			○			
	<input type="checkbox"/> 民俗文化論 II			2				○		
	<input type="checkbox"/> 日本美術史 I			2			○			
	<input type="checkbox"/> 日本美術史 II			2				○		
	<input type="checkbox"/> 西洋史概説			2			○			
	<input type="checkbox"/> 東洋史概説			2				○		
	<input type="checkbox"/> 社会学入門 I			2		○				
	<input type="checkbox"/> 宗教学入門			2			○			
	<input type="checkbox"/> 政治学入門			2			○			
	<input type="checkbox"/> 経済学入門			2				○		
	<input type="checkbox"/> 地理学 I			2			○			
	<input type="checkbox"/> 地理学 II			2				○		
	<input type="checkbox"/> 日本古代史 I			2		○				
	<input type="checkbox"/> 日本古代史 II			2			○			
	<input type="checkbox"/> 日本中世史 I			2			○			
	<input type="checkbox"/> 日本中世史 II			2				○		
	<input type="checkbox"/> 日本近世史 I			2		○				
	<input type="checkbox"/> 日本近世史 II			2			○			
	<input type="checkbox"/> 日本近現代史 I			2			○			
	<input type="checkbox"/> 日本近現代史 II			2				○		
	<input type="checkbox"/> 古文書学 I			2				○		
	<input type="checkbox"/> 古文書学 II			2					○	
	(図書館司書科目)									
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織論			2		○				
	<input type="checkbox"/> 図書館情報技術論			2			○			
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 I		演	1			○			
	<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習 II		演	1				○		
	<input type="checkbox"/> 図書・図書館史			2			○			
	<input type="checkbox"/> 情報サービス演習 I		演	1			○			
	<input type="checkbox"/> 情報サービス演習 II		演	1				○		
	<input type="checkbox"/> 図書館サービス特論			2				○		
	<input type="checkbox"/> 図書館制度・経営論			2			○			
	<input type="checkbox"/> 図書館情報資源特論			2				○		
	<input type="checkbox"/> 図書館実習		実	1				○		
	(博物館学芸員科目)									
	<input type="checkbox"/> 生涯学習概論			2			○			
	<input type="checkbox"/> 博物館概論			2			○			
	<input type="checkbox"/> 博物館経営論			2				○		
	<input type="checkbox"/> 博物館資料論			2			○			
	<input type="checkbox"/> 博物館保存論			2				○		
	<input type="checkbox"/> 博物館展示論			2				○		
	<input type="checkbox"/> 博物館情報・メディア論			2				○		
	<input type="checkbox"/> 博物館教育論			2				○		
	<input type="checkbox"/> 博物館実習		実	3				○	○	
	(インターンシップ)									
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク I			2		○	○	○	○	(4週～20週／4単位～20単位)
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク II			2		○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 学内フィールドワーク III			2		○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 短期インターンシップ			2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 長期インターンシップ			20			○	○	○	
	(留学)									(13週～／13単位～20単位)
	<input type="checkbox"/> 短期留学			12			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 長期留学			20			○	○	○	
	(海外語学研修)									各2単位 コース選択科目（計31単位）
	<input type="checkbox"/> 海外英語特講			4			○			
	<input type="checkbox"/> 国際文化論			2			○			
	(特別講義)									
	<input type="checkbox"/> 特別講義 I キャリア・デザイン I			2				○		
	<input type="checkbox"/> 特別講義 II キャリア・デザイン II			2					○	
	<input type="checkbox"/> 特別講義 III リーダーシップ			2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 特別講義 IV～XX				263	31				
	(小計)				372	94				
合 計										

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 教養デザインコース カリキュラムマップ

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 教養デザインコース カリキュラムマップ

カリキュラムマップ

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
学びの扉を開こう	専門的知識を身につける	考える力・創作力を養おう	実践力を養おう				
専門的職業人としての資質・能力を身につける	コミュニケーションⅠ 英語の語彙と用法Ⅰ ビジネス会・グローバル社会で働く上で必要な知識・態度を身につける	コミュニケーションⅡ フィールドワークⅠ 海外英語特講	コミュニケーションⅢ フィールドワークⅡ 現代イギリス事情Ⅰ 現代アメリカ事情Ⅰ 日本語表現法Ⅰ	コミュニケーションⅣ キャラクターシップ短期 インターンシップ長期 特別講義Ⅰ	キャラクターシップⅢ インターンシップⅣ 特別講義Ⅲ 特別講義Ⅳ		
ビジネス	コミュニケーションⅤ 英語の語彙と用法Ⅱ ビジネス会・グローバル	異文化 コミュニケーションⅠ 英語の語彙と用法Ⅱ ビジネス会・グローバル	ロジカル ビジネス プレゼンテーションⅠ ホスピタリティ コミュニケーションⅠ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅤ コミュニケーションⅥ コミュニケーションⅦ コミュニケーションⅧ コミュニケーションⅨ コミュニケーションⅩ コミュニケーションⅪ コミュニケーションⅫ コミュニケーションⅬ コミュニケーションⅭ コミュニケーションⅮ コミュニケーションⅯ コミュニケーションⅰ コミュニケーションⅲ コミュニケーションⅴ コミュニケーションⅶ コミュニケーションⅷ コミュニケーションⅸ コミュニケーションⅹ コミュニケーションⅻ コミュニケーションⅽ	ロジカル ビジネス プレゼンテーションⅠ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅤ コミュニケーションⅥ コミュニケーションⅦ コミュニケーションⅧ コミュニケーションⅨ コミュニケーションⅩ コミュニケーションⅪ コミュニケーションⅫ コミュニケーションⅲ コミュニケーションⅴ コミュニケーションⅶ コミュニケーションⅷ コミュニケーションⅸ コミュニケーションⅽ	専門ゼミⅠ コミュニケーションⅠ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅤ コミュニケーションⅥ コミュニケーションⅦ コミュニケーションⅧ コミュニケーションⅨ コミュニケーションⅩ コミュニケーションⅪ コミュニケーションⅫ コミュニケーションⅲ コミュニケーションⅴ コミュニケーションⅶ コミュニケーションⅷ コミュニケーションⅸ コミュニケーションⅽ	専門ゼミⅡ コミュニケーションⅡ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅤ コミュニケーションⅥ コミュニケーションⅦ コミュニケーションⅧ コミュニケーションⅨ コミュニケーションⅩ コミュニケーションⅪ コミュニケーションⅫ コミュニケーションⅲ コミュニケーションⅴ コミュニケーションⅶ コミュニケーションⅷ コミュニケーションⅸ コミュニケーションⅽ	専門ゼミⅢ コミュニケーションⅢ コミュニケーションⅣ コミュニケーションⅤ コミュニケーションⅥ コミュニケーションⅦ コミュニケーションⅧ コミュニケーションⅨ コミュニケーションⅩ コミュニケーションⅪ コミュニケーションⅫ コミュニケーションⅲ コミュニケーションⅴ コミュニケーションⅶ コミュニケーションⅷ コミュニケーションⅸ コミュニケーションⅽ
人間性を高める	女性キャラクターサイエンスⅠ 情報活用演習（基礎）	女性キャラクターサイエンスⅡ 教養科目	女性キャラクターサイエンスⅢ 教養科目	女性キャラクターサイエンスⅣ 教養科目	女性キャラクターサイエンスⅤ 教養科目	女性キャラクターサイエンスⅥ 教養科目	女性キャラクターサイエンスⅦ 教養科目
教育目標	学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べる・考える・議論する〉ための技能を修得する	課題解決のための実践力を修得する			4年次

令和3年度 聖徳大学 文学部 文学科 教養デザインコース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

豊かな教養と広い視野を持ち、グローバル・地域社会に貢献できる女性



実践力を養おう					
考える力・創作力を身につけよう			専門的知識を身につけよう		
学びの扉を開こう		専門的知識を身につけよう		実践力を養おう	
1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次
専門的知識人としての基礎的知識が身についている社会人としての基礎的知識が身についている	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)
ビジネス社会で必要なコミュニケーション能力が身についている	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)
グローバル社会で必要なコミュニケーション能力が身についている	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(論文・成績評価・GPA)
社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(論文・成績評価・GPA)
大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	(レポート・成績評価・GPA)	(発表・レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(論文・成績評価・GPA)
学びの基礎を身につける	(アーフメントテスト・成績評価)	(アーフメントテスト・成績評価)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)
人間性を高める	1年次	2年次	3年次	4年次	4年次
教育目標	学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	<調べる・考える・議論する>ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を修得する	

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	4	4	4
選科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II	キャリア戦略 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門
科目数	2	3	1	2
必修科目選択	ホスピタリティ概論 現代アメリカ事情 I 歴史文化入門 I メディア論入門	ベーシックコミュニケーション II ホスピタリティ英語 I グローバルコミュニケーション I 歴史文化入門 II	ホスピタリティコミュニケーション II ホスピタリティ産業論 I ホスピタリティマネジメント I プレゼンテーション I ホスピタリティ英語 II グローバルコミュニケーション II	ホスピタリティ産業論 II ホスピタリティマネジメント II グローバルコミュニケーション III
科目数	4	4	6	3
選科必修科目	英語の語彙と用法 I 英語のリーディング I 基礎英文法 I 英語のスピーキング・リスニング I 学内フィールドワーク I	英語の語彙と用法 II 英語のリーディング II 基礎英文法 II 英語のスピーキング・リスニング II 学内フィールドワーク II	英語の語彙と用法 III 英語のリーディング III 英語のスピーキング・リスニング III 海外英語特講	英語の語彙と用法 IV 英語のリーディング IV 英語のスピーキング・リスニング IV
科目数	4	4	4	3
科目数計	16	14	15	12

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
選科必修科目・	専門ゼミ I	専門ゼミ II	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
必修科目選択	キャリア戦略 III グローバルコミュニケーション IV 日本史概説 I	キャリア戦略 IV 日本史概説 II		
科目数	3	2	0	0
選科必修科目	英語のスピーキング・リスニング V 短期インターンシップ 短期留学	英語のスピーキング・リスニング VI		
科目数	3	2	0	0
科目数計	8	6	3	3

文学科 教養デザインコース：国内企業履修モデル

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 教養科目 英語 III	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV コンピュータ・コミュニケーション II
科目数	6	4	4	4
選択必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II	キャリア戦略 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門
科目数	2	3	1	2
必修科目選択	ホスピタリティ概論 現代アメリカ事情 I 日本史概説 I 歴史文化入門 I メディア論入門	現代アメリカ事情 II ベーシックコミュニケーション II ホスピタリティ英語 I 日本史概説 II 歴史文化入門 II 図書館情報資源概論	ホスピタリティコミュニケーション II ホスピタリティマネジメント I ホスピタリティ産業論 I プレゼンテーション I ビジネスコミュニケーション I ホスピタリティ英語 II	ホスピタリティマネジメント II ホスピタリティ産業論 II ビジネスコミュニケーション II 編集ジャーナリズム論 情報サービス論
科目数	5	6	6	5
選択コース	日本語表現法 I 英語のスピーキング・リスニング I 学内フィールドワーク I	日本語表現法 II 英語のスピーキング・リスニング II 学内フィールドワーク II	日本近現代文学史 I 現代語の研究 I 英語のスピーキング・リスニング III	日本近現代文学史 II 英語のスピーキング・リスニング IV 現代語の研究 II
科目数	3	3	3	3
科目数計	16	16	14	14

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
選択必修科目・	専門ゼミ I	専門ゼミ II	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
必修科目選択	キャリア戦略 III 日本語の歴史 I	キャリア戦略 IV 日本語の歴史 II		
科目数	2	2	0	0
選択コース	英語のスピーキング・リスニング V 短期インターンシップ	英語のスピーキング・リスニング V 特別講義 I		
科目数	2	2	0	0
科目数計	6	6	3	3

人間栄養学部 人間栄養学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人間栄養学部人間栄養学科は、人間の身体と心と社会的存在という三つの側面を支える食生活を健全に保つための人間栄養学を教授し、豊かな人間性と実践力をかね備えた、科学的根拠に基づいた「栄養の指導」を実践できる管理栄養士を養成してきました。

現代社会は、少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、国民の健康の維持・増進、生活習慣病の発症及び重症化の予防に重点を置いた対策が推進され、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に貢献する人材の育成が求められています。

このような社会の要請に応えるため、人間栄養学科は、保健・医療・福祉・産業・教育の分野において個人並びに集団に対する食事管理、栄養教育、栄養管理を実践する能力を備えた「人に頼られ、喜ばれ、愛される管理栄養士」を育成し、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に貢献しています。

以上の理念を具現化するために、以下の四つの教育目標を設定します。

【教育目標】

1. 管理栄養士としての専門職業人の自覚と使命感、並びに他者を思いやる人間性を育成する。
2. 食生活上の課題や問題の本質を洞察し、適切な解決策を提案できる創造的思考力と、問題解決に向けた行動をとる実践力を育成する。
3. 管理栄養士に必要な知識と技能を修得し、それに基づいた適切な「栄養の指導」を行うことができる能力を育成する。
4. グローバルな視野を備え、自らの意思で実践活動を起こすことができる高い実践力を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下の学修成果を設定します。

【学修成果】

1. 管理栄養士としての自覚と誇り、並びに使命感をもち、他者と連携、協調して責任ある行動をすることができる。
2. 自己を客観的に分析・表現し、自己成長の素となる持続的、自律的な学びをデザインすることができる。
3. 食生活上の課題や問題を数理的・論理的に考察することができ、アイディアや洞察力を生かし、多面的に問題にアプローチすることができる。
4. 目的に応じた食事を設計し、幼児から高齢者までのすべての人から喜ばれる食事を提供するとともに、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献することができる。
5. 人間栄養学に関する科学的根拠を理解し、その根拠に基づいた実践活動ができるとともに、その根拠を構築するための研究計画を提案することができる。
6. グローバル社会が求める人間栄養学を理解する論理的並びに創造的思考力が身についており、多様な実践活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、学士（栄養学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

人間栄養学科では、学修成果を体系的に達成するために、建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育等を目的とする全学共通科目と専門教育科目の教育課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

1. 学びの基礎力を身につける「人間栄養学基礎分野科目」を設定し、全学共通科目の学修と共に、管理栄養士としての専門職業人意識と基礎力を育成します。
2. 専門教育科目群には多くの実習・演習科目を設け、情報活用力、生涯学習力、問題解決能力を涵養し、問題解決に向けた行動をとる実践力を育成します。
3. 管理栄養士指定科目の他、人間栄養学調理実習を設定し、適切な「栄養の指導」を実践現場で行うことができる知識と技能を育てます。
4. 多種多様な資格免許取得のための科目群を専門選択科目として設け、社会が求める多様な分野の知識・能力並びに実践力を育てます。

【教育課程実施の方針】

人間栄養学科では、学修成果を効果的に達成するために、授業計画（シラバス）に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 専門教育科目群は、「食品と調理」を学ぶ科目群と、「栄養・代謝と疾患」を学ぶ科目群、「社会と健康」を学ぶ科目群に分けて、授業科目の関連がわかるように配慮し学習の成果を高めています。
2. すべての授業、実習において、授業方法としてアクティブ・ラーニングを導入し、セルフ・アセスメントに基づいた自律的な学びを促進しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人間栄養学科は、建学の精神「和」を尊ぶ人間性教育の環境のもと、食生活上の課題や問題の本質を洞察する力、並びに創造的思考力と実践力、自律力を身につけ、科学的根拠に基づいた「栄養の指導」を実践できる管理栄養士を目指す基本的な資質を持った人を求めています。具体的には次のような入学者を求めています。

1. 食と健康に強い関心を持ち、管理栄養士として社会に貢献したいという強い意欲と決意を持っている人。
2. 自然科学が好きで、科学的なものの考え方ができる基本的な能力を身にしている人。
3. 知的好奇心に満ち溢れ、常に向上心をもって努力できる人。
4. 明朗活発で人との交流を大切にし、人間性豊かで、礼節を重んじる人。

人間栄養学科では、このような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要な科学的な知識・技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

人間栄養学部 人間栄養学科 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）105単位以上、計135単位以上です。
- ② 全学共通科目（A類）については、別表V-1、2、3、4、5、6、7のとおり履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ③ 全学共通科目（A類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

全 学 共 通 科 目 (A類)				
聖徳教育 科目	教養科目、専門基礎科目及び 外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ④ 聖徳教育科目（別表V-1）は、すべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目（別表V-2）は、外国語科目と併せて12単位以上（外国語は8単位以上）が必修ですので、卒業までに4単位以上修得してください。
また、D類の「日本国憲法」は、教育職員免許状を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目（別表V-3）は、「化学入門Ⅰ」、「化学入門Ⅱ」、「生物学入門Ⅰ」及び「生物学入門Ⅱ」の計8単位が必修です。
- ⑦ 外国語科目（別表V-4）は、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、英語Ⅴ、英語Ⅵ、英語Ⅶ及び英語Ⅷの計8単位が必修です。
- ⑧ 健康教育科目（別表V-5）及び情報活用科目（別表V-6）は、備考の記載のとおり履修してください。
- ⑨ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・C・Nと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目

別表V-1

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座			2	○		●●			● 春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅰ		演	1	○	○	○	○	○	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。
<input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅱ		演	1	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)		演	1	○	○				
<input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy II)		演	1	○		○			
<input type="checkbox"/> 聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy III)		演	1	○		●●			
計			7						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表V-2

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
A類	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			○	○	○	△ 2科目以上(4単位)を履修すること(B類、C類から履修することが望ましい)
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 II・インターナシップ)	演	2						
B類	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			○	○	○	△ 日本国憲法は教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得すること。
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			○	○	○	
C類	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			○	○	○	△ 企業系就職希望者は、Business Field Linkage科目を履修することが望ましい。
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			○	○	○	
D類	<input type="checkbox"/> 日本国憲法		2		●●				△ 日本国憲法は教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得すること。
	< Business Field Linkage >								
	<input type="checkbox"/> 特別講義 I		2		○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義 II		2		○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義 III		1		○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義 IV		2		○				
	<input type="checkbox"/> 特別講義 V		2			○			
	<input type="checkbox"/> 特別講義 VI		1				○		
	計		38						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期または秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

専門基礎科目

別表V-3

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 化学入門 I			2	○	○				
<input type="checkbox"/> 化学入門 II			2	○	○				
<input type="checkbox"/> 生物学入門 I			2	○	○				
<input type="checkbox"/> 生物学入門 II			2	○	○				
	計		8						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】注:化学入門 I・II、生物学入門 I・IIすべて履修すること。

外国語科目

別表V-4

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 英語 I		演	1	○	○				
<input type="checkbox"/> 英語 II		演	1	○		○			
<input type="checkbox"/> 英語 III		演	1	○	○				
<input type="checkbox"/> 英語 IV		演	1	○		○			
<input type="checkbox"/> 英語 V		演	1	○			○		
<input type="checkbox"/> 英語 VI		演	1	○				○	
<input type="checkbox"/> 英語 VII		演	1	○			○		
<input type="checkbox"/> 英語 VIII		演	1	○				○	
	計		8						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目

別表V-5

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> スポーツと健康 I		※	1	○	○				
<input type="checkbox"/> スポーツと健康 II		※	1	○		○			
	計		2						

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】注:スポーツと健康 I・IIいずれも履修すること。

情報活用科目

別表V-6

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎)		演	1	○	○				
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(教職)		演	1			○			
	計		2						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】

注: 1) (基礎)必修。

2) 教育職員免許状を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)必修。

3) 情報活用科目を2単位以上修得した場合の1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

帰国子女科目

別表V-7

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	日本語I	演	1		○				
<input type="checkbox"/>	日本語II	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	日本語III	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	日本語IV	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	日本語V	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	日本語VI	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史I		2				○		
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史II		2					○	
	計		10						

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。

人間栄養学部　人間栄養学科　専門教育科目　履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）105単位以上、計135単位以上です。
- ② 専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
105	—	105

- ③ 専門教育科目（B類）については、別表V-8の卒業必修欄に○印の付いている科目105単位を履修してください。
- ④ 中学校、高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の教免（家庭）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-9、10に記載のとおり履修してください（別表V-10の科目は卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑤ 中学校、高等学校教諭一種免許状（保健）を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の教免（保健）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-11、12に記載のとおり履修してください（別表V-12の科目は卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑥ フードスペシャリスト受験資格を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8のFS欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑦ 栄養教諭一種免許状を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の栄養教諭欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-13、14に記載のとおり履修してください（別表V-14の科目は卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑧ 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の食品衛生欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて別表VIII-1～5により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑩ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・C・Nと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

人間栄養学科 専門教育科目 (B類)

別表V-8

区分		科目名	授業の方法	単位数	卒業必修	教免(家庭)	教免(保健)	栄養教諭	F S	食品衛生	履修年次						備考
											1	2	3	4	1	2	
人間栄養学基礎分野	人間栄養学基礎分野	□ 人間と栄養 I	演	1	○					○							
		□ 人間と栄養 II	演	1	○					○							
		□ 基礎化学実験	実	1	○					○	○						
		□ 統計学演習 I	演	1	○					○							
		□ 統計学演習 II	演	1	○							○					
		□ キャリアプランニング	演	1	○					○							
		□ 管理栄養士活動論	演	1	○								○				
人間栄養学調理実習	人間栄養学調理実習	□ 調理学実習 I	実	1	○ ○					○	○						
		□ 調理学実習 II	実	1	○ ○							○					
		□ 調理学実習 III	実	1	○							○					
		□ 調理学実習 IV	実	1	○					○			○				
		□ 社会・環境と健康 I		2	○		○			○		○					
		□ 社会・環境と健康 II		2	○		○			○			○				
		□ 社会・環境と健康 III		2	○		○						○				
専門基礎分野	社会・環境と健康	□ 公衆衛生学実習	実	1	○								○				
		□ 解剖学・生理学 I		2	○		○			○	○						
		□ 解剖学・生理学 II		2	○		○			○		○					
		□ 生化学 I		2	○					○		○					
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	□ 生化学 II		2	○								○				
		□ 免疫学		2	○		○			○			○				
		□ 臨床医学入門 I		2	○								○				
		□ 臨床医学入門 II		2	○		○			○			○				
		□ 臨床医学入門 III		2	○								○				
		□ 解剖学・病理学実習	実	1	○					○		○					
		□ 生理学実習 I	実	1	○						○						
		□ 生理学実習 II	実	1	○								○				
		□ 生化学実験 I	実	1	○					○		○					
		□ 生化学実験 II	実	1	○							○					
専門教育科目	食べ物と健康	□ 食べ物と健康 I		2	○ ○					○	○	○					
		□ 食べ物と健康 II		2	○ ○					○	○		○				
		□ 食べ物と健康 III		2	○		○			○	○	○					
		□ 食べ物と健康 IV		2	○ ○					○		○					
		□ 食品科学実験 I	実	1	○					○	○	○					
		□ 食品科学実験 II	実	1	○					○	○		○				
		□ 食品衛生学実験	実	1	○					○		○					
		□ 食事設計実習	実	1	○							○					
専門分野	基礎栄養学	□ 基礎栄養学 I		2	○ ○					○	○	○					
		□ 基礎栄養学 II		2	○ ○						○		○				
		□ 基礎栄養学実習	実	1	○					○		○					
	応用栄養学	□ 応用栄養学 I		2	○ ○					○		○					
		□ 応用栄養学 II		2	○ ○								○				
		□ 応用栄養学 III		2	○							○					
		□ 応用栄養学実習	実	1	○								○				
	栄養教育論	□ 栄養教育論 I		2	○		○						○				
		□ 栄養教育論 II		2	○								○				
		□ 栄養教育論 III		2	○								○				
		□ 栄養教育論実習	実	1	○		○						○				
	臨床栄養学	□ 臨床栄養学 I		2	○		○						○				
		□ 臨床栄養学 II		2	○		○			○			○				
		□ 臨床栄養学 III		2	○		○						○				
		□ 臨床栄養学 IV		2	○												
		□ 臨床栄養学実習 I	実	1	○		○						○				
		□ 臨床栄養学実習 II	実	1	○								○				
公衆栄養学	公衆栄養学	□ 公衆栄養学 I		2	○ ○					○		○					
		□ 公衆栄養学 II		2	○								○				
		□ 公衆栄養学実習	実	1	○								○				
	給食経営管理論	□ 給食経営管理論 I		2	○							○					
		□ 給食経営管理論 II		2	○							○					
		□ 給食マネジメント実習	実	1	○								○				
		□ 給食運営管理実習	実	1	○								○				

区分		科目名	授業の方法	単位数	卒業必修	教免(家庭)	教免(保健)	栄養教諭	F S	食品衛生	履修年次								備考	
											1		2		3		4			
											春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
専門分野	臨地実習	<input type="checkbox"/> 臨地実習 I	実	1	○										○					
		<input type="checkbox"/> 臨地実習 II	実	1	○									○						
		<input type="checkbox"/> 臨地実習 III	実	1	○									○						
		<input type="checkbox"/> 臨地実習 IV	実	1	○									○						
		<input type="checkbox"/> 臨地実習 V	実	1										○						
		<input type="checkbox"/> 臨地実習 I・II事前事後指導	演	1	○									○						
		<input type="checkbox"/> 臨地実習 III・IV事前事後指導	演	1	○									○						
		<input type="checkbox"/> 臨地実習 V事前事後指導	演	1										○						
		<input type="checkbox"/> 総合演習 I	演	1	○													○		
		<input type="checkbox"/> 総合演習 II	演	1	○												○			
	総合演習	<input type="checkbox"/> 総合演習 III	演	1	○												○			
		<input type="checkbox"/> 総合演習 IV	演	1	○												○			
専門教育科目	人間栄養学専門研究	<input type="checkbox"/> 卒業研究	演	4	○									○	○	○				
		<input type="checkbox"/> 卒業論文	演	4										○	○	○				
	資格取得関連科目	<input type="checkbox"/> フードスペシャリスト論		2							○				○					
		<input type="checkbox"/> 食品官能評価・識別論		2							○				○					
		<input type="checkbox"/> 食品産業マーケティング論		2							○				○					
		<input type="checkbox"/> フードコーディネート論		2							○			○						
		<input type="checkbox"/> 食育教育法 I		2							○			○						
		<input type="checkbox"/> 食育教育法 II		2							○			○						
		<input type="checkbox"/> 家庭経営学(含家族関係学)		2		○									○					
		<input type="checkbox"/> 生活経済学		2		○										○				
		<input type="checkbox"/> 被服学(含被服製作実習)		2		○									○					
		<input type="checkbox"/> 住居学(含製図)		2		○									○					
		<input type="checkbox"/> 保育学(含実習)		2		○									○					
		<input type="checkbox"/> 家庭看護学		2		高免									○					
		<input type="checkbox"/> 家庭電気・機械および生活情報		2		高免									○					
		<input type="checkbox"/> 小児保健学		2			○									○				
		<input type="checkbox"/> 児童保健学(学校保健)		2			○										○			
		<input type="checkbox"/> 健康心理学・精神衛生		2			○									○				
	計			143																

【授業の方法】演:演習、実:実習、無印:講義をさす。

◎別表V-8に記載されている科目で、太字(ゴシック)になっている科目は**管理栄養士指定科目**です。

この科目が進級基準の「**管理栄養士指定科目の修得**」要件の科目となります。

教職課程履修について【中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 家庭】

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表V-9

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	科 目 必 要 修 な が	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
□	日本国憲法		2	○	●	●							春学期または秋学期に開講	
□	英語I	演	1	○	○									
□	英語II	演	1	○		○								
□	スポーツと健康I	講、実	1	○	○									
□	スポーツと健康II	講、実	1	○		○								
□	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
□	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の教免(家庭)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表V-10

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	中 免	高 免	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
□	教職入門		2	○	○			○							
□	教育基礎論		2	○	○			○							
□	教育心理学		2	△	△			○							
□	発達心理学		2	△	△			○							
□	特別支援教育総論		2	○	○			○							
□	教育社会学		2	○	○			○							
□	教育課程論		2	○	○			○							
□	家庭科教育法I	演	2	○	○				○						
□	家庭科教育法II	演	2	○	○				○						
□	家庭科教育法III	演	2	○					○						
□	家庭科教育法IV	演	2	○						○					
□	道徳教育の指導法		2	○					○						
□	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○				●	●				△はいずれか1科目必修	
□	特別活動の指導法		2	○	○			○							
□	教育方法学		2	○	○			○							
□	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			○							
□	教育相談		2	○	○			○							
□	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○						○				
□	中学校教育実習	実	5	○											
□	高等学校教育実習	実	3		○										
□	介護体験実習	実	1	○											
	計			45	40	31									

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護等の体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特別支援学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

教職課程履修について【中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 保健】

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表V-11

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	科 必 要 修 目 な が	履修年次				備考	
					1		2			
					春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●			春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/>	英語I	演	1	○	○					
<input type="checkbox"/>	英語II	演	1	○		○				
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康I	講、実	1	○	○					
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康II	講、実	1	○		○				
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○					
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○				

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の教免(保健)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表V-12

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	中 免	高 免	履修年次				備考	
						1		2			
						春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○			○		△はいずれか1科目必修	
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△	△			○			
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△	△			○			
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	教育社会学		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	保健科教育法I	演	2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	保健科教育法II	演	2	○	○				○		
<input type="checkbox"/>	保健科教育法III	演	2	○					○		
<input type="checkbox"/>	保健科教育法IV	演	2	○					○		
<input type="checkbox"/>	道徳教育の指導法		2	○				○			
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○			●	●		
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	教育方法学		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○	○			○			
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○				○		
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○							
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3		○						
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○							
計			45	40	31						

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印が付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印が付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に○印が付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護等の体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特別支援学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

教職課程履修について【栄養教諭一種免許状】

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目的履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表V-13

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	科 必 要 修 目 な が	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●								
<input type="checkbox"/>	英語I	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語II	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康I	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康II	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「栄養に係る教育に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○栄養に係る教育に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の栄養教諭欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表V-14

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	栄 養 教 諭	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○		○								
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	教育課程・方法論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	道徳・特別活動論		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	生徒指導論		2	○		○								
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(栄養教諭)	演	2	○							○			
<input type="checkbox"/>	栄養教育実習	実	2	○										
計			22	22										

[注] 1. 栄養教諭一種免許状を取得する者は、栄養教諭欄に○印が付された科目全部を履修しなければならない。

2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。

3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に○印が付されたとおり履修すること。

5. 栄養教諭一種免許状の課程履修は、人間栄養学科の学生のみを対象とする。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

令和3年度聖徳大学 人間栄養学部 人間栄養科 キャリア形成カリキュラムマップ

人に頼られ、人に喜ばれ、人に愛される管理栄養士を目指して！

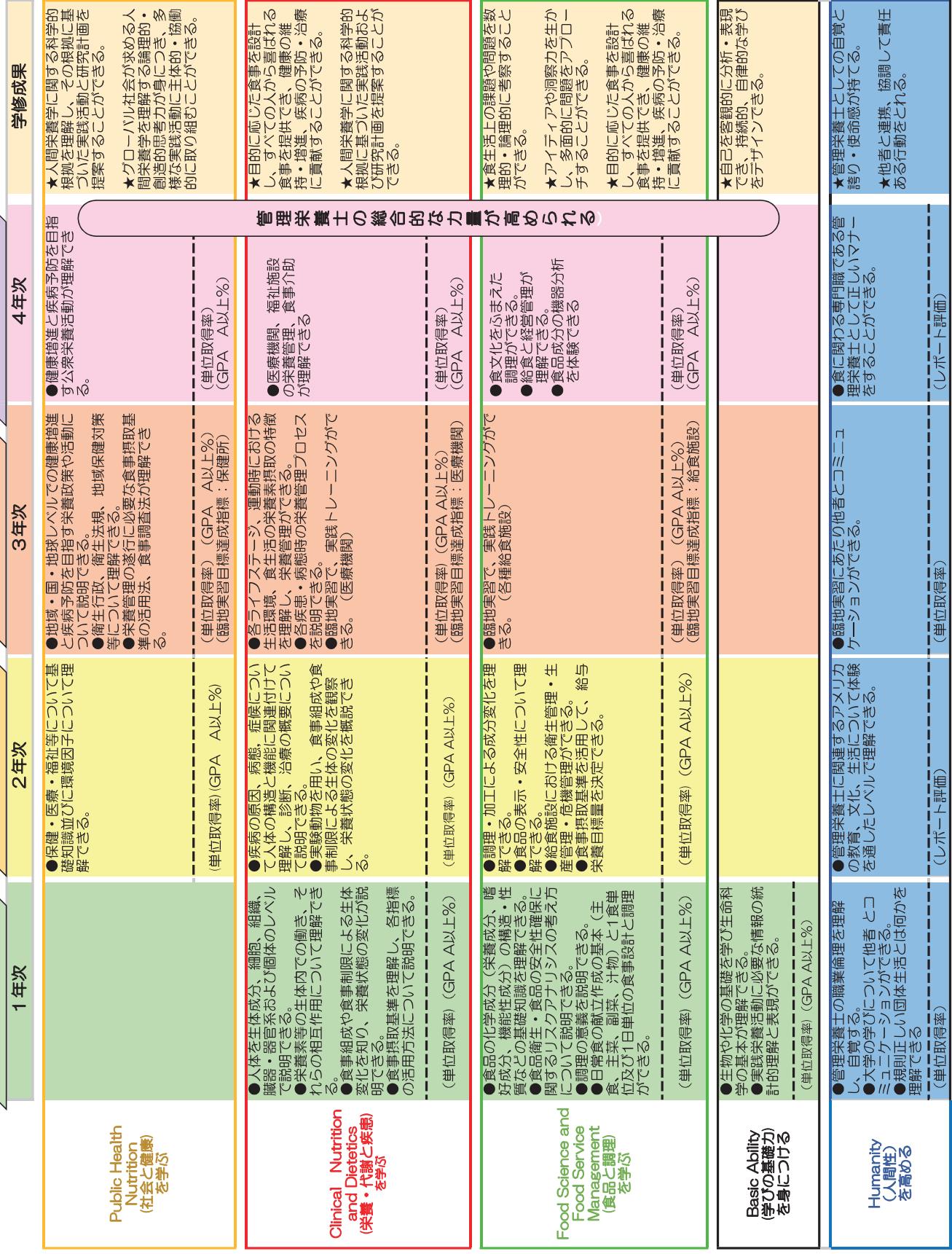
1年次春学期		1年次秋学期		2年次春学期		2年次秋学期		3年次春学期		3年次秋学期		4年次春学期		4年次秋学期	
学びの基礎を身につけよう		管理栄養士に必要な知識を身につけよう		実力（知識・技能）を現実で確かめよう		実力（知識・技能）を現実で確かめよう		さあ、総仕上げ！		さあ、総仕上げ！		さあ、総仕上げ！		さあ、総仕上げ！	
Public Health Nutrition (社会と健康) を学ぶ		社会・環境と健康 I		社会・環境と健康 II		社会・環境と健康 III		社会・環境と健康 IV		社会・環境と健康 V		社会・環境と健康 VI		社会・環境と健康 VII	
Clinical Nutrition and Dietetics (栄養・代謝) を学ぶ		公衆栄養学 I		臨地実習 V (選択)		公衆衛生実習*		公衆栄養学実習 II		公衆栄養学実習 III		公衆栄養学実習 IV		公衆栄養学実習 V	
Food Science and Food Service Management (食品と管理) を学ぶ		公衆栄養学論 I		卒業研究		卒業論文 選択		卒業論文 選択		卒業研究		卒業研究		卒業研究	
Humanity (人間性) を高める		解剖学・生理学 I		臨地実習 III・IV		臨地実習 III・IV		臨地実習 III・IV		臨地実習 III・IV		臨地実習 III・IV		臨地実習 III・IV	
教育目標		英語 I・III		英語 II・IV		英語 V・VI		英語 V・VI		英語 V・VI		英語 V・VI		英語 V・VI	
教育科目		SEITOKU Academic Literacy I		SEITOKU Academic Literacy II		SEITOKU Academic Literacy III		SEITOKU Academic Literacy IV		SEITOKU Academic Literacy V		SEITOKU Academic Literacy VI		SEITOKU Academic Literacy VII	
Humanity (人間性) を高める		情報活用演習		基礎化学実験		基礎生物学 I		基礎生物学 II		基礎生物学 III		基礎生物学 IV		基礎生物学 V	
Basic Ability (学びの基礎力) を身につける		情報活用演習		基礎化学実験		基礎生物学 I		基礎生物学 II		基礎生物学 III		基礎生物学 IV		基礎生物学 V	
○キャリアプランニング		○英語学演習 I		○英語学演習 II		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV	
○コミュニケーション		○情報活用演習		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV		○基礎生物学実験 V		○基礎生物学実験 VI	
○コミュニケーション		○基礎生物学実験		○基礎生物学実験 I		○基礎生物学実験 II		○基礎生物学実験 III		○基礎生物学実験 IV					

聖徳大学 人間栄養学部人間栄養学科 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

に興味関心を持つ、自主的学習態度を身につける

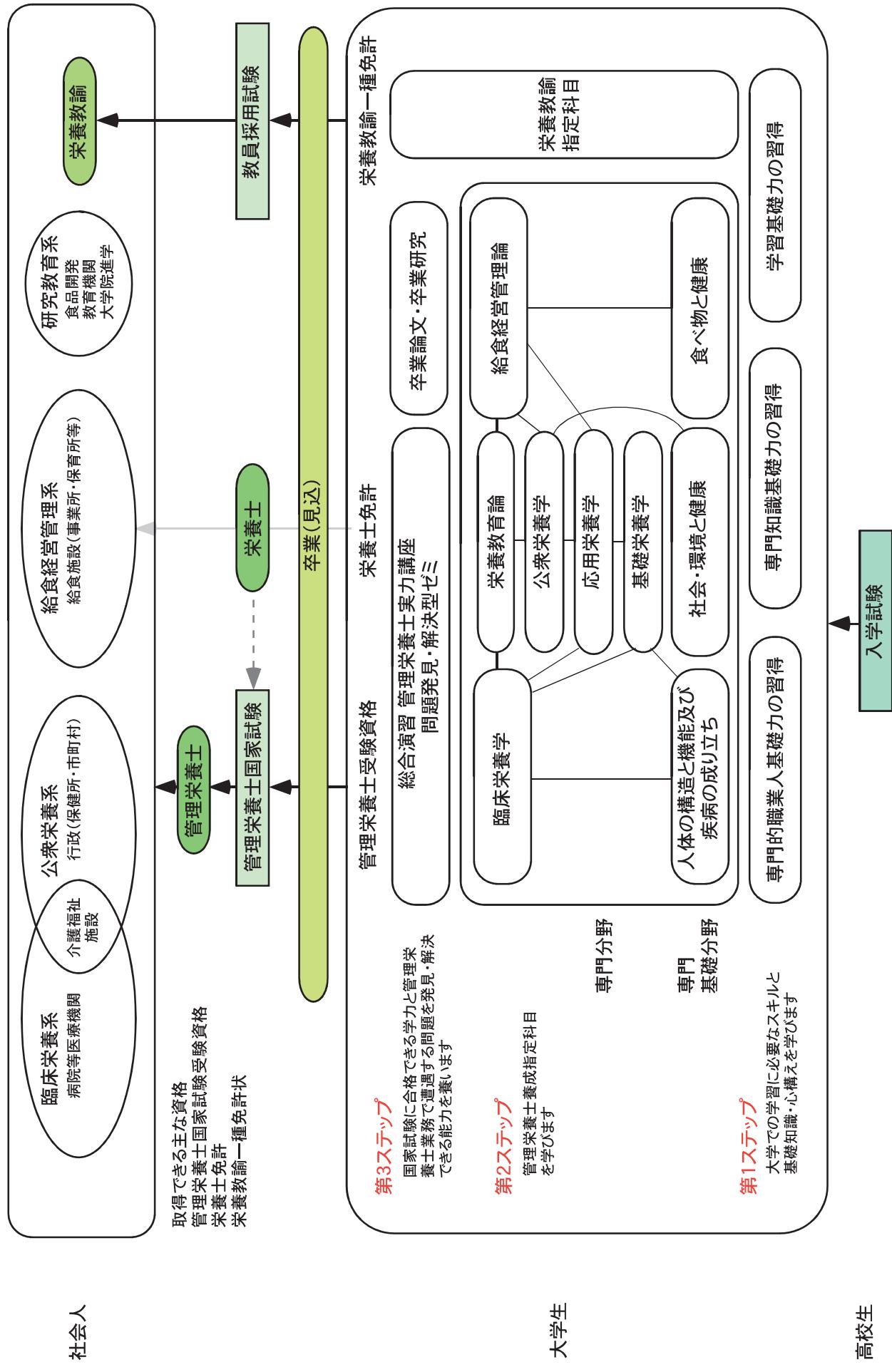
科学的根拠を活用するための技能を身につける

学修成果 方針で掲げる
学修成果 方針で掲げる



人間栄養学部人間栄養学科における教育概念図

乳児から高齢者までの様々な人の健康状態のアセスメントを行い、適切な栄養管理ができる人材を育成する。



人間栄養学科 免許・資格取得履修モデル
(管理栄養士・食品衛生管理者及び食品衛生監視員・栄養教諭 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 英語 V スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 化学入門 I 化学入門 II 生物学入門 I 生物学入門 II	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目 英語 II 英語 VI スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 英語 VII	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 英語 VIII
科目数	9	7	3	3
学科必修科目	人間と栄養 I 人間と栄養 II 基礎化学実験 統計学演習 I キャリアプランニング 調理学実習 I 解剖学・生理学 I	統計学演習 II 調理学実習 II 解剖学・生理学 II 生理学実習 I 食べ物と健康 I 食べ物と健康 III 食べ物と健康 IV 食品科学実験 I 食事設計実習 基礎栄養学 I 基礎栄養学実験	調理学実習 III 社会・環境と健康 I 社会・環境と健康 II 臨床医学入門 I 解剖学・病理学実習 生化学実験 I 食べ物と健康 II 食品衛生学実験 基礎栄養学 II 応用栄養学 I 給食経営管理論 I	調理学実習 IV 生化学 II 臨床医学入門 II 生化学実験 II 食品科学実験 II 応用栄養学 II 応用栄養学 III 栄養教育論 I 臨床栄養学 I 公衆栄養学 I 給食経営管理論 II 給食運営管理論
科目数	7	11	11	12
栄養教諭科目	食教育法 I	食教育法 II	教職入門 教育基礎論 教育課程・方法論 生徒指導論	発達心理学 教育相談 特別支援教育総論
科目数	1	1	4	3
科目数計	17	19	18	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
学科必修科目	社会・環境と健康 II 公衆衛生学実習 生理学実習 II 応用栄養学実習 栄養教育論 II 臨床栄養学 II 臨床栄養学実習 I 公衆栄養学 II 給食マネジメント実習	管理栄養士活動論 社会・環境と健康 III 免疫学 臨床医学入門 III 栄養教育論 III 栄養教育論実習 臨床栄養学 III 臨床栄養学実習 II 公衆栄養学 II 公衆栄養学実習 卒業研究	臨床栄養学 IV 総合演習 I 総合演習 II 卒業研究	総合演習 III 総合演習 IV 卒業研究
科目数	9	11	4	3
学科選択科目		卒業論文	卒業論文	卒業論文
科目数		1	1	1
実習	臨地実習 I 臨地実習 II 臨地実習 I・II事前事後指導 臨地実習 III・IV事前事後指導 臨地実習 V事前事後指導	臨地実習 III 臨地実習 IV 臨地実習 V		
科目数	5	3		
栄養教諭科目	道徳・特別活動論	総合的な学習の時間の指導法		栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)
科目数	1	1		2
科目数計	15	16	5	6

人間栄養学科 免許・資格取得履修モデル
(管理栄養士・食品衛生管理者及び食品衛生監視員・フードスペシャリスト 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 英語 V スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎） 化学入門 I 化学入門 II 生物学入門 I 生物学入門 II	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 英語 II 英語 VI スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III 英語 VII	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 英語 VIII
科目数	9	5	4	3
学科必修科目	人間と栄養 I 人間と栄養 II 基礎化学実験 統計学演習 I キャリアプランニング 調理学実習 I 解剖学・生理学 I	統計学演習 II 調理学実習 II 解剖学・生理学 II 生理学実習 I 食べ物と健康 I 食べ物と健康 III 食べ物と健康 IV 食品科学実験 I 食事設計実習 基礎栄養学 I 基礎栄養学実験	調理学実習 III 社会・環境と健康 I 社会・環境と健康 III 免疫学 臨床医学入門 I 解剖学・病理学実習 生化学実験 I 食べ物と健康 II 食品衛生学実験 基礎栄養学 II 応用栄養学 I 給食経営管理論 I	調理学実習 IV 生化学 II 臨床医学入門 II 生化学実験 II 食品科学実験 II 応用栄養学 II 応用栄養学 III 栄養教育論 I 臨床栄養学 I 公衆栄養学 I 給食経営管理論 II 給食運営管理論
科目数	7	11	11	12
学科科目選択			フードコーディネート論	
科目数			1	
科目数計	16	16	16	15

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
学科必修科目	社会・環境と健康 II 公衆衛生学実習 生理学実習 II 応用栄養学実習 栄養教育論 II 臨床栄養学 II 臨床栄養学実習 I 公衆栄養学 II 給食マネジメント実習	管理栄養士活動論 社会・環境と健康 III 免疫学 臨床医学入門 III 栄養教育論 III 栄養教育論実習 臨床栄養学 III 臨床栄養学実習 II 公衆栄養学 II 公衆栄養学実習 卒業研究	臨床栄養学 IV 総合演習 I 総合演習 II 卒業研究	総合演習 III 総合演習 IV 卒業研究
科目数	9	11	4	3
学科科目選択	フードスペシャリスト論	卒業論文 食品官能評価・識別論 食品産業マーケティング論	卒業論文	卒業論文
科目数	1	3	1	1
実習	臨地実習 I 臨地実習 II 臨地実習 I・II 事前事後指導 臨地実習 III・IV 事前事後指導 臨地実習 V 事前事後指導	臨地実習 III 臨地実習 IV 臨地実習 V		
科目数	5	3		
科目数計	15	17	5	4

看護学部 看護学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護学部看護学科は、本学の理念である「確かな人間性と洞察力を備えた専門性の高い実践力を有する自立した女性の育成」のもと、保健医療分野における人材育成を目的に、2014年に設置されました。今日の急速な高齢化、医療の高度化は保健医療従事者に、専門的知識・技術と多様な価値観を尊重する豊かな人間性を求めていきます。看護学部看護学科では、本学の人間教育に基づき、自らを律し、チームの中で主体的に考えながら実践できる、凜とした看護専門職者を育成し、地域社会へ貢献します。

看護学部看護学科は、教育理念に基づいて、以下の三つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 高い人間的資質と倫理性を備え、高度な医療と地域の看護に従事できる凜とした専門職女性を育成する。
2. 地域医療体制の向上に寄与する。
3. 医療・健康・福祉に貢献できる実践的な教育研究を推進する。

看護学部看護学科では、教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学修成果】

1. 豊かな人間性を有し、看護職者に必要な品性を備えている。
2. 看護実践に必要な専門的知識・技術を修得し、それに基づいた判断力と課題解決力を有し、対話による合意形成を行うことができる。
3. 保健・医療・福祉・教育などの他職種との連携を図り、いつでも・どこでも・誰にでも必要とされるケアが提供できる。
4. 地域の特性と健康課題を探求し、実践できる。

看護学部看護学科では、以上の教育目標・学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

看護学部看護学科は、学部の教育目標を達成するために、以下の基本方針に基づいて教育課程を編成しています。

1. 四年間の教育を通じて看護職者に必要な基礎的能力から看護実践に必要な総合的かつ専門的な知識と技能が修得できる教育課程を編成します。
2. 学生一人ひとりが人間的に成長すると同時に、看護に求められる豊かな人間性と問題解決力の基本を育成する全学共通並びに学部共通の科目群を配置します。
3. 高度な医療と地域の看護に従事できる実践力を育成する看護学領域の科目群を配置します。
具体的には、
 1. 全学共通科目群を設定し、聖徳教育、英語の科目を中心として、学生一人ひとりの人間的な成長と同時に、看護に求められる豊かな人間性と問題解決の基礎力を育成します。

- 専門基礎科目群を設定し、解剖生理学、病態生理学の科目を中心として、看護職者に必要な基礎的能力を育成します。
- 専門科目群を設置し、各看護学領域の看護学概論・援助論の科目を中心として、看護実践に必要な総合的かつ専門的な知識・技術・態度を育成します。演習・実習科目を多く設置し、看護の実際の場面における課題解決を通して実践力を育成します。

【教育課程実施の方針】

看護学部看護学科では、教育目標を効果的に達成するために、授業計画（シラバス）に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

- 授業方法としてアクティブラーニングを導入し、深い学びを促進しています。
- 医療現場を再現して実践力を養うシミュレーション・トレーニングを導入しています。
- 機能の異なる実習病院・施設において、人の発達段階に応じた急性期・慢性期・終末期医療及び看護が学べるようにしています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

看護学部看護学科は、本学の人間教育の実績を活かして、保健医療分野に貢献できる看護専門職者を育成するために次のような能力を育成する教育目標を掲げています。

- 豊かな人間性と看護職者に必要な品性
- 看護実践に必要な専門的知識・技術
- 判断力、課題解決力、対話による合意形成力
- 他職種と連携を図る能力
- 健康課題を探求し、実践できる能力

看護学部看護学科では、上記の能力を獲得できる資質をもった人を求めていきます。具体的には次のような入学者を求めていきます。

- 看護への意欲をもつ人
 - 看護に関心があり、保健・医療・福祉分野に貢献したい人
 - 地域の健康問題に关心のある人
- 人間性豊かなコミュニケーションを大切にする人
 - 生命の大切さ、人間の尊厳を理解できる人
 - 他者への思いやりがあり、人間の弱さを共感的に理解できる人
 - 他者の言葉に耳を傾け、気配りが行き届く優しい関係を築ける人
 - 外国人と会話できる英語力の基礎を有する人
- 数理的課題を解決する基礎力をもつ人
 - 的確な文章読解力と判断力をもった人
 - 数理的な課題を解決する基礎力をもった人

入学試験においては、本学部での学修に必要な看護への意欲、人間性豊かなコミュニケーション力、課題解決の基礎力について、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて多面的かつ総合的に評価します。

看護学部 看護学科 履修要項

- (1) 看護学部看護学科の卒業所要単位数は、次表のとおり全学共通科目(A類)は24単位以上、専門教育科目(B類)は103単位、合計127単位以上です。

全学共通科目(A類)						専門教育科目(B類)			合計	
聖徳教育	外国語	健康教育	情報活用	学部共通科目	小計	必修科目		選択科目		
						専門基礎科目	専門科目			
7	4	2	1	10	24	34	69	—	103	127

- (2) 看護学部看護学科の学生は、全学共通科目(A類)については、別表1、2、3、4、5の通り履修してください。
- ① 聖徳教育科目(別表VI-1)はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
 - ② 外国語科目(別表VI-2)は英語I～IVの4単位が必修です。
 - ③ 健康教育科目(別表VI-3)はスポーツと健康I、スポーツと健康IIの2単位が必修です。
 - ④ 情報活用科目(別表VI-4)は情報活用演習(基礎)の1単位が必修です。
 - ⑤ 学部共通科目については、別表VI-6に指定された区分のとおり10単位以上を履修してください。
- (3) 専門教育科目(B類)については、別表VI-7のとおり卒業必修に○の付された専門基礎科目34単位と専門科目69単位の合計103単位が卒業必修となります。
- (4) 保健師国家試験受験資格取得希望者の選択については、選抜試験によって決定します。選抜試験は2年次の講義が終了した以降に実施する予定です。なお、選抜試験詳細はガイドanceで説明します。
- (5) 単位を取得(成績表にS/A/B/C/Nと表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。
- ※ 保健師課程履修希望者のうち、保健師資格取得後に養護教諭二種免許状の申請を予定している学生は、下記の2科目について、必ず在学中に履修し取得しておくこと。
- 情報活用演習(教職)
 - 日本国憲法
- (6) 2年次から3年次へ進級基準については、卒業要件単位数のうち、進級基準要件の科目を修得しなければなりません。詳細は2ページに記載されている⑧進級基準についてを確認してください。

聖徳教育科目

別表VI-1

チ エ ン ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○		○								
<input type="checkbox"/>	聖徳教育 I	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	聖徳教育 II	演	1	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy II)	演	1	○	○	○								
<input type="checkbox"/>	聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy III)	演	1	○			●	●						
計			7											

外国語科目

別表VI-2

チ エ ン ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	英語 I	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語 II	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	英語 III	演	1	○			○							
<input type="checkbox"/>	英語 IV	演	1	○				○						
<input type="checkbox"/>	英語 V	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	英語 VI	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	英語 VII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	英語 VIII	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	フランス語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語 V	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	フランス語 VI	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	フランス語 VII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	フランス語 VIII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 V	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VI	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VIII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	イタリア語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	イタリア語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	イタリア語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	イタリア語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	イタリア語 V	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VI	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VIII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	中国語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	中国語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	中国語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	中国語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	中国語 V	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	中国語 VI	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	中国語 VII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	中国語 VIII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	韓国語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	韓国語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	韓国語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	韓国語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	韓国語 V	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	韓国語 VI	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	韓国語 VII	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	韓国語 VIII	演	1							○				
計			48											

【授業の方法】無印：講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目

別表VI-3

チ エ ソ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> スポーツと健康Ⅰ		※	1	○	○									
<input type="checkbox"/> スポーツと健康Ⅱ		※	1	○		○								
<input type="checkbox"/> スポーツと健康Ⅲ			2											
<input type="checkbox"/> スポーツと健康IV～1		※	1											
<input type="checkbox"/> スポーツと健康IV～2		※	1											
<input type="checkbox"/> 基礎専門体育Ⅰ		演	1											
<input type="checkbox"/> 基礎専門体育Ⅱ		演	1											
計			8											

【授業の方法】無印：講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目

別表VI-4

チ エ ソ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(基礎)		演	1	○	○									
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(応用)		演	1					○						
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(統計)		演	1					○						
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(表現)		演	1					○						
<input type="checkbox"/> 情報活用演習(教職)		演	1			○								
計			5											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

帰国子女科目

別表VI-5

チ エ ソ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅰ		演	1		○									
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅱ		演	1			○								
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅲ		演	1				○							
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅳ		演	1					○						
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅴ		演	1						○					
<input type="checkbox"/> 日本語Ⅵ		演	1							○				
<input type="checkbox"/> 日本の社会と歴史Ⅰ			2						○					
<input type="checkbox"/> 日本の社会と歴史Ⅱ			2							○				
計			10											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

学部共通科目

別表VI-6

全学 共通 科目 (A 類)	学部 共通 科目 (A 類)	チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	①卒業必修	②保健師	履修年次								☆印を付した科目より 6単位以上選択必修	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
A 類	A 類	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)	2	☆		○											☆印を付した科目より 6単位以上選択必修
		<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)	2	☆		○											
		<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)	2	☆		○											
		<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)	2	☆		○											
	B 類	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域)	2	☆		○											△企業系就職希望者は Business Field Linkage 科目を履修することが 望ましい。
		<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)	2	☆		○											
		<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(社会領域)	2	☆		○											
		<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域)	2	☆		○											
	C 類	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)	2	☆		○											△企業系就職希望者は Business Field Linkage 科目を履修することが 望ましい。
		<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)	2	☆		○											
		<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)	2	☆		○											
		<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)	2	☆		○											
	D 類	< Business Field Linkage >															△企業系就職希望者は Business Field Linkage 科目を履修することが 望ましい。
		<input type="checkbox"/> 特別講義 I	2						○								
		<input type="checkbox"/> 特別講義 II	2						○								
		<input type="checkbox"/> 特別講義 III	1							○							
		<input type="checkbox"/> 特別講義 IV	2							○							
		<input type="checkbox"/> 特別講義 V	2								○						
		<input type="checkbox"/> 特別講義 VI	1									○					
	E 類	<input type="checkbox"/> 日本国憲法	2	★											○		★印を付した科目より 4単位以上選択必修
		<input type="checkbox"/> 法学	2	★											○		
		<input type="checkbox"/> 社会学	2	★				○									
		<input type="checkbox"/> 教育学	2	★			○										
		<input type="checkbox"/> 哲学	2	★			○										
		<input type="checkbox"/> 心理学	2	★			○										
		<input type="checkbox"/> 倫理学	2	★						○							
計				48													

専門教育科目

別表VI-7

専 門 教 育 科 目 (B 類)	専 門 基 礎 科 目	チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	①卒業必修	②保健師	履修年次								履修年次欄の○印は 週2回(30回)での開 講を示し、また、●印 はクオーター(8回)で の開講を示す。		
								1		2		3		4				
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
専 門 教 育 科 目 (B 類)	専 門 基 礎 科 目	<input type="checkbox"/> 解剖生理学 I			2	○		○									履修年次欄の○印は 週2回(30回)での開 講を示し、また、●印 はクオーター(8回)で の開講を示す。	
		<input type="checkbox"/> 解剖生理学 II			2	○		○										
		<input type="checkbox"/> 微生物学			2	○				○								
		<input type="checkbox"/> 生化学			2	○		○										
		<input type="checkbox"/> 薬理学			2	○				○								
		<input type="checkbox"/> 病理学			2	○				○								
		<input type="checkbox"/> 病態生理学			2	○				○								
		<input type="checkbox"/> 臨床医学 I			2	○				○								
		<input type="checkbox"/> 臨床医学 II			2	○				○								
		<input type="checkbox"/> 臨床医学 III			1	○					○							
		<input type="checkbox"/> 栄養学			1	○				●								
		<input type="checkbox"/> 臨床栄養学			1	○				●								
		<input type="checkbox"/> 疫学			2	○		○					○					
		<input type="checkbox"/> 保健統計と健康			2	○		○				○						
		<input type="checkbox"/> 公衆衛生学			2	○		○				○						
		<input type="checkbox"/> 臨床心理学			1	○								●				
		<input type="checkbox"/> 社会保障論			2	○					○							
		<input type="checkbox"/> 医療情報学	演		1	○					○							
		<input type="checkbox"/> 保健医療福祉行政論			2	○		○						○				
		<input type="checkbox"/> 医療安全学			1	○					●							
		<input type="checkbox"/> 医療経済学			1						●							
計					35													

別表VI-7

専門教育科目 (B類)	専門科目	授業科目	授業の方法	単位	①卒業必修	②保健師	履修年次									
							1		2		3		4			
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
看護学概論	看護学概論	看護学概論	演	2	○		○								履修年次欄の○印は週2回(30回)での開講を示し、また、●印はクオーター(8回)での開講を示す。	
		公衆衛生看護学概論	演	2	○	○				○						
		看護アセスメント学 I	演	2	○			◎								
		看護アセスメント学 II	演	1	○				○							
		看護技術論 I	演	2	○			◎								
		看護技術論 II	演	2	○				◎							
		人間関係論 I	演	1	○			○								
		人間関係論 II	演	1	○								○			
		看護理論		1	○					●						
		成人看護学概論		2	○				○							
		成人看護学援助論 I	演	2	○				◎							
		成人看護学援助論 II	演	2	○			◎								
		生活支援看護概論		1	○	○		●								
		生活支援援助論	演	2	○	○				◎						
		家族看護論		1	○	○		●								
		母性看護学概論		2	○				○							
		母性看護学援助論	演	2	○				◎							
		小児看護学概論		2	○				○							
		小児看護学援助論	演	2	○				◎							
		精神看護学概論		2	○	○			○							
		精神看護学援助論	演	2	○				◎							
		老年看護学概論		2	○			○								
		老年看護学援助論	演	2	○				◎							
		公衆衛生看護活動展開論		2		○							○			
		公衆衛生看護管理論		2		○							○			
		個人・家族・集団・組織の支援		2		○							○			
		クリティカルケア論		1					●							
		災害看護論		1	○					●						
		緩和ケア論		1					●							
		国際看護活動論		1	○			●								
		看護倫理		1	○					●						
		看護管理		1	○					●						
		看護教育		1							●					
		看護研究 I		1	○					○						
		看護研究 II	演	1	○								○			
		リハビリテーション看護論		1				●								
		基礎看護学実習 I	実	1	○			○								
		基礎看護学実習 II	実	2	○				○							
		成人看護学実習 I	実	3	○								○			
		成人看護学実習 II	実	3	○								○			
		老年看護学実習 I	実	1	○				○							
		老年看護学実習 II	実	3	○								○			
		精神看護学実習	実	2	○								○			
		生活支援看護実習(在宅)	実	1	○								○			
		母性看護学実習	実	2	○								○			
		小児看護学実習	実	2	○								○			
		公衆衛生看護学実習 I (個人・家族・集団・組織)	実	2		○							○			
		公衆衛生看護学実習 II (活動展開・管理)	実	3		○							○			
		統合実習	実	3	○								○			
単位計				84												

◎別表VI-7に記載されている科目で、太字(ゴシック)になっている科目は、進級基準要件の科目となります。

看護師課程+保健師課程(看護学科) 学びで得られる成果(Learning Outcomes)

地域に貢献する凜とした看護専門職者

地域に貢献する凜とした看護専門職者

令和3年度入学生		聖徳大学 看護学部看護学科 カリキュラムマップ(看護師資格)		アセスメント力を基づいた看護の実践力を高めよう		地域に目を向け感性豊かな看護実践者をめざそう	
1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
看護の現場で学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 基礎看護学実習Ⅰ 		発展的な看護を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 老年看護学実習Ⅰ 		実践的な看護を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 基礎看護学実習Ⅱ 		看護の基礎を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 看護概論 看護アセスメント学Ⅰ 看護技術論Ⅰ 人間関係論Ⅰ 	
健康と環境の関係を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 栄養学 		豊かな教養を身につける <ul style="list-style-type: none"> スポーツと健康Ⅰ 社会学 哲学 教育学 心理学 英語Ⅰ 情報活用演習（基礎） 		人間と病気について学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 微生物学 病理学 病態生理学 臨床医学Ⅰ 臨床栄養学 		学部共通科目（△領域：自分を見つめ・拡げ・伝える領域、○領域：自然・社会・科学技術を考える領域、□領域：心からだの美的・質を追求する領域）より6単位以上選択必修 <ul style="list-style-type: none"> 聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅠ SEITOKU Academic LiteracyⅡ 	

		地域に貢献する凜とした看護専門職者	
		学位授与の方針で掲げる学習成果	
		地域に目を向け感性豊かな看護実践者をめざそう	アセスメントに基づいた看護の実践力を高めよう
1年次	2年次	3年次	4年次
看護の現場で学ぶ	病院での看護の機能ヒヤーカー 割が説明できる	病院や施設における対象の看護の必要性を説明できる	地域の特性と健康課題を探求し、看護の実際の場面での課題解決ができる実践力が身についている
発展的な看護を学ぶ	グローバルな視点で看護を捉え、看護ケアの質の向上のための研究の基礎が説明できる	看護職としての役割遂行のための看護管理の視点をもち、保健・医療・福祉・教育など他職種との連携について説明できる	保健・医療・福祉・教育などの多職種との連携を図り、いつでも、どこで誰にでも必要となるケアが提供できる
実践的な看護を学ぶ	在宅医療について説明できる	看護実践に必要な総合的な知識・技術・態度が身についている	看護実践に必要な専門的な知識・技術・態度が身についている
看護の基礎を学ぶ	看護実践に必要な基礎的な知識・技術・態度の一 部が身についている	(看護技術テスト・成績評価・GPA)	(看護技術テスト・成績評価・GPA)
健康と環境の関係を学ぶ	公衆衛生について説明できる	医療安全について説明できる	保健医療福祉行政について説明できる
人間と病気について学ぶ	人体の構造と機能、主な疾患について説明できる	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)
豊かな教養を身につける	人間理解のための知識が身についている	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)
人間性を高める	看護を学ぶ心構えや大学の学びへの転換が説明でき、建学の精神に基づいた集団生活行動ができる	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)

音楽学部 音楽学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

音楽学部にあっては、これまでにすぐれた音楽家や質の高い音楽教員、音楽療法士、音楽指導員など音楽にかかわる専門的職業人を中心とした多くの人材を輩出し、音楽文化の発展に寄与してきました。

音楽は社会や人々をつなぎ生活を豊かにする重要な文化であり、その発展に貢献できる人材の育成に社会の期待が寄せられています。音楽学科では、総合大学の中にある音楽学部音楽学科という他にはない学科の特質を活かし、優れた感性と表現能力をもち音楽文化の発展に貢献できる音楽家や、音楽を広く総合的視野からとらえ専門的職業人に必要な理論と能力、人間力をもった音楽教員などの指導者、音楽療法士、音楽関連企業人の育成を目指し、次のような目標を掲げ教育を行います。

【教育目標】

1. 音楽や音楽キャリアに関わる豊かで専門的な知識や技能を身につけた人材の育成。
2. 自己の音楽的課題を明確にし、主体的、創造的、協働的に学ぶことができる人材の育成。
3. 音楽家や音楽教育者、音楽療法士、音楽関連企業人などの専門的職業人を目指し生涯にわたって学び続ける使命感、責任感を有した人材の育成。
4. 社会を生きる総合的な人間力を備えている人材の育成。

こうした教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

1. 豊かな音楽表現力や音楽キャリアに関わる専門的能力をもつことができる。
2. 主体的、創造的、協働的に学ぶことができる。
3. 専門的職業人としての使命感、責任感をもつことができる。
4. 音楽活動に関する英語コミュニケーション力をも有した総合的人間力をもつことができる。

以上のような学修成果に基づいて編成された教育課程を履修し、修了した人に学士（音楽）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

学位授与の方針に則して、音楽学部音楽学科においては、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果の達成のために次の科目群を設定します。

1. 専門的な知識、理論、技能を高める科目群や音楽キャリアにかかわる科目群
2. 主体的、創造的、協働的に学ぶ科目群
3. 専門的職業人としての使命感、責任感を高める科目群
4. 人間力を高める科目群

これらの科目群に沿って配置された次のような授業により教育課程を編成し、学修成果及び教育目標を達成します。

1. 音楽専門実技や理論、音楽教育関連科目、音楽療法関連科目を学修することにより、自らの目指す音楽キャリアに関する専門的な能力を身につける。
2. 音楽の専門実技及び演習、音楽教育、音楽療法にかかる演習・実技関連科目の学修を通して、主体的、創造的、協働的に学ぶ力を身につける。
3. 学内発表、卒業研究、教育実習、音楽療法実習、インターシップなどの学修を通して、専門的職業人としての使命感、責任感を身につける。
4. 聖徳教育科目、教養科目、外国語科目、健康教育科目、情報活用科目、及び音楽キャリア教育関連科目の学修を通して、社会を生きる総合的な人間力を養う。

専門科目を中心としたこれらの教育課程は、初年次教育、教養教育、キャリア教育とも密接な関係をもって編成されます。人間力の基礎ともなる学外研修を含んだ「聖徳教育Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を中心とした初年次教育や教養教育の学修、コミュニケーション力を養う英語や演奏に必要なイタリア語等の外国語の学修、専門的職業人へ向けた使命感形成の基礎となる音楽キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲを中心とした音楽キャリア教育関連科目等が音楽専門科目と緊密な関係を持ちつつ編成されます。

【教育課程実施の方針】

教育課程については、自ら課題を発見し解決を図るという主体的、創造的な方法で実施します。また、演奏や舞台を協働してつくるチーム基盤的な学習などのアクティブ・ラーニング的手法も取り入れながら教育課程を実施します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

音楽が社会や人をつなぐ豊かな絆であるということが再認識されています。音楽学部音楽学科では、こうした音楽の発展に音楽家として貢献できる人材を育成しています。そのような人材に必要な力はディプロマ・ポリシーで示しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質をもった人を音楽学部音楽学科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

1. 音楽が好きで、音楽家、音楽教員や音楽療法士、音楽関連企業人として社会に貢献する夢をもっている人。
2. 音楽実技や理論など音楽に関する授業や音楽キャリアに関する授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことのできる人。
3. 学内外での音楽活動や実習などで必要となるコミュニケーション力など基礎的な力をもっている人。

音楽学部音楽学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要な音楽的な知識、技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的に考え表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

音楽学部 音楽学科 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。
- ② 音楽学部の全学共通科目（A類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

全学共通科目（A類）				
聖徳教育	教養科目と 外国語	健康教育	情報活用	計
7	20	2	1	30

- ③ 音楽学部の学生は、全学共通科目（A類）については、別表VII-1、2、3、4、5、6のとおり履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④ 聖徳教育科目（別表VII-1）はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目（別表VII-2）は外国語科目と併せて20単位以上が必修です（外国語は8単位以上必修）。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～C類まで一つの類に集中することなくバランスよく履修してください。
- D類の「日本国憲法」は教育職員免許状を取得する者は必修です。
- ⑥ 外国語科目（別表VII-3）は、英語I、英語II、英語III、英語IV（4単位）及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のうち1か国語（4単位）、計8単位以上が必修です。
- ⑦ 健康教育科目（別表VII-4）は欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑧ 情報活用科目（別表VII-5）は欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑨ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・Cと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目

別表VII-1

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 小笠原流礼法基礎講座			2	○			●	●					●春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 I		演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△聖徳教育の詳細については、学生便覧、シラバスを参照すること。	
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 II		演	1	○	○					○				
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy I)		演	1	○	○									
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy II)		演	1	○		○								
<input type="checkbox"/> 聖徳教育 III(SEITOKU Academic Literacy III)		演	1	○			●	●						
計			7											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表VII-2

区 分	チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
A 類	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)			2			○	○	○					△教養科目と別表VII-3外国語科目を併せて20単位以上を修得すること(外国語は8単位以上を修得すること)	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)			2			○	○	○					△教養科目は表中のA類、B類及びC類から1科目以上選択し、12単位以上修得すること。また同じ科目(領域)を重複履修することはできません。	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)			2			○	○	○					△日本国憲法は、教育職員免許状を取得する者は必ず修得すること。	
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)			2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 II・インターナシップ)	演	1												
B 類	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(自然領域)			2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)			2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(社会領域)			2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 自然・社会・科学技術を考える(環境領域)			2			○	○	○						
C 類	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)			2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)			2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)			2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/> 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)			2			○	○	○						
D 類	<input type="checkbox"/> 日本国憲法			2		●	●							△企業系就職希望者は、Business Field Linkage科目を履修することが望ましい。	
	< Business Field Linkage >														
	<input type="checkbox"/> 特別講義 I			2			○								
	<input type="checkbox"/> 特別講義 II			2			○								
	<input type="checkbox"/> 特別講義 III			1				○							
	<input type="checkbox"/> 特別講義 IV			2				○							
	<input type="checkbox"/> 特別講義 V			2					○						
	<input type="checkbox"/> 特別講義 VI			1						○					
				37											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

また●印を付された授業科目は時間割編成上、春学期または秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

外国語科目

別表VII-3

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 英語 I	演	1	○	○									△別表VII-2教養科目と外国語科目を併せて20単位以上を修得すること。	
<input type="checkbox"/> 英語 II	演	1	○		○									
<input type="checkbox"/> 英語 III	演	1	○			○							△外国語科目は、8単位以上を修得すること。英語 I、英語 II、英語 III、英語 IV(各1単位)は必修です。また、選択外国語として【英語(V~VIII)、フランス語(I~IV)、ドイツ語(I~IV)、イタリア語(I~IV)】のうち1か国語(4単位)を修得すること。	
<input type="checkbox"/> 英語 IV	演	1	○				○							
<input type="checkbox"/> 英語 V	演	1					○						△各学科で指定している外国語科目については、指示どおりに履修すること。	
<input type="checkbox"/> 英語 VI	演	1						○						
<input type="checkbox"/> 英語 VII	演	1							○					
<input type="checkbox"/> 英語 VIII	演	1								○				
<input type="checkbox"/> フランス語 I	演	1			○									
<input type="checkbox"/> フランス語 II	演	1			○									
<input type="checkbox"/> フランス語 III	演	1				○								
<input type="checkbox"/> フランス語 IV	演	1				○								
<input type="checkbox"/> フランス語 V	演	1					○							
<input type="checkbox"/> フランス語 VI	演	1						○						
<input type="checkbox"/> フランス語 VII	演	1							○					
<input type="checkbox"/> フランス語 VIII	演	1								○				
<input type="checkbox"/> ドイツ語 I	演	1			○									
<input type="checkbox"/> ドイツ語 II	演	1			○									
<input type="checkbox"/> ドイツ語 III	演	1				○								
<input type="checkbox"/> ドイツ語 IV	演	1				○								
<input type="checkbox"/> ドイツ語 V	演	1					○							
<input type="checkbox"/> ドイツ語 VI	演	1						○						
<input type="checkbox"/> ドイツ語 VII	演	1							○					
<input type="checkbox"/> ドイツ語 VIII	演	1								○				
<input type="checkbox"/> イタリア語 I	演	1		○										
<input type="checkbox"/> イタリア語 II	演	1			○									
<input type="checkbox"/> イタリア語 III	演	1				○								
<input type="checkbox"/> イタリア語 IV	演	1					○							
<input type="checkbox"/> イタリア語 V	演	1						○						
<input type="checkbox"/> イタリア語 VI	演	1							○					
<input type="checkbox"/> イタリア語 VII	演	1								○				
<input type="checkbox"/> イタリア語 VIII	演	1									○			
計			32											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

健康教育科目

別表VII-4

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1		○									△健康教育科目的受講区分は注のとおり。
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1			○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ(小免)	※	1		○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ(小免)	※	1			○								
	計		4											

【授業の方法】無印: 講義をさす。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

【受講区分】[注] 1) 小学校教諭免許状を取得しようとする学生は、スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ(小免)を履修すること。

2) 上記以外の学生は、スポーツと健康Ⅰ・Ⅱを履修すること。

情報活用科目

別表VII-5

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									△情報活用科目的受講区分は注のとおり。
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1			○								
	計		2											

【授業の方法】演: 演習、無印: 講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

【受講区分】[注] 1) 教育職員免許状または音楽療法士(1種)を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)両科目とも必修です。

2) 情報活用科目を2単位以上修得した場合の1単位のみは教養科目的単位に含めることができる。

帰国子女科目

別表VII-6

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ	演	1		○									△帰国子女科目は、教養科目または外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅳ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2						○					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2							○				
	計		10											

【授業の方法】演: 演習、無印: 講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

音楽学部 音楽学科 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。
- ② 音楽学部の専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
30	64	94

- ③ 音楽療法士（1種）を取得しようとする者は、別表VII-7の卒業必修欄に○印のついている科目及び音楽療法士（1種）欄に○印のついている科目を加えて、①のとおり履修してください。また、音楽療法士（補）受験資格を取得しようとする者は、別表VII-7の卒業必修欄に○印のついている科目及び音楽療法士（補）受験資格欄に○印のついている科目を加えて、①のとおり履修してください。
なお、音楽療法士（1種）及び音楽療法士（補）受験資格を取得しようとする者は、別表VII-11の教職に関する科目の〔注〕6に記載の科目も加えて履修してください。
- ④ 中学校教諭一種免許状（音楽）及び高等学校教諭一種免許状（音楽）を取得しようとする者は、別表VII-9、10、11に記載の科目を含めて、①のとおり履修してください。（別表VII-11の科目は卒業所要単位数に選択科目として算入することができます）
- ⑤ 中学校教諭一種免許状（音楽）及び高等学校教諭一種免許状（音楽）に加えて、小学校教諭免許状（一種・二種）を取得しようとする者は、①④に加えて別途配布する資料のとおり履修してください。音楽学部においては、小学校教諭免許状（一種・二種）のみを取得することはできません。（小学校教諭免許状取得のための科目は卒業所要単位数に算入することはできません）
- ⑥ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表VIII-1、2、3、4、5により、履修してください（これらの科目は卒業要件に算入することはできません）。
- ⑦ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・Cと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

音楽学科 専門教育科目(B類)

別表VII-7

チ エ ツ ク 欄	授業科目	単位	授業の方法	卒業必修	音楽療法士1種	音楽療法士補	教免必修	標準履修年次				備考	
								1		2			
								春	秋	春	秋		
音 楽 学 科 ス タ ー ト ア ッ プ 科 目	□ 音楽文化概論	2		○				○				▲a 教員免許の取得を希望する場合は音楽実技A-1かB-1を声楽音楽実技A-IIかB-IIを器楽で履修すること。	
	□ 音楽基礎理論 I	2		○	○	○	○	○					
	□ ソルフェージュ I	2	演	○	○	○	○	○					
	□ 音楽キャリアデザイン I	2		○					○				
	□ 合唱(第九) I	2	演	○	○	○	○	○					
	□ 合唱(第九) II	2	演	○	○				○				
	□ 西洋音楽史	2		○	○	○	○	○					
	□ 音楽実技A-I	2	演	○	○	▲b	▲a	○					
	□ 音楽実技A-II	2	演	○	○	▲b	▲a		○				
	□ 音楽実技B-I	1	演	○	○	▲b	▲a	○					
	□ 音楽実技B-II	1	演	○	○	▲b	▲a		○				
	□ 音楽ワークショップ I (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1						○					
	□ 音楽ワークショップ II (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1						○					
		1	演					○					
音 楽 学 科 共 通 科 目	□ 音楽実技A-III	2	演	○	○	▲b			○			▲b 音楽療法士（補）受験資格を希望する場合は音楽実技Aか音楽実技Bで「声楽」「器楽（ピアノ）」「器楽（管・弦・打楽器）」の3種目をそれぞれ2単位以上履修すること。なお、「器楽（管・弦・打楽器）」に「ギター演習」を充てることができる。	
	□ 音楽実技A-IV	2	演	○	○	▲b			○				
	□ 音楽実技A-V	2	演						○				
	□ 音楽実技A-VI	2	演						○				
	□ 音楽実技A-VII	2	演						○				
	□ 音楽実技A-VIII	2	演						○				
	□ 音楽実技B-III	1	演					○					
	□ 音楽実技B-IV	1	演					○					
	□ 音楽実技B-V	1	演					○					
	□ 音楽実技B-VI	1	演					○					
	□ 音楽実技B-VII	1	演					○					
	□ 音楽実技B-VIII	1	演					○					
	□ 応用実技 I	4	演				○ ○						
	□ 応用実技 II	4	演				○ ○						
	□ 応用実技 III	4	演				○ ○						
	□ 応用実技 IV	4	演				○ ○						
	□ 演奏特論 I	4					○ ○						
	□ 演奏特論 II	4					○ ○						
	□ 演奏特論 III	4					○ ○						
	□ 演奏特論 IV	4					○ ○						
	□ 音楽ワークショップ III (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演				○					※プロアーティストメジャーのみ	
	□ 音楽ワークショップ IV (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演				○						
	□ 音楽ワークショップ V (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演				○						
	□ 音楽ワークショップ VI (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演				○					※プロアーティストメジャーのみ	
	□ 音楽ワークショップ VII (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演				○						
	□ 音楽ワークショップ VIII (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演				○						
	□ アンサンブル研究 I (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演				○					※プロアーティストメジャーのみ	
	□ アンサンブル研究 II (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演				○						
	□ アンサンブル研究 III (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演				○						
	□ アンサンブル研究 IV (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演				○					※プロアーティストメジャーのみ	
	□ アンサンブル研究 V (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演				○						
	□ アンサンブル研究 VI (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習A-I (声楽)	2	演				○					イタリア歌曲	
	□ 音楽表現演習A-II (声楽)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習A-III (声楽)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習A-IV (声楽)	2	演				○					日本歌曲	
	□ 音楽表現演習A-V (声楽)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習A-VI (声楽)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習A-VII (声楽)	2	演				○					ドイツ歌曲	
	□ 音楽表現演習A-VIII (声楽)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習B-I (ダンス)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習B-II (ダンス)	2	演				○					フランス歌曲	
	□ 音楽表現演習B-III (ダンス)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習B-IV (ダンス)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習B-V (ダンス)	2	演				○					フランス歌曲	
	□ 音楽表現演習B-VI (ダンス)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習C-I (バレエ)	2	演				○					バレエ	
	□ 音楽表現演習C-II (バレエ)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習C-III (バレエ)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習C-IV (バレエ)	2	演				○					バレエ	
	□ 音楽表現演習C-V (バレエ)	2	演				○						
	□ 音楽表現演習C-VI (バレエ)	2	演				○						

音楽学科 専門教育科目(B類)

別表VII-7

チ エ ツ ク 欄	授業科目	単位	授業の方法	卒業必修	音楽療法士 1種	音楽療法士 補	教 免 必 修	標準履修年次				備考	
								1		2			
								春	秋	春	秋		
音 楽 学 科 共 通 科 目	□ 音楽表現演習D-I (ピアノ)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習D-II (ピアノ)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習D-III (ピアノ)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習D-IV (ピアノ)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習D-V (ピアノ)	2	演								○		
	□ 音楽表現演習D-VI (ピアノ)	2	演								○		
	□ 音楽表現演習E-I (ピアノ)	2	演					○					
	□ 音楽表現演習E-II (ピアノ)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習E-III (ピアノ)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習E-IV (ピアノ)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習E-V (ピアノ)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習E-VI (ピアノ)	2	演								○		
	□ 音楽表現演習F-I (ピアノ)	2	演					○					
	□ 音楽表現演習F-II (ピアノ)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習F-III (ピアノ)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習F-IV (ピアノ)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習F-V (ピアノ)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習F-VI (ピアノ)	2	演								○		
	□ 音楽表現演習G-I (電子オルガン)	2	演					○					
	□ 音楽表現演習G-II (電子オルガン)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習G-III (電子オルガン)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習G-IV (電子オルガン)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習G-V (電子オルガン)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習G-VI (電子オルガン)	2	演								○		
	□ 音楽表現演習H-I (パイプオルガン)	2	演					○					
	□ 音楽表現演習H-II (パイプオルガン)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習H-III (パイプオルガン)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習H-IV (パイプオルガン)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習H-V (パイプオルガン)	2	演								○		
	□ 音楽表現演習H-VI (パイプオルガン)	2	演									○	
	□ 音楽表現演習I-I (管弦楽)	2	演					○					
	□ 音楽表現演習I-II (管弦楽)	2	演						○				
	□ 音楽表現演習I-III (管弦楽)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習I-IV (管弦楽)	2	演							○			
	□ 音楽表現演習I-V (管弦楽)	2	演								○		
	□ 音楽表現演習I-VI (管弦楽)	2	演									○	
	□ 音楽表現特別演習	2	演					○	○	○	○	○	
	□ 音楽基礎理論II	2			○	○			○				
	□ ソルフェージュII	2	演						○				
	□ ソルフェージュIII	2	演						○				
	□ ソルフェージュIV	2	演						○				
	□ ソルフェージュV	2	演							○			
	□ ソルフェージュVI	2	演							○			
	□ 和声法I	2		○	○				○				
	□ 和声法II	2							○				
	□ 和声法III	2								○			
	□ 和声法IV	2									○		
	□ 作曲(含む教材編曲法)I	2	演				○			○			
	□ 作曲(含む教材編曲法)II	2	演							○			
	□ 対位法I	2	演								○		
	□ 対位法II	2	演									○	
	□ コンピュータ音楽I	2	演					○					
	□ コンピュータ音楽II	2	演						○				
	□ 電子楽譜制作法	2	演							○			
	□ ポピュラー作曲法(含む編曲法)I	2	演					○					
	□ ポピュラー作曲法(含む編曲法)II	2	演						○				
	□ 管弦楽史	2								○			
	□ 鍵盤音楽史	2							○				
	□ 声楽史	2								○			
	□ ポピュラー音楽概論	2									○		
	□ 民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)	2			○	○			○				
	□ 音楽療法概論	2			○	○		○					
	□ 音楽心理学	2			○	○					○		
	□ 楽器と環境	2							○				

※1~4年通年科目

音楽学科 専門教育科目(B類)

別表VII-7

チ エ ツ ク 欄	授業科目	単位	授業の方法	卒業必修	音楽療法士 1種	音楽療法士 補	教 免 必 修	標準履修年次				備考	
								1		2			
								春	秋	春	秋		
音 楽 学 科 共 通 科 目	□ 音楽家のためのリテラシー	2				○				●	●		
	□ 音声学	2									○		
	□ 障害児と音楽	2					○						
	□ 成人・高齢者と音楽	2					○						
	□ 音楽療法の理論と技法 I	2			○ ○				○				
	□ 音楽療法の理論と技法 II	2			○ ○				○				
	□ 音楽療法各論 A	2			○ ○				○				
	□ 音楽療法各論 B	2			○ ○						○		
	□ 音楽療法各論 C	2			○ ○				○				
	□ 医学概論	2			○ ○			○					
	□ 臨床医学各論 I	2			○ ○					○			
	□ 臨床医学各論 II	2			○ ○					○			
	□ 臨床心理学 I	2			○ ○				○				
	□ 臨床心理学 II	2			○ ○				○				
	□ 社会福祉概論	2			○ ○			○					
	□ ギター演習	2	演		▲c					○			
	□ リトミック	2	演		▲c				○				
	□ バロックダンス	2	演						○				
	□ 伴奏法 I	2	演			○				○			
	□ 伴奏法 II	2	演							○			
	□ 即興演奏	2	演					○					
	□ 指揮法	2	演		○ ○ ○				○				
	□ 日本音楽演習A(歌唱)	2	演		○ ○ ○				○				
	□ 日本音楽演習B(和楽器)	2	演		○ ○ ○				○				
	□ 合奏	2	演		○ ○ ○			○					
	□ 音楽キャリアデザインII	2						○					
	□ 音楽キャリアデザインIII	2							○				
	□ 音楽指導法A	2							○				
	□ 音楽指導法B	2							○				
	□ 音楽指導法C	2							○				
	□ 教職演習I	2	演						○				
	□ 教職演習II	2	演							○			
	□ 障害児教育論	2			○ ○			○					
	□ 介護概論	2			○ ○				○				
	□ 音楽療法技能A	2	演		○ ○			○					
	□ 音楽療法技能B	2	演		○ ○				○				
	□ 音楽療法技能C	2	演		○ ○				○				
	□ 音楽療法演習	2	演		○ ○				○				
	□ 施設実習	2	実		○ ○			▲d ▲d					
	□ 音楽療法実習I	1	実		○ ○					○			
	□ 音楽療法実習II	1	実		○ ○					○			
	□ 音楽療法実習III	1	実		○ ○						○		
	□ 音楽療法実習IV	1	実		○ ○						○		
	□ 卒業研究	4	演	○	○ ○						○ ○		
計		344		30									

【授業の方法】演：演習、実：実習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

●印 卒業研究(演奏・作品・論文)において論文を選択する場合は、春学期または秋学期いずれかで履修

▲c 音楽療法士(補)受験資格希望者はどちらか一つは履修すること

▲d 2年次春学期・秋学期のいずれかに2週間実施

音楽療法士(補)受験資格に関する科目

別表VII-8

分野	規定科目	単位	授業科目	単位	
①音楽分野 (32単位)	I . 理論	音楽理論／通論	4	音楽基礎理論 I 、 II	2、2
		和声学	2	和声法 I	2
		音楽心理学	2	音楽心理学	2
		音楽教育学	2	音楽科教育法 I	2
		西洋音楽史	2	西洋音楽史	2
		日本の音楽	2	日本音楽演習A(歌唱)	2
		民族音楽学	2	民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)	2
	II . 実技 「副科を含む」	ソルフェージュ	2	ソルフェージュ I	2
		ピアノ	2	音楽実技A- I 、 II 、 III 、 IV 、音楽実技B- I 、 II より選択	2
		声楽	2	音楽実技A- I 、 II 、 III 、 IV 、音楽実技B- I 、 II より選択	2
②音楽療法分野 (30単位)	「副科を含む」	器楽(管、弦、打楽器)	2	音楽実技A- I 、 II 、 III 、 IV 、音楽実技B- I 、 II より選択	2
		合唱	2	合唱(第九) I	2
		合奏	2	合奏	2
		指揮法	2	指揮法	2
		ギターまたはリトミック	2	ギター演習またはリトミック	2
		音楽療法概論	2	音楽療法概論	2
		音楽療法の理論と技法	4	音楽療法の理論と技法 I 、 II	2、2
	音楽療法各論 I	音楽療法各論 I	2	音楽療法各論A	2
		音楽療法各論 II	2	音楽療法各論B	2
		音楽療法各論 III	2	音楽療法各論C	2
		音楽療法技能 I	2	音楽療法技能A	2
		音楽療法技能 II	2	音楽療法技能B	2
		音楽療法技能 III	2	音楽療法技能C	2
		音楽療法演習	2	音楽療法演習	2
③医学・心理学分野 (10単位)	医学概論	音楽療法実習	6	施設実習	2
		卒業論文	4	音楽療法実習 I 、 II 、 III 、 IV	4
				卒業研究	4
				医学概論	2
				臨床医学各論 I	2
④福祉・教育分野 (8単位)	臨床医学各論 II			臨床医学各論 II	2
				臨床心理学 I	2
				臨床心理学 II	2
				社会福祉概論	2
⑤語学 (8単位)	発達心理学			発達心理学	2
				障害児教育	2
				介護概論	2
			8	英語、その他外国語	8
	計	88		計	88

令和3年度入学生 聖徳大学 音楽学部 音楽学科 カリキュラムマップ

*ピックルはスタートアップ・プログラム（必修）、線はその他の必修科目。その他は選択科目。*学年記述は一例であり、特に指定のある科目以外は学年どもは学年どもが選択されません。

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期					
音楽の基本を学ぼう	より専門的な学びに踏み込もう	自分の力を試してみよう			自立した音楽職業へ							
専門的職業人としての使命感・責任感を高める		音楽キャラクターデザインⅠ 音楽キャラクターデザインⅡ			音楽キャラクターデザインⅢ 音楽家のためのリテラシー（音楽期に同内容）	卒業研究 音楽表現特別演習 音楽療法実習Ⅳ						
音楽療法の知識とスキルを身につける		音楽療法概論 社会福祉概論 音楽療法各論A 音楽療法技能A 障害児教育論			音楽療法演習 音楽療法の理論と技法Ⅰ 音楽療法の臨床心理学Ⅰ 音楽療法各論C 音楽療法技能C	音楽療法実習Ⅰ 音楽療法実習Ⅱ 音楽療法実習Ⅲ 音楽療法実習Ⅳ	音楽療法実習Ⅰ 音楽療法実習Ⅱ 音楽療法実習Ⅲ 音楽療法実習Ⅳ					
音楽教育の知識とスキルを身につける		音楽教育法Ⅰ 合奏 音楽指導法A（高年齢者） 音楽指導法B（高年齢者）			音楽科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅱ 音楽科教育法Ⅲ 日本音楽演習A（歌唱） 日本音楽演習B（和楽器）	音楽科教育法Ⅳ 日本音楽演習B（和楽器） 教謡演習 教謡演習Ⅱ	音楽科教育法Ⅳ 日本音楽演習B（和楽器） 教謡演習 教謡演習Ⅱ					
音楽表現・創作のスキルを身につける												
応用実技Ⅰ 演奏特論Ⅰ 音楽実技A-Ⅰ 音楽実技B-Ⅰ 音楽実技C-Ⅰ 音楽表現演習A-Ⅰ (伊歌曲)		音楽実技Ⅱ 音楽実技A-Ⅱ 音楽実技B-Ⅱ 音楽実技C-Ⅱ 音楽表現演習A-Ⅱ (伊歌曲)			音楽実技Ⅲ 音楽実技A-Ⅲ 音楽実技B-Ⅲ 音楽実技C-Ⅲ 音楽表現演習A-Ⅲ (白歌曲)	音楽実技Ⅳ 音楽実技A-Ⅳ 音楽実技B-Ⅳ 音楽実技C-Ⅳ 音楽表現演習A-Ⅳ (白歌曲)	音楽実技Ⅴ 音楽実技A-Ⅴ 音楽実技B-Ⅴ 音楽実技C-Ⅴ 音楽表現演習A-Ⅴ (白歌曲)	音楽実技Ⅵ 音楽実技A-Ⅵ 音楽実技B-Ⅵ 音楽実技C-Ⅵ 音楽表現演習A-Ⅵ (白歌曲)				
音楽表現演習-D（ビアノ）Ⅰ		音楽表現演習D-Ⅰ 音楽表現演習D-Ⅱ 音楽表現演習D-Ⅲ 音楽表現演習D-Ⅳ 音楽表現演習D-Ⅴ 音楽表現演習E-Ⅰ 音楽表現演習E-Ⅱ 音楽表現演習F-Ⅰ 音楽表現演習G-Ⅰ 音楽表現演習H-Ⅰ 音楽表現演習I-Ⅰ 音楽表現演習J-Ⅰ 音楽表現演習K-Ⅰ 音楽表現演習L-Ⅰ 音楽表現演習M-Ⅰ 音楽表現演習N-Ⅰ 音楽表現演習O-Ⅰ 音楽表現演習P-Ⅰ 音楽表現演習Q-Ⅰ 音楽表現演習R-Ⅰ 音楽表現演習S-Ⅰ 音楽表現演習T-Ⅰ 音楽表現演習U-Ⅰ 音楽表現演習V-Ⅰ 音楽表現演習W-Ⅰ 音楽表現演習X-Ⅰ 音楽表現演習Y-Ⅰ 音楽表現演習Z-Ⅰ 音楽表現演習-Ⅰ コントピータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ			音楽表現演習B-Ⅰ 音楽表現演習C-Ⅰ 音楽表現演習D-Ⅰ 音楽表現演習E-Ⅰ 音楽表現演習F-Ⅰ 音楽表現演習G-Ⅰ 音楽表現演習H-Ⅰ 音楽表現演習I-Ⅰ 音楽表現演習J-Ⅰ 音楽表現演習K-Ⅰ 音楽表現演習L-Ⅰ 音楽表現演習M-Ⅰ 音楽表現演習N-Ⅰ 音楽表現演習O-Ⅰ 音楽表現演習P-Ⅰ 音楽表現演習Q-Ⅰ 音楽表現演習R-Ⅰ 音楽表現演習S-Ⅰ 音楽表現演習T-Ⅰ 音楽表現演習U-Ⅰ 音楽表現演習V-Ⅰ 音楽表現演習W-Ⅰ 音楽表現演習X-Ⅰ 音楽表現演習Y-Ⅰ 音楽表現演習Z-Ⅰ 音楽表現演習-Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ	音楽表現演習B-Ⅱ 音楽表現演習C-Ⅱ 音楽表現演習D-Ⅱ 音楽表現演習E-Ⅱ 音楽表現演習F-Ⅱ 音楽表現演習G-Ⅱ 音楽表現演習H-Ⅱ 音楽表現演習I-Ⅱ 音楽表現演習J-Ⅱ 音楽表現演習K-Ⅱ 音楽表現演習L-Ⅱ 音楽表現演習M-Ⅱ 音楽表現演習N-Ⅱ 音楽表現演習O-Ⅱ 音楽表現演習P-Ⅱ 音楽表現演習Q-Ⅱ 音楽表現演習R-Ⅱ 音楽表現演習S-Ⅱ 音楽表現演習T-Ⅱ 音楽表現演習U-Ⅱ 音楽表現演習V-Ⅱ 音楽表現演習W-Ⅱ 音楽表現演習X-Ⅱ 音楽表現演習Y-Ⅱ 音楽表現演習Z-Ⅱ 音楽表現演習-Ⅱ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ	音楽表現演習B-Ⅲ 音楽表現演習C-Ⅲ 音楽表現演習D-Ⅲ 音楽表現演習E-Ⅲ 音楽表現演習F-Ⅲ 音楽表現演習G-Ⅲ 音楽表現演習H-Ⅲ 音楽表現演習I-Ⅲ 音楽表現演習J-Ⅲ 音楽表現演習K-Ⅲ 音楽表現演習L-Ⅲ 音楽表現演習M-Ⅲ 音楽表現演習N-Ⅲ 音楽表現演習O-Ⅲ 音楽表現演習P-Ⅲ 音楽表現演習Q-Ⅲ 音楽表現演習R-Ⅲ 音楽表現演習S-Ⅲ 音楽表現演習T-Ⅲ 音楽表現演習U-Ⅲ 音楽表現演習V-Ⅲ 音楽表現演習W-Ⅲ 音楽表現演習X-Ⅲ 音楽表現演習Y-Ⅲ 音楽表現演習Z-Ⅲ 音楽表現演習-Ⅲ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ	音楽表現演習B-Ⅳ 音楽表現演習C-Ⅳ 音楽表現演習D-Ⅳ 音楽表現演習E-Ⅳ 音楽表現演習F-Ⅳ 音楽表現演習G-Ⅳ 音楽表現演習H-Ⅳ 音楽表現演習I-Ⅳ 音楽表現演習J-Ⅳ 音楽表現演習K-Ⅳ 音楽表現演習L-Ⅳ 音楽表現演習M-Ⅳ 音楽表現演習N-Ⅳ 音楽表現演習O-Ⅳ 音楽表現演習P-Ⅳ 音楽表現演習Q-Ⅳ 音楽表現演習R-Ⅳ 音楽表現演習S-Ⅳ 音楽表現演習T-Ⅳ 音楽表現演習U-Ⅳ 音楽表現演習V-Ⅳ 音楽表現演習W-Ⅳ 音楽表現演習X-Ⅳ 音楽表現演習Y-Ⅳ 音楽表現演習Z-Ⅳ 音楽表現演習-Ⅳ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ	音楽表現演習B-Ⅴ 音楽表現演習C-Ⅴ 音楽表現演習D-Ⅴ 音楽表現演習E-Ⅴ 音楽表現演習F-Ⅴ 音楽表現演習G-Ⅴ 音楽表現演習H-Ⅴ 音楽表現演習I-Ⅴ 音楽表現演習J-Ⅴ 音楽表現演習K-Ⅴ 音楽表現演習L-Ⅴ 音楽表現演習M-Ⅴ 音楽表現演習N-Ⅴ 音楽表現演習O-Ⅴ 音楽表現演習P-Ⅴ 音楽表現演習Q-Ⅴ 音楽表現演習R-Ⅴ 音楽表現演習S-Ⅴ 音楽表現演習T-Ⅴ 音楽表現演習U-Ⅴ 音楽表現演習V-Ⅴ 音楽表現演習W-Ⅴ 音楽表現演習X-Ⅴ 音楽表現演習Y-Ⅴ 音楽表現演習Z-Ⅴ 音楽表現演習-Ⅴ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ	音楽表現演習B-Ⅵ 音楽表現演習C-Ⅵ 音楽表現演習D-Ⅵ 音楽表現演習E-Ⅵ 音楽表現演習F-Ⅵ 音楽表現演習G-Ⅵ 音楽表現演習H-Ⅵ 音楽表現演習I-Ⅵ 音楽表現演習J-Ⅵ 音楽表現演習K-Ⅵ 音楽表現演習L-Ⅵ 音楽表現演習M-Ⅵ 音楽表現演習N-Ⅵ 音楽表現演習O-Ⅵ 音楽表現演習P-Ⅵ 音楽表現演習Q-Ⅵ 音楽表現演習R-Ⅵ 音楽表現演習S-Ⅵ 音楽表現演習T-Ⅵ 音楽表現演習U-Ⅵ 音楽表現演習V-Ⅵ 音楽表現演習W-Ⅵ 音楽表現演習X-Ⅵ 音楽表現演習Y-Ⅵ 音楽表現演習Z-Ⅵ 音楽表現演習-Ⅵ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ	音楽表現演習B-Ⅶ 音楽表現演習C-Ⅶ 音楽表現演習D-Ⅶ 音楽表現演習E-Ⅶ 音楽表現演習F-Ⅶ 音楽表現演習G-Ⅶ 音楽表現演習H-Ⅶ 音楽表現演習I-Ⅶ 音楽表現演習J-Ⅶ 音楽表現演習K-Ⅶ 音楽表現演習L-Ⅶ 音楽表現演習M-Ⅶ 音楽表現演習N-Ⅶ 音楽表現演習O-Ⅶ 音楽表現演習P-Ⅶ 音楽表現演習Q-Ⅶ 音楽表現演習R-Ⅶ 音楽表現演習S-Ⅶ 音楽表現演習T-Ⅶ 音楽表現演習U-Ⅶ 音楽表現演習V-Ⅶ 音楽表現演習W-Ⅶ 音楽表現演習X-Ⅶ 音楽表現演習Y-Ⅶ 音楽表現演習Z-Ⅶ 音楽表現演習-Ⅶ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ	音楽表現演習B-Ⅷ 音楽表現演習C-Ⅷ 音楽表現演習D-Ⅷ 音楽表現演習E-Ⅷ 音楽表現演習F-Ⅷ 音楽表現演習G-Ⅷ 音楽表現演習H-Ⅷ 音楽表現演習I-Ⅷ 音楽表現演習J-Ⅷ 音楽表現演習K-Ⅷ 音楽表現演習L-Ⅷ 音楽表現演習M-Ⅷ 音楽表現演習N-Ⅷ 音楽表現演習O-Ⅷ 音楽表現演習P-Ⅷ 音楽表現演習Q-Ⅷ 音楽表現演習R-Ⅷ 音楽表現演習S-Ⅷ 音楽表現演習T-Ⅷ 音楽表現演習U-Ⅷ 音楽表現演習V-Ⅷ 音楽表現演習W-Ⅷ 音楽表現演習X-Ⅷ 音楽表現演習Y-Ⅷ 音楽表現演習Z-Ⅷ 音楽表現演習-Ⅷ コンピュータ音楽Ⅰ コンピュータ音楽Ⅰ
音楽を主体的に創造的に学ぶ		合唱(第九)Ⅰ 音楽ワークショップⅠ			アンサンブル研究Ⅰ 音楽ワークショップⅡ 音楽ワークショップⅢ 音楽ワークショップⅣ	アンサンブル研究Ⅱ 音楽ワークショップⅤ 音楽ワークショップⅥ	アンサンブル研究Ⅳ 音楽ワークショップⅦ	アンサンブル研究Ⅴ 音楽ワークショップⅧ				
音楽の専門的な知識・理論を修得する		音楽文化概論 音楽基礎理論Ⅰ ソルフェージュⅠ ソルフェージュⅡ 障害児と音楽			韓文音楽史（高年齢者） 管弦楽史（高年齢者） 民族音楽学概論 (含む)日本の伝統音楽 和声法Ⅰ 即興演奏 ソルフェージュⅢ 楽器と環境（高年齢者） 成人・高齢者と音楽	伴奏法Ⅰ 和声法Ⅱ 作曲（含む）教科編曲法Ⅰ ソルフェージュⅣ パロディミック（高年齢者） ギター演奏 音楽心理学 音声学（高年齢者）	伴奏法Ⅱ 和声法Ⅲ 作曲（含む）教科編曲法Ⅱ ソルフェージュⅤ ギター演奏 音楽心理学 音声学（高年齢者）	伴奏法Ⅲ 和声法Ⅳ 作曲（含む）教科編曲法Ⅲ ソルフェージュⅥ ギター演奏 音楽心理学 音声学（高年齢者）				
人間力を高める		英語Ⅰ 外国語 情報活用演習（基礎） SEITOKU Academic Literacy I 教養科目A類（文学領域） 小石原弘利法基礎講座 スポーツと健康Ⅰ			英語Ⅲ 外国语 聖徳教育Ⅰ SEITOKU Academic Literacy II 教養科目A類（社会領域） 教養科目B類（自然領域） 教養科目C類（心の領域）	英語Ⅳ 外国语 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic Literacy III 教養科目A類（歴史領域） 教養科目B類（芸術領域） 教養科目C類（心の領域）	英語Ⅳ 外国语 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy IV 教養科目A類（歴史領域） 教養科目B類（自然領域） 教養科目C類（心の領域）	英語Ⅳ 外国语 聖徳教育Ⅳ SEITOKU Academic Literacy V 教養科目A類（社会領域） 教養科目B類（芸術領域） 教養科目C類（心の領域）				
教育目標		1年次 優れた音楽人に必要な知識と技能の基礎を教授する			音楽を学ぶ喜びと共に、専門的能力の大切さを教授する			音楽人として自立し、社会に貢献できる能力を持つ人材を育成する				

令和3年度入学生 聖徳大学 音楽学部 音楽学科 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
音楽の基本を学ぼう	より専門的な学びに踏み込もう			自分の力を試してみよう		自立した音楽職業人へ	
専門的職業人としての使命感・責任感をできる	専門的職業人の使命について深く理解することができる	専門的職業人の使命について、責任を知り、場面を身につける	専門的職業人の使命について、責任を自負することができる	専門的職業人としての使命感、責任感を持つことができる	専門的職業人としての使命感、責任感を持つことができる	専門的職業人としての使命感を持つことができる	卒業認定・学位授与の方針に沿うる学修成績
音楽教育の知識とスキルを身につける	音楽療法士としてのキャリアに關わる専門的能力の基礎が身についている	音楽療法士としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽療法士としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽療法士としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽療法士としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽療法士としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽の発展に貢献できる優れた音楽的能力と人間力のある音楽家、音楽職業人を目指して
演奏表現・創作のスキルを身につける	音楽表現・創作スキルの基礎が身についている	音楽表現・創作スキルの、より専門的な力が身についている	音楽教育者としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽教育者としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽教育者としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	音楽教育者としてのキャリアに關わる専門的能力を持つことができる	GPA・実習録・演奏記録・卒業研究
音楽を主体的・創造的・協働的に学ぶ	創造的・協働的な学びに、主体的に関わることができる	創造的・協働的な学びを展開することができる	創造的・協働的な学びを展開することができる	創造的・協働的な学びのリーダーとして活動することができる	創造的・創造的、協働的、協働的・協働的な学びから、豊かな成果を上げることができる	主体的、創造的、協働的に学ぶことができる	GPA・実習録
音楽の専門的な知識・理論を修得する人間力を高める	音楽の専門的な知識・理論の基礎が身についている	音楽の専門的な知識・理論の基礎が身についている	音楽の専門的な知識・理論の基礎的な力を応用することができる	音楽の専門的な知識・理論をさまざまな場面に応用することができる	音楽に関するさらに高度な知識・理論を身につけている	豊かな音楽表現力の基礎を身につけることができる	GPA・実習録
教育目標	1年次	2年次	3年次	3年次	4年次	4年次	卒業認定・学位授与の方針に沿うる学修成績

音楽学部 音楽学科（プロ・アーティストメジャー）履修モデル（ピアノを中心に学ぶ場合の例）

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学（共A通類科目）	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目 1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目 2 小笠原流礼法基礎講座 英語 III イタリア語 III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 3 教養科目 4 教養科目 5 英語 IV イタリア語 IV
		科目数 5	7	4	6
音楽学科専門教育科目（B類）	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A- I *音楽実技B- I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A- II *音楽実技B- II	音楽実技A- III 和声法 I	音楽実技A- IV
		科目数 6	5	2	1
	選択科目	応用実技 I 演奏特論 I 音楽表現演習D- I	応用実技 I 演奏特論 I 音楽表現演習D- II	応用実技 II 演奏特論 II アンサンブル研究 I 音楽表現演習E- I	応用実技 I 演奏特論 II アンサンブル研究 II 音楽表現演習E- II
		科目数 3	3	4	4
科目数		14	15	10	11

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共（全A通類科目）	必修科目				
		科目数 0	0	0	0
音楽学科専門教育科目（B類）	必修科目			卒業研究	卒業研究
		科目数 0	0	1	1
	選択科目	応用実技III 演奏特論II 音楽実技A-V アンサンブル研究III 音楽表現演習F- I	応用実技III 演奏特論II 音楽実技A-VI アンサンブル研究IV 音楽表現演習F- II	応用実技IV 演奏特論II 音楽実技A-VII アンサンブル研究V	応用実技IV 演奏特論II 音楽実技A-VIII アンサンブル研究VI 音楽表現特別演習
		科目数 5	5	4	5
科目数計		5	5	5	6

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。

音楽学部 音楽学科（音楽表現メジャー）履修モデル

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学（ 共A 通類 科目）	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語 III イタリア語 III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語 IV イタリア語 IV
	科目数	5	7	4	6
音乐 学 科 専 門 教 育 科 目 （ B 類 ）	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A- I *音楽実技B- I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A- II *音楽実技B- II	音楽実技A- III 和声法 I	音楽実技A- IV
	科目数	6	5	2	1
	選択科目	音楽ワークショップ I 音楽表現演習A- I	音楽ワークショップ II 音楽表現演習A- II	音楽ワークショップ III 音楽実技B- III アンサンブル研究 I 音楽表現演習A- III コンピュータ音楽 I 音楽キャリアデザイン II	音楽ワークショップ IV 音楽実技B- IV アンサンブル研究 II 音楽表現演習A- IV リトミック 声楽史
	科目数	2	2	6	6
	科目数	13	14	12	13

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共通全A 科学類 科目	必修科目				
	科目数	0	0	0	0
音乐 学 科 専 門 教 育 科 目 （ B 類 ）	必修科目			卒業研究	卒業研究
	科目数	0	0	1	1
	選択科目	音楽ワークショップ V 音楽実技A-V 音楽実技B-V アンサンブル研究 III 音楽表現演習A-V 電子楽譜制作法	音楽ワークショップ VI 音楽実技A-VI 音楽実技B-VI アンサンブル研究 IV 音楽表現演習A-VI バロックダンス	音楽ワークショップ VII 音楽実技A-VII 音楽実技B-VII アンサンブル研究 V 音楽表現演習A-VII	音楽ワークショップ VIII 音楽実技A-VIII 音楽実技B-VIII アンサンブル研究 VI 音楽表現演習A-VIII 音楽表現特別演習
	科目数	6	6	5	6
	科目数計	6	6	6	7

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学(共A通類科目)	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語 III イタリア語 III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語 IV イタリア語 IV
	科目数	5	7	4	6
音楽学科専門教育科目(B類)	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A- I *音楽実技B- I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A- II *音楽実技B- II	音楽実技A- III 和声法 I	音楽実技A- IV
	科目数	6	5	2	1
	選択科目	音楽ワークショップ I	音楽ワークショップ II	音楽ワークショップ III 音楽実技B- III コンピュータ音楽 I 音楽キャリアデザイン II ○民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽) ○合奏 ○教職入門 ○教育基礎論 ○音楽科教育法 I ○教育方法学 ○生徒指導(進路指導を含む) ○介護体験実習	音楽ワークショップ IV 音楽実技B- IV 和声法 II ○指揮法 ○教育心理学 ○特別支援教育総論 ○教育課程論 ○音楽科教育法 II ○特別活動の指導法 ○教育相談
	科目数	1	1	12	10
	科目数	12	13	18	17

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共通全A科学類科目	必修科目				
	科目数	0	0	0	0
音楽学科専門教育科目(B類)	必修科目			卒業研究	卒業研究
	科目数	0	0	1	1
	選択科目	音楽ワークショップ V 音楽実技B- V ○作曲(含む教材編曲法) I ○伴奏法 I ○日本音楽演習A(歌唱) ○音楽科教育法 III ○道徳教育の指導法 ○総合的な学習の時間の指導法	音楽ワークショップ VI 音楽実技B- VI 作曲(含む教材編曲法) II 教職演習 I ○日本音楽演習B(和楽器) ○教育社会学 I ○音楽科教育法 IV	音楽ワークショップ VII 音楽実技B- VII 教職演習 II ○教育実習(中・高)	音楽ワークショップ VIII 音楽実技B- VIII ○教職実践演習(中・高)
	科目数	8	7	4	3
	科目数計	8	7	5	4

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。

表中の○印は教職(中・高免許)科目です。

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学（ 共A 通類 科目）	必 修 科 目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語III イタリア語III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語IV イタリア語IV
		科目数 5	7	4	6
音 楽 学 科 専 門 教 育 科 目 （B 類 ）	必 修 科 目	* 音楽文化概論 * 音楽基礎理論 I * ソルフェージュ I * 合唱(第九) I * 音楽実技A- I * 音楽実技B- I	* 音楽キャリアデザイン I * 合唱(第九) II * 西洋音楽史 * 音楽実技A- II * 音楽実技B- II	音楽実技A-III 和声法 I	音楽実技A-IV
		科目数 6	5	2	1
	選 択 科 目	音楽ワークショップ I 障害児と音楽 ◎音楽療法概論	音楽ワークショップ II 成人・高齢者と音楽 ◎音楽基礎理論 II ◎医学概論 ◎社会福祉概論 ◎障害児教育論 ◎音楽療法技能A	音楽ワークショップ III 音楽実技B-III 音楽キャリアデザイン II コンピュータ音楽 I ◎音楽療法の理論と技法 I ◎音楽療法各論A ◎合奏 ◎民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽) ◎施設実習 ◎音楽科教育法 I ◎教育基礎論	音楽ワークショップ IV 音楽実技B-IV 和声法 II ◎音楽療法の理論と技法 II ◎音楽療法各論C ◎臨床心理学 I ◎リトミック ◎指揮法 ◎音楽療法技能C ◎音楽療法演習
		科目数 3	7	11	10
科目数		14	19	17	17

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共 通 全 科 （A 類 ）	科 必 修				
		科目数 0	0	0	0
音 楽 学 科 専 門 教 育 科 目 （B 類 ）	科 必 修			卒業研究	卒業研究
		科目数 0	0	1	1
	選 択 科 目	音楽ワークショップ V 作曲(含む教材編曲法) I 伴奏法 I 音楽キャリアデザイン III ◎臨床医学各論 I ◎臨床心理学 II ◎介護概論 ◎音楽療法技能B ◎音楽療法実習 I ◎日本音楽演習A(歌唱) ◎音楽家のためのリテラシー ◎ギター演習 ◎発達心理学	音楽ワークショップ VI 作曲(含む教材編曲法) II ◎音楽療法各論B ◎臨床医学各論 II ◎音楽療法実習 II ◎音楽心理学	音楽ワークショップ VII ◎音楽療法実習 III	音楽ワークショップ VIII ◎音楽療法実習 IV
		科目数 13	6	2	2
科目数計		13	6	3	3

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。

表中の◎印は音楽療法士の資格に必要な科目です。

教職課程履修について[中学校教諭一種免許状(音楽)、高等学校教諭一種免許状(音楽)]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになりますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表VII-9

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	履修年次								備考	
				1		2		3		4			
				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2		○								
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○									
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわりなく、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

教科に関する科目については、下表のとおり履修してください。

別表VII-10

チ エ ック 欄	授業科目	授業の方法	単位	履修年次								備考	
				1		2		3		4			
				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	音楽基礎理論Ⅰ		2	○									
<input type="checkbox"/>	ソルフェージュⅠ	演	2	○									
<input type="checkbox"/>	合唱(第九)Ⅰ	演	2	○									
<input type="checkbox"/>	民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)		2			○							
<input type="checkbox"/>	伴奏法Ⅰ	演	2					○					
<input type="checkbox"/>	作曲(含む教材編曲法)Ⅰ	演	2					○					
<input type="checkbox"/>	日本音楽演習A(歌唱)	演	2					○					
<input type="checkbox"/>	日本音楽演習B(和楽器)	演	2						○				
<input type="checkbox"/>	音楽実技A-Ⅰ	演	2	▲a									
<input type="checkbox"/>	音楽実技A-Ⅱ	演	2		▲a								
<input type="checkbox"/>	音楽実技B-Ⅰ	演	1	▲a									
<input type="checkbox"/>	音楽実技B-Ⅱ	演	1		▲a								
<input type="checkbox"/>	西洋音楽史		2		○								
<input type="checkbox"/>	合奏	演	2			○							
<input type="checkbox"/>	指揮法	演	2				○						

▲a
音楽実技A-ⅠかB-Ⅰを声楽
音楽実技A-ⅡかB-Ⅱを器楽で
履修する。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、下表のとおり履修してください。

別表VII-11

チ エ ック 欄	授業科目	方授 業 法の 位	単 免	中 免	高 免	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/> 教職入門		2	○	○			○							[注]6.参照	
<input type="checkbox"/> 教育基礎論		2	○	○			○							△はいずれか1科目必修	
<input type="checkbox"/> 教育心理学		2	△	△				○						[注]6.参照	
<input type="checkbox"/> 発達心理学		2	△	△					○						
<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 教育社会学Ⅰ		2	○	○						○					
<input type="checkbox"/> 教育課程論		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 音楽科教育法Ⅰ	演	2	○	○			○							[注]6.参照	
<input type="checkbox"/> 音楽科教育法Ⅱ	演	2	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 音楽科教育法Ⅲ	演	2	○	○					○						
<input type="checkbox"/> 音楽科教育法Ⅳ	演	2	○	○						○					
<input type="checkbox"/> 道徳教育の指導法		2	○						○						
<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間の指導法		2	○	○					●	●					
<input type="checkbox"/> 特別活動の指導法		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 教育方法学		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			○								
<input type="checkbox"/> 教育相談		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/> 教職実践演習(中・高)	演	2	○	○								○			
<input type="checkbox"/> 中学校教育実習	実	5	○												
<input type="checkbox"/> 高等学校教育実習	実	3		○											
<input type="checkbox"/> 介護体験実習	実	1	○												
	計		45	40	35										

[注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。

2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。

3. 授業の方法欄の「演」は演習、「実」は実習、空欄は講義をさす。

4. 履修年次欄の○印は開講時期をさす。

また●印を付された授業科目は時間割編成上、春学期または秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

5. 教職に関する科目は卒業要件に算入することができる。

6. 音楽療法士(1種)、音楽療法士(補)受験資格を取得する者は、「教育基礎論」(音楽療法士(補)受験資格のみ)、「発達心理学」、「音楽科教育法Ⅰ」を必ず履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

各種免許・資格課程の履修について

各種資格を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、資格ごとに所定の単位並びに本学で定める科目を履修する必要があります。

資格を取得するために必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については、下記のとおりです。
理解を深めて授業に臨んでください。

1. 「取得できる免許・資格」について

本学で取得できる資格は下記のとおりです。

免許・資格名	履修費	登録できる学部・学科(○印が可能)						備考
		児童学部	文学部	心理・福祉学部	人間栄養学部	看護学部	音楽学部	
		児童学科	文学科	心理学科	社会福祉学科	人間栄養学科	看護学科	
教員免許状	幼稚園教諭一種免許状	40,000	○※					※幼稚園教員養成コースは必修
	小学校教諭一種免許状	60,000	○※1					※1 小学校教員養成コースは必修
	小学校教諭二種免許状	30,000						※2 中高免とあわせて取得可能
	中学校教諭一種免許状	60,000	○		○	○		※中高免とあわせて取得可能
	中学校教諭一種免許状	40,000		○ ○				
	高等学校教諭一種免許状	60,000	○		○ ○			
	高等学校教諭一種免許状	40,000		○ ○				
	特別支援学校教諭一種免許状	30,000	○					
	養護教諭一種免許状	40,000			○			
	栄養教諭一種免許状	20,000				○		
国家資格	社会福祉士(受験資格)	60,000			○			※3 保育士養成コースは必修
	精神保健福祉士(受験資格)	60,000			○			※4 社会福祉コースと養護教諭コースは取得可能
	保育士	60,000	○※3		○※4			※介護福祉コースのみ取得可能
	介護福祉士(受験資格)	100,000			○※			※音楽療法士を取得する場合取得可能
	公認心理師(受験資格)	別途指示		○※5				
	社会福祉主事(任用資格)	-	○		○		○※	
	児童福祉士(任用資格)	-	○		○			
	児童指導員(任用資格)	-	○		○			
	社会教育主事(任用資格)	50,000	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	
	図書館司書	20,000	○ ○※	○ ○	○ ○		○ ○	※図書館情報コースは必修
	学校図書館司書教諭	20,000	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	
	学芸員	60,000	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	
	管理栄養士(受験資格)	-				○※		※必修
	栄養士	-				○※		※必修
	食品衛生管理者(任用資格)	-				○		
	食品衛生監視員(任用資格)	-				○		
	看護師(受験資格)	-				○※		※必修
	保健師(受験資格)	60,000				○		
民間資格	フードスペシャリスト(受験資格)	-				○		
	レクリエーションインストラクター	20,000	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	
	余暇開発士	-	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○	
	キャンプインストラクター	20,000	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	
	認定心理士	-	○ ○ ○ ○					
	ピアヘルパー(受験資格)	-	○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○	
	音楽療法士(1種)	別途指示						
	音楽療法士基礎資格	別途指示						
	ジュニアスポーツ指導員(受験資格)	別途指示	○ ○ ○ ○					
	障がい者スポーツ指導員	別途指示	○ ○ ○ ○					
	健康運動実践指導者(受験資格)	別途指示	○ ○ ○ ○					
	日本語教員養成講座	60,000	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○	

[注] ①学校図書館司書教諭の修了証書は、学校の教諭の免許状を有するものについてその効力が生じる資格です。

②学校図書館司書教諭と図書館司書の両資格取得希望者の履修費は、合わせて20,000円です。

③学芸員の資格については、3年次に実習配属が確定してから別途連絡します。

④小・中学校教諭免許状を取得する場合には、介護等の体験が必要です。

「介護等の体験をする者」は、別途、介護等体験実習費10,000円が必要になります。

⑤【看護学部】保健師(受験資格)の資格取得については、3年次より履修します。

2年次秋学期に説明会を実施します。

⑥児童学科特別支援教育コースは、小学校教諭一種免許状もしくは幼稚園教諭一種免許状のいずれか必修。

※5 卒業後、大学院において公認心理師法で定められた科目を修めてその課程を修了するか、

定められた実習施設にて2年以上の実務経験が必要です。

2. 「他学科開設科目の履修について」

上記の資格を取得するためには、他学科において開設する科目を履修することができます。

3. 「実習」について

一部の資格を取得するためには実習が必要です。実習については別途指示があります。

4. 「免許・資格課程の履修登録」について

各種免許・資格を取得するための課程を履修する学生は、次のとおり課程履修登録をする必要が
あります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程等は別途指示があります。

(1) 手続き方法

SEITOKU CAMPAS CARD(学生証)に履修費をチャージ(入金)し、指定の期日までに学生情報端末で申請手続きをしてください。登録できる免許・資格は、卒業要件となっているものを除き、原則として2種類以内です。なお、1年次の成績(GPA)が、一定の水準に達した場合は、3種類以上取得可能です。

学生情報端末の利用については、SEITOKU CAMPAS CARDの手引きを参照してください。

なお、免許・資格の取得が、所属学科・コースの卒業要件となっている課程は、教育支援課で一括登録を行うので、手続きは必要ありません。

(2) 手続き期間

原則として2年次春学期に手続きしてください。詳しい日程等は、別途掲示で連絡いたします。

(3) その他の注意事項

①履修登録の届けをしないで履修しても、免許・資格は取得できません。

②履修途中において課程登録を取り消す場合は、正保証人連署の課程履修取り消し願いをクラス担任
および科目担当教員の了承を得て指定期日までに教育支援課に提出してください。

③希望する全ての免許・資格が卒業までに取得できるとは限りません。

④夜間主の学生で、卒業要件とならない免許・資格を取得するには、昼間(9:00～17:55)の時間帯の
科目の履修が必要となります。

⑤各免許及び資格に必要な科目の受講については、課程の登録にかかわらず授業開始日より受講して
ください。

[図書館司書 学校図書館司書教諭 科目一覧]

別表VIII-1

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	司書	司教	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/> 生涯学習概論			2	○		○									
<input type="checkbox"/> 図書館概論			2	○		○									
<input type="checkbox"/> 図書館情報技術論			2	○			○								
<input type="checkbox"/> 図書館制度・経営論			2	○				○							
<input type="checkbox"/> 図書館サービス概論			2	○					○						
<input type="checkbox"/> 情報サービス論			2	○			○								
<input type="checkbox"/> 児童サービス論			2	○				○							
<input type="checkbox"/> 情報サービス演習I	演	1	○				○								
<input type="checkbox"/> 情報サービス演習II	演	1	○					○							
<input type="checkbox"/> 図書館情報資源概論			2	○	○		○								
<input type="checkbox"/> 情報資源組織論			2	○	○	○									
<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習I	演	1	○				○								
<input type="checkbox"/> 情報資源組織演習II	演	1	○					○							
<input type="checkbox"/> 図書館基礎特論			2	△					○						
<input type="checkbox"/> 図書館サービス特論			2	△				○							
<input type="checkbox"/> 図書館情報資源特論			2	△						○					
<input type="checkbox"/> 図書・図書館史			2	△			○								
<input type="checkbox"/> 図書館施設論			2	△				○							
<input type="checkbox"/> 図書館総合演習	演	1	△							○					
<input type="checkbox"/> 学校経営と学校図書館			2		○		○								
<input type="checkbox"/> 学習指導と学校図書館			2		○			○							
<input type="checkbox"/> 読書と豊かな人間性	※	2		○				○							
<input type="checkbox"/> 情報メディアの活用			2		○				○						
	計		41												

【履修上の注意】

1. 図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。
2. 学校図書館司書教諭の資格を取得する者は、司教欄に○印を付された科目を履修しなければならない。なお、司書教諭の修了証書の効力は、学校の教員免許を取得した時点から生じることになる。
3. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。
4. 授業の方法欄の「演」は演習科目、※を付された科目は講義及び実技科目。空欄は講義科目。
5. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
6. 図書館司書について、文学科の学生は学科の履修要項のとおりに履修してください。

[社会教育主事任用資格関係科目]

別表VIII-2

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/>	生涯学習論Ⅰ		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	生涯学習論Ⅱ		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	生涯学習支援論Ⅰ		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	生涯学習支援論Ⅱ		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	社会教育経営論Ⅰ		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	社会教育経営論Ⅱ		2	○						○				
<input type="checkbox"/>	家庭教育と社会教育Ⅰ		2				○							
<input type="checkbox"/>	家庭教育と社会教育Ⅱ		2					○						
<input type="checkbox"/>	図書館概論		2				○							
<input type="checkbox"/>	博物館概論		2				○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2				○							
<input type="checkbox"/>	教育原理		2		○									
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2			○								
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2						○					
<input type="checkbox"/>	博物館情報・メディア論		2						○					
<input type="checkbox"/>	文化財の保護		2						○					
<input type="checkbox"/>	社会教育実習Ⅰ	実	1	○					○					
<input type="checkbox"/>	社会教育演習Ⅰ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	社会教育演習Ⅱ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	社会教育実習Ⅱ	実	1						○					
<input type="checkbox"/>	社会教育課題研究Ⅰ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	社会教育課題研究Ⅱ	演	1								○			
	計		38											

【履修上の注意】

1. 社会教育主事任用資格を取得する者は、必修欄に○印を付された科目全部とA群より8単位、B群より3単位を含み、24単位を履修すること。
2. 上記の科目は、卒業所要単位数に算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合は、この限りではない。
3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
4. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

[学芸員関係科目]

別表VIII-3

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	A欄	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	生涯学習概論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	博物館概論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	博物館経営論		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	博物館資料論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	博物館資料保存論		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	博物館展示論		2	○						○				
<input type="checkbox"/>	博物館情報・メディア論		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	博物館教育論		2	○						○				
<input type="checkbox"/>	博物館実習	実	3	○					○	○				
	計		19											

【履修上の注意】

1. 学芸員の資格を取得する者は、A欄に○印を付された科目全部を履修しなければならない。
2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合この限りではない。
3. 授業の方法欄の「実」は実習科目、空欄は講義科目。
4. ①博物館実習は、博物館の見学、実務実習などを合算して履修する。
 ②博物館実習は次の各号に該当しなければ受講することができない。
 ア. 受講年次以前に配当された科目は、履修済であること。
 イ. 当該年次に配当された科目は、履修見込みであること。
 ③博物館実習の受講許可人員は年20～30名までとする。
5. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

[レクリエーション関係科目]

別表VIII-4

チ エ ツ ク 欄	授業科目	授業の方法	単位	レクリエーション			履修年次								備考	
				ライ クン タス ート	キ ャ ン プ	余 暇	1		2		3		4			
				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春		
<input type="checkbox"/> 野外活動論			2	○	○			○								
<input type="checkbox"/> グループワーク論			2							○						
<input type="checkbox"/> レクリエーション概論			2	○				○								
<input type="checkbox"/> レクリエーション基礎演習Ⅰ	演	1	○					○								
<input type="checkbox"/> レクリエーション実習Ⅰ	実	1	※	※						○						
<input type="checkbox"/> レクリエーション実習Ⅱ	実	1	※	※						○						
<input type="checkbox"/> レクリエーション事業参加		1	○													
<input type="checkbox"/> 余暇生活論		2			○		○									
<input type="checkbox"/> 余暇生活相談論		2			○					○						
<input type="checkbox"/> 余暇生活援助法		2			○					○						
<input type="checkbox"/> ケーススタディ	演	1			○								○			
	計		17													

【履修上の注意】

1. レクリエーションインストラクター、キャンプインストラクターの資格を取得する者は、各資格該当欄に○印を付された科目すべてと、※印を付された科目をどちらか1科目履修しなければならない。余暇開発士の資格を取得する者は、余暇資格該当欄に○印を付された科目をすべて履修しなければならない。
2. 上記の科目は、卒業所要単位に算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合は、この限りではない。
3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
4. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
5. 余暇開発士の課程履修は、児童学科、心理学科、音楽学科のみを対象とする。

[日本語教員養成講座(全学科)]

この講座は、外国人に対する日本語教員の資質向上を目的として行われる「日本語教育能力検定試験」の出題領域科目を主体として編成する日本語教員志望の養成講座である。

上記の検定試験は、現在資格付与ということはないが合格者には合格証書が交付される。なお、本講座の本学相当科目は、ほとんどが文学科に開設されているが、他学科の者も履修することができる。
修了した者には修了証明書が交付される。

別表VIII-5

標準教育内容(出題領域)	チ エ ツ ク 欄	本学相当科目			履修要項
		科目名	必要 単位	選択 単位	
日本語の構造に関する体系的・具体的な知識	<input type="checkbox"/>	日本語概説 I	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語概説 II	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語学特講 I	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語学特講 II	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語の語法 I		2	
	<input type="checkbox"/>	日本語の語法 II		2	
	<input type="checkbox"/>	現代語の研究 I	1		
	<input type="checkbox"/>	現代語の研究 II	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法 I	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法 II	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語の音声	2		
	<input type="checkbox"/>	小計	(14)		
日本人の言語生活等に関する知識	<input type="checkbox"/>	日本語の歴史 I	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語の歴史 II	2		
	<input type="checkbox"/>	小計	(4)		
日本事情(古典と文芸を含む)	<input type="checkbox"/>	日本事情 I	2		
	<input type="checkbox"/>	日本事情 II	2		
	<input type="checkbox"/>	日本文化入門		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説 I		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説 II		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学特講 I		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学特講 II		2	
言語学的知識・能力	<input type="checkbox"/>	小計	(4)		
	<input type="checkbox"/>	言語学概論 I	2		
	<input type="checkbox"/>	言語学概論 II	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語の方言 I		2	
	<input type="checkbox"/>	日本語の方言 II		2	
日本語の教授に関する知識・能力	<input type="checkbox"/>	小計	(4)		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要 I	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要 II	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法 I	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法 II	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究 I	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究 II	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習 I	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習 II	1		
計		本学所要最低単位	38		

MEMO



学籍番号

—

氏名

部

コース

科

年

クラス